



HPE ProLiant DL380a Gen11 ユーザーガイド

部品番号: 30-CB668334-008a-ja-JP

発行: 2026 年 4 月

版数: 8a

HPE ProLiant DL380a Gen11 ユーザーガイド

摘要

このガイドは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象としています。Hewlett Packard Enterprise では、読者がコンピューター機器の保守の資格を持ち、高電圧製品の危険性について理解し、ラック設置時の重量および安定性に関する注意事項に精通していることを前提としています。

部品番号: 30-CB668334-008a-ja-JP

発行: 2026 年 4 月

版数: 8a

© Copyright 2023-2026 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスは、それらに付属する明示的な保証規定によってのみ保証されます。本書が追加の保証を構成するものではありません。本書中の技術的あるいは編集上の誤りや欠落について、Hewlett Packard Enterprise では一切責任を負いません。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から有効な使用許諾を取得する必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外部に移動します。Hewlett Packard Enterprise では、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト外の情報については管理しておらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Intel® および Intel® Virtual RAID on CPU (Intel® VROC) は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows Server® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

VMware® は、米国およびその他の管轄区域における VMware, Inc. またはその子会社の登録商標です。

NVIDIA®、NVIDIA ロゴ、および GeForce®は、米国およびその他の国における NVIDIA Corporation の商標および/または登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

目次

コンポーネントの識別.....	10
フロントパネルのコンポーネント.....	11
iLO サービスポート.....	12
フロントパネルの LED とボタン.....	14
サーバーの UID LED.....	15
サーバーヘルスサマリーの表示.....	16
フロントパネル LED の電源障害コード.....	16
リアパネルのコンポーネント.....	17
モニターのセットアップ.....	18
リアパネルの LED.....	19
コンポーネントのタッチポイント.....	20
システムボードのコンポーネント.....	21
システムメンテナンススイッチ.....	24
DIMM ラベルの識別.....	25
DIMM スロットの番号.....	26
ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント.....	27
ライザーボードのコンポーネント.....	29
PCIe5 スロットの説明.....	31
分電盤のコンポーネント.....	32
ライザースロットの番号.....	33
GPU ライザースロットの番号.....	34
OCF スロットの取り付けルール.....	35
HPE のベーシックドライブの LED の定義.....	35
EDSFF SSD の LED の定義.....	37
DSC-25 2 ポート SFP28 カードのポートと LED.....	38
ドライブベイの番号.....	40
SFF (2.5 型) ドライブベイの番号.....	40
E3. S ドライブベイの番号.....	41
ドライブバックプレーンの命名.....	42
PCIe スイッチボードのコンポーネント.....	43
ファン番号.....	47
ファンモードの動作.....	47
ファンとヒートシンクの要件.....	48
Trusted Platform Module 2.0.....	48

Trusted Platform Module 2.0 のガイドライン.....	49
BitLocker リカバリキー/パスワードの保管のガイドライン.....	49
HPE NS204i-u ブートデバイスのコンポーネント.....	50
HPE NS204i-u ブートデバイスの LED の定義	51
セットアップ.....	52
システムの初期インストール.....	52
HPE インストレーションサービス.....	53
Intel VROC のサポート.....	53
サーバーのセットアップ.....	54
サーバーの電源装置冗長性設定の調整.....	56
動作要件.....	57
空間および通気要件.....	57
温度要件.....	58
電源要件.....	59
アース要件.....	59
ラックに関する警告と注意事項.....	61
サーバーに関する警告と注意事項.....	63
静電気対策.....	64
操作.....	65
フロントベゼルを取り外す.....	65
サーバーの電源を切る.....	67
ケーブルマネジメントアームを開く.....	68
ラックからサーバーを引き出す.....	69
ラックからサーバーを取り外す.....	70
アクセスパネルを取り外す.....	72
エアバッフルを取り外す.....	74
ファンケージを取り外す.....	76
中央カバーを取り外す.....	78
GPU ライザーケージを取り外す.....	80
ライザーケージを取り外す.....	82
中央カバーを取り付ける.....	85
ライザーケージを取り付ける.....	86
ファンケージを取り付ける.....	88
エアバッフルを取り付ける.....	90
アクセスパネルを取り付ける.....	93
サーバーをラックに取り付ける.....	94
サーバーの電源を入れる.....	98
ハードウェアオプションを取り付ける.....	99

サーバーデータバックアップ.....	99
ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン.....	101
Hewlett Packard Enterprise 製品の QuickSpecs.....	101
ラックマウントオプション.....	102
レール識別マーカ.....	102
ラックマウントインターフェイス.....	104
ラックレールのオプション.....	104
サーバーをラックに取り付ける.....	105
ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け.....	113
ケーブルマネジメントアームの取り付け.....	114
フロントベゼルオプションの取り付け.....	121
ドライブオプション.....	122
ドライブの取り付けのガイドライン.....	123
ホットプラグ対応 SFF (2.5 型) SAS、SATA、または NVMe ドライブの取り付け.....	124
E3.S ドライブの取り付け.....	126
電源装置オプション.....	128
ホットプラグ対応電源装置に関する計算.....	129
電源装置に関する警告と注意事項.....	130
DC 電源装置に関する警告と注意事項.....	131
電源装置の冗長性.....	131
DC 電源装置のワイヤーの色.....	134
AC 電源装置の取り付け.....	134
DC 電源装置の取り付け.....	137
DC 電源ケーブルの DC 電源への接続.....	147
トランシーバーオプション.....	149
トランシーバーに関する警告および注意事項.....	150
トランシーバーの取り付け.....	150
ドライブケースオプション.....	152
8 SFF (2.5 型) ドライブケースの取り付け.....	152
8 E3.S ドライブケースの取り付け.....	155
GPU オプション.....	159
GPU の取り付けに関するガイドライン.....	159
GPU ライザーケースへのシングル幅 GPU の取り付け.....	160
GPU ライザーケースへのダブル幅 GPU の取り付け.....	170
PCIe ライザーケースへの DPU の取り付け.....	184
メモリオプション.....	186
HPE Smart メモリの速度と取り付け情報.....	187

DIMM の取り付けに関するガイドライン.....	187
DIMM の取り付け.....	188
スタッキングライザーオプション.....	191
スタッキングライザーを取り付ける.....	191
セカンダリライザーケージオプション.....	194
2 スロットセカンダリライザーケージの取り付け.....	194
ストレージコントローラーオプション.....	197
ストレージコントローラー取り付けのためのサーバーの準備.....	197
タイプ o ストレージコントローラー (OROC) の取り付け.....	198
タイプ p ストレージコントローラーの取り付け.....	202
Energy Pack オプション.....	205
HPE Smart ストレージバッテリー.....	205
HPE Smart ストレージハイブリッドキャパシター.....	205
最小ファームウェアバージョン.....	206
Energy Pack を取り付ける.....	206
拡張カードオプション.....	209
拡張カードの取り付け.....	209
プロセッサヒートシンクアセンブリオプション.....	211
プロセッサに関する注意事項.....	212
プロセッサヒートシンクアセンブリの取り付け.....	212
HPE NS204i-u ブートデバイスオプション.....	229
セカンダリライザーケージへのブートデバイスの取り付け.....	229
内部シャーシへのブートデバイスの取り付け.....	234
OCN NIC 3.0 オプション.....	236
OCN NIC の取り付け.....	236
シャーシ侵入検知スイッチのオプション.....	240
シャーシ侵入検知スイッチの取り付け.....	240
シリアルポートオプション.....	242
シリアルポートを取り付ける.....	242
内部 USB デバイスのオプション.....	245
内部 USB デバイスの取り付け.....	245
ケーブル接続.....	247
ケーブル接続のガイドライン.....	247
ケーブル図.....	250
内部ケーブル管理.....	253
ストレージのケーブル接続.....	253
ストレージコントローラーのケーブル接続.....	254
8 SFF (2.5 型) ドライブコントローラーのケーブル接続.....	254

8 E3.S ドライブコントローラーのケーブル接続.....	258
ドライブ電源のケーブル接続.....	259
Energy Pack のケーブル接続.....	261
ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続.....	261
ライザーのケーブル接続.....	264
スタッキングライザーのケーブル接続.....	265
GPU のケーブル接続.....	266
GPU ライザーのケーブル接続.....	266
GPU ライザーから PCIe スイッチボードへのケーブル接続.....	269
GPU 補助電源のケーブル接続.....	275
DPU 補助電源のケーブル接続.....	282
PCIe スイッチボードのケーブル接続.....	284
PCIe スイッチボードの信号ケーブル接続.....	284
PCIe スイッチボードのサイドバンドケーブル接続.....	286
PCIe スイッチボードの電源ケーブル接続.....	287
HPE NS204i-u ブートデバイスのケーブル接続.....	289
OCF 帯域幅アップグレードのケーブル接続.....	290
分電盤サイドバンドのケーブル接続.....	293
シリアルポートのケーブル接続.....	294
シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続.....	295
フロント I/O のケーブル接続.....	296
構成関連情報.....	296
ファームウェアまたはシステム ROM のアップデート.....	297
サーバーの構成.....	298
ストレージコントローラーの構成.....	300
オペレーティングシステムの展開.....	302
セキュリティの構成.....	303
サーバー管理.....	304
Linux ベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理.....	304
トラブルシューティング.....	305
NMI 機能.....	305
トラブルシューティングの資料.....	305
システムバッテリーの交換.....	306
システムバッテリーの情報.....	306
システムバッテリーの取り外しおよび交換.....	306
安全、保証および規制に関する情報.....	309
規定に関する情報.....	310
Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合).....	310

Turkey RoHS material content declaration.....	311
Ukraine RoHS material content declaration.....	312
保証情報.....	312
仕様.....	312
環境仕様.....	312
機械仕様.....	313
電源装置の仕様.....	314
HPE 1600 W FS Platinum LH パワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)	314
HPE 1800-2200 W FS Titanium パワーサプライ (HPE 1800-2200 W Flex Slot Titanium Power Supply)	315
Web サイト.....	316
サポートと他のリソース.....	316
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	316
HPE 製品登録.....	317
アップデートへのアクセス.....	318
カスタマーセルフリペア (CSR)	318
リモートサポート.....	319
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	319

コンポーネントの識別

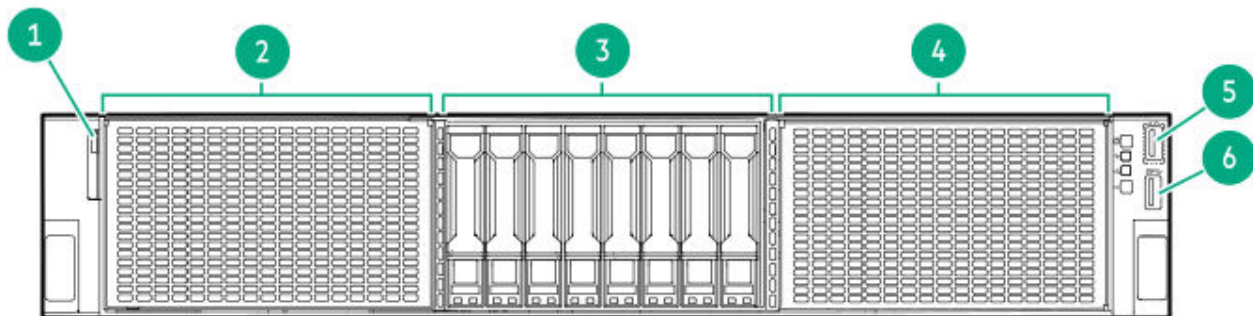
この章では、外付および内蔵のサーバーの機能とコンポーネントについて説明します。

サブトピック

- [フロントパネルのコンポーネント](#)
- [フロントパネルの LED とボタン](#)
- [リアパネルのコンポーネント](#)
- [リアパネルの LED](#)
- [コンポーネントのタッチポイント](#)
- [システムボードのコンポーネント](#)
- [ライザーボードのコンポーネント](#)
- [PCIe5 スロットの説明](#)
- [分電盤のコンポーネント](#)
- [ライザースロットの番号](#)
- [GPU ライザースロットの番号](#)
- [OCP スロットの取り付けルール](#)
- [HPE のベーシックドライブの LED の定義](#)
- [EDSFF SSD の LED の定義](#)
- [DSC-25 2 ポート SFP28 カードのポートと LED](#)
- [ドライブベイの番号](#)
- [ドライブバックプレーンの命名](#)
- [PCIe スイッチボードのコンポーネント](#)
- [ファン番号](#)
- [Trusted Platform Module 2.0](#)
- [HPE NS204i-u ブートデバイスのコンポーネント](#)
- [HPE NS204i-u ブートデバイスの LED の定義](#)

フロントパネルのコンポーネント

8 SFF (2.5 型) ドライブ構成

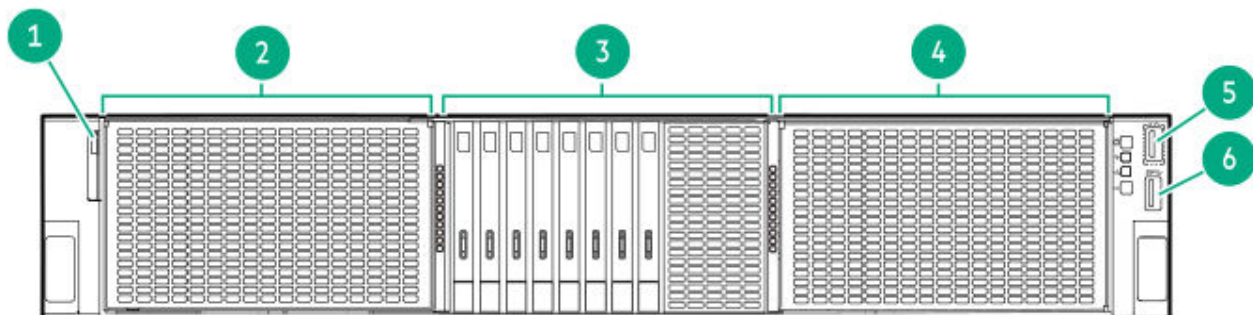


番号	説明
1	シリアル番号/iLO 情報プルタブ ¹
2	GPU ケージ 1
3	SFF (2.5 型) ドライブ ²
4	GPU ケージ 2
5	iLO サービスポート
6	USB 3.2 Gen1 ポート

¹ シリアル番号/iLO 情報プルタブは両面です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルト iLO アカウント情報が記載されています。

² フロントエンド SFF (2.5 型) ドライブボックスは、SAS、SATA、または U.3 NVMe ドライブをサポートします。

8 E3.S ドライブ構成



番号	説明
1	シリアル番号/iLO 情報プルタブ ¹
2	GPU ケージ 1
3	E3.S ドライブ
4	GPU ケージ 2
5	iLO サービスポート
6	USB 3.2 Gen1 ポート

¹ シリアル番号/iLO 情報プルタブは両面です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルト iLO アカウント情報が記載されています。

サブトピック

iLO サービスポート

iLO サービスポート

サービスポートは、サポートされているサーバーおよびコンピュートモジュールで iLO のラベルが付けられている USB ポートです。

お使いのサーバーまたはコンピュートモジュールがこの機能に対応しているか調べるには、次の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にあるサーバーの仕様ドキュメントを参照してください。

サービスポートは、サーバーの前面にある、iLO のラベルが付けられている USB ポートです。

お使いのサーバーがこの機能に対応しているか調べるには、次の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にあるサーバーの仕様ドキュメントを参照してください。

サーバーに物理的にアクセスできる場合、サービスポートを使用して次のことができます。

- ・ サポートされている USB フラッシュドライブに Active Health System ログをダウンロードします。

この機能を使用する場合、接続されている USB フラッシュドライブにホストオペレーティングシステムはアクセスできません。

- ・ サポートされる USB イーサネットアダプターにクライアント（ノートパソコンなど）を接続して以下にアクセスします。
 - iLO の Web インターフェイス

- リモートコンソール
- iLO RESTful API
- CLI

Hewlett Packard Enterprise は、HPE USB イーサーネットアダプター（部品番号 Q7Y55A）を使用することをお勧めします。

iLO サービスポートを使用すると、次のようになります。

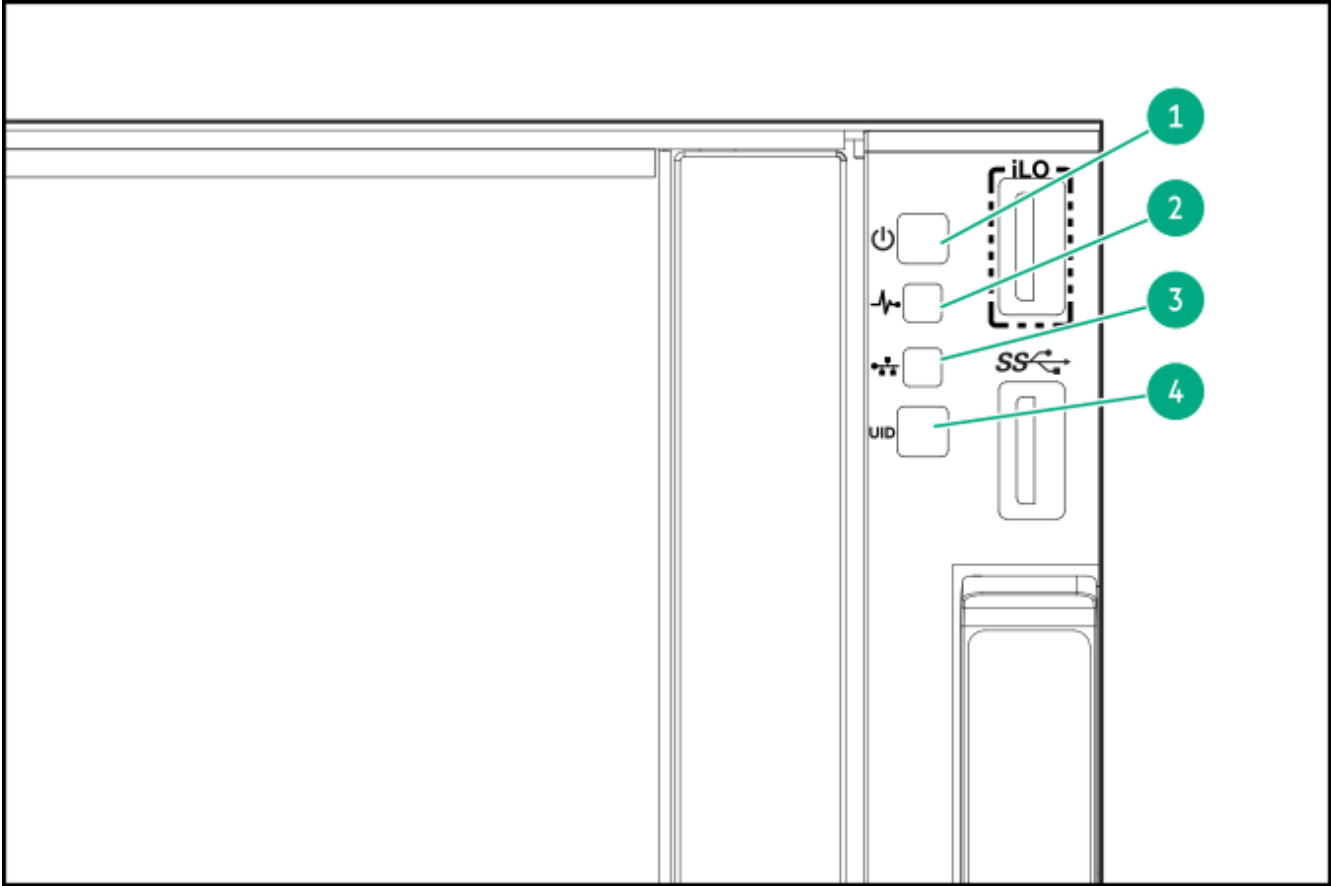
- ・ 操作が iLO イベントログに記録されます。
- ・ サービスポートのステータスを示すようにサーバーの UID が点滅します。

REST クライアントと iLO RESTful API を使用してサービスポートのステータスを取得することもできます。

- ・ サービスポートを使用してサーバー内のデバイスまたはサーバー自体を起動することはできません。
- ・ サービスポートに接続してサーバーにアクセスすることはできません。
- ・ 接続されているデバイスにサーバーからアクセスすることはできません。

iLO サービスポートについて詳しくは、<https://www.hpe.com/support/ilo6> の Web サイトの iLO ユーザーガイドを参照してください。

フロントパネルの LED とボタン



番号	説明	ステータス	定義
1	電源ボタン/システム電源 LED ¹	緑色で点灯	システムの電源はオンです
		緑色で点滅	電源投入手順を実行中
		オレンジ色で点灯	システムがスタンバイモード
		消灯	電源が供給されていません ²
2	ヘルス LED ¹	緑色で点灯	通常
		緑色で点滅	iLO が再起動中です
		オレンジ色で点滅	システムが劣化しました ³
		赤色で点滅	システムに重大な障害が発生しています ³

番号	説明	ステータス	定義
3	NIC のステータス LED ¹	緑色で点灯	ネットワークにリンクされています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークが動作していません
4	UID ボタン/LED ¹	青色で点灯	有効化済み
		青色で点滅	・ 毎秒 1 回点滅-リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です ・ 毎秒 4 回点滅-iLO の手動再起動シーケンスが開始されました ・ 毎秒 8 回点滅-iLO の手動再起動シーケンスが進行中です
		消灯	非アクティブ化済み

¹ すべての LED が同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。詳しくは、[フロントパネル LED の電源障害コード](#)を参照してください。

² 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、電源装置が故障している、またはフロント I/O のケーブルが外れています。

³ ヘルス LED が劣化状態またはクリティカル状態を示している場合は、[システムのインテグレートッドマネジメントログ \(IML\)](#)を確認するか、または HPE iLO を使用してシステムヘルスステータスを確認してください。

サブトピック

[サーバーの UID LED](#)

[サーバーヘルスサマリーの表示](#)

[フロントパネル LED の電源障害コード](#)

サーバーの UID LED

UID LED を使用すると、特定のサーバーが他の機器と共に高密度のラックに展開されている場合に、オンサイト担当のサポート技術者がその識別や場所の特定をすばやく行うのに役立ちま

す。また、リモート管理、ファームウェアのアップグレード、または再起動シーケンスが進行中かどうかを識別するためにも使用できます。

サーバーヘルスサマリーの表示

前提条件

- ・ 外部モニターが接続されています。
- ・ iLO Web インターフェイスのアクセス設定ページで、外部モニターにサーバーヘルスを表示機能が有効になっています。

このタスクについて

サーバーの電源が入っていない場合は、UID ボタンを使用すると、iLO のサーバーヘルスサマリー画面を外部モニターに表示できます。この機能は、サーバーの電源がオンまたはオフのときに使用できます。

詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise の Web サイト](#)にある iLO トラブルシューティングガイドを参照してください。

手順

- ・ UID ボタンを押して放します。



注意

UID ボタンを押して放してください。UID ボタンを 5 秒以上押し続けると、正常な iLO の再起動またはハードウェア iLO の再起動を開始します。ハードウェア iLO 再起動中にデータの損失や NVRAM の破損が発生する可能性があります。

外部モニターにサーバーヘルスサマリー画面が表示されます。

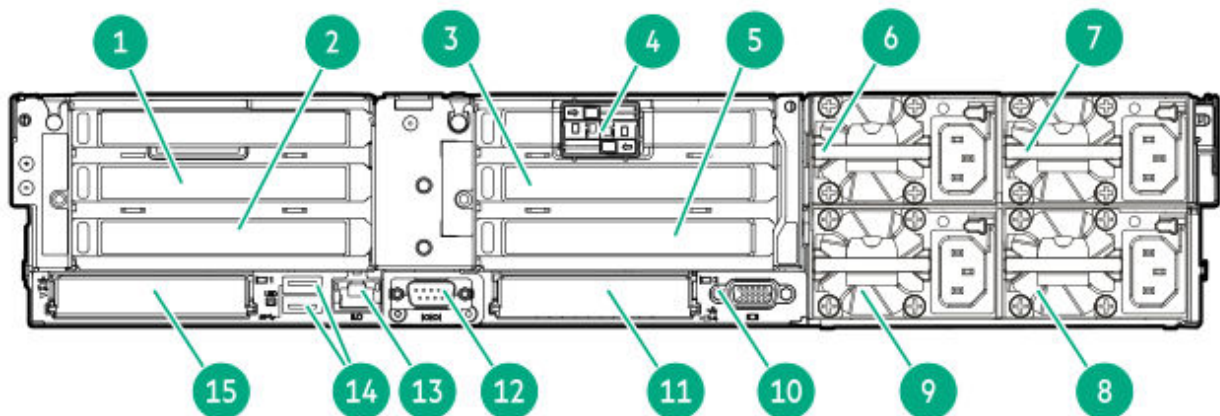
- ・ 再度 UID ボタンを押して、サーバーヘルスサマリー画面を閉じます。

フロントパネル LED の電源障害コード

次の表は、電源障害コードと影響を受けているサブシステムのリストを提供します。すべての電源障害がすべてのサーバーに適用されるわけではありません。

サブシステム	LED の動作
システムボード	1 回点滅
プロセッサ	2 回点滅
メモリ	3 回点滅
ライザーボードの PCIe スロット	4 回点滅
FlexibleLOM	5 回点滅
ストレージコントローラー	6 回点滅
システムボードの PCIe スロット	7 回点滅
電源バックプレーン	8 回点滅
ストレージバックプレーン	9 回点滅
電源装置	10 回点滅
ライザーボードに取り付けられた PCIe 拡張カード	11 回点滅
シャーシ	12 回点滅
GPU カード	13 回点滅

リアパネルのコンポーネント



番号	説明
1	スロット 2 PCIe5 x16 スタッキングライザー (オプション)
2	スロット 3 PCIe5 x16 ベースライザー ¹

番号	説明
3	スロット 5 PCIe5 x16 スタッキングライザー (オプション)
4	HPE NS204i-u ブートデバイス (オプション)
5	スロット 6 PCIe5 x16 ベースライザー ²
6	Flexible スロット電源装置 4 (オプション)
7	Flexible スロット電源装置 3 (オプション)
8	Flexible スロット電源装置 1
9	Flexible スロット電源装置 2
10	VGA ポート
11	スロット 18 OCP PCIe5 x8
12	シリアルポート (オプション)
13	iLO 専用ネットワークポート
14	USB 3.2 Gen1 ポート
15	スロット 17 OCP PCIe5 x8

¹ これらのスロットはプライマリライザーケージにあります。

² これらのスロットはセカンダリライザーケージにあります。

サブトピック

モニターのセットアップ

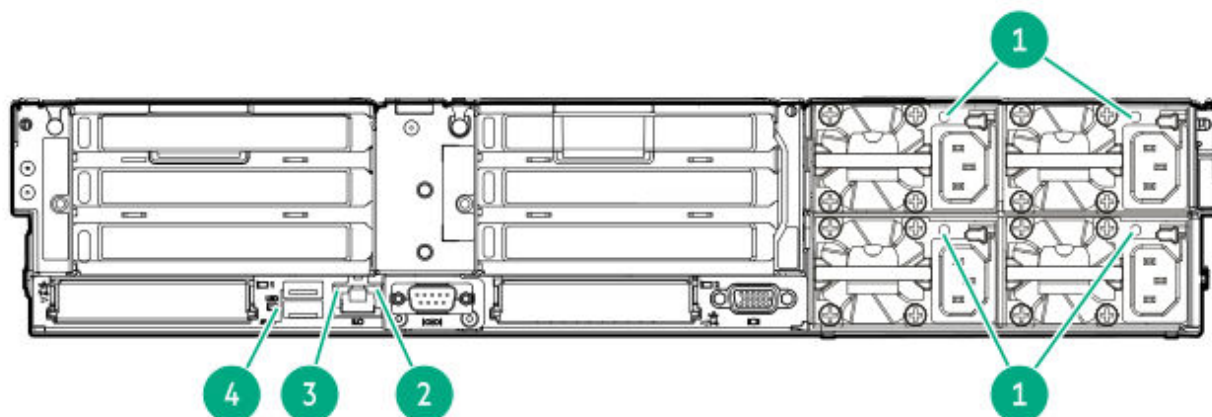
モニターのセットアップ

モニターを接続する前に、以下を確認してください。

- ・ このサーバーでは、VGA ポートと DisplayPort 1.1a の両方がサポートされています。
- ・ VGA ポートと DisplayPort の両方を使用して 2 台のディスプレイデバイスをサーバーに接続すると、同じ画像が両方のデバイスにミラーリングされます。
- ・ iLO チップセットの内蔵ビデオコントローラーは、デュアルディスプレイモードや画面拡張モードをサポートしていません。デュアルディスプレイを有効にするには、互換性のあるグラフィックスカードを取り付けます。
- ・ DisplayPort 用に HDMI または DVI アダプターを使用する場合は、アクティブタイプのアダプターを使用してください。DP++の記号でマークされたパッシブタイプのアダプターはサポートされていません。

- ・ 可能な限り、同じディスプレイ接続のタイプを使用してください。例えば、モニターに VGA ポートしかない場合は、サーバーの VGA ポートを使用します。他のアダプター、変換ケーブル、またはドングルを使用すると、表示品質が低下したり、接続の遅延が発生したりする可能性があります。

リアパネルの LED



番号	LED	ステータス	定義
1	電源装置	緑色で点灯	電源装置は正常に動作しています。
		消灯	以下に示す 1 つ以上の状態が発生しています。 ・ 電源が供給されていない ・ 電源装置で障害が発生している ・ 電源装置がスタンバイモードに入っている ・ 電源装置のエラー ・ フロント I/O ケーブルが接続されていない。
2	iLO ステータス	緑色で点灯	ネットワークに接続しています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークが動作していません
3	iLO リンク	緑色で点灯	ネットワークにリンクされています
		消灯	ネットワークにリンクしていません

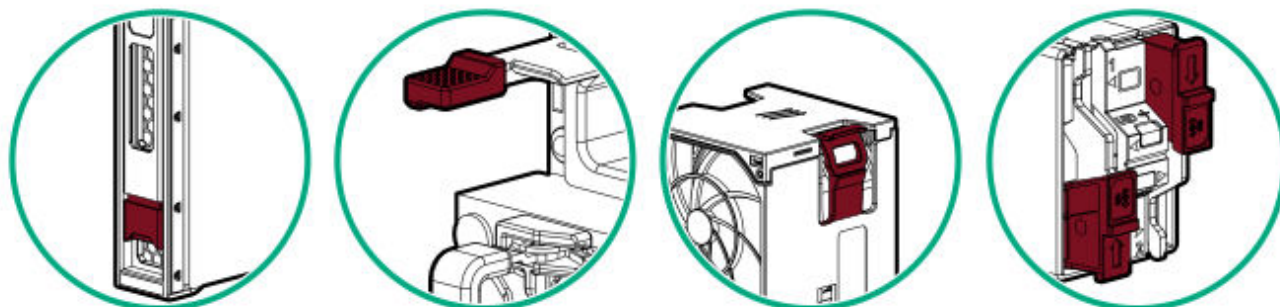
番号	LED	ステータス	定義
4	UID	青色に点灯	アクティブ化済み
		青色で点滅	・ 毎秒 1 回点滅 - リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です ・ 毎秒 4 回点滅 - iL0 の手動再起動シーケンス ・ 毎秒 8 回点滅 - iL0 の手動再起動シーケンスが進行中です
		消灯	非アクティブ化済み

コンポーネントのタッチポイント

特定のコンポーネントは色分けされています。これらの色は、取り外しプロセスで触れることが推奨される部分を表し、コンポーネントを取り外す前にシステムのシャットダウンが必要かどうかを示します。

以下の図に参考例を示します。

HPE ホットプラグレッド



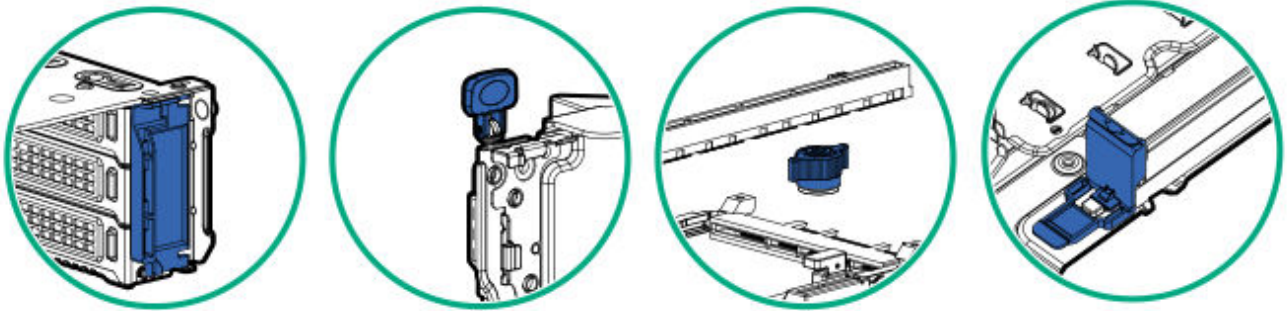
ホットプラグレッドは、ホットプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントは、システムの実行中に取り外したり取り付けたりすることができ、そうしてもシステムがシャットダウンすることはありません。

コンポーネントの例：

- ・ 冗長電源構成の電源装置
- ・ ホットプラグ対応ファン

- ・ ホットプラグ対応ドライブ
- ・ ホットプラグ対応ブートデバイス内の M. 2 SSD

HPE タッチポイントブルー



タッチポイントブルーは、コールドプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントではシステムのシャットダウンが必要です。これを怠ると、システム障害やデータ損失が発生する可能性があります。コールドプラグ対応のコンポーネントは、非電気コンポーネントのタッチポイントを示す場合もあります。

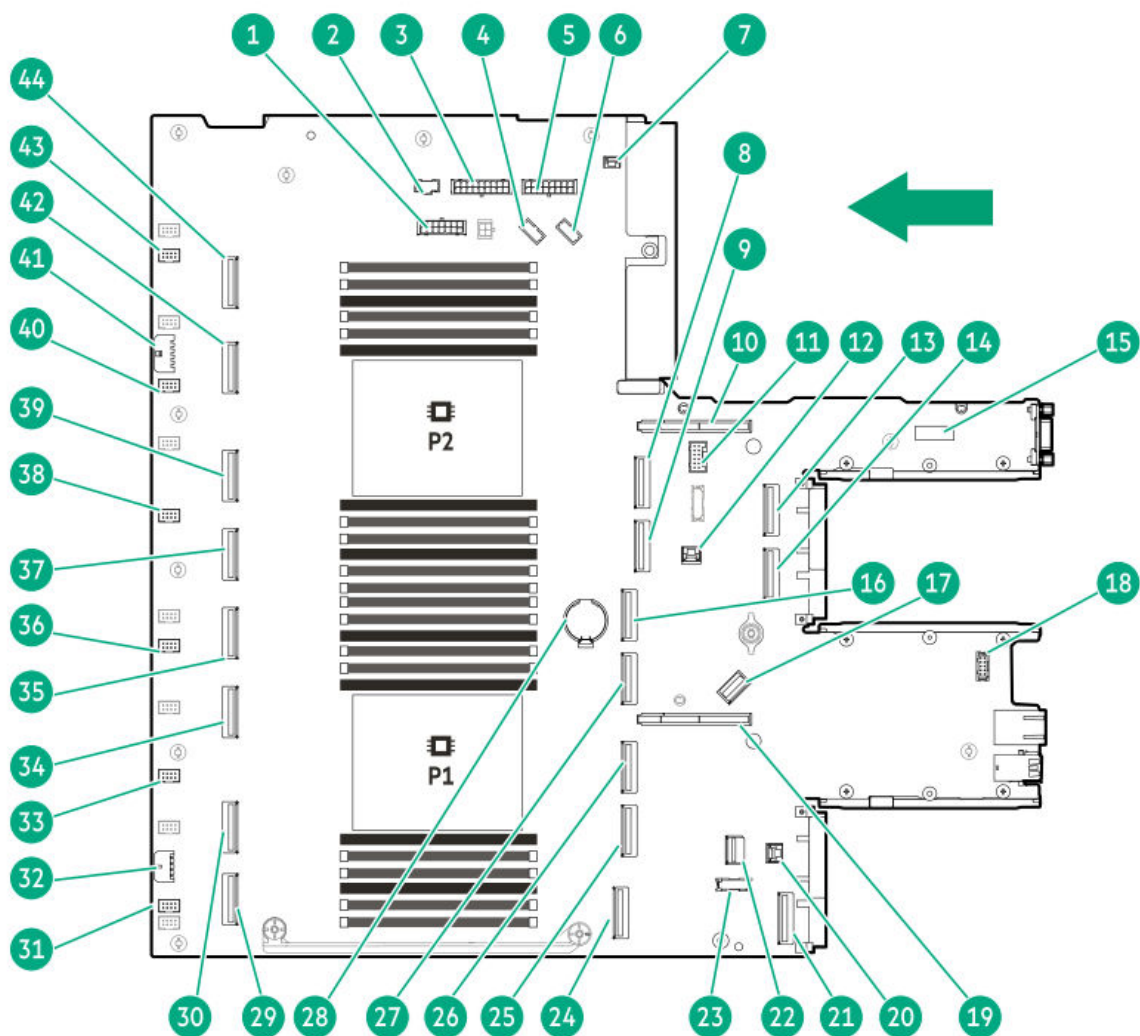
コンポーネントの例：

- ・ ストレージデバイス
- ・ ファンケージ
- ・ システムボード
- ・ Energy Pack

システムボードのコンポーネント

システムボードの画像でグレー表示されているコンポーネントは、このサーバーでは使用できません。

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



番号

説明

1	ドライブバックプレーン電源コネクタ
2	電源装置信号オプションコネクタ
3	上側 PCIe スイッチボード電源コネクタ
4	PCIe スイッチボード信号コネクタ
5	下側 PCIe スイッチボード電源コネクタ
6	NS204i-u 信号コネクタ
7	シャーシ侵入検知スイッチコネクタ
8	ソケット 2 MCIO コネクタ 5B
9	ソケット 2 MCIO コネクタ 6B
10	セカンダリライザーコネクタ
11	Energy Pack コネクタ

番号	説明
12	スロット 18 OROC ストレージバックアップ電源コネクタ
13	スロット 18 OCP x16 アップグレードコネクタ A
14	スロット 18 OCP x16 アップグレードコネクタ B
15	システムメンテナンススイッチ
16	ソケット 2 MCIO コネクタ 9B
17	USB 3.2 Gen1 ポート
18	シリアルポートコネクタ
19	プライマリライザーコネクタ
20	スロット 17 OROC ストレージバックアップ電源コネクタ
21	スロット 17 OCP x16 アップグレードコネクタ
22	フロント I/O コネクタ
23	SlimSAS x8 コネクタ
24	ソケット 1 MCIO コネクタ 9A
25	ソケット 1 MCIO コネクタ 5A
26	ソケット 1 MCIO コネクタ 6A
27	ソケット 2 MCIO コネクタ 8B
28	システムバッテリー
29	ソケット 1 MCIO コネクタ 1A
30	ソケット 1 MCIO コネクタ 2A
31	ファンコネクタ 6
32	GPU ライザー/PCIe スイッチボード電源コネクタ
33	ファンコネクタ 5
34	ソケット 1 MCIO コネクタ 3A
35	ソケット 1 MCIO コネクタ 4A
36	ファンコネクタ 4
37	ソケット 2 MCIO コネクタ 1B
38	ファンコネクタ 3
39	ソケット 2 MCIO コネクタ 2B
40	ファンコネクタ 2
41	GPU ライザー/PCIe スイッチボード電源コネクタ
42	ソケット 2 MCIO コネクタ 3B
43	ファンコネクタ 1
44	ソケット 2 MCIO コネクタ 4B

サブトピック

[システムメンテナンススイッチ](#)

[DIMM ラベルの識別](#)

[DIMM スロットの番号](#)

[ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント](#)

システムメンテナンススイッチ

システムメンテナンススイッチは、システムボード上の DIP スイッチであり、サービス、トラブルシューティング、または他のシステム構成に使用されます。各スイッチはデフォルトで OFF になっており、それぞれの ON 位置が特定の機能を有効にします。

サーバー上のシステムメンテナンススイッチの場所を確認するには、[システムボードのコンポーネント](#)を参照してください。

位置	デフォルト	機能
S1 <u>1</u>	オフ	・ オフ - iL0 セキュリティは有効です。 ・ オン - iL0 セキュリティは無効です。
S2	オフ	予約済み
S3	オフ	予約済み
S4	オフ	予約済み
S5 <u>1</u>	オフ	・ オフ - 電源投入時パスワードは有効です。 ・ オン - 電源投入時パスワードは無効です。
S6 <u>1</u> , <u>2</u> , <u>3</u>	オフ	・ オフ - 動作していません ・ オン - 製造時のデフォルト設定を復元します
S7	オフ	予約済み
S8	オフ	予約済み
S9	オフ	予約済み
S10	オフ	予約済み
S11	オフ	予約済み
S12	オフ	予約済み

- 1 冗長 ROM にアクセスするには、S1、S5、および S6 をオンに設定します。
- 2 システムメンテナンススイッチの S6 をオンの位置に設定すると、すべての構成設定を製造時のデフォルト設定に復元できるようになります。
- 3 システムメンテナンススイッチの S6 をオンの位置に設定してセキュアブートを有効にすると、一部の構成は復元できません。詳しくは、サーバーの構成を参照してください。

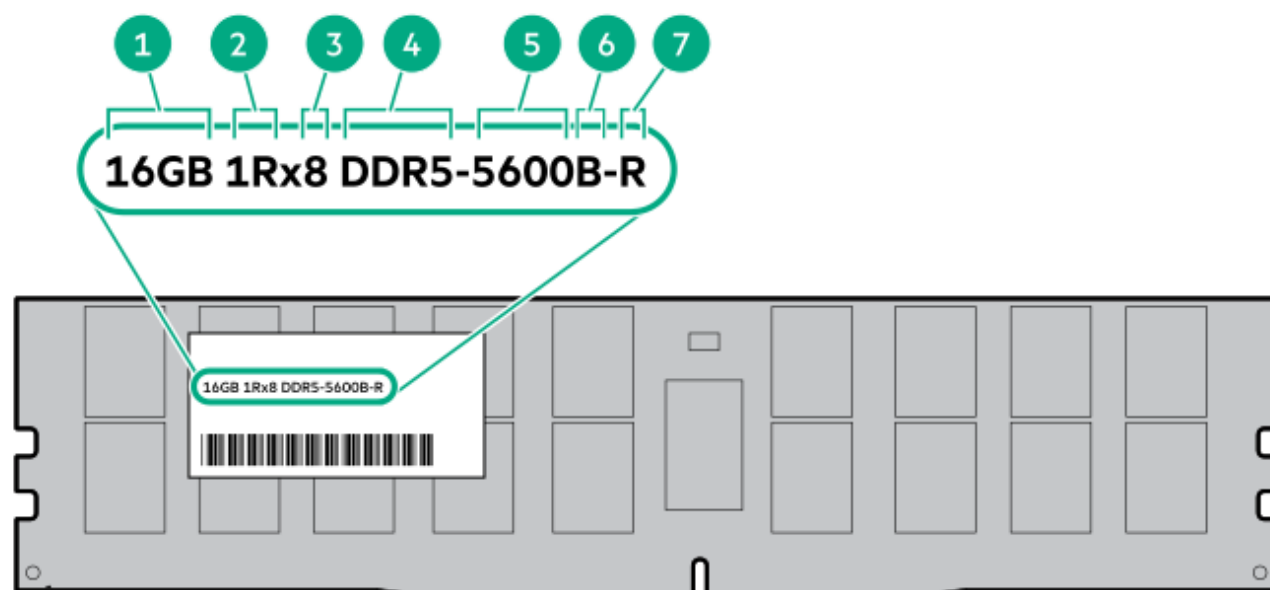
DIMM ラベルの識別

ラベルには、DIMM に関する情報が記載されています。次のような DIMM に関するその他の情報については、

- ・ メモリ速度やサーバー固有の DIMM 取り付けルール
- ・ 製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性

次の Web サイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>



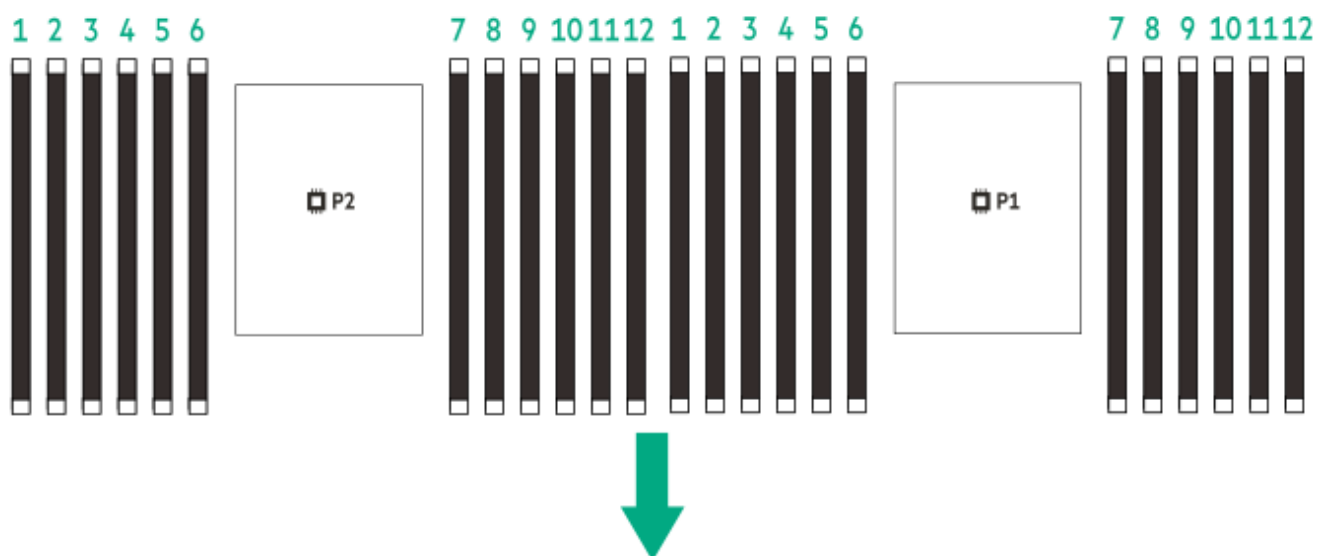
番号	説明	例
1	容量 ¹	16 GB
		32 GB
		64 GB
		96 GB

番号	説明	例
		128 GB 256 GB
2	ランク	1R – シングルランク 2R – デュアルランク 4R – クアッドランク 8R – オクタルランク
3	DRAM 上のデータ幅	x4 – 4 ビット x8 – 8 ビット
4	メモリ世代	PC5 – DDR5
5	メモリの最大速度 ¹	4800 MT/s 5600 MT/s 6400 MT/s
6	CAS レイテンシ	B – 42-42-42 B – 50-42-42 (128 GB および 256 GB 容量の場合)
7	DIMM タイプ	E – UDIMM (バッファなし、ECC 付き) R – RDIMM (レジスター付き)

¹ メモリの最大速度および容量は、メモリの種類、メモリ構成、およびプロセッサモデルの総合的な組み合わせによって決まります。

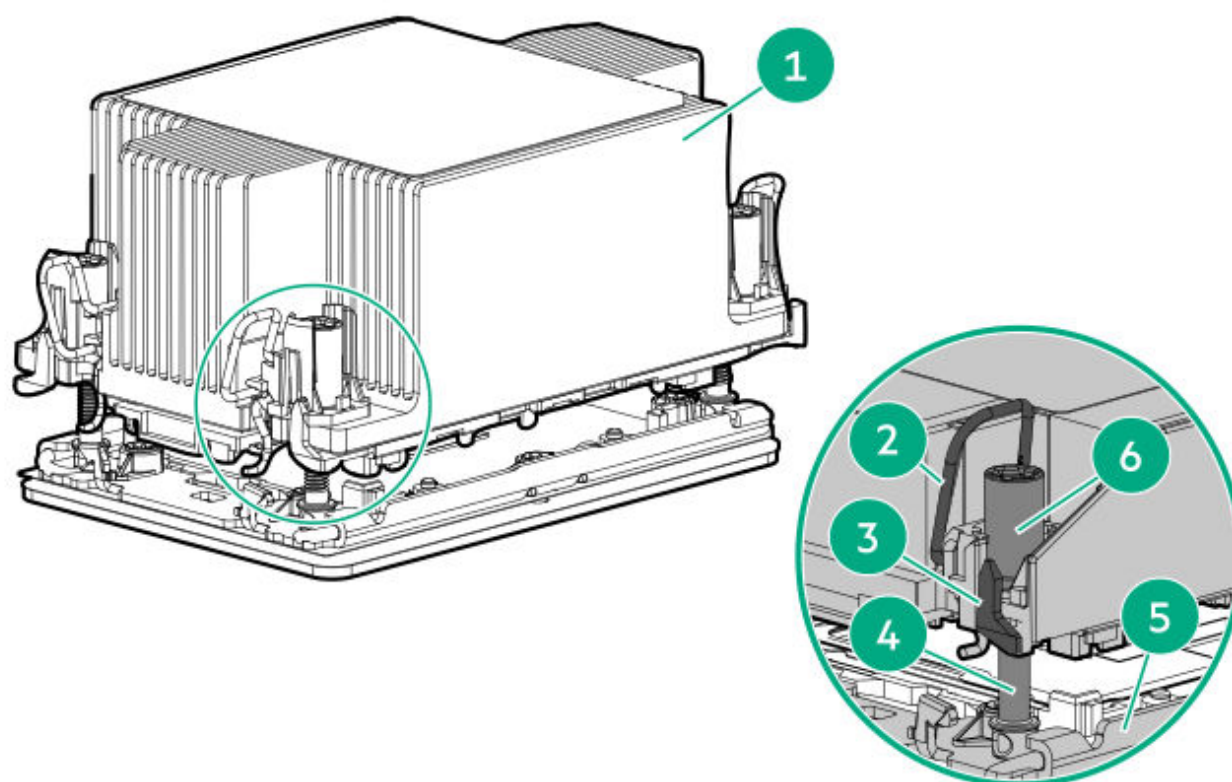
DIMM スロットの番号

矢印は、サーバーの正面側を指しています。

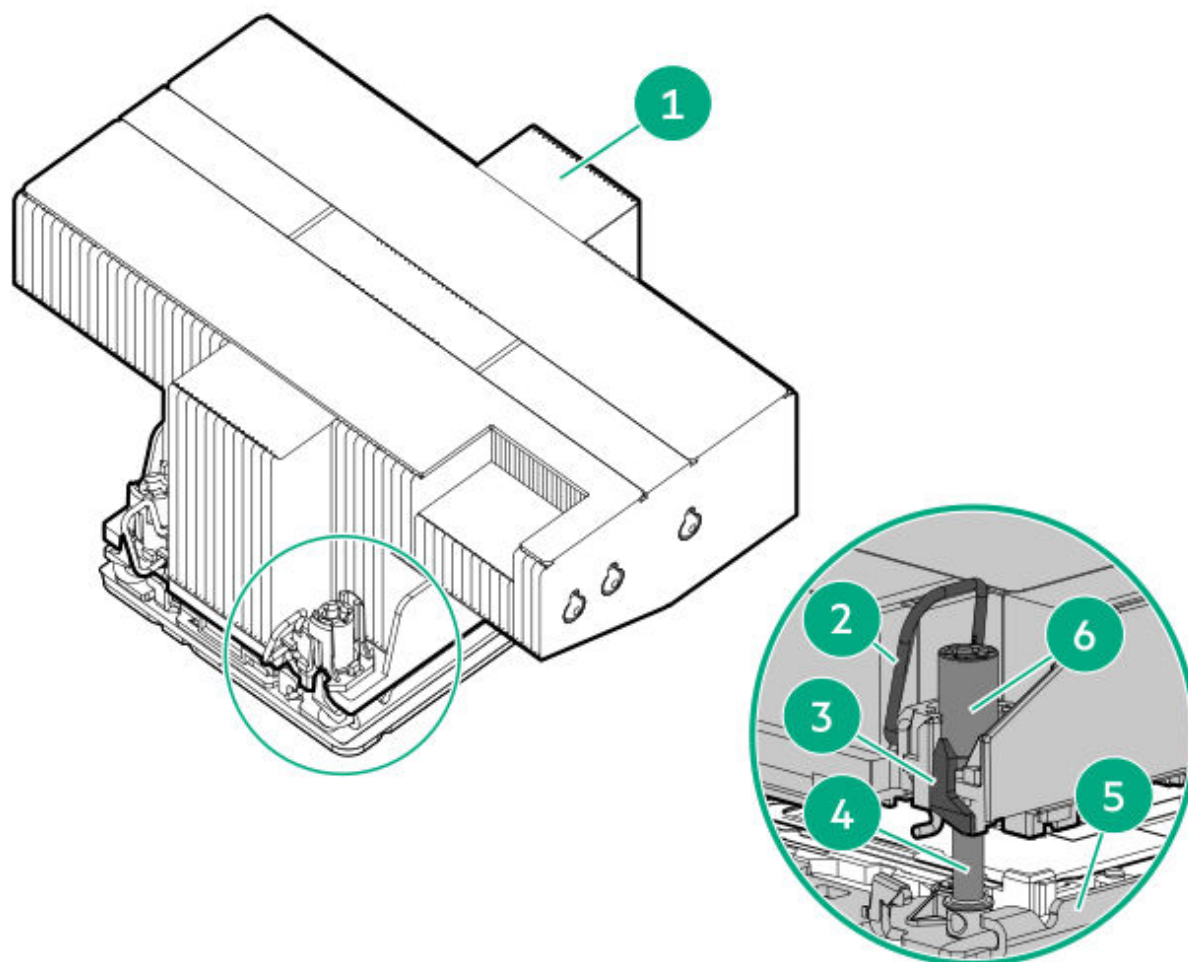


ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント

標準ヒートシンク



高性能ヒートシンク



番号	説明
1	プロセッサヒートシンクモジュール*
2	傾き防止ワイヤー
3	プロセッサキャリアのリリースタブ
4	ボルスタープレートのガイドポスト
5	ボルスタープレート
6	ヒートシンクのネジ

*このモジュールは、キャリアに固定済みのプロセッサに接続されたヒートシンクで構成されています。

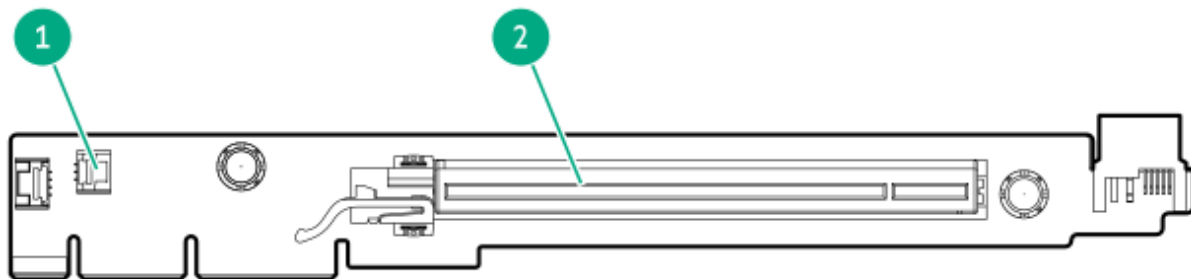
ライザーボードのコンポーネント

このサーバーでは、3種類のPCIe ライザーをサポートしています。

- ・ 標準ライザー：このライザーは、システムボードのライザーコネクタに直接取り付けられているボードのみのライザーです。このライザータイプは、プライマリ/セカンダリライザーケース内のベースライザーとして使用されます。
- ・ ケーブル接続されたライザー：このタイプのライザーでは、ボード自体に信号ケーブルがはんだ付けされています。このライザータイプは、3 スロットライザーケース内の標準のベースライザーおよび別のケーブル接続されたライザーと組み合わせられます。
- ・ GPU ライザー：このタイプのライザーでは、ボード自体に信号ケーブルがはんだ付けされています。このタイプのライザーは、GPU ライザーケース内の別の GPU ライザーと組み合わせられます。

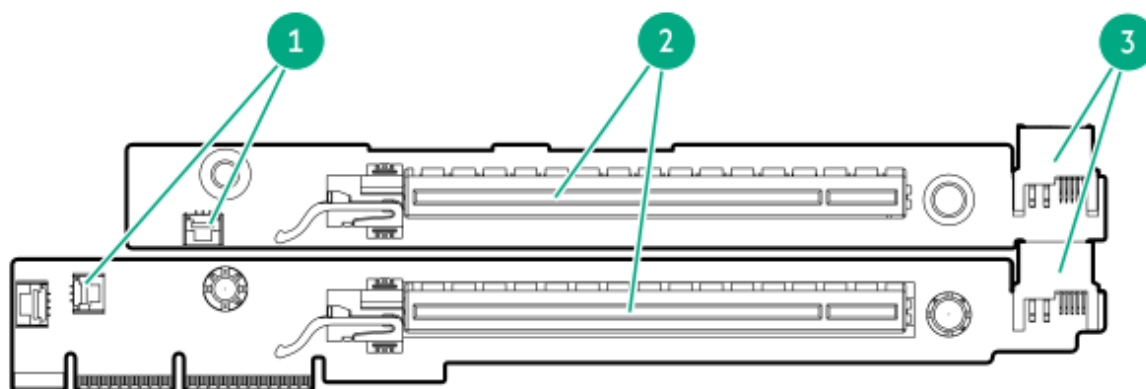
わかりやすくするために、次の図ではライザーケースとケーブル接続されたライザーのケーブルを省略しています。

標準ライザーコンポーネント



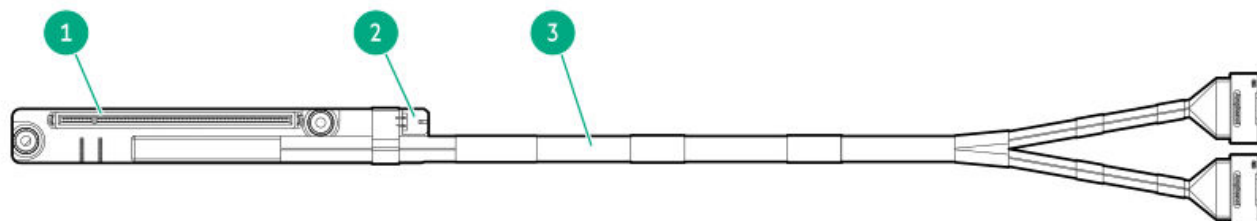
番号	説明
1	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクタ
2	PCIe5 x16 (16、8、4、1) スロット

ケーブル接続されたライザーコンポーネント



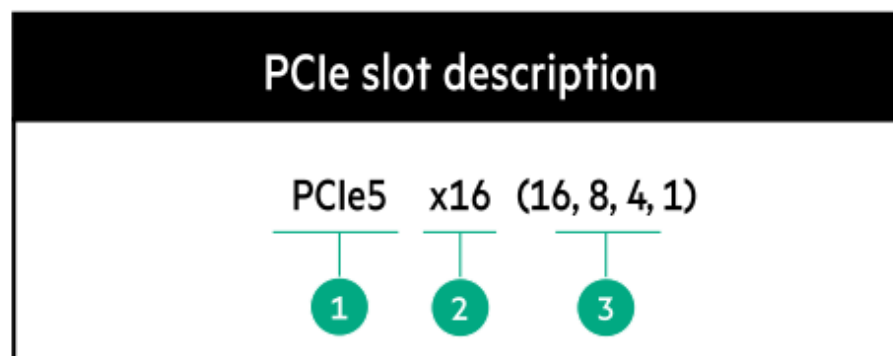
番号	説明
1	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクタ
2	PCIe5 x16 (16、8、4、1) スロット
3	ライザー電源コネクタ

GPU ライザーコンポーネント



番号	説明
1	PCIe5 x16 (16、8、4、1) スロット
2	GPU ライザー電源コネクタ
3	GPU ライザー信号ケーブル

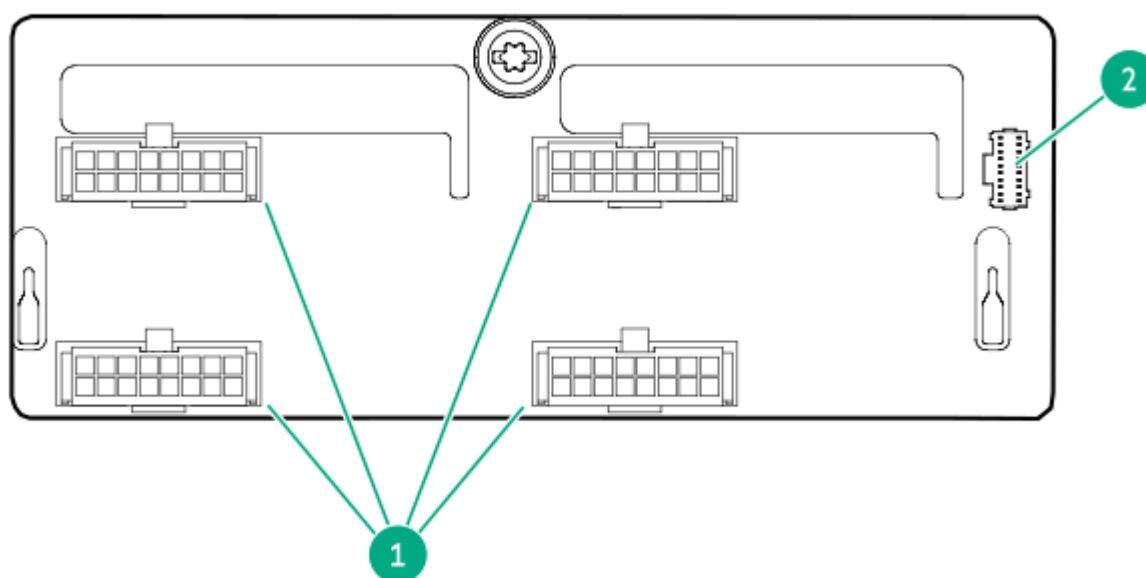
PCIe5 スロットの説明



番号	説明	定義
1	PCI Express のバージョン	PCIe の各バージョンは、プロセッサと周辺機器間の特定のデータ転送速度に対応しています。一般に、バージョンをアップデートすると、転送速度は向上します。 ・ PCIe 1. x ・ PCIe 2. x ・ PCIe 3. x ・ PCIe 4. x ・ PCIe 5. x PCIe テクノロジーは、現在も開発が進められています。最新情報については、PCI SIG の Web サイトを参照してください。
2	物理コネクタのリンク幅	PCIe デバイスは、インターコネクトまたはリンクと呼ばれる論理接続を介して通信します。物理レベルでは、リンクは1つまたは複数のレーンで構成されます。レーンの数には、x というプレフィックスが付いており、通常の使用では x16 が最大サイズになります。 ・ x1 ・ x2 ・ x4 ・ x8

番号	説明	定義
		・ x16
3	ネゴシエーション可能なリンク幅	これらの番号は、スロットでサポートされる最大リンク帯域幅に対応します。

分電盤のコンポーネント

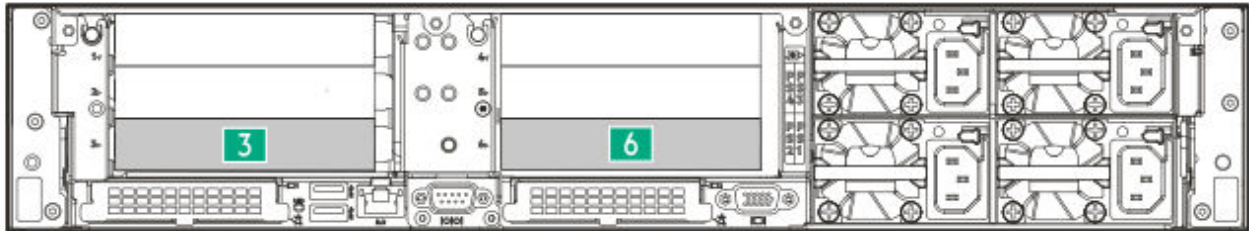


番号	説明
1	電源コネクタ
2	サイドバンドコネクタ

ライザーロットの番号

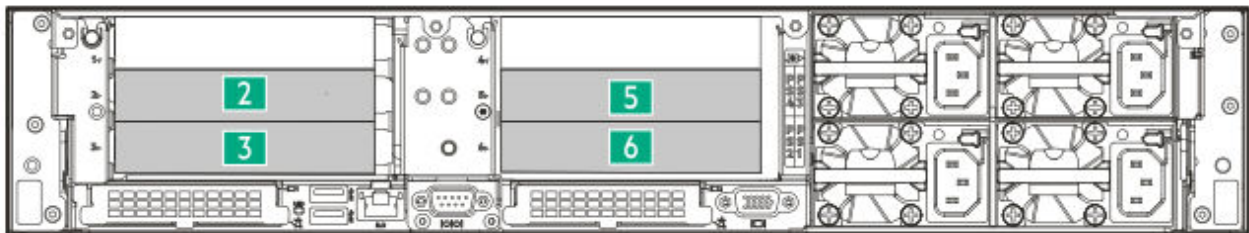
すべてのライザーロットはPCIe5 x16（16、8、4、1）であり、最大消費電力はそれぞれ 75 W です。

2 スロットライザー構成



スロット番号	位置	ライザータイプ	サポートされるフォームファクター
3	プライマリライザーケース	標準/ベースライザー	フルハイト、ハーフレングス
6	セカンダリライザーケース		ハーフハイト、ハーフレングス（ロープロファイル）

4 スロットライザー構成



スロット番号	位置	ライザータイプ	サポートされるフォームファクター
2	プライマリライザーケース	スタッキングライザー	フルハイト、ハーフレングス
3		標準/ベースライザー	ハーフハイト、ハーフレングス（ロープロファイル）
5	セカンダリライザーケース	スタッキングライザー	
6		標準/ベースライザー	

GPU ライザーロットの番号

すべてのライザーロットは PCIe5 x16（16、8、4、1）であり、最大消費電力はそれぞれ 75 W です。TDP が 75W を超える GPU をサポートするには、補助電源ケーブルが必要です。

ダブル幅の GPU 構成



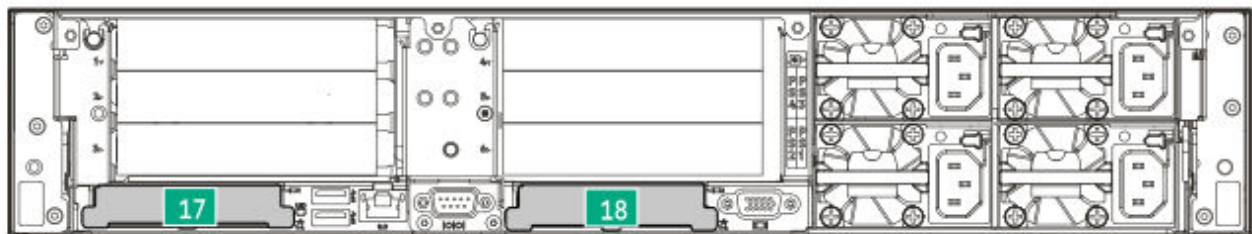
スロット番号	位置	ライザータイプ	サポートされるフォームファクター
9	GPU ライザーケー ジ 1	ケーブル接続さ れた GPU ライザ ー	ダブル幅、フルハイト、ハーフレン グス
11			
14	GPU ライザーケー ジ 2	—	
16			

シングル幅の GPU 構成



スロット番号	位置	ライザータイプ	サポートされるフォームファクター
9	GPU ライザーケー ジ 1	ケーブル接続さ れた GPU ライザ ー	シングル幅、フルハイト、フルレン グス
10			
11			
12			
13	GPU ライザーケー ジ 2	—	シングル幅、ハーフハイト、ハーフ レングス（ロープロファイル）
14			
15			

OCP スロットの取り付けルール



スロット番号	サポートされているハードウェアコンポーネント
スロット 17 OCP PCIe5 x8 ¹	・ タイプ o ストレージコントローラー
スロット 18 OCP PCIe5 x8	・ OCP NIC

¹ OCP NIC を 1 つ取り付ける場合は、スロット 17 に取り付けます。

検証済み OCP オプションのリストを表示するには、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトにあるサーバーの QuickSpecs を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/quickspecs>

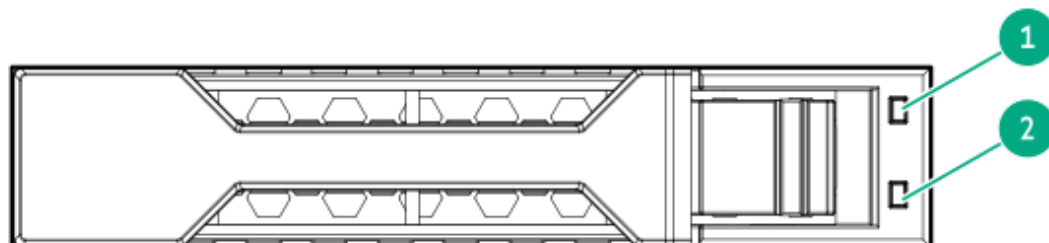
HPE のベーシックドライブの LED の定義

HPE のベーシックドライブキャリアには、次の LED があります。

- ・ オレンジ色/青色の LED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- ・ 緑色の LED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

SFF (2.5 型) ベーシックドライブキャリア

SFF (2.5 型) ベーシックドライブキャリアはホットプラグ SAS、SATA、または U.3 NVMe ドライブをサポートしています。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、このドライブが管理アプリケーションによって識別されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒 1 回点滅）	このドライブの障害予測アラートを受信しています。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブの動作として以下のいずれかを示します。 - RAID の再構築または実行 - ストリップサイズの移行の実行 - 容量拡張の実行 - 論理ドライブの拡張の実行 - 消去

番号	LED	状態	定義
			・ スペア部品のアクティブ化操作
		緑色で点滅 (毎秒 4 回点滅)	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブで、RAID コントローラーで構成されていない、またはスペアドライブです。

EDSFF SSD の LED の定義

EDSFF ドライブキャリアには、次の 2 つの LED があります。

- ・ オレンジ色/青色の LED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- ・ 緑色の LED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

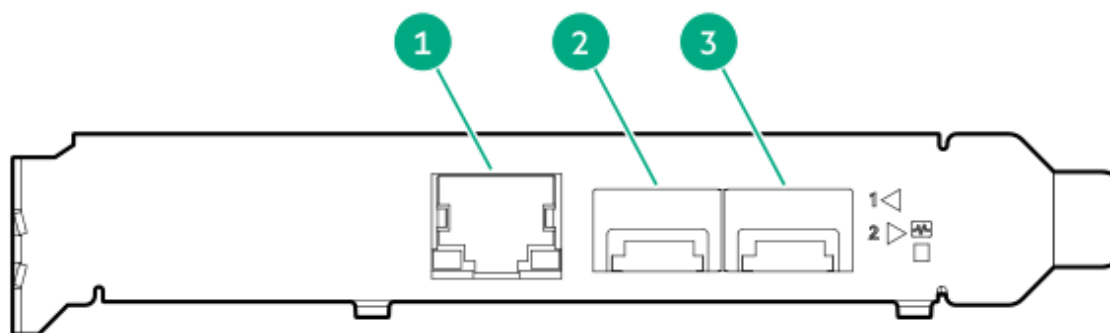


番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅 (毎秒 1 回点滅)	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、ドライブは管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色で点滅 (毎秒 1 回点滅)	このドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。

番号	LED	状態	定義
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒 4 回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティビティがあります。
		消灯	電源が供給されていません。

DSC-25 2 ポート SFP28 カードのポートと LED

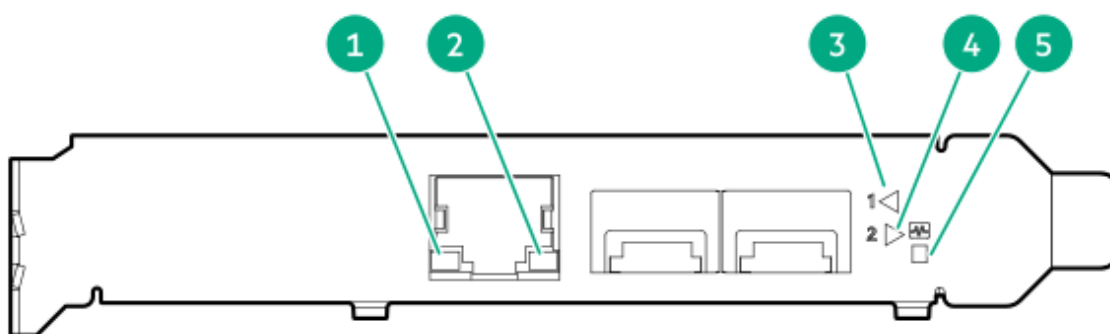
ポート



番号	ポート	説明
1	マネジメントポート	1GbE RJ45
2	ネットワークインターフェイスポート	10/25G SFP+ベース
3	ネットワークインターフェイスポート	10/25G SFP+ベース

LED

HPE for Pensando DSP DSC-25 2p SFP28 カードは、デュアルポート、シングルスロット、ハーフハイト、ハーフレンジス (HHHL) の SFP28 ネットワークアダプターです。各ポートのリンク (L) と動作 (A) を示す LED があります。SFP28 ポートと LED を備えたハーフハイトブラケットを次の図に示します。



番号	LED	ステータス	説明
1	マネジメントポート 動作 LED	消灯	動作なし
		点滅	トラフィック通過中。点滅頻度はトラフィックの集中度を示します
2	マネジメントポート リンク LED	消灯	リンクが確立されていません
		緑色で点灯	イーサネットリンク有効
3	SFP ポート 1 リンク /動作 LED	消灯	リンクが確立されていません
		緑色で点灯	イーサネットリンク有効
		緑色で点滅	トラフィック通過中。点滅頻度はトラフィックの集中度を示します
		オレンジ色で 点灯	リンク障害
4	SFP ポート 2 リンク /動作 LED	消灯	リンクが確立されていません
		緑色で点灯	イーサネットリンク有効
		緑色で点滅	トラフィック通過中。点滅頻度はトラフィックの集中度を示します
		オレンジ色で 点灯	リンク障害
5	システムステータス LED	消灯	システムに電源が入っていません
		オレンジ色で 点灯	電源は入っていますが、ソフトウェアがまだ起動していません

番号	LED	ステータス	説明
		緑色で点灯	システムは稼働して、完全に機能しています

ドライブベイの番号



注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブランクが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブランクが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

サブトピック

SFF (2.5 型) ドライブベイの番号

E3.S ドライブベイの番号

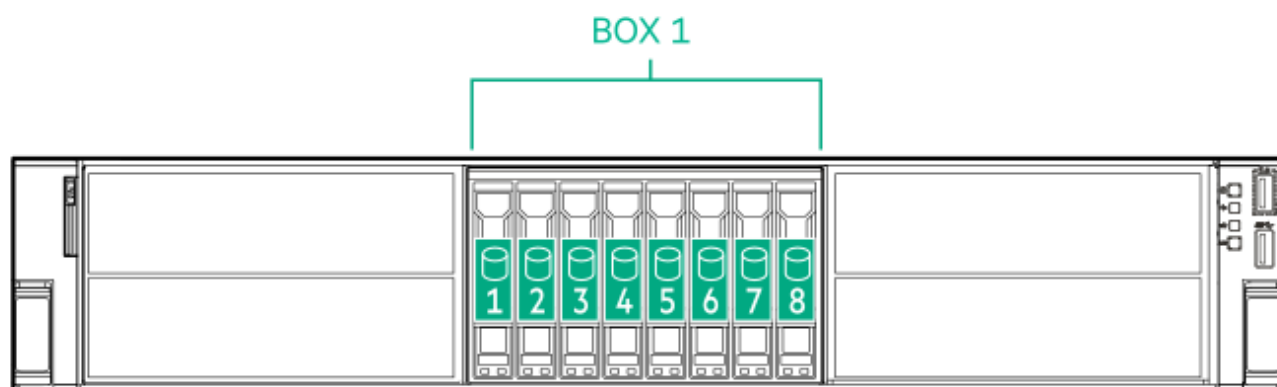
SFF (2.5 型) ドライブベイの番号

8 SFF (2.5 型) ドライブ構成では、次のドライブバックプレーンオプションがサポートされています。

- ・ 8 SFF (2.5 型) 16G x4 U.2 NVMe / SAS UBM4 BC
- ・ 8 SFF (2.5 型) 16G x4 U.2 NVMe / SAS UBM6 BC
- ・ 8 SFF (2.5 型) 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM3 BC
- ・ 8 SFF (2.5 型) 24G x4 U.3 NVMe / SAS UBM6 BC

8 SFF (2.5 型) ドライブ構成では、すべてのドライブが同じボックス 1 に属しています。

ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、ドライブバックプレーンの命名を参照してください。



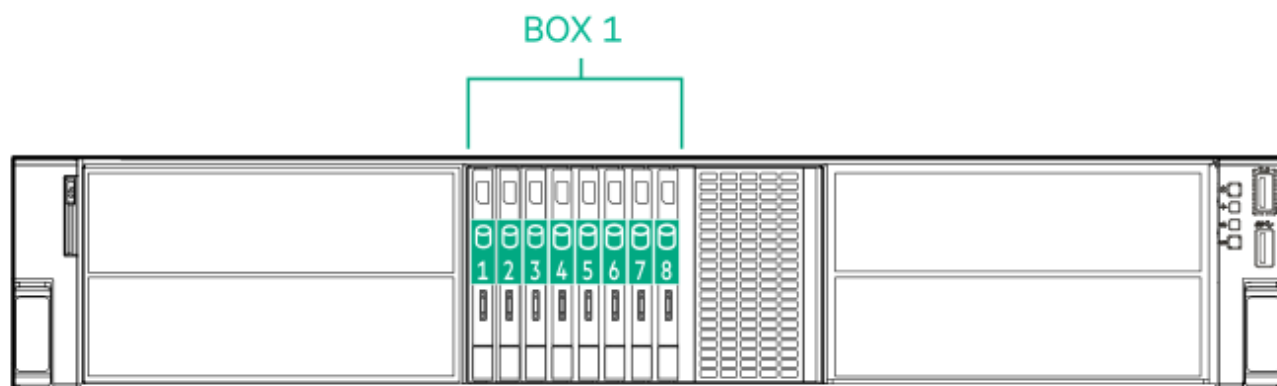
E3. S ドライブベイの番号

8 E3. S ドライブ構成では、次のドライブバックプレーンオプションがサポートされています。

- ・ 8 E3. S 32G x4 NVMe UBM5 EC1
- ・ 8 E3. S 32G x4 NVMe UBM7 EC1

8 E3. S ドライブ構成では、すべてのドライブが同じボックス 1 に属しています。

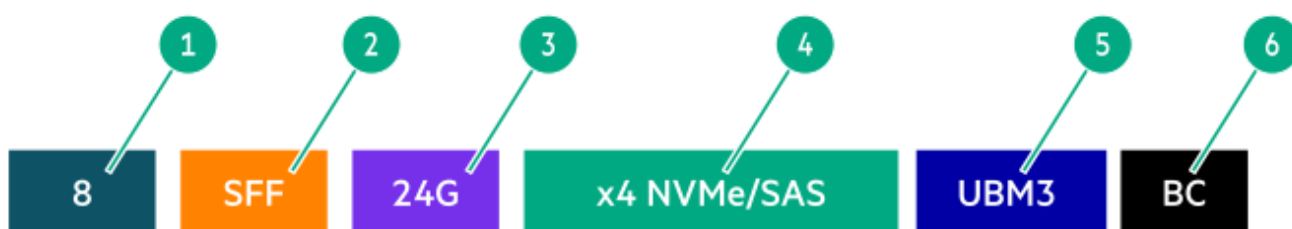
ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、[ドライブバックプレーンの命名](#)を参照してください。



ドライブバックプレーンの命名

このトピックでは、ドライブバックプレーンの命名で示されている機能について説明します。この命名規則は、HPE Gen11 サーバーリリースから採用されています。サーバーは、このトピックに記載されているすべての機能をサポートしているとは限りません。サーバー固有のサポート情報については、サーバーのガイドを参照してください。

- ・ ドライブバックプレーンのサポートについては、ドライブベイの番号を参照してください。
- ・ ドライブバックプレーンのケーブル接続については、ストレージのケーブル接続を参照してください。



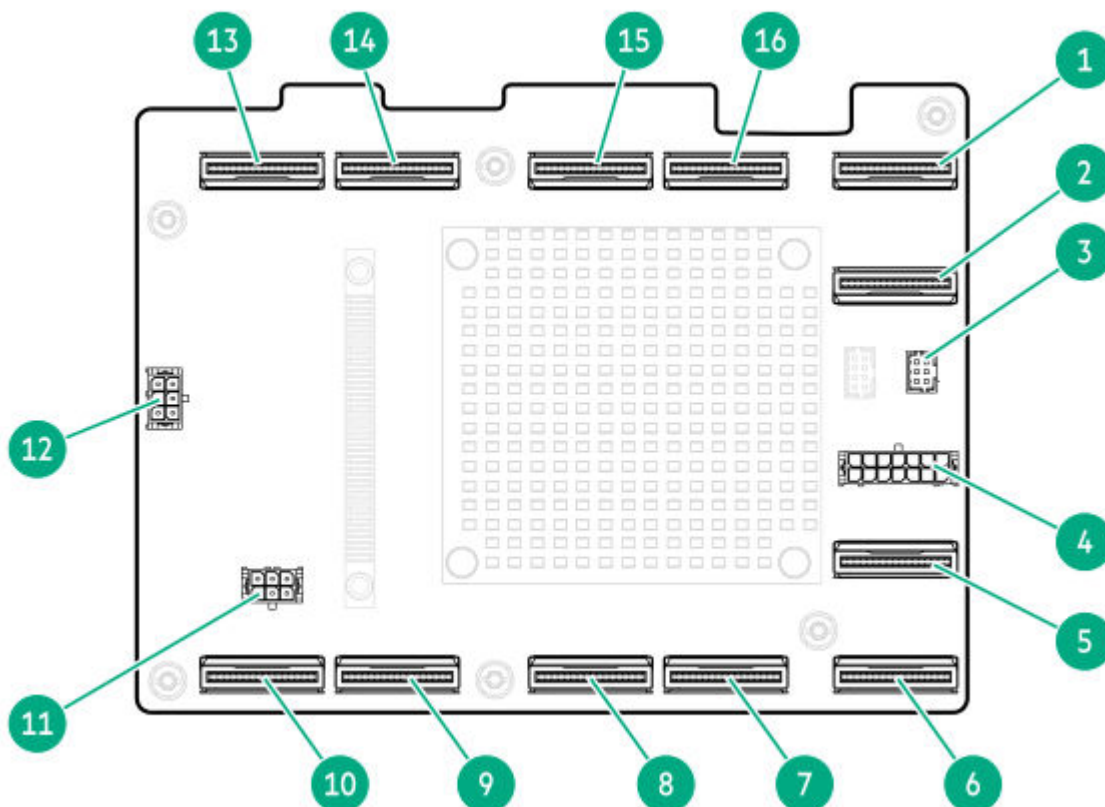
番号	説明	値
1	ドライブベイの数	バックプレーンでサポートされているドライブベイの数。
2	ドライブのフォームファクター	LFF (3.5 型) - ラージフォームファクター SFF (2.5 型) - スモールフォームファクター E3.S - Enterprise and Datacenter Standard Form Factor (EDSFF E3.S)
3	レーンあたりの最大リンク速度 (GT/s)	12G 16G 24G 32G
4	ポートリンク幅とインターフェイス	x1 NVMe/SAS - U.3 NVMe、SAS、または SATA ¹ x4 NVMe/SAS - U.3 NVMe、SAS、または SATA ² x4 NVMe - NVMe ³ x4 NVMe - E3.S
5	Universal Backplane Manager (UBM) モデル	UBM モデルは、バックプレーンで使用する UBM ファームウェアを定義します。

番号	説明	値
		UBM モデルの例 : UBM2、UBM3 など。
6	ドライブキャリアのタイプ	BC - ベーシックキャリア (SFF (2.5 型)) LP - ロープロファイルキャリア (LFF (3.5 型)) EC - E3.S キャリア

- ¹ x1 U.3 NVMe、SAS、および SATA ドライブに対するトライモードコントローラーのサポート。システムボード接続は、SATA ドライブのみをサポートします。
- ² x4 U.3 NVMe、x2 (スプリッターケーブル経由) U.3 NVMe、または x1 SAS および SATA ドライブに対する CPU 直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。
- ³ x4 NVMe ドライブに対する CPU 直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。

PCIe スイッチボードのコンポーネント

上側 PCIe スイッチボード



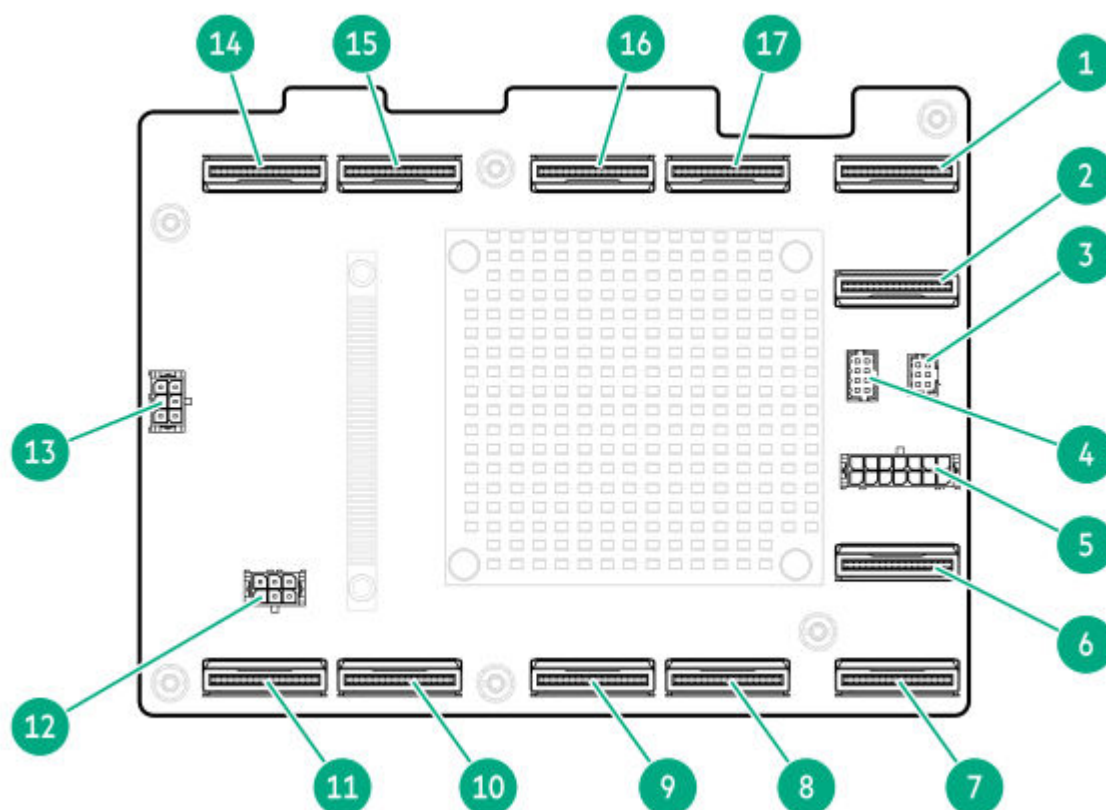
番号	説明	接続先
1	上側 PCIe スイッチボードのアップストリームポート 1	システムボード上のセカンダリプロセッサ MCIO コネクター
2	上側 PCIe スイッチボードのアップストリームポート 2	
3	上側 PCIe スイッチボード信号延長コネクター	下側 PCIe スイッチボード信号延長コネクター
4	上側 PCIe スイッチボード電源コネクター	上側 PCIe スイッチボード電源コネクター (P2) GPU 補助電源コネクター (P3) ¹ 、 ²
5	上側 PCIe スイッチボードのアップストリームポート 3	システムボード上のプライマリプロセッサ MCIO コネクター
6	上側 PCIe スイッチボードのアップストリームポート 4	
7	GPU ライザーズロット 14 MCIO コネクター (SEC) ³	GPU ライザーズロット 14
8	GPU ライザーズロット 14 MCIO コネクター (PRIM) ³	
9	GPU ライザーズロット 13 MCIO コネクター (SEC) ³	GPU ライザーズロット 13
10	GPU ライザーズロット 13 MCIO コネクター (PRIM) ³	
11	GPU ライザーズロット 13 および 14 電源コネクター	GPU ライザーズロット 13 (P2) ¹ GPU ライザーズロット 14 (P3) ¹
12	GPU ライザーズロット 9 および 10 電源コネクター	GPU ライザーズロット 9 (P3) ¹ GPU ライザーズロット 10 (P2) ¹
13	GPU ライザーズロット 9 MCIO コネクター (SEC) ³	GPU ライザーズロット 9
14	GPU ライザーズロット 9 MCIO コネクター (PRIM) ³	
15	GPU ライザーズロット 10 MCIO コネクター (SEC) ³	GPU ライザーズロット 10
16	GPU ライザーズロット 10 MCIO コネクター (PRIM) ³	

¹ このカッコで囲まれたテキスト (P2/P3) は、電源ケーブルコネクター上のマーカーを指します。

² この電源コネクターは、ケージ 1 内の GPU 用です。

- ³ このカッコで囲まれたテキスト (PRIM/SEC) は、ライザー信号ケーブルコネクタ上のマーカーを指します。

下側 PCIe スイッチボード



番号	説明	接続先
1	下側 PCIe スイッチボードのアップストリームポート 1	システムボード上のセカンダリプロセッサ MC I/O コネクター
2	下側 PCIe スイッチボードのアップストリームポート 2	
3	下側 PCIe スイッチボード信号コネクター	システムボード上の PCIe スイッチボード信号コネクター
4	下側 PCIe スイッチボード信号延長コネクター	上側 PCIe スイッチボード信号延長コネクター
5	下側 PCIe スイッチボード電源コネクター	下側 PCIe スイッチボード電源コネクター (P2) GPU 補助電源コネクター (P3) <u>1</u> 、 <u>2</u>

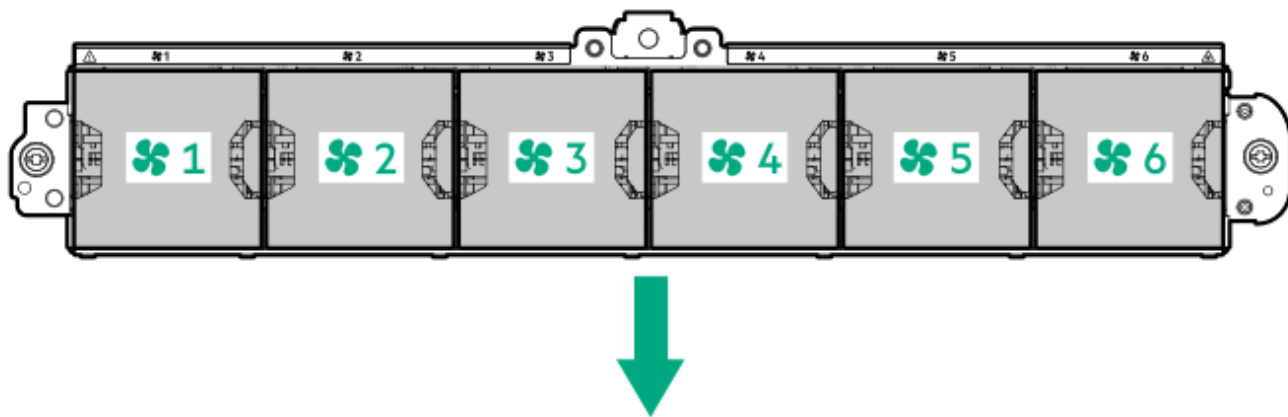
番号	説明	接続先
6	下側 PCIe スイッチボードのアップ ストリームポート 3	システムボード上のプライマリプロセッサ MC IO コネクター
7	下側 PCIe スイッチボードのアップ ストリームポート 4	
8	GPU ライザーロット 16 MCIO コネ クター (SEC) ³ _—	GPU ライザーロット 16
9	GPU ライザーロット 16 MCIO コネ クター (PRIM) ³ _—	
10	GPU ライザーロット 15 MCIO コネ クター (SEC) ³ _—	GPU ライザーロット 15
11	GPU ライザーロット 15 MCIO コネ クター (PRIM) ³ _—	
12	GPU ライザーロット 15 および 16 電源コネクター	GPU ライザーロット 15 (P2) ¹ _— GPU ライザーロット 16 (P3) ¹ _—
13	GPU ライザーロット 11 および 12 電源コネクター	GPU ライザーロット 11 (P3) ¹ _— GPU ライザーロット 12 (P2) ¹ _—
14	GPU ライザーロット 11 MCIO コネ クター (SEC) ³ _—	GPU ライザーロット 11
15	GPU ライザーロット 11 MCIO コネ クター (PRIM) ³ _—	
16	GPU ライザーロット 12 MCIO コネ クター (SEC) ³ _—	GPU ライザーロット 12
17	GPU ライザーロット 12 MCIO コネ クター (PRIM) ³ _—	

- ¹_— このカッコで囲まれたテキスト (P2/P3) は、電源ケーブルコネクター上のマーカを指
します。
- ²_— この電源コネクターは、ケージ 2 内の GPU 用です。
- ³_— このカッコで囲まれたテキスト (PRIM/SEC) は、ライザー信号ケーブルコネクター上の
マーカを指します。

ファン番号

システムに十分なエアフローが確保されるように、サーバーにはデフォルトで6つの高性能デュアルローターファンが取り付けられています。

矢印は、サーバーの正面側を指しています。



サブトピック

ファンモードの動作

ファンとヒートシンクの要件

ファンモードの動作

デフォルトの6ファン構成は、冗長ファンのサポートを提供します。冗長ファンモードで、ファンローターが故障または欠落している場合：

- ・ システムは非冗長ファンモードに切り替わります。システムは、このモードで動作します。
- ・ システムヘルス LED がオレンジ色に点滅します。

2番目のファンローターの障害またはファンの欠落が発生した場合、オペレーティングシステムは正常にシャットダウンします。

ファンとヒートシンクの要件



注意

システムの適切な冷却を維持するために、特定のハードウェア構成に必要な正しいタイプのヒートシンクを取り付けます。

構成	プロセッサ TDP	ファンのタイプ	ヒートシンク
SFF (2.5 型) / E3.S ドライブ	270 W 未満	高性能ファン	標準ヒートシンク
	270 W 以上		高性能ヒートシンク

Trusted Platform Module 2.0

Trusted Platform Module 2.0 (TPM) は、プラットフォームの認証に使用されるアーティファクトを安全に保存するハードウェアベースのシステムセキュリティ機能です。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、暗号鍵などが含まれます。

TPM 2.0 はサーバーのシステムボードに組み込まれています。

TPM 2.0 は、特定のオペレーティングシステムサポート (Microsoft Windows Server 2012 R2 以降など) でサポートされます。オペレーティングシステムサポートについては、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にある製品の QuickSpecs を参照してください。Microsoft Windows の BitLocker ドライブ暗号化機能については、Microsoft の Web サイト (<https://www.microsoft.com>) を参照してください。

サブトピック

[Trusted Platform Module 2.0 のガイドライン](#)

[BitLocker リカバリキー/パスワードの保管のガイドライン](#)

Trusted Platform Module 2.0 のガイドライン



注意

- ・ 必ず、このセクションに記載されている TPM のガイドラインに従ってください。ガイドラインに従わないと、ハードウェアが損傷したり、データアクセスが中断したりする場合があります。
- ・ サーバーの変更や OS での TPM のサスペンドまたは無効化のための手順に従っていないと、TPM を使用している OS ですべてのデータアクセスがロックされる場合があります。これには、システムまたはオプションファームウェアのアップデート、ハードウェア（システムボードやドライブなど）の交換、TPM の OS 設定の変更が含まれます。
- ・ OS のインストール後に TPM モードを変更すると、データ消失などの問題の原因となります。

- ・ TPM を構成するには、UEFI システムユーティリティを使用します。システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Module オプションを選択します。詳しくは、UEFI ユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeuefisisystemutilities-quicklinks>

- ・ Microsoft Windows BitLocker ドライブ暗号化機能を使用する場合は、常にリカバリキーまたはパスワードを保持してください。システム整合性が侵害された可能性を BitLocker が検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキーまたはパスワードが必要です。
- ・ HPE は、TPM の不適切な使用によって発生したデータアクセスのブロックについては、責任を負いかねます。操作手順については、オペレーティングシステムに付属の暗号化テクノロジー機能のドキュメントを参照してください。

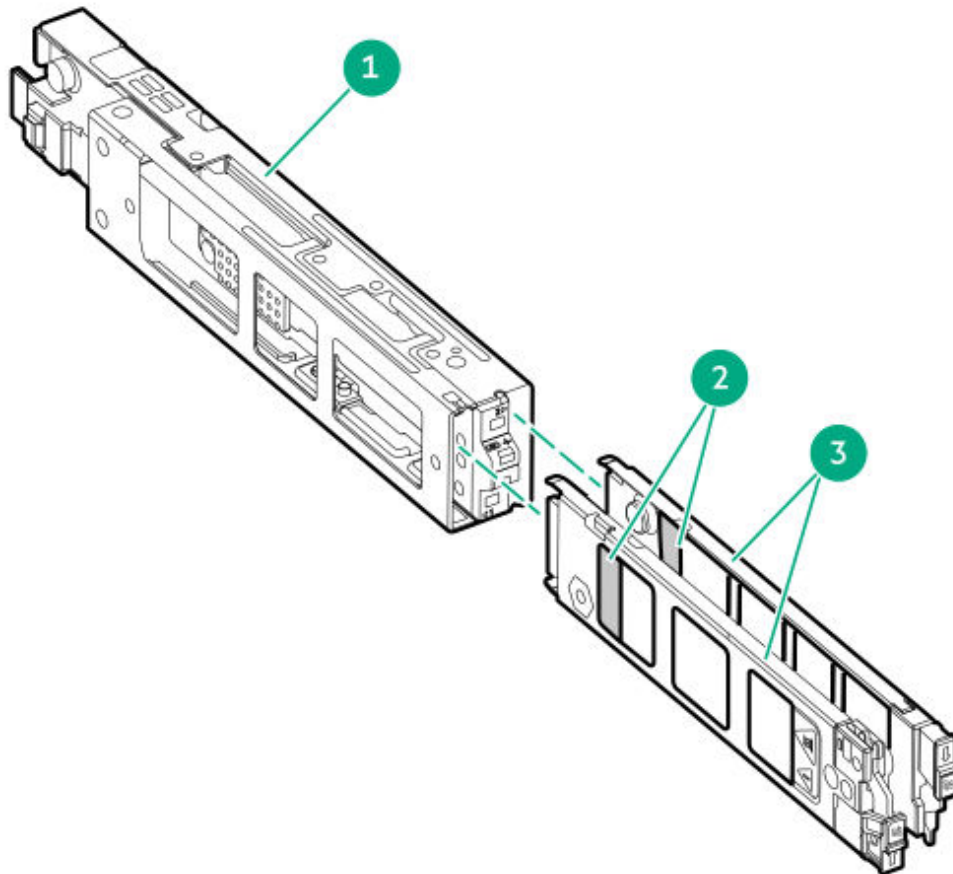
BitLocker リカバリキー/パスワードの保管のガイドライン

リカバリキー/パスワードは、BitLocker のセットアップ時に生成され、BitLocker を有効にした後に保存および印刷できます。BitLocker を使用する際は、常に、リカバリキー/パスワードを保管してください。システム整合性が侵害された可能性を BitLocker が検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキー/パスワードが必要です。

最大限のセキュリティを確保できるように、リカバリキー/パスワードを保管する際は、次のガイドラインに従ってください。

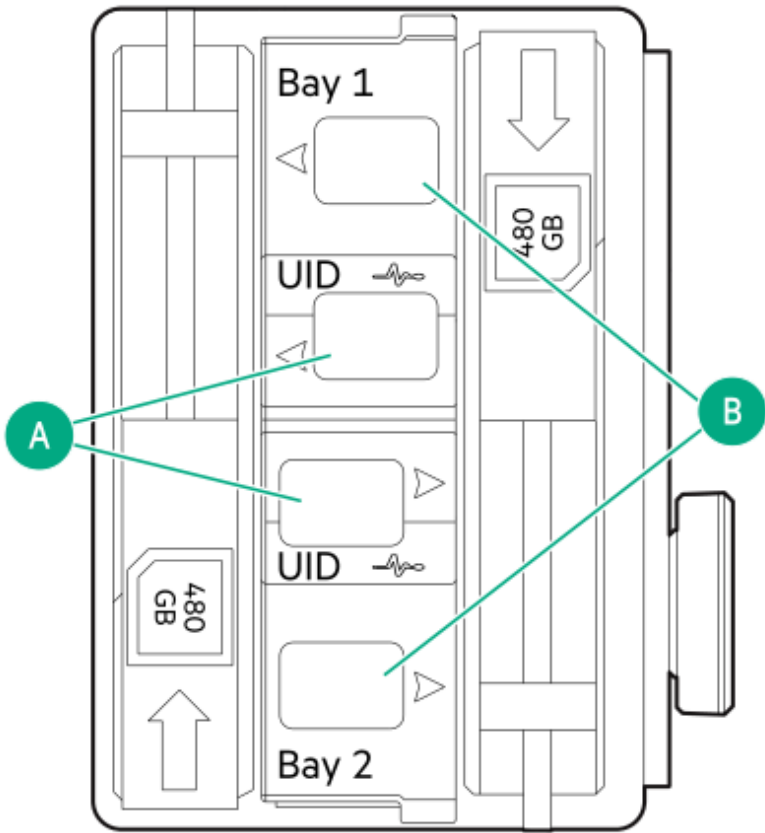
- ・ リカバリキー/パスワードは必ず、複数の場所に保管してください。
- ・ リカバリキー/パスワードのコピーは必ず、サーバーから離れた場所に保管してください。
- ・ リカバリキー/パスワードを、暗号化されたドライブに保存しないでください。

HPE NS204i-u ブートデバイスのコンポーネント



番号	説明
1	ブートデバイスケージ
2	M.2 スロット
3	ブートデバイスキャリア

HPE NS204i-u ブートデバイスの LED の定義



注記

ベイ番号は SSD キャリアハンドルに記載されています。

番号	LED	ステータス	定義
A	障害または位置確認	オレンジ色で点灯	ドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しています。
		オレンジ色または青色で点滅（1 秒に 1 回点滅）	ドライブに障害が発生したか、ドライブの障害予測アラートが受信されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、アプリケーションによって識別されていません。

番号	LED	ステータス	定義
B	オンライン/ 動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブは以下のいずれかを実行中です。 - RAID の再構築または実行 - 消去
		緑色で点滅（毎秒 4 回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブでは、RAID コントローラーによる構成は行われていません。

セットアップ

この章では、サーバーの初期セットアップ手順のほか、一般的な操作要件と安全上の注意事項についても説明します。

サブトピック

[システムの初期インストール](#)

[動作要件](#)

[ラックに関する警告と注意事項](#)

[サーバーに関する警告と注意事項](#)

[静電気対策](#)

システムの初期インストール

システムの初期インストールの場合、技術的専門性と製品の複雑性に応じて、次のいずれかのオプションを選択します。

- ・ [HPE インストレーションサービスをオーダーする](#)
- ・ [サーバーのセットアップ](#)

サブトピック

[HPE インストレーションサービス](#)

[Intel VROC のサポート](#)

[サーバーのセットアップ](#)

HPE インストレーションサービス

HPE インストレーションサービスでは、Hewlett Packard Enterprise 製品、ソフトウェア製品、HPE または HPE 製品販売店によって販売される他のベンダーの HPE サポート対象製品の基本的な設置、インストールを提供しています。インストレーションサービスは、HPE および HPE サポート対象製品を安心してお使いいただけるように設計された HPE スペシャリストによる HPE 導入サービスです。

HPE インストレーションサービスには以下の利点があります。

- ・ HPE 認定テクニカルスペシャリストによるインストール。
- ・ 製品仕様に基づき確実かつ迅速なインストール。
- ・ サービス実施のスケジュール調整。
- ・ お客様は本来の業務に集中することが可能。
- ・ HPE 認定テクニカルスペシャリストによるインストールが必要な製品について、保証期間内は完全補償。

HPE インストレーションサービスのサービス仕様およびお取引条件は下記 Web サイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/jp/supportservices-tc>

Intel VROC のサポート

は、エンタープライズレベルのハイブリッド RAID サポートを提供します。以下の情報に注意してください。

- ・ Intel VROC は、直接接続された SATA および NVMe SSD に RAID サポートを提供します。
- ・ Intel VROC ドライバーが必要です。OS 固有のドライバーのダウンロードについては、次のページを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/VROC-installation>

- ・ Intel VROC ではサーバー起動モードを UEFI モードに設定する必要があります。
- ・ デフォルトでは、Intel VROC RAID サポートは無効になっています。OS 起動前環境では、UEFI システムユーティリティを使用して Intel VROC を有効にし、VROC RAID ボリューム

を作成します。これらのタスクは Intelligent Provisioning ではサポートされていません。

- ・ VROC RAID ボリュームは、同じインターフェイスとフォームファクターのドライブを使用する必要があります。
- ・ Intel VROC では、以下のツールを通じた RAID 管理がサポートされています。
 - 任意の OS : UEFI システムユーティリティ
 - Windows : Intel VROC GUI および Intel VROC CLI
 - Linux : `mdadm` CLI

Intel VROC の機能と構成について詳しくは、ストレージコントローラーの構成を参照してください。

サーバーのセットアップ

前提条件

- ・ ベストプラクティスとして、Hewlett Packard Enterprise は、初めてサーバーを使用する前に、最新のファームウェア、ドライバー、およびシステムソフトウェアをインストールすることをお勧めします。以下のオプションがあります。
 - HPE Compute Ops Management は、統合された単一のブラウザーベースのインターフェイスを介して、エッジからクラウドまでの運用を安全に合理化し、主要なライフサイクルタスクを自動化する、先進的な Software-as-a-Service プラットフォームです。HPE Compute Ops Management の使用について詳しくは、<https://www.hpe.com/info/com-quicklinks> を参照してください。
 - Intelligent Provisioning のファームウェアアップデートオプションを使用します。Intelligent Provisioning は、HPE ProLiant サーバーに組み込まれているサーバー展開ツールです。Intelligent Provisioning にアクセスするには、サーバーのブートプロセス中に F10 キーを押します。詳しくは、Intelligent Provisioning のユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>) を参照してください。
 - Service Pack for ProLiant (SPP) をダウンロードします。SPP は、単一の ISO イメージとして提供される統合されたシステムソフトウェアおよびファームウェアアップデートソリューションです。このソリューションは、Smart Update Manager (SUM) を展開ツールとして使用します。
 - 推奨される SPP のダウンロード方法は、<https://www.hpe.com/servers/spp/custom> で SPP カスタムダウンロードを作成することです。

このオプションでは、不要な OS およびサーバーモデルのファームウェアとドライバーを除外することによって、SPP のサイズを縮小できます。

- SPP は、https://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl にある SPP ダウンロードページからもダウンロードすることができます。
- ・ ご使用の OS または仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。
<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>
- ・ このサーバーは、タイプ p およびタイプ o (OROC) ストレージコントローラーオプションをサポートします。オンボードストレージ構成には、SATA AHCI (デフォルト) または を使用してください。Intel VROC を使用する予定の場合は、サーバーをセットアップする前に、これらの重要な情報を確認してください。
- ・ サーバーの動作要件を確認します。
- ・ 安全性とコンプライアンス情報を確認します。
<https://www.hpe.com/support/safety-compliance-enterpriseproducts>
- ・ シリアル番号/iLO 情報プルタブにある iLO ホスト名とデフォルトのログイン認証情報を書き留めます。

手順

- ・ サーバーの箱を開けて内容を確認します。

- ・ サーバー
- ・ 電源コード
- ・ ラックマウント用ハードウェア部品 (オプション)
- ・ 印刷されたセットアップドキュメント

サーバーには、OS メディアは同梱されません。すべてのシステムソフトウェアとファームウェアは、あらかじめサーバーにプリロードされています。

- ・ (オプション) ハードウェアオプションを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ サーバーの管理方法を決定します。
 - ・ ローカル管理の場合 : KVM スイッチを使用するか、キーボード、モニター、およびマウスを接続します。
 - ・ リモート管理の場合 : iLO Web インターフェイスに接続し、リモートコンソールを実行します。
- a. 次のことを確認します。

- iLO に、リモートコンソール機能を使用するライセンスが付与されている。
iLO のライセンスがない場合は、HPE の Web サイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

- iLO 管理ポートが、安全なネットワークに接続されている。
- b. ブラウザーを使用して、iLO の Web インターフェイスに移動し、ログインします。
`https://<iLO ホスト名または IP アドレス>`
以下の点に注意してください。
- DHCP サーバーが IP アドレスを割り当てる場合、IP アドレスはブート画面に表示されます。
 - 静的 IP アドレスが割り当てられている場合は、その IP アドレスを使用します。
- c. iLO ログイン名とパスワードを入力して、ログインをクリックします。
- d. ナビゲーションツリーで、リモートコンソール&メディアリンクをクリックしてから、リモートコンソールを起動します。

電源ボタンを押します。

リモートで管理する場合は、iLO の仮想電源ボタンを使用します。

サーバーの初期セットアップを構成します。

ストレージをセットアップします。

OS または仮想化ソフトウェアを展開します。

サーバーの電源装置要件を設定します。

OS のインストール後、ドライバーをアップデートします。

サーバーを登録します。

サーバーの電源装置冗長性設定の調整

前提条件

- ・ 電源の冗長性に対してサーバーが正しくケーブル接続されていることを確認するには、電源装置の冗長性を参照してください。
- ・ システムの消費電力を測定し、サーバーがデフォルト構成で冗長的に稼働を継続することを確認するには、HPE Power Advisor を使用します。

手順

- ・ UEFI システムユーティリティにアクセスするには、POST 中に F9 キーを押します。
- ・ システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプションを選択します。
- ・ 電源装置要件メニューから適切な冗長性構成を選択し、Enter キーを押します。
- ・ F10 キーを押して保存するか、F12 キーを押し、保存して終了します。

動作要件

取り付けの準備と計画を行う際には、次の動作要件を必ず守ってください。

- ・ 空間および通気要件
- ・ 温度要件
- ・ 電源要件
- ・ アース要件

環境要件については、環境仕様を参照してください。

サブトピック

空間および通気要件

温度要件

電源要件

アース要件

空間および通気要件

サーバーを屋内の商用ラックに設置する際には、修理をしやすくし、また通気をよくするために、次の空間および通気要件に従ってください。

- ・ ラックの前面に 63.50 cm (25.00 インチ)
- ・ ラックの背面に 76.20 cm (30.00 インチ)
- ・ ラックの背面から別のラックまたはラック列の背面の間に 121.90 cm (48.00 インチ)

次の注意事項に従ってください。

- ・ サーバーは、冷気をラックの前面から吸収して、内部の熱気を背面から排出します。ラックの前面ドアと背面ドアは、周囲の空気がキャビネット内に入るように適切に換気されている必要があります。キャビネットから内部の熱気を逃がすために、背面ドアは十分に換気されている必要があります。



注意

不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気用開口部は塞がないようにしてください。



注意

ラック内の縦方向のスペースにサーバーやラックコンポーネントが設置されていない場合、コンポーネント間の隙間が原因でラック全体およびサーバー周辺の空気の流れが変動することがあります。適切な通気を維持するために、コンポーネントを取り付けない棚は、すべてブランクパネルでカバーしてください。ブランクパネルなしでラックを使用すると、冷却が不適切になり、高温による損傷が発生する可能性があります。

- ・ 他社製ラックを使用する場合、適切な通気を確保し装置の損傷を防ぐため、以下の追加要件に従ってください。
 - 正面および背面ドア-42U ラックに正面および背面ドアがある場合、ラックの上部から下部にかけて 5,350 平方 cm (830 平方インチ) の通気孔（通気に必要な 64 パーセントの開口部と同等）を均等に確保し、十分な通気が行われるようにします。
 - 側面-取り付けたラックコンポーネントとラックのサイドパネルの間は、7.00 cm (2.75 インチ) 以上空けてください。

温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを取り付けまたは配置してください。

ほとんどのサーバー製品で推奨している最大周囲動作温度（TMRA）は、35° C（95° F）です。ラックを設置する室内の温度は、35° C（95° F）を超えてはなりません。



注意

他社製オプションをインストールする場合に装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ・ オプションの装置によって、サーバー周囲の通気が妨げられたり、内部のラック温度が許容される上限を超えて上昇したりすることがないようにしてください。
- ・ 製造元の TMRA を超えないでください。

電源要件

この装置は、資格のある電気技師が情報技術機器の取り付けについて規定したご使用の地域の電気規格に従って取り付けしなければなりません。この装置は、NFPA 70, 1999 Edition（全国的な電気規約）および NFPA-75, 1992（電気コンピューター/データ処理装置の保護に関する規約）の適用対象となる取り付けで動作するよう設計されています。オプションの電源の定格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザードキュメントを参照してください。



警告

けが、火災、または装置の損傷を防止するために、ラックに電源を供給する AC 電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。施設の配線および取り付け要件については管轄する電力会社にお問い合わせください。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS（無停電電源装置）を使用してください。UPS は、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

アース要件

適切な動作および安全のために、このサーバーは正しくアースされている必要があります。米国では、必ず地域の建築基準だけでなく、NFPA 70、National Electric Code 第 250 項に従っ

て装置を設置してください。カナダでは、Canadian Standards Association, CSA C22.1, Canadian Electrical Codeに従って装置を取り付ける必要があります。その他のすべての国では、International Electrotechnical Commission (IEC) Code 364 の第1部から第7部など、地域または全国的な電気配線規約に従って装置を取り付ける必要があります。さらに、取り付けに使用される分岐線、コンセントなどの配電装置はすべて、指定または認可されたアース付き装置でなければなりません。

同じ電源に接続された複数のサーバーから発生する高圧漏れ電流を防止するために、Hewlett Packard Enterprise では、建物の分岐回路に固定的に接続されているか、工業用プラグに接続される着脱不能コードを装備した、PDU を使用することをお勧めします。NEMA ロック式プラグまたは IEC 60309 に準拠するプラグは、この目的に適しています。サーバーに一般的な電源延長コードを使用することは推奨されません。

ラックに関する警告と注意事項



警告

すべてのコンポーネントが取り外されると、サーバーの重量は 11.00kg (24.25 ポンド) になります。すべてのコンポーネントを取り付けると、サーバーの重量は最大で 35.95 kg (79.25 ポンド) になります。

ラックソリューションを構成する前に、必ず、ラックメーカーの重量制限と仕様を確認してください。これに従わないと、けがをしたり、装置や施設の損傷が発生する可能性があります。



警告

サーバーはかなりの重量があります。けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ・ 手動での装置の取り扱いに関する、地域の労働衛生および安全に関する要件およびガイドラインに従ってください。
- ・ サーバーの取り付けおよび取り外し作業中には、特に本体がレールに取り付けられていない場合、必ず適切な人数で製品を持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーの重量は 11.00kg (24.25 ポンド) を超えているため、サーバーを持ち上げてラックに取り付ける際は、必ず 2 人以上で作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーの位置を合わせるためにさらに人数が必要になる場合があります。
- ・ サーバーをラックへ取り付ける、またはサーバーをラックから取り外す際には、サーバーがレールに固定されていないと、不安定になるので注意してください。
- ・ コンポーネントをラックの外部に引き出す前に、ラックを安定させてください。また、コンポーネントは 1 つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。
- ・ レールマウントされたコンポーネントの上に物を積み重ねたり、ラックから引き出したときに作業台として使用したりしないでください。



警告

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

サーバーに関する警告と注意事項



警告

けが、感電、または装置の損傷を防止するために、電源コードを抜き取って、サーバーに電源が供給されないようにしてください。電源ボタンを押してもシステムの電源を完全に切ることはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



警告

Energy Pack を取り外した後に、火災や火傷のリスクを低減するために：

- ・ Energy Pack を分解したり、つぶしたり、穴を空けたりしないでください。
- ・ 外部接点をショートさせないでください。
- ・ Energy Pack を火や水の中に投じないでください。
- ・ 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、Energy Pack を低い空気圧にさらさないでください。
- ・ Energy Pack を 60° C (140° F) 以上の高温にさらさないでください。

電源が切断された後でも、バッテリー電圧が 1 秒から 160 秒間はある可能性があります。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS を使用してください。UPS は、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもサーバーが動作を継続できるようにします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

静電気対策

システムをセットアップしたり、コンポーネントを取り扱う際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、システムまたはコンポーネントの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、次の点に注意してください。

- ・ 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- ・ 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- ・ 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ・ ピン、リード線、または回路には触れないようにします。
- ・ 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。
 - すでにアースされているワークステーションまたはコンピューターシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{ M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
 - 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドを付けます。
 - 作業用具は導電性のものを使用します。
 - 折りたたみ式の静電気防止マットなどが付いた携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切なアースを行うための器具がないときは、製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、製品販売店にお問い合わせください。

操作

この章では、ハードウェアコンポーネントの取り付けまたは取り外しを行う前後に実行するハードウェアの操作、またはサーバーメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の実行について説明します。これらのハードウェア操作を実行する前に、以下を確認してください。

- ・ [ラックに関する警告と注意事項](#)
- ・ [サーバーに関する警告と注意事項](#)

サブトピック

[フロントベゼルを取り外す](#)
[サーバーの電源を切る](#)
[ケーブルマネジメントアームを開く](#)
[ラックからサーバーを引き出す](#)
[ラックからサーバーを取り外す](#)
[アクセスパネルを取り外す](#)
[エアバッフルを取り外す](#)
[ファンケースを取り外す](#)
[中央カバーを取り外す](#)
[GPU ライザーケースを取り外す](#)
[ライザーケースを取り外す](#)
[中央カバーを取り付ける](#)
[ライザーケースを取り付ける](#)
[ファンケースを取り付ける](#)
[エアバッフルを取り付ける](#)
[アクセスパネルを取り付ける](#)
[サーバーをラックに取り付ける](#)
[サーバーの電源を入れる](#)

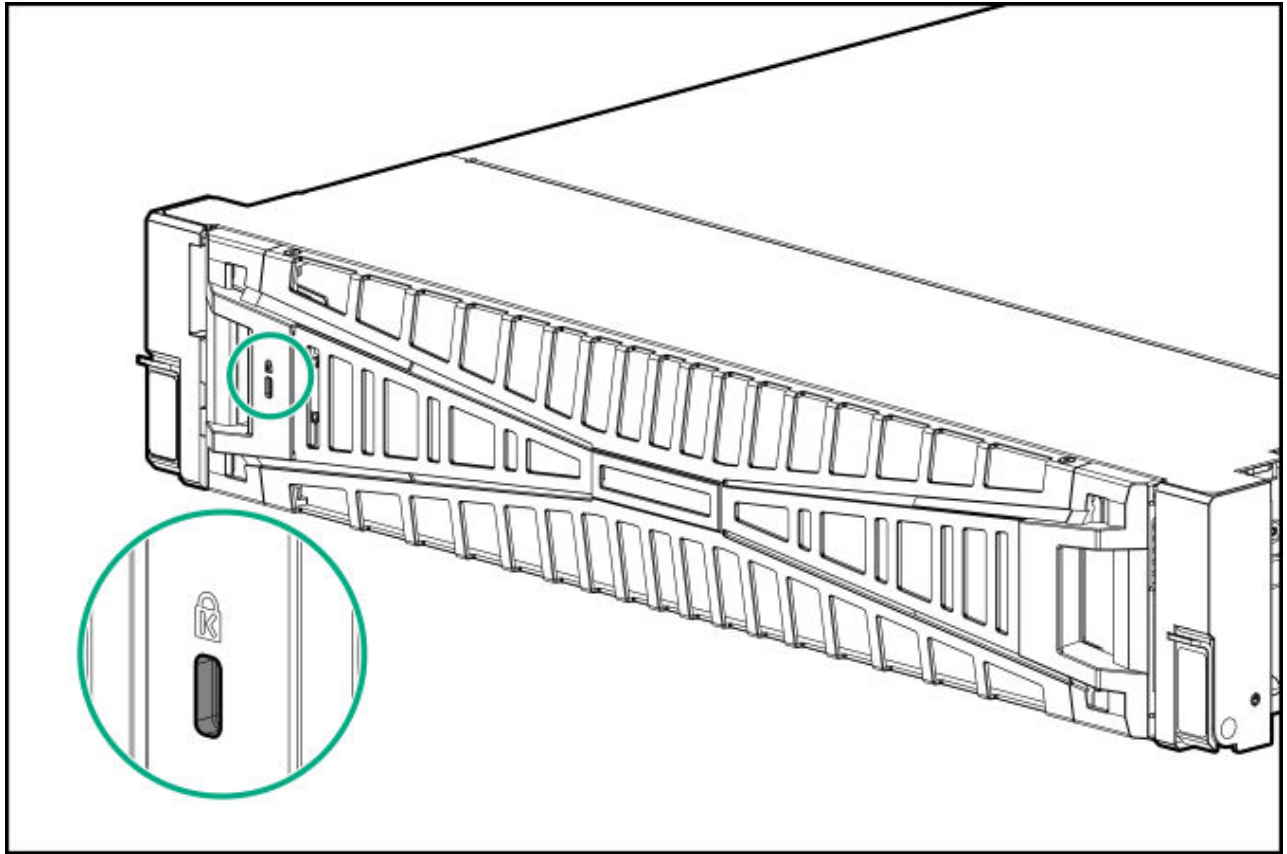
フロントベゼルを取り外す

このタスクについて

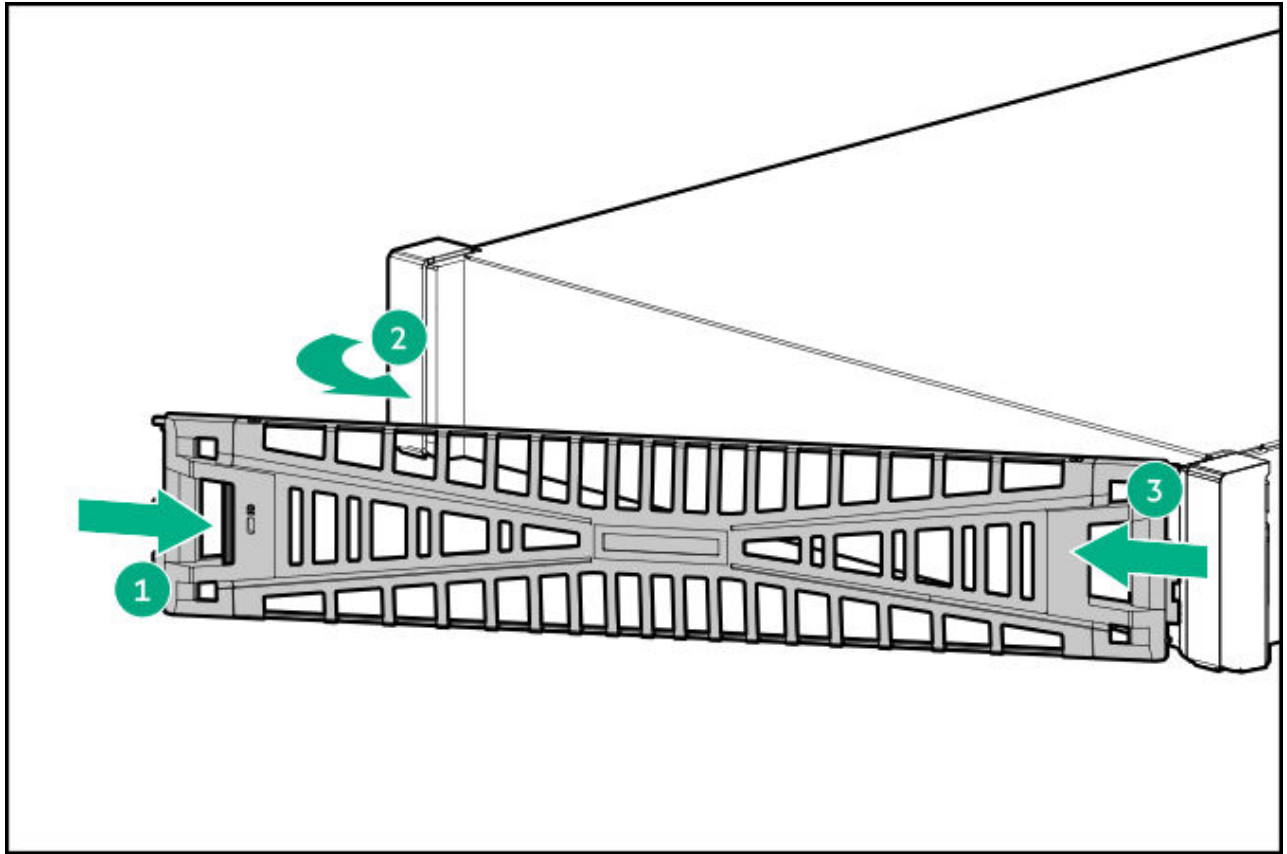
iLO 仮想電源ボタンを使用してサーバーの電源のオン/オフを切り替えている場合、フロントベゼルを取り外す必要はありません。フロントパネルコンポーネントにアクセスする必要がある場合のみ、フロントベゼルを取り外します。

手順

- ・ Kensington セキュリティロックが取り付けられている場合は、取り外します。
詳しくは、ロックのドキュメントを参照してください。



1. ベゼルリリースラッチを押してから、ベゼルを回転させて開きます。
2. ベゼルの右側をフロントパネルから外します。



サーバーの電源を切る

アップグレードやメンテナンスの手順でサーバーの電源を切る前に、重要なサーバーデータとプログラムのバックアップを実行してください。



重要

サーバーがスタンバイモードになっていても、システムへの補助電源の供給は続行します。

以下のいずれかの方法で、サーバーの電源を切ります。

- ・ 電源ボタンを押して離します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションと OS の制御されたシャットダウンを有効にします。また、OS 構成またはポリシーによって管理されるシャットダウン動作を有効にすることもできます。
- ・ 電源ボタンを 4 秒以上押したままにして、強制的にサーバーをスタンバイモードにします。

この方法は、正しい順序でアプリケーションと OS を終了せずに、サーバーを強制的にスタンバイモードにします。アプリケーションが応答しなくなった場合は、この方法で強制的にシャットダウンすることができます。

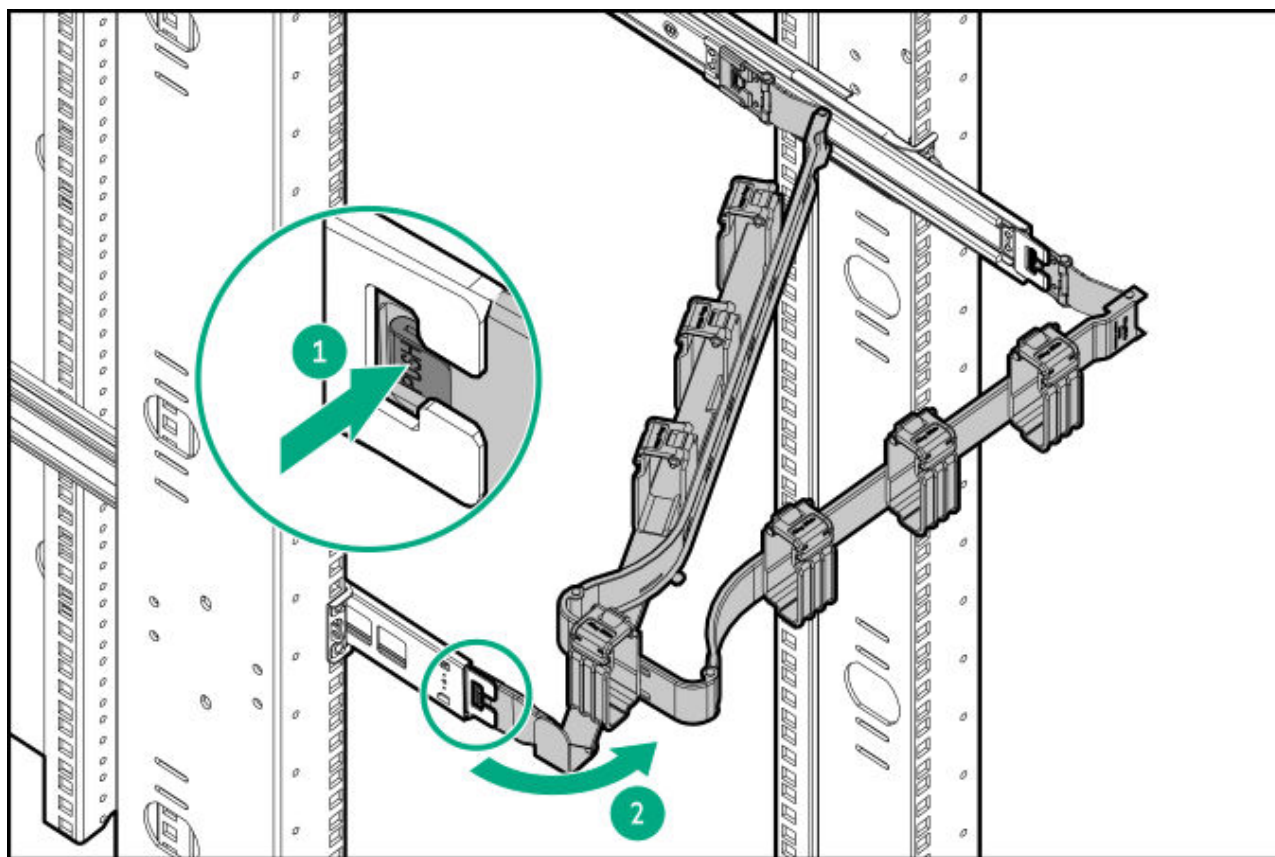
- ・ iLO 経由の仮想電源ボタンを使用します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションと OS を正しい順序でリモートでシャットダウンします。

手順を続行する前に、サーバーがスタンバイモード（システム電源 LED がオレンジ色）になっていることを確認してください。

ケーブルマネジメントアームを開く

手順

- ・ 固定ブラケットの青い PUSH ボタンを押したままにします。
- ・ アームを動かしてリアパネルから取り外します。



ラックからサーバーを引き出す

前提条件

- ・ この手順を実行する前に、ラックに関する警告と注意事項を確認してください。
- ・ T-25 トルクスドライバー – このツールは、シャーシイヤー内にある輸送用ネジが固定されている場合に必要です。

このタスクについて

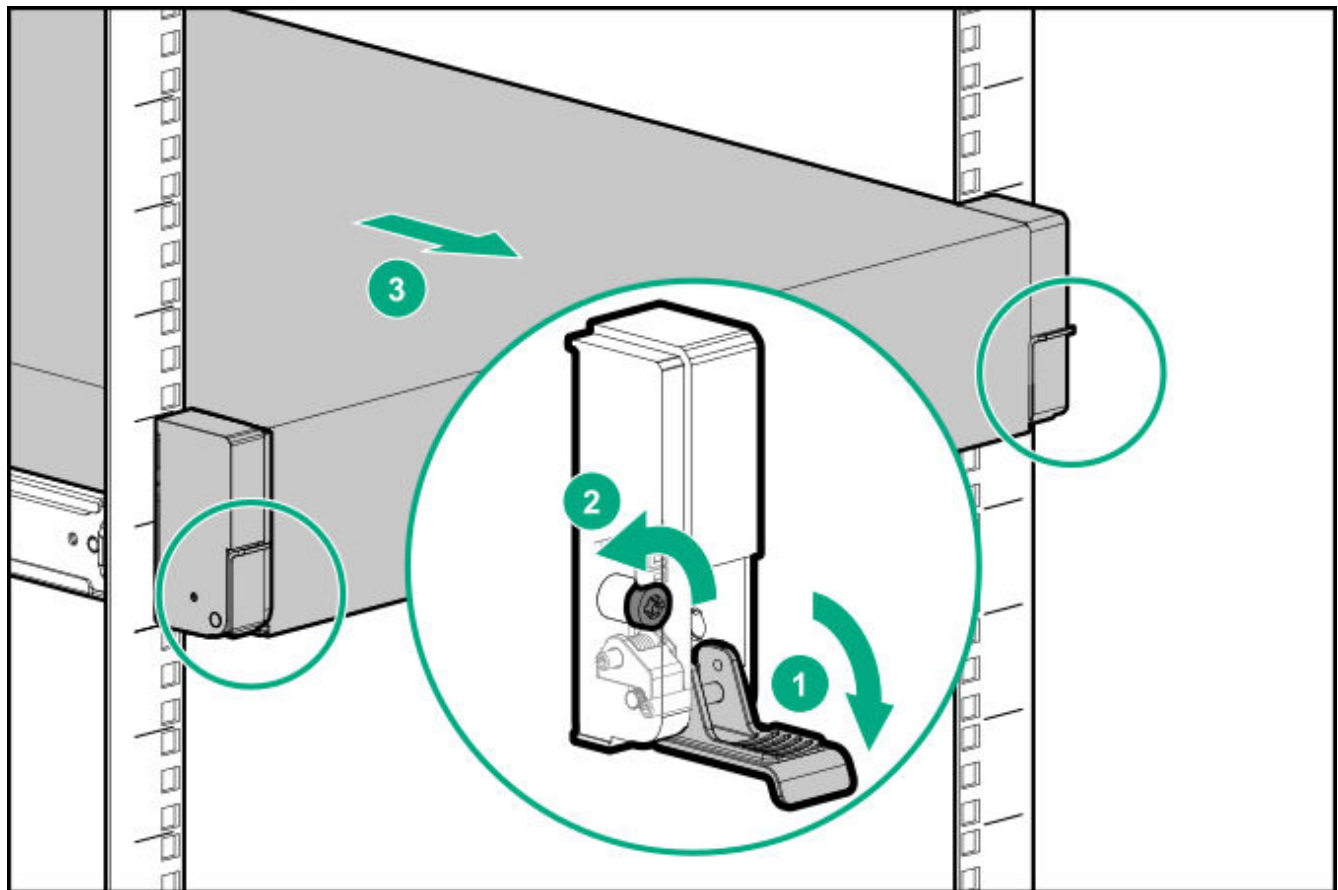


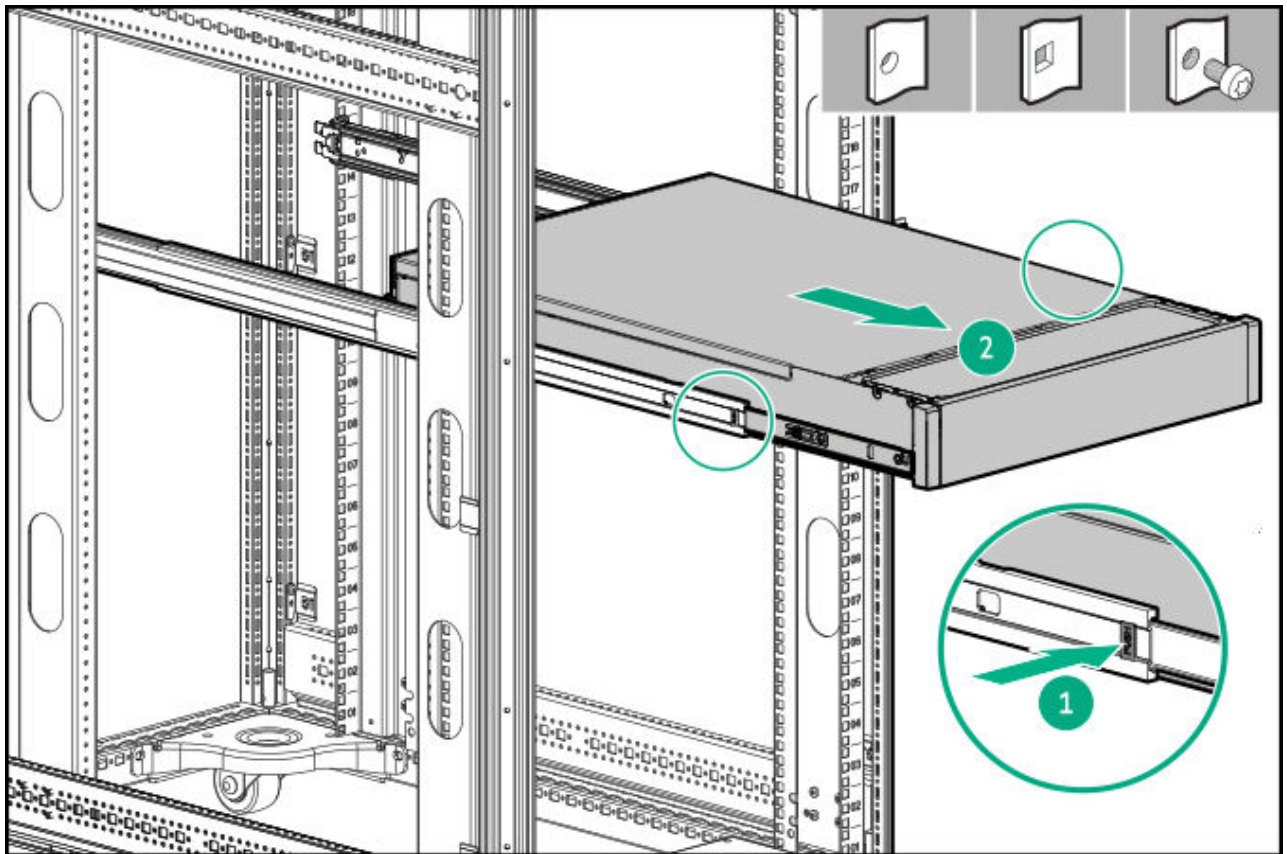
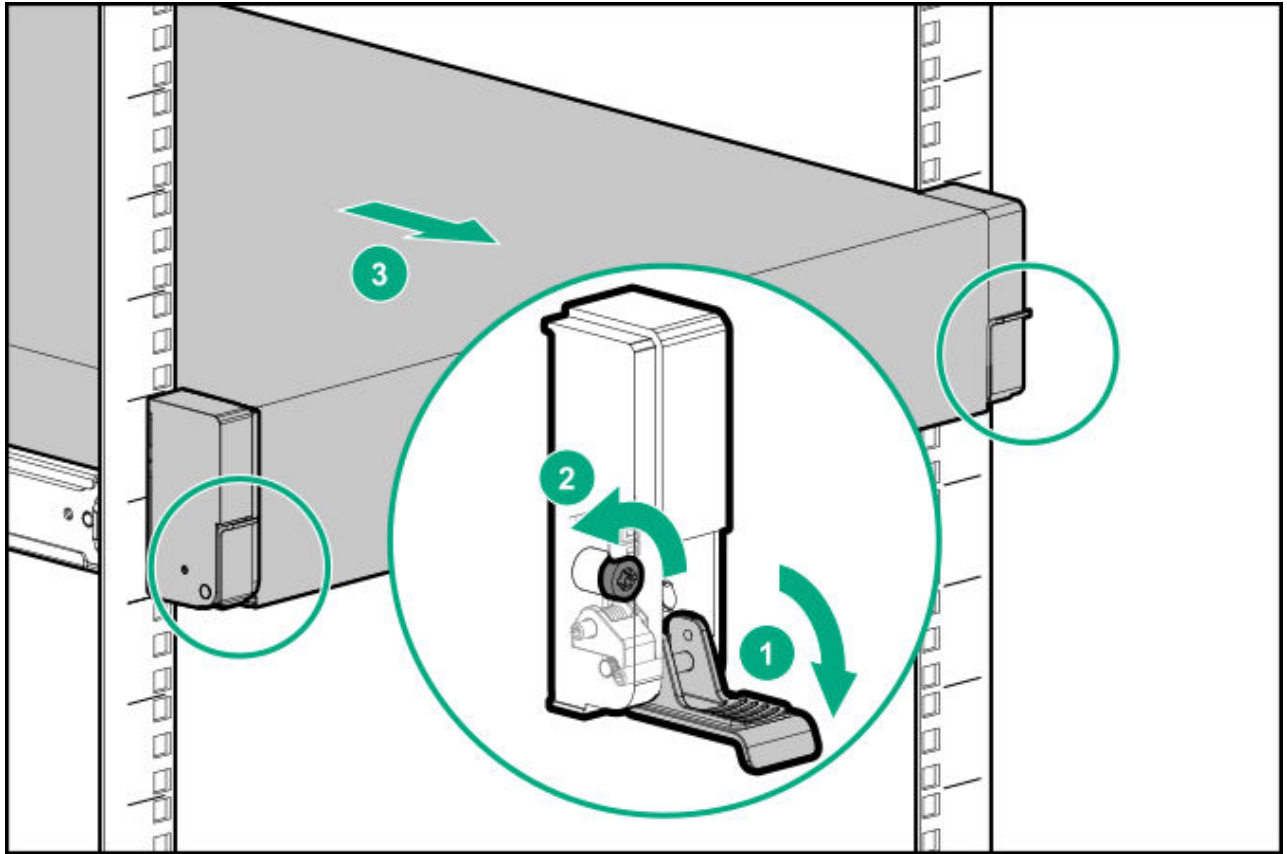
警告

サーバーのレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。インナーレールに指をはさむ場合があります。

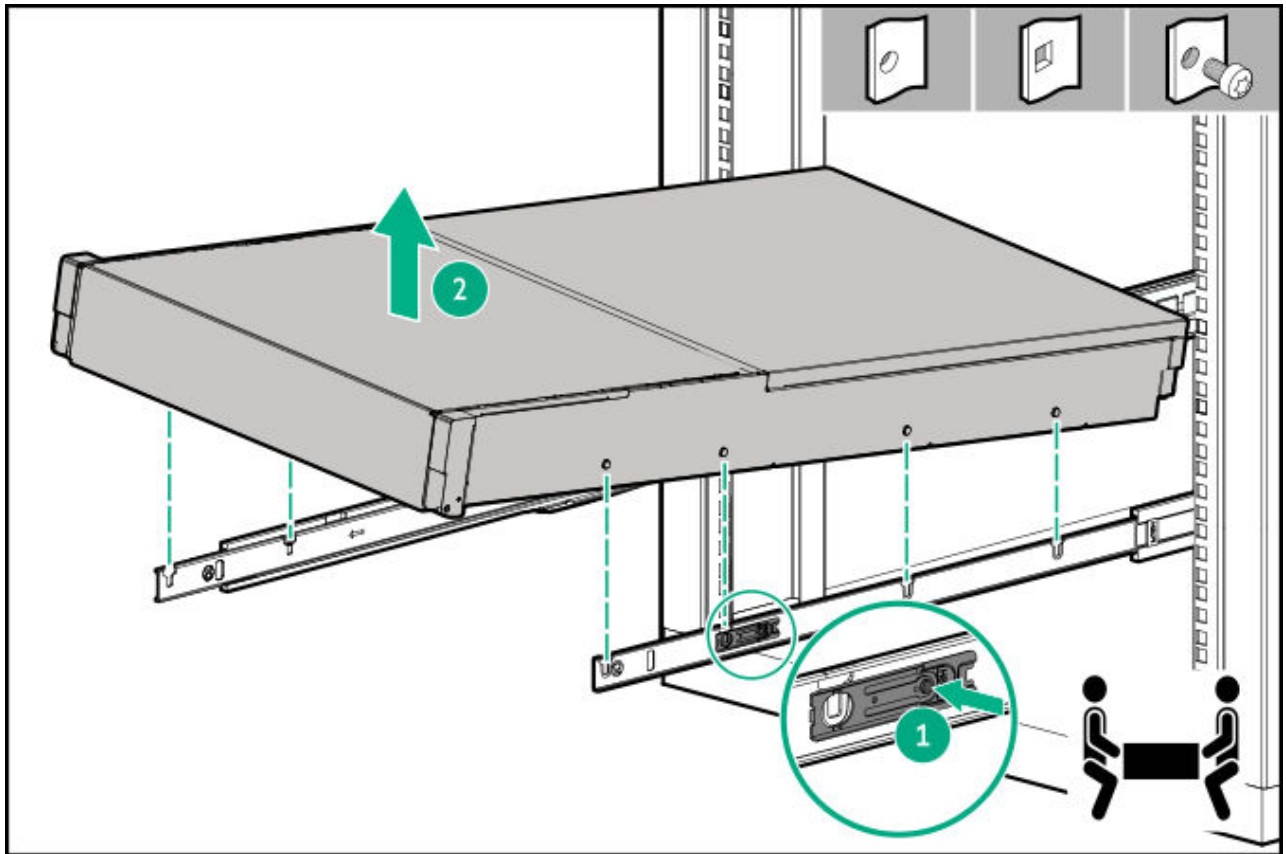
手順

ラックからサーバーを完全に引き出します。





ロックタブからスプールのロックを解除し、サーバーを取り外します。



アクセスポネルを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。



注意

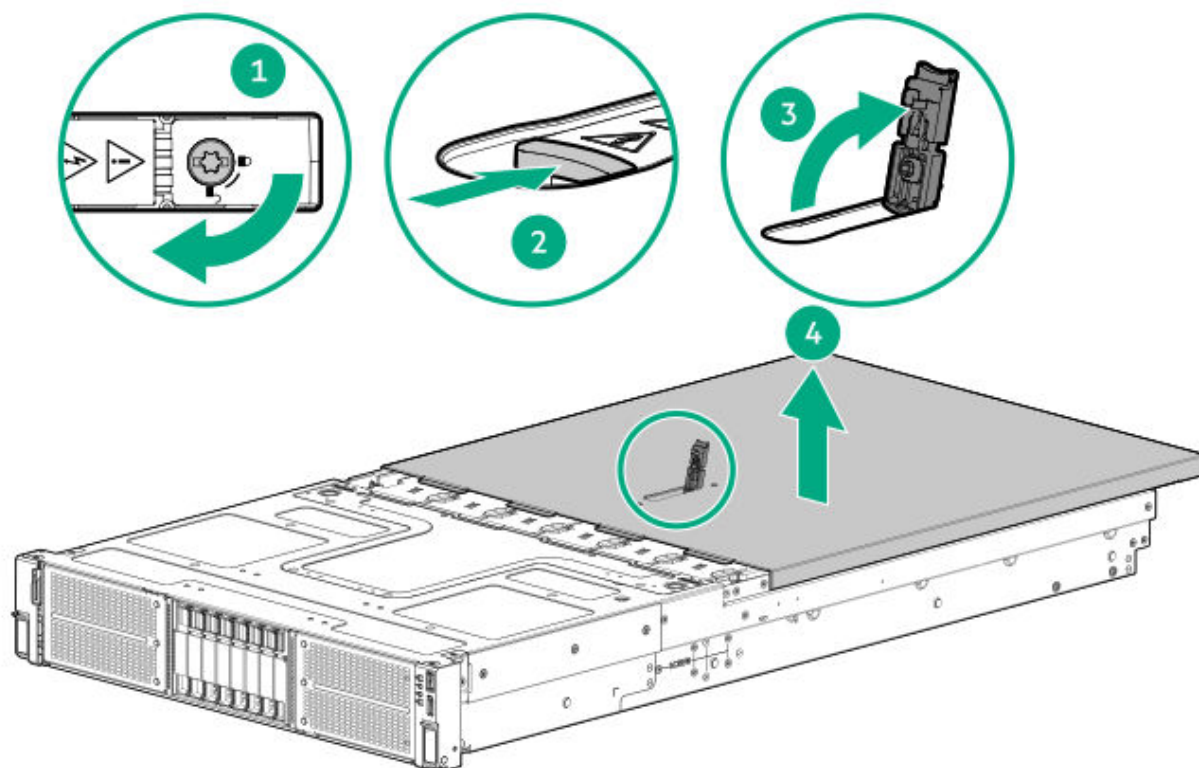
適切なシステム冷却を維持するため、アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この方法でのサーバーの動作によって、不適切なシステムのエアフローが発生します。内部ホットプラグコンポーネント手順の場合、60 秒以内に手順を完了してください。そうしないと、システムの温度が上昇し、安全しきい値を外れる可能性があります。これが発生した場合：

- ・ ヘルス LED がオレンジ色で点滅します。
- ・ オペレーティングシステムが正常にシャットダウンします。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
5. アクセスパネルを取り外します。
 - a. 必要に応じて、アクセスパネルのラッチをロック解除します。

- b. シャーシからアクセスパネルを離すには、リリースボタンを押し、ラッチを引き上げます。
- c. アクセスパネルを持ち上げます。



エアバッフルを取り外す

このタスクについて



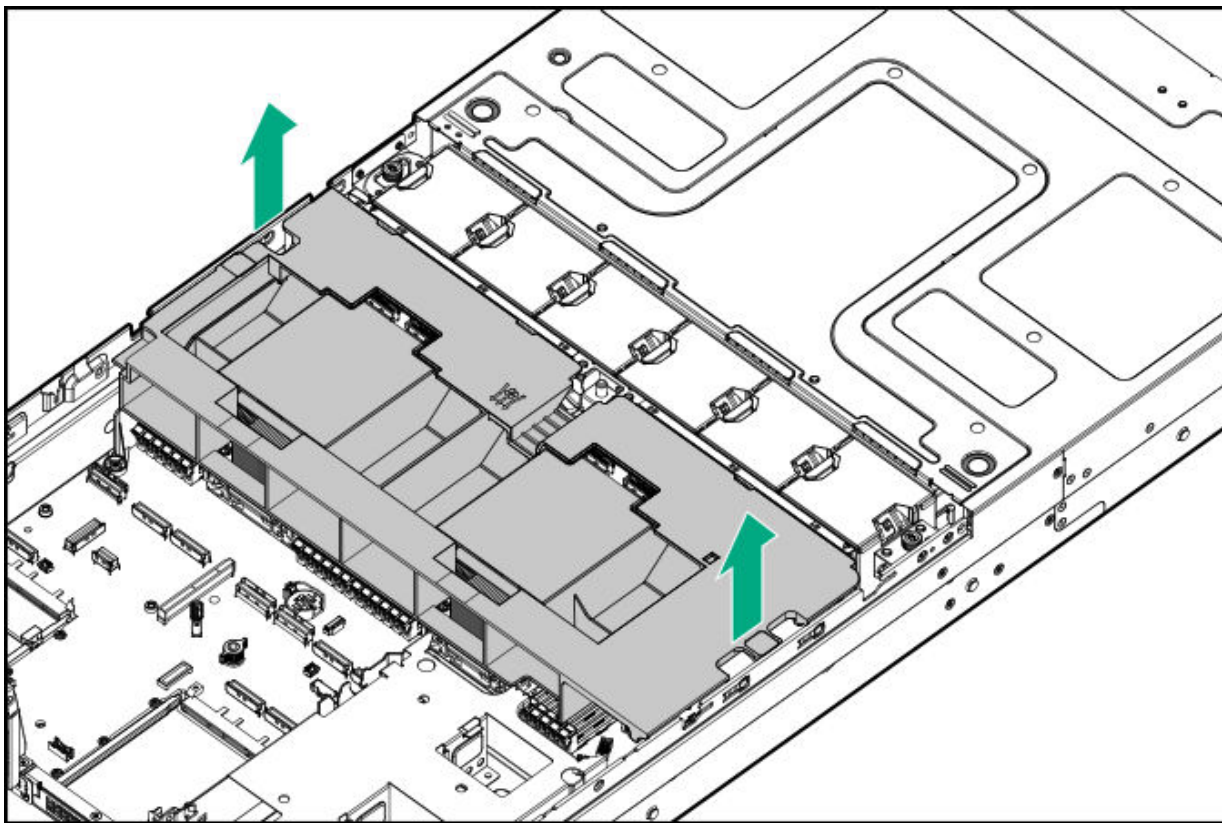
注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

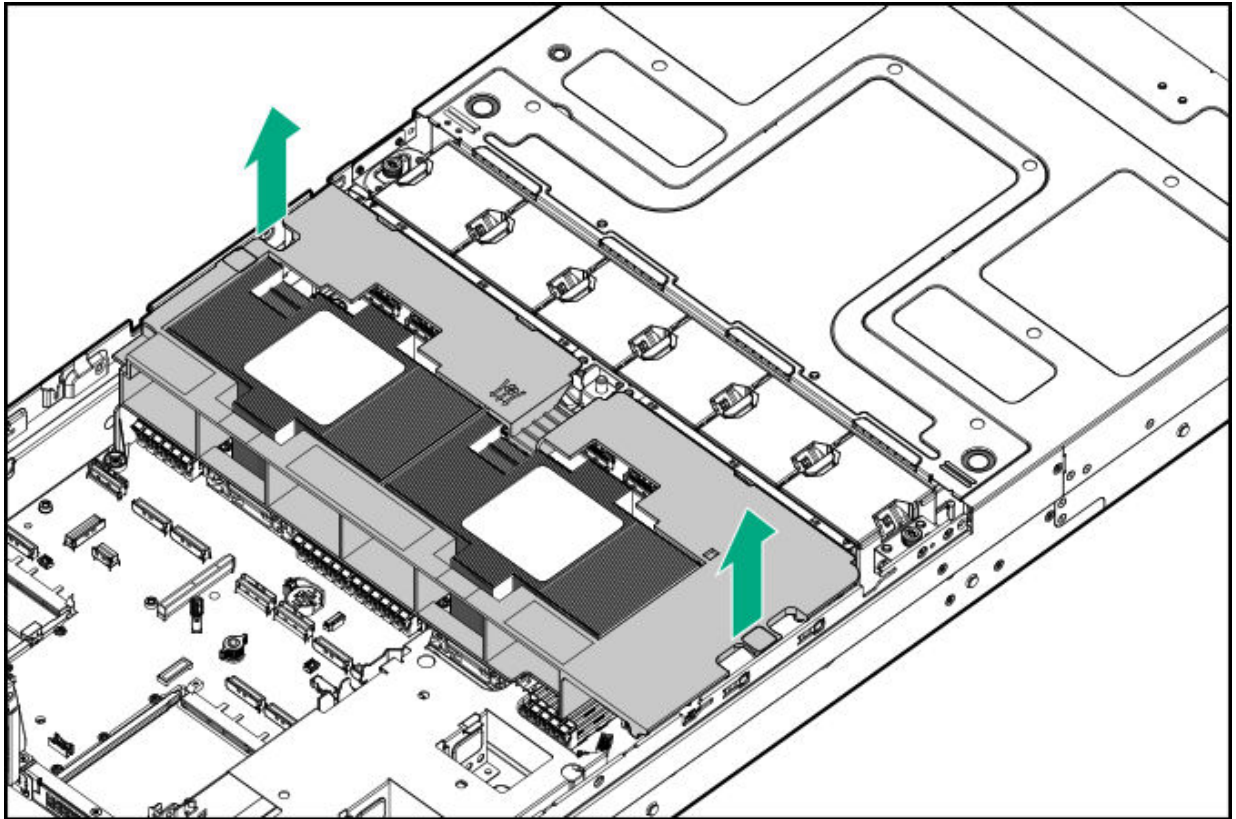
手順

- 1. サーバーの電源を切ります。

- 1. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 2. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- 3. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
- 4. アクセスパネルを取り外します。
- 5. エアバッフルを取り外します。
 - ・ 標準エアバッフル



- ・ 高性能エアバッフル



ファンケージを取り外す

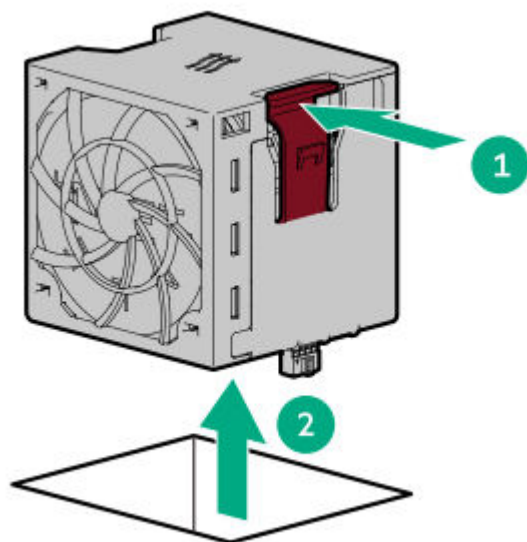
前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

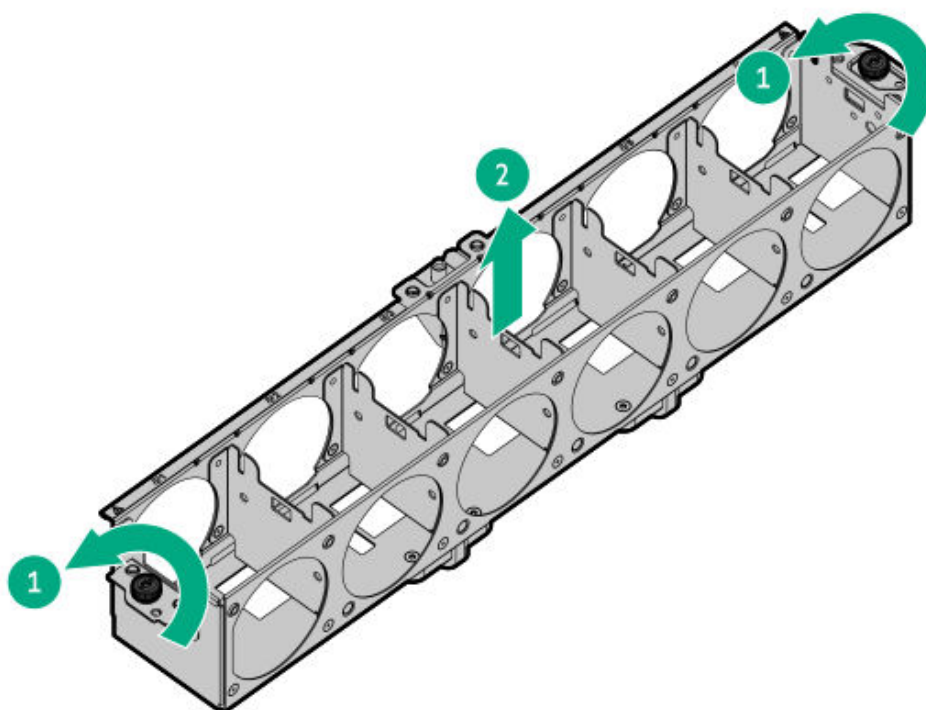
手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。

- 1. アクセスパネルを取り外します。
- 2. エアバッフルを取り外します。
- 3. 既存のファンを取り外します。
 - a. ラッチを押したままにします。
 - b. ファンケースからファンを持ち上げます。



- 4. ファンケースを取り外します。
 - a. つまみネジを緩めます。
 - b. ファンケースを持ち上げてシャーシから取り外します。



中央カバーを取り外す

このタスクについて



注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、およびブランクを必ず取り付けてください。



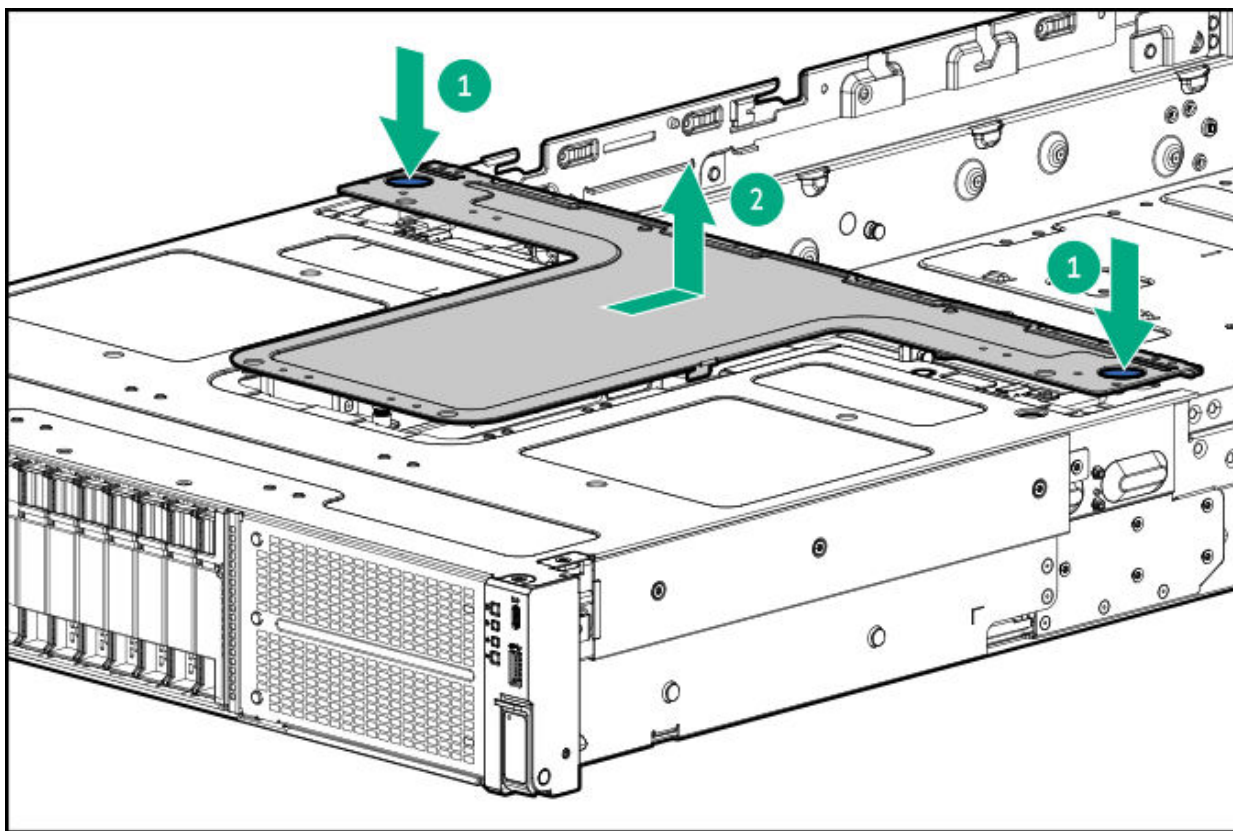
注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- c. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- d. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
- e. アクセスパネルを取り外します。
- f. 中央カバーを取り外します：
 - a. 解除ボタンを押し続けます。
 - b. フロントページからカバーを外します。



GPU ライザーケースを取り外す

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. エアバッフルを取り外します。
7. ファンケースを取り外します。
8. 中央カバーを取り外します。
9. 以下のケーブルを取り外します。
 - ・ GPU ライザー直接接続ケーブルをシステムボードから
 - ・ GPU ライザー電源ケーブルを PDB から
10. GPU ライザーが PCIe スイッチボードに接続されている場合は、GPU ライザーと電源ケーブルを取り外します。

すべての GPU ライザーケーブルと補助電源ケーブルをケーブルガードとシャーシの壁から取り外します。

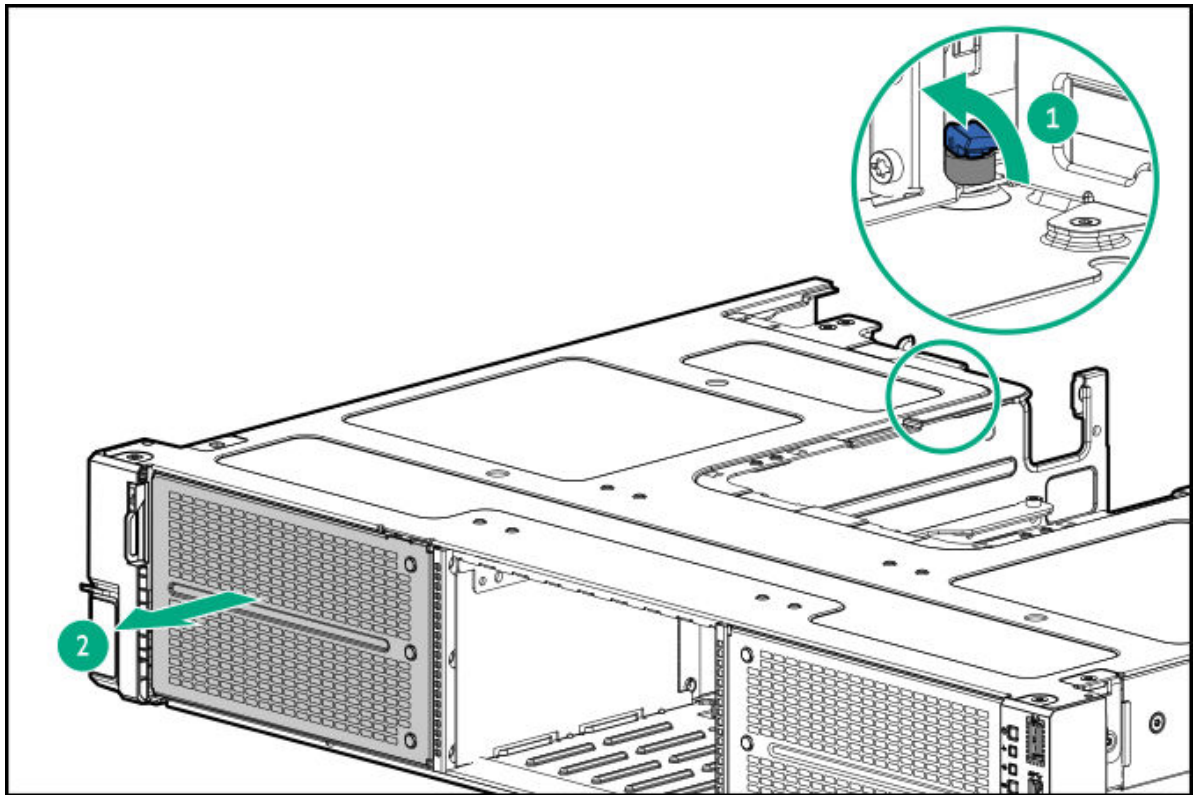
GPU ライザーケースを取り外します。

a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。

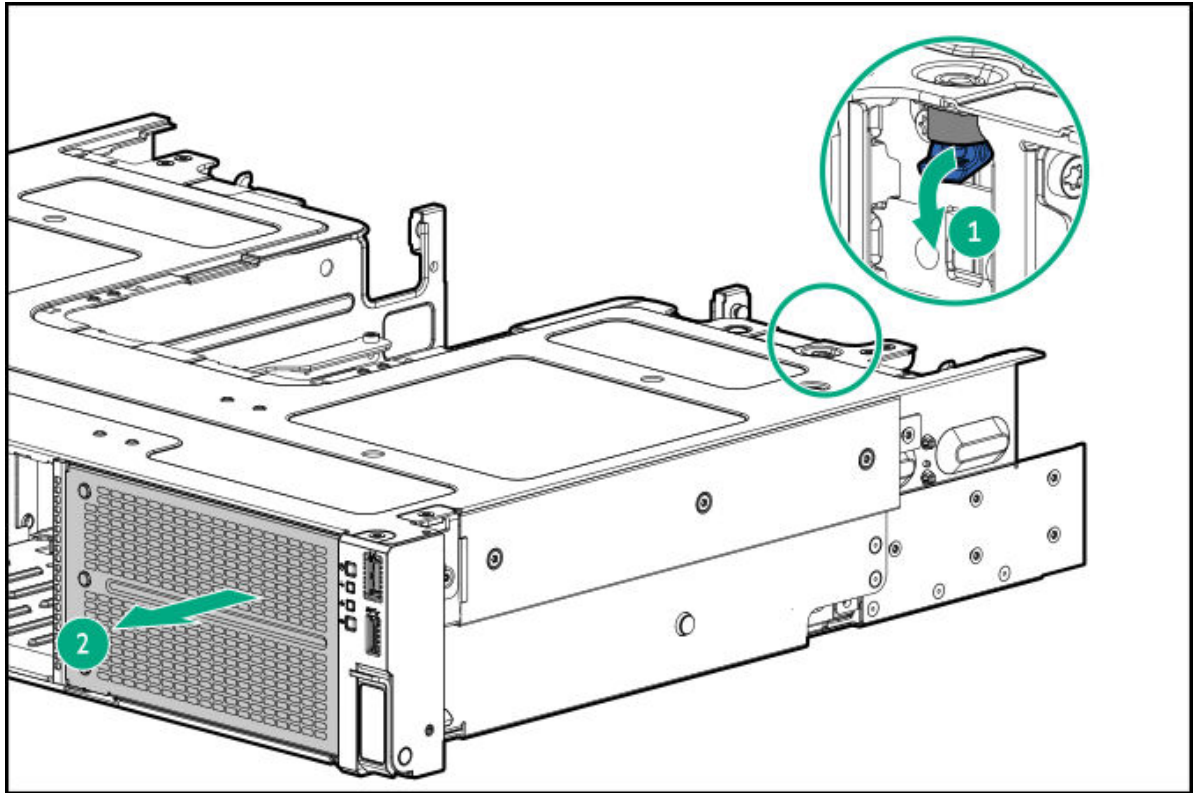
b. GPU ライザーケースをサーバーから取り外します。

ライザーケーブルを、ケーブルチャンネルに慎重に通します。

・ GPU ライザーケース 1



・ GPU ライザーケース 2



ライザーケージを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



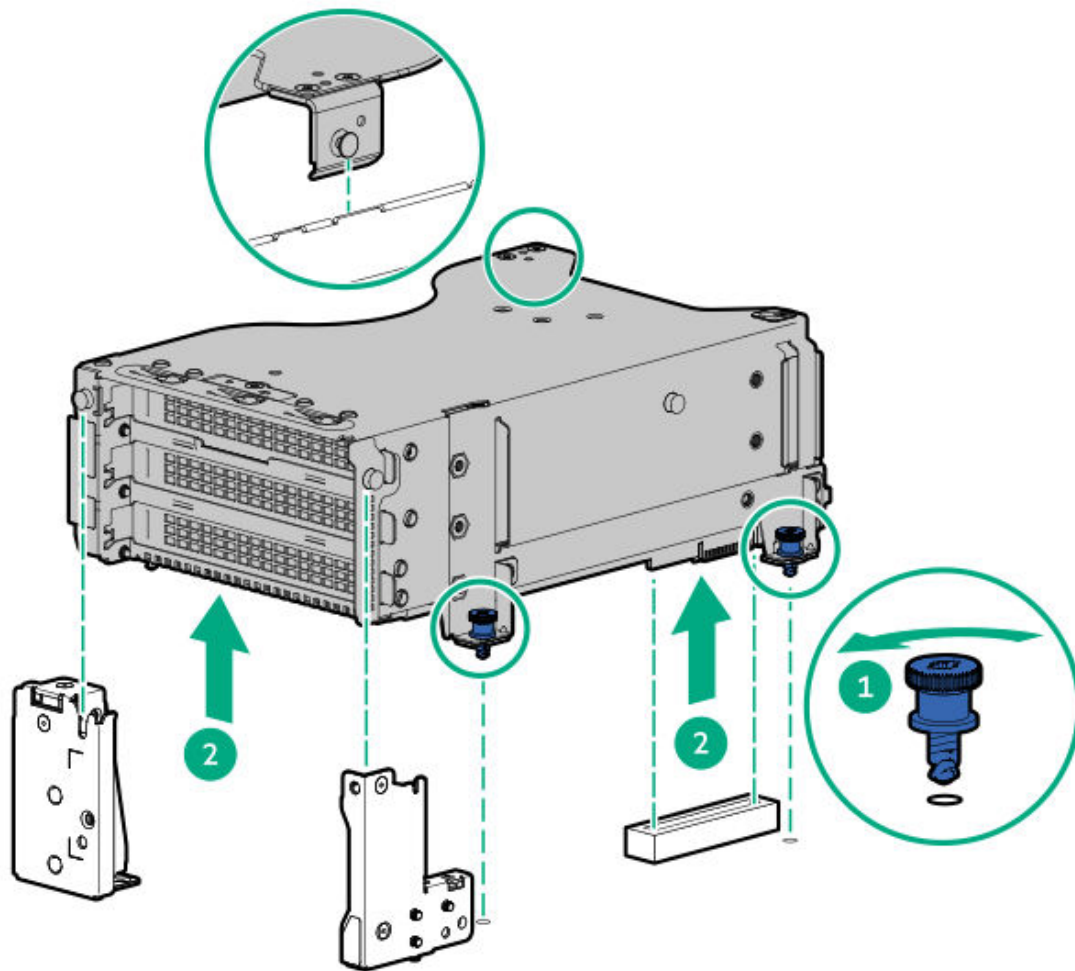
注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

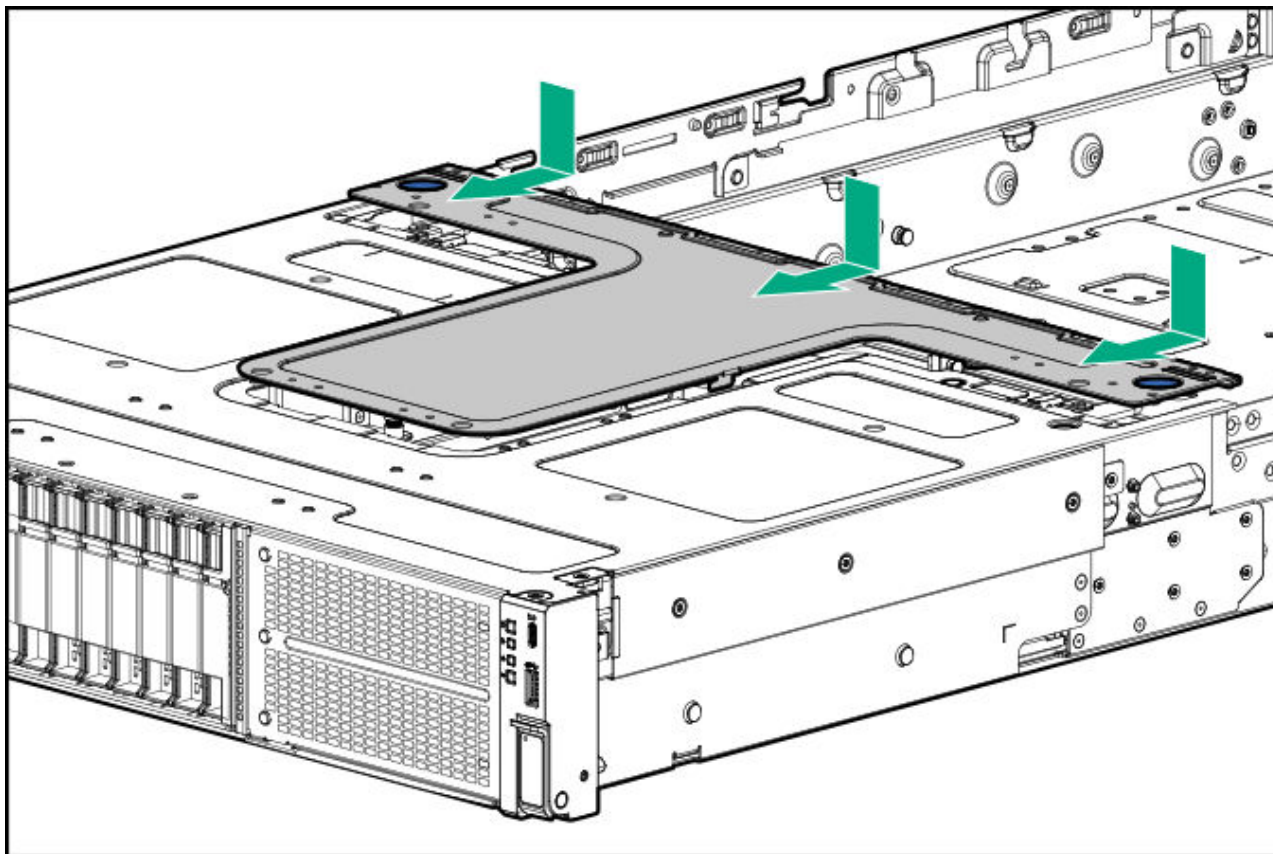
- 1. サーバーの電源を切ります。

1. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
2. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. エアバッフルを取り外します。
6. 拡張カードが内部ケーブルでライザーに取り付けられている場合は、カードからケーブルを抜き取ります。
7. プライマリライザーケースを取り外すには：
 - a. つまみネジを緩めます。
 - b. ライザーケースをシステムボードから持ち上げます。



セカンダリライザーケージを取り外すには：

- つまみネジを緩めます。
- ライザーケージをシステムボードから持ち上げます。



アクセスパネルを取り付けます。

中央カバーの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

ライザーケースを取り付ける

手順

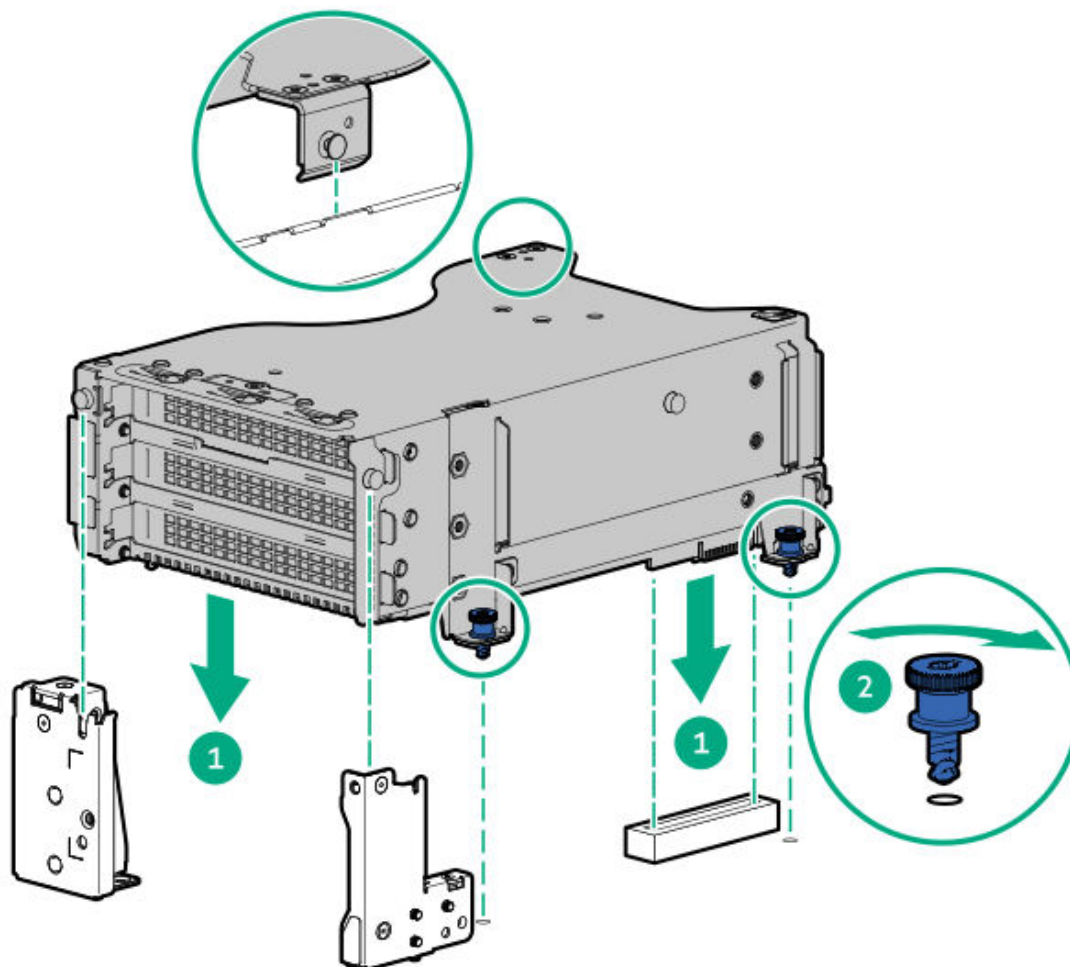
拡張カードまたはその内部ケーブル接続が取り外されている場合、これらのコンポーネントを再び取り付けます。

プライマリライザーケースを取り付けるには：

- a. ライザーケースのピンをサーバーの後ろ側にあるノッチと、ライザーケースブラケットにあるノッチに合わせます。
- b. システムボードコネクタにライザーを慎重に押し込みます。

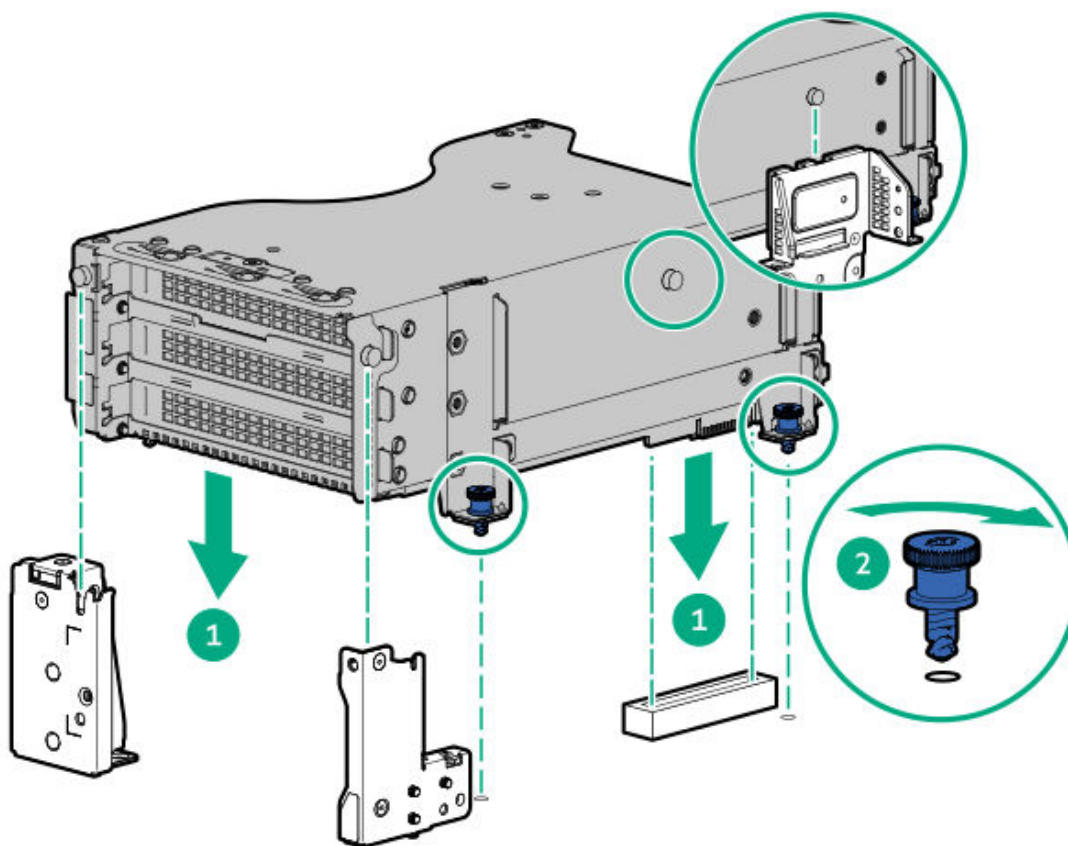
ライザーボードがしっかりと固定されていることを確認します。

c. つまみネジを締めます。



セカンダリライザーケースを取り付けるには：

- a. ライザーケースのピンをサーバーの後ろ側にあるノッチと、ライザーケースブラケットにあるノッチに合わせます。
- b. システムボードコネクタにライザーを慎重に押し込みます。
ライザーボードがしっかりと固定されていることを確認します。
- c. つまみネジを締めます。



- ・ ライザーケージの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

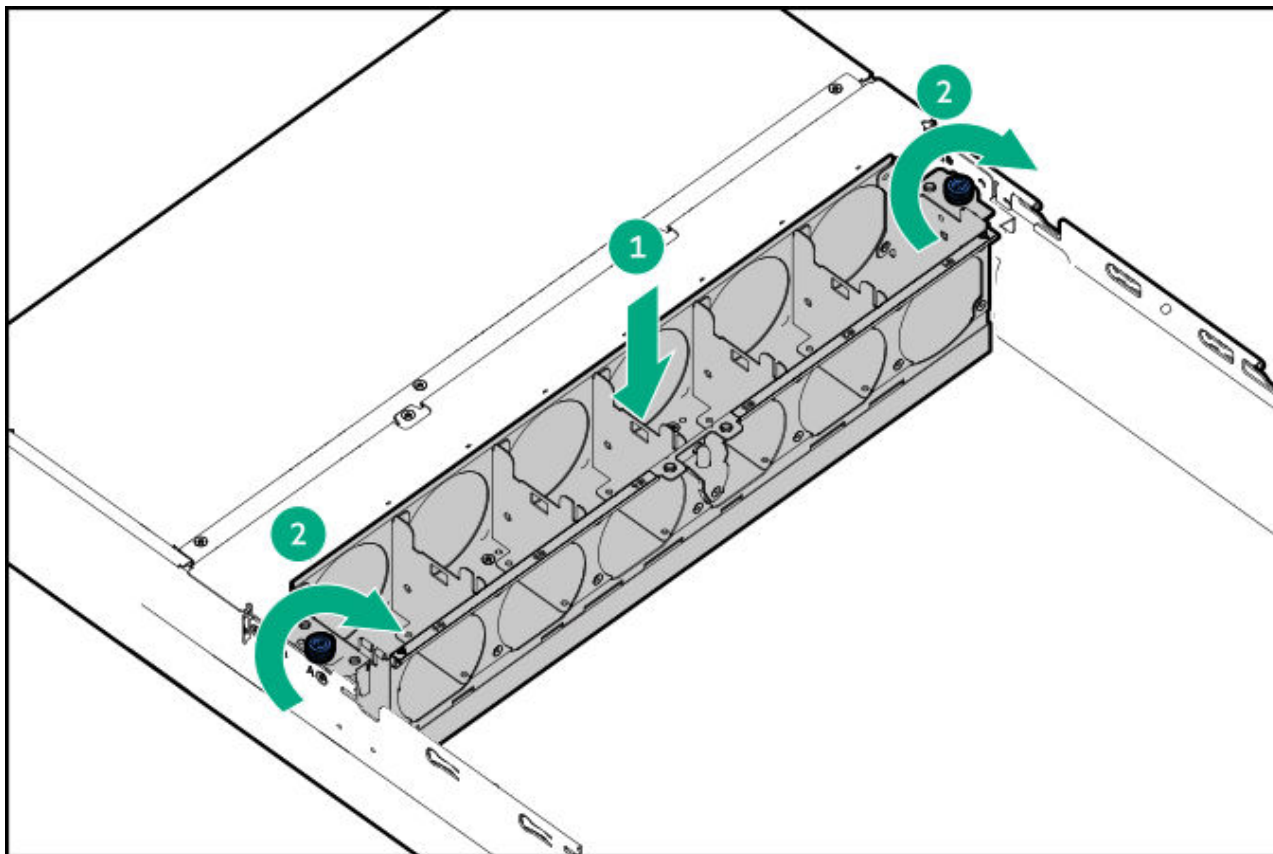
ファンケージを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

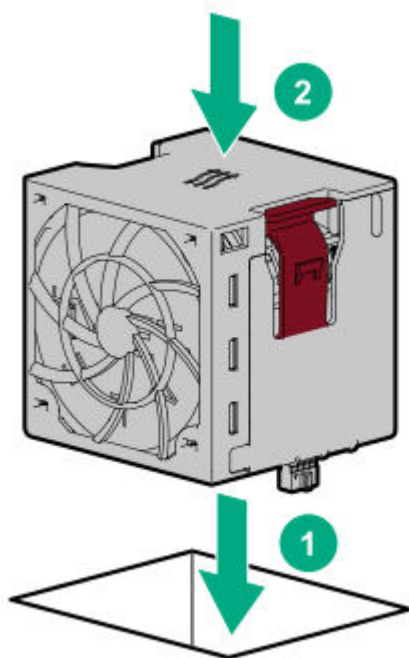
- ・ ファンケージを取り付けます。
 - a. ファンケージをシャーシ内に下げます。
 - b. つまみネジを締めます。



すべてのファンを取り付けます。

- a. ファンをファンベイに下ろします。
- b. ファンを押し下げて、ベイにしっかりと固定されていることを確認します。

クリック音は、ファンが適切にかみ合っていることを示します。



ファンケージを取り外した場合に必要な手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

エアバッフルを取り付ける

このタスクについて



注意

適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

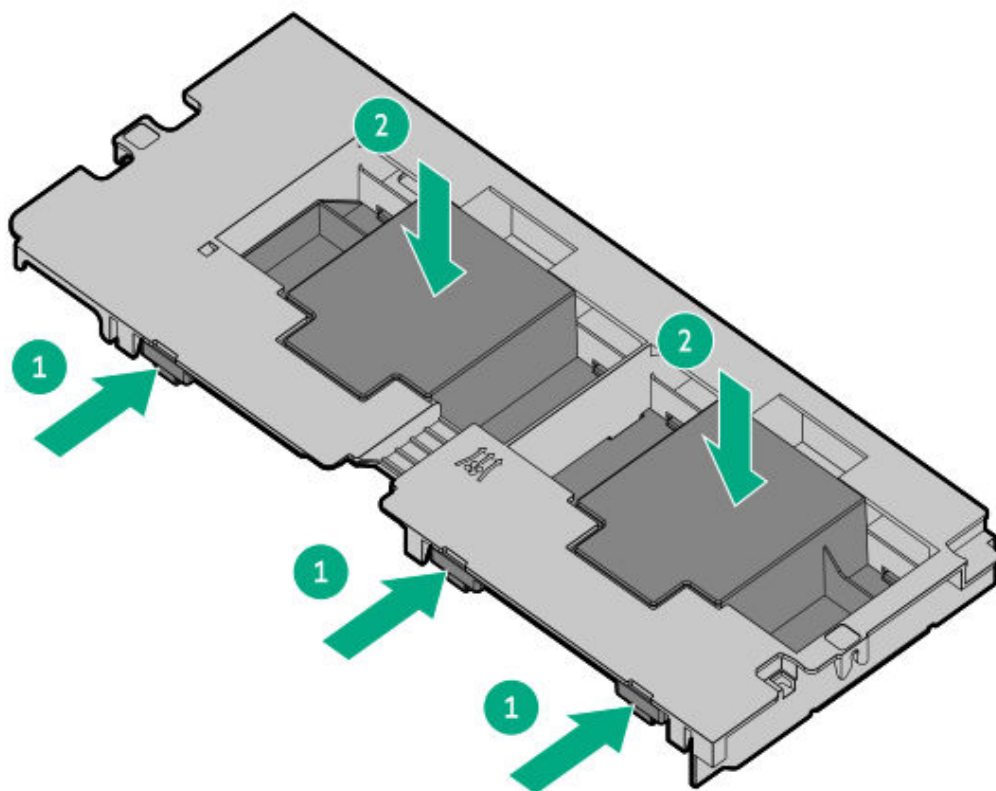


注意

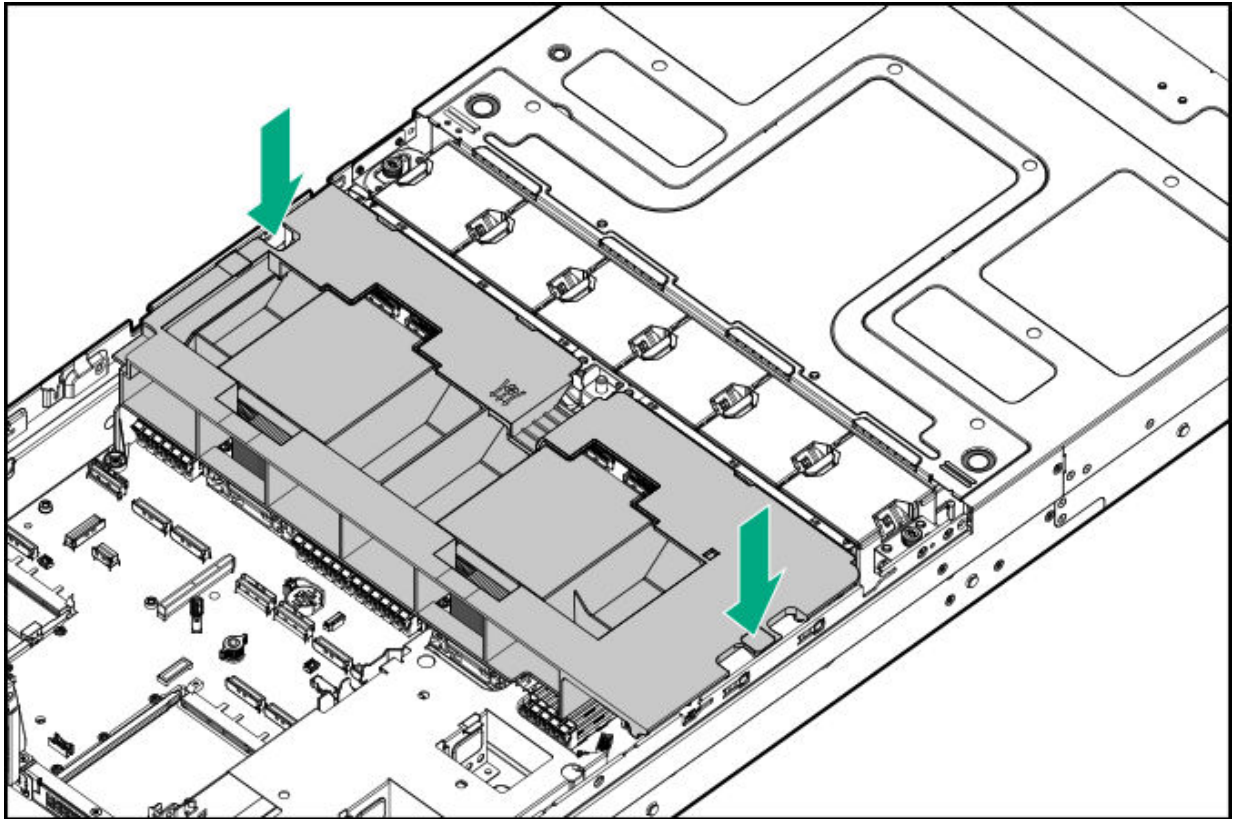
バッテリーパックをキャッシュモジュールに接続しているケーブルは外さないでください。ケーブルを取り外すと、キャッシュモジュール内の保存されていないデータが消失します。

手順

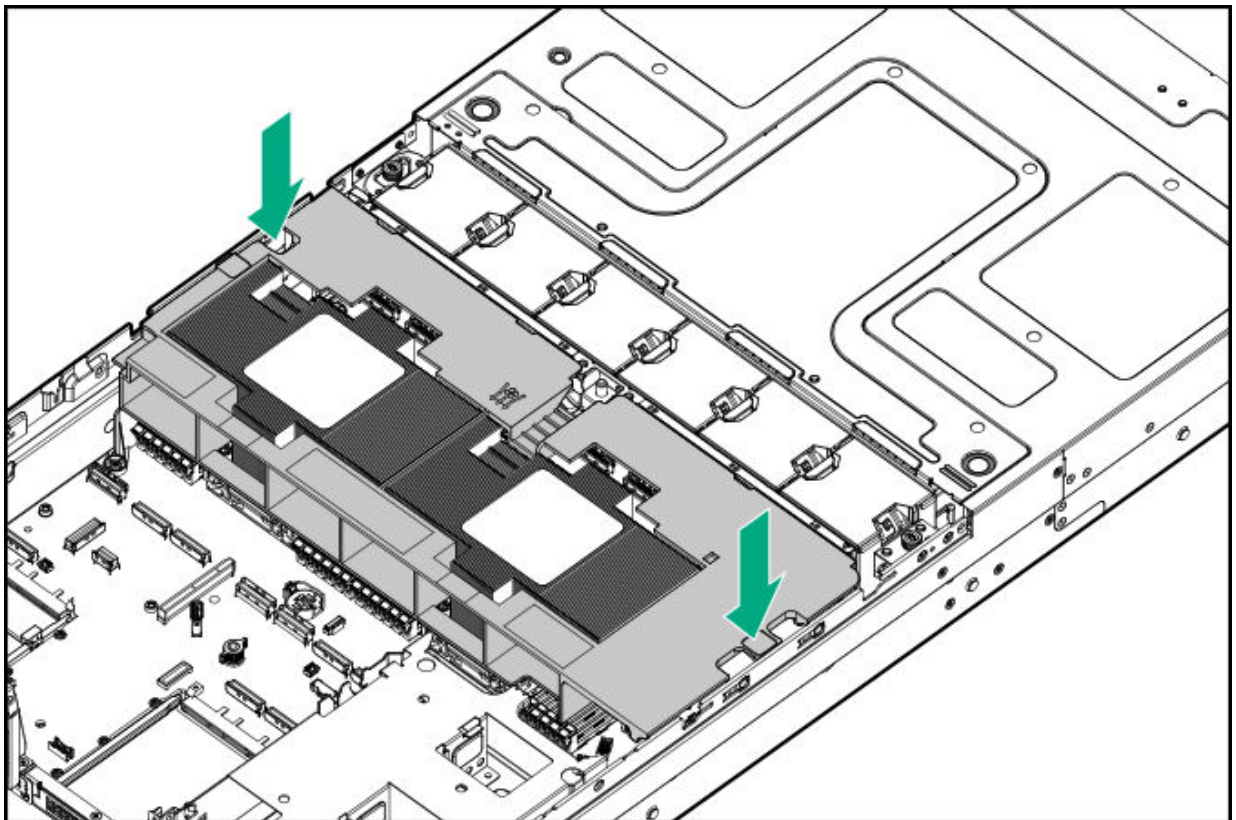
- ・ 高性能ヒートシンクが取り付けられている場合は、標準エアバッフルから標準ヒートシンクカバーを取り外します。
 - a. 標準ヒートシンクカバーのラッチを押します。
 - b. 標準エアバッフルから標準ヒートシンクカバーを取り外します。



- ・ エアバッフルを取り付けます。
 - ・ 標準エアバッフル



- ・ 高性能エアバッフル



- エアバッフルの取り外しを必要とする手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

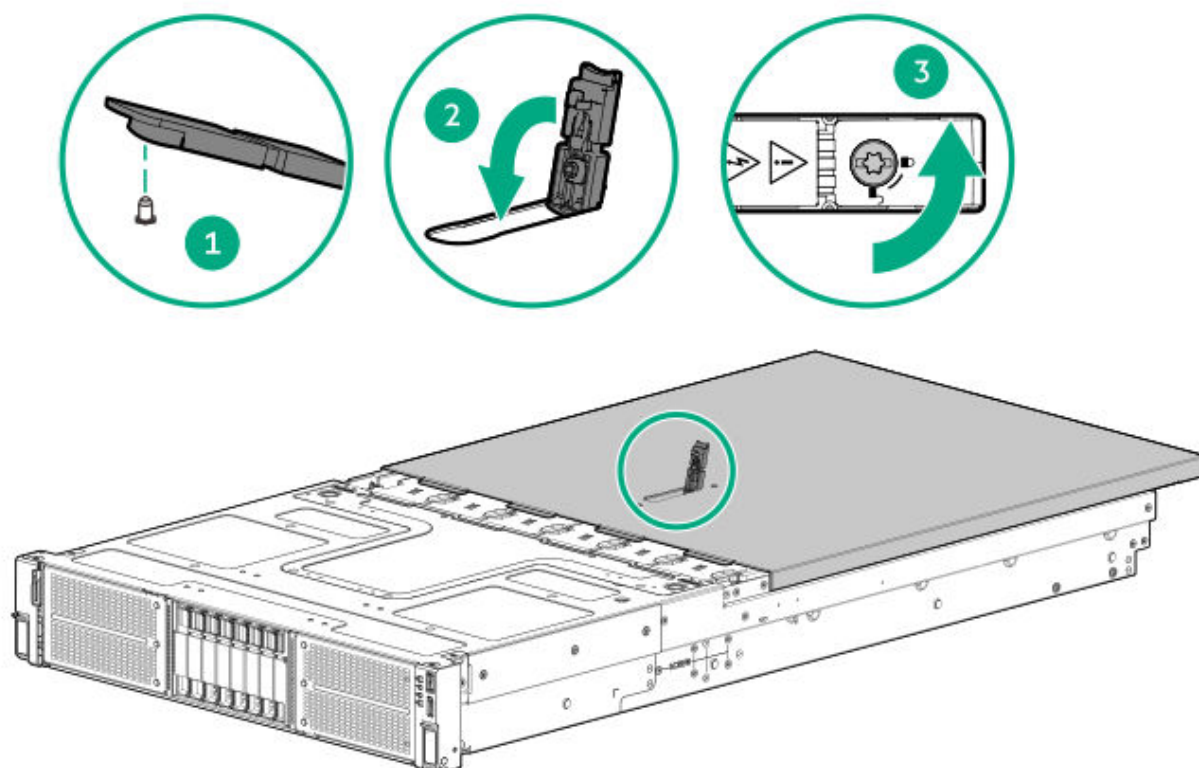
アクセスパネルを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

- アクセスパネルのラッチを開けたまま、ラッチの下部にある穴に、シャーシ上のガイドピンを挿入します。
- アクセスパネルのラッチを閉じます。
アクセスパネルが完全に閉じるまでスライドさせます。
- アクセスパネルのラッチをロックします。



- ・ アクセスパネルを取り外した場合に必要な手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

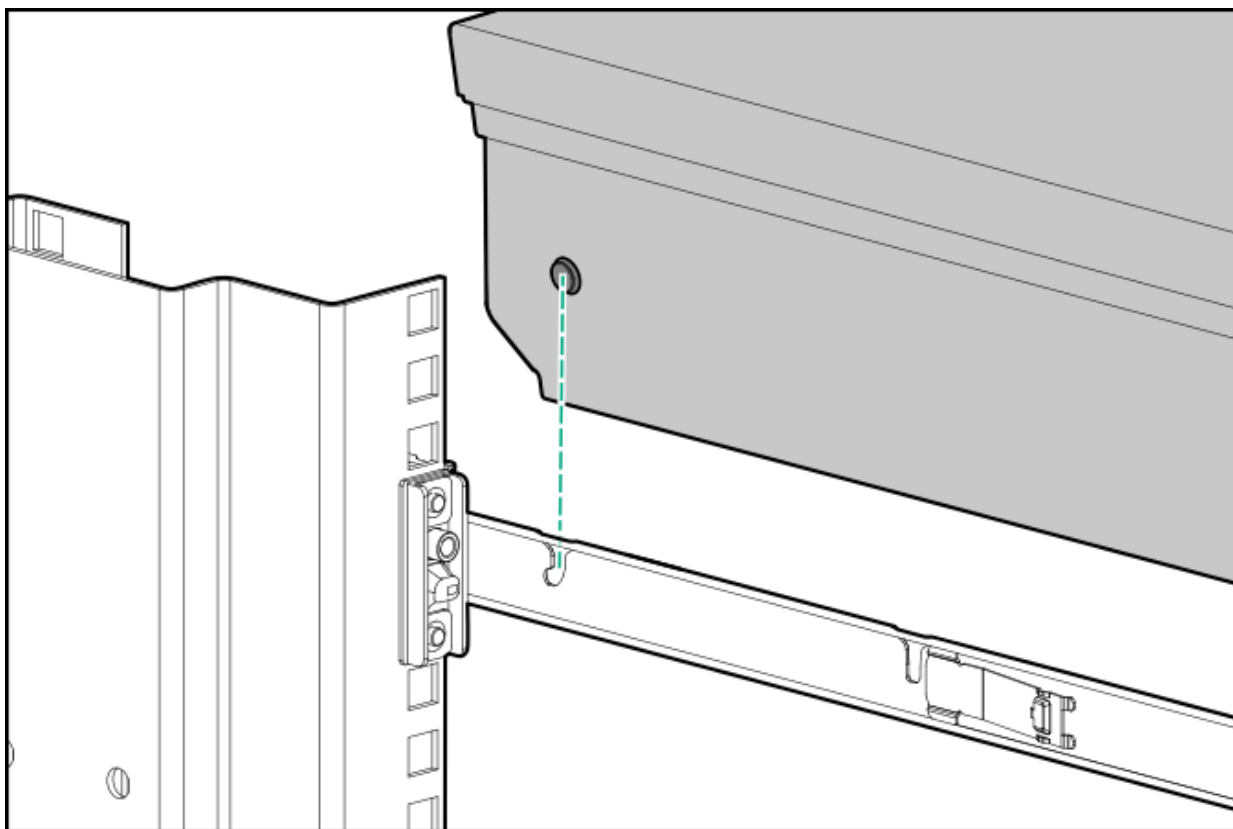
サーバーをラックに取り付ける

前提条件

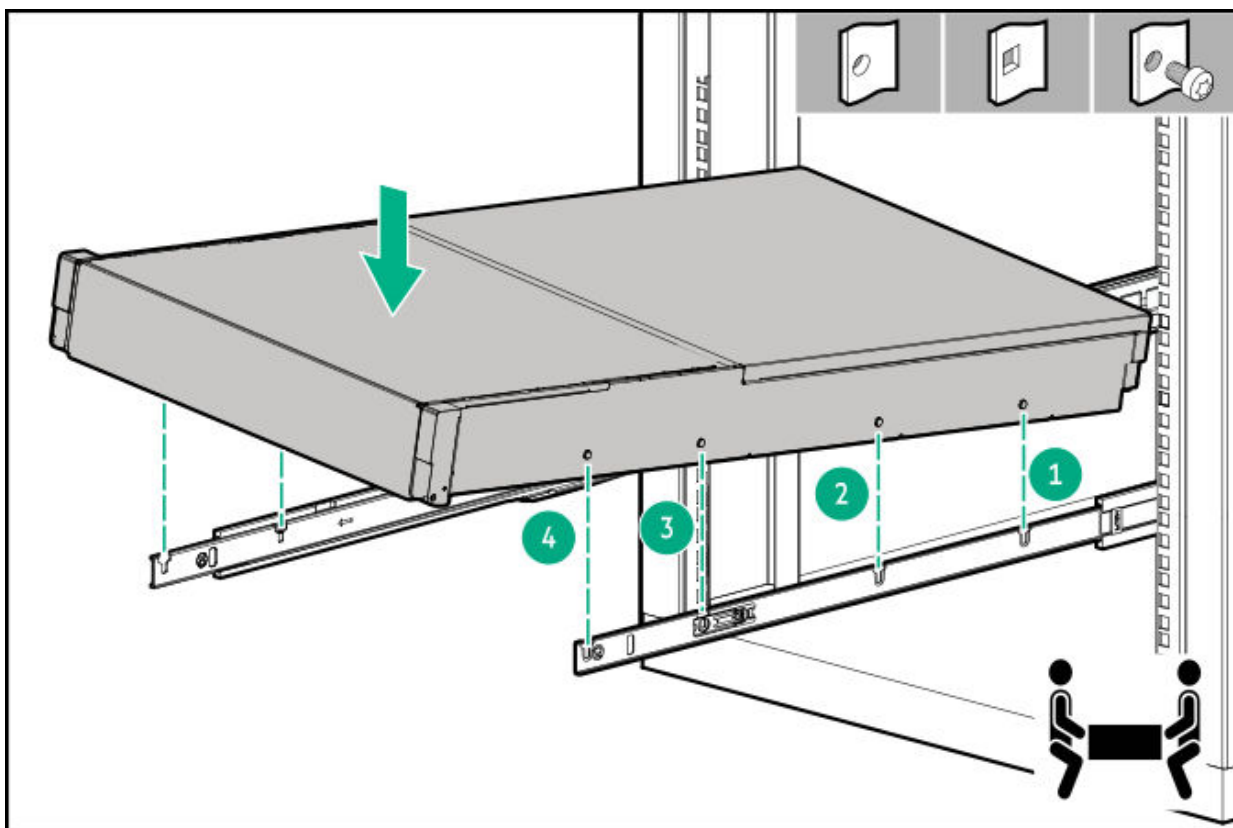
- ・ ラックへの取り付け中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを設置するために作業者がさらに 2 人必要になる場合があります。1 人がサーバーの重量を支え、別の 2 人がサーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- ・ この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - 空間および通気要件
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
- ・ 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterprise では、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。
- ・ この手順を実行する前に、T-25 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

- ・ サーバーをレールに取り付けます。
 - a. サーバーの背面を J スロットに取り付けます。

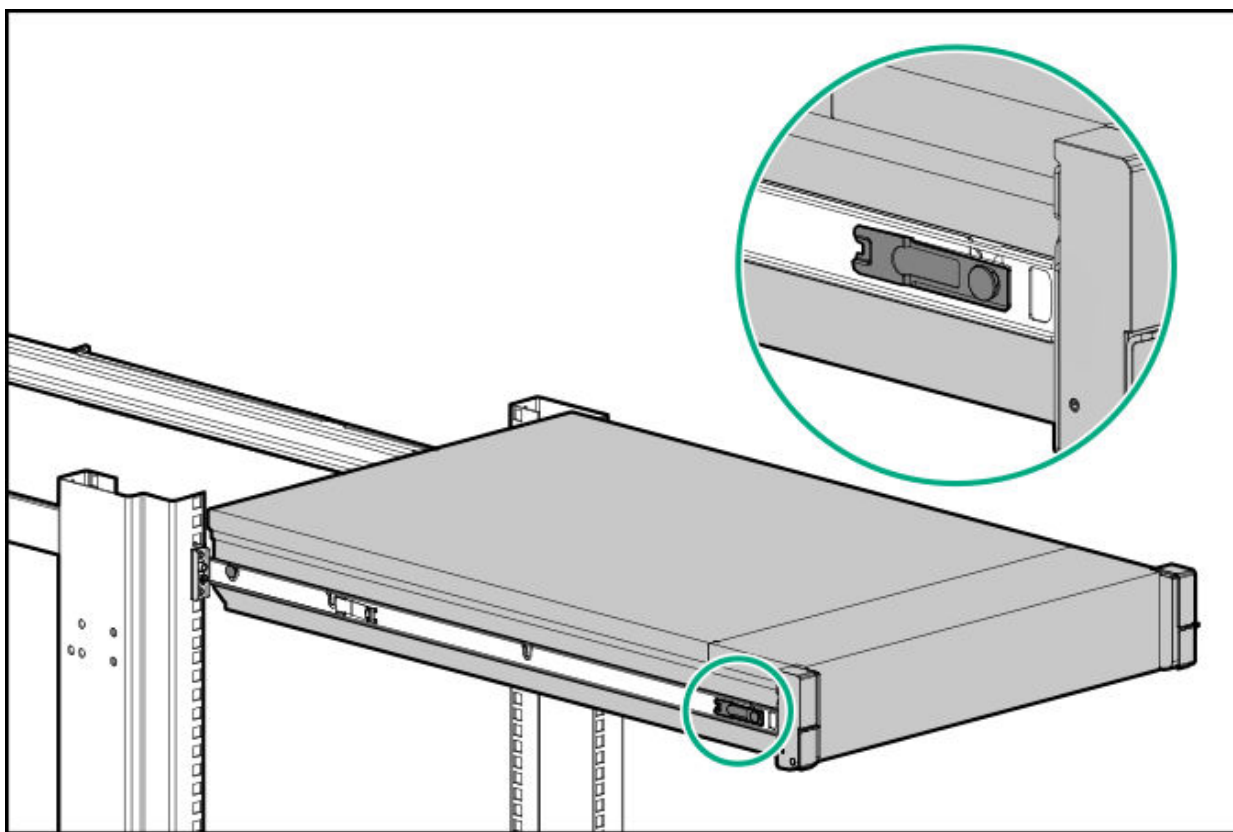


b. 各スプールをレールに取り付けます。



c. サーバーの前面を取り付けます。

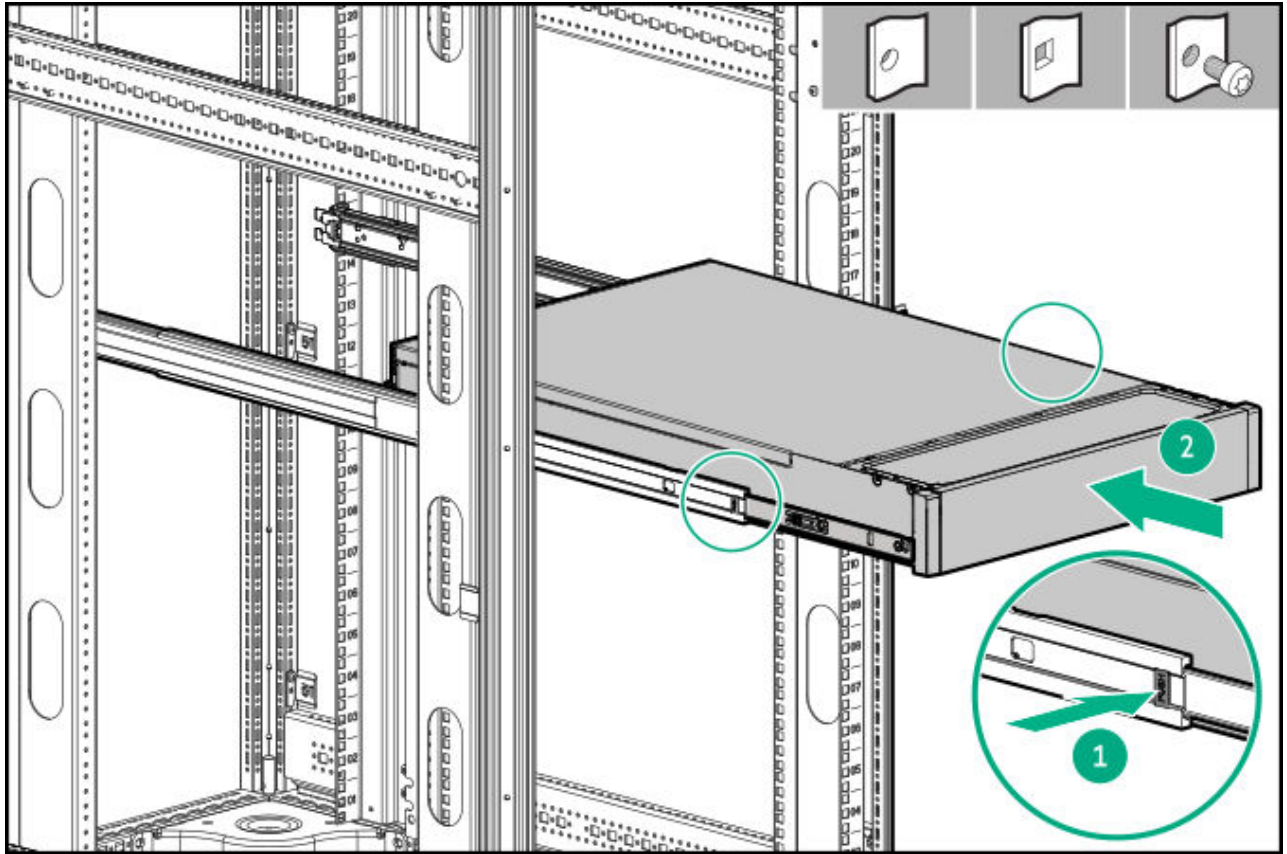
フロントスプールがロックタブにかみ合っていることを確認します。



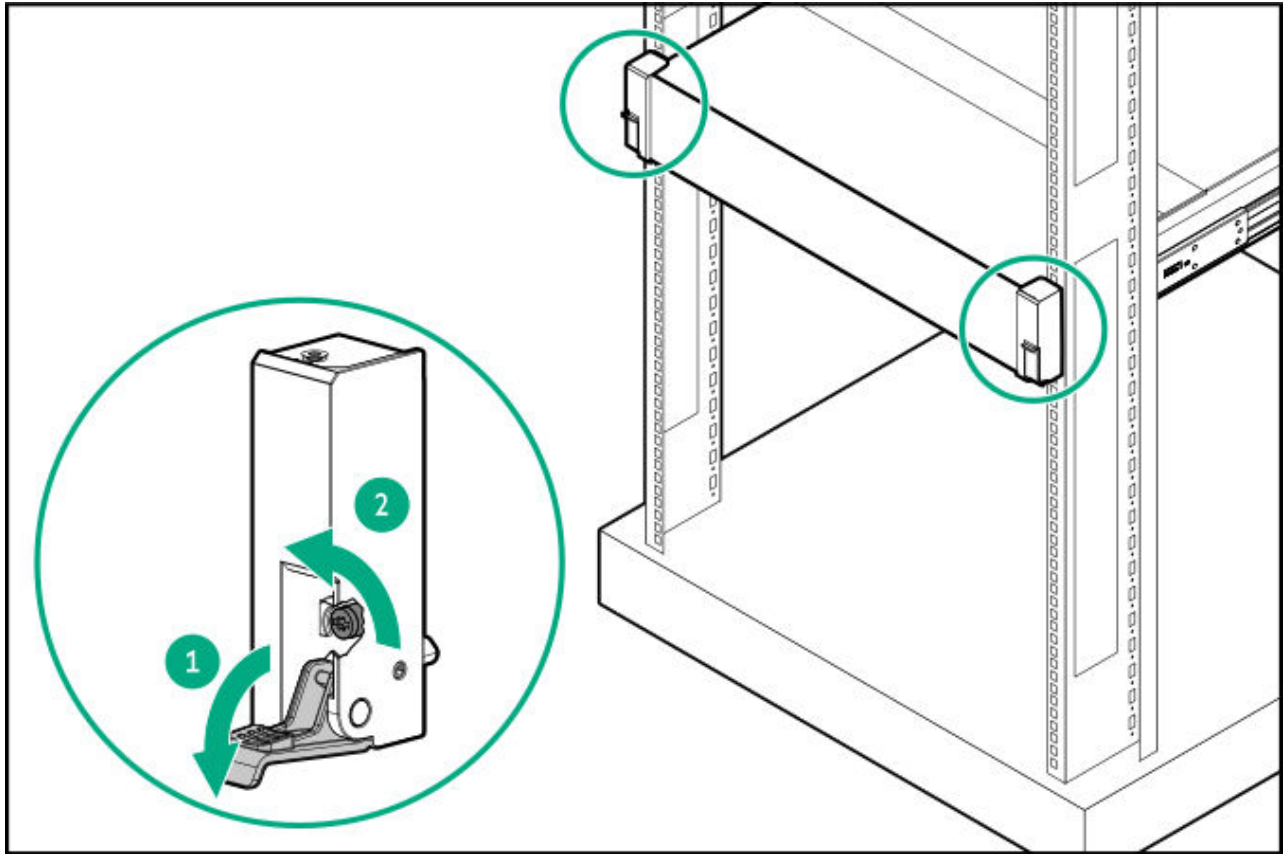
注意

サーバーをラックに取り付ける際にラックレールへの損傷を防止するため、サーバーのすべてのスプールがレールのノッチにしっかりと装着されていることを確認してください。

サーバーをラックに取り付けます。



シャーシを開き、輸送用ネジを締めます。



- ・ すべての周辺装置ケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 電源コードを接続します。
 - a. 各電源コードをサーバーに接続します。
 - b. 各電源コードを電源に接続します。

サーバーの電源を入れる

手順

- ・ 電源ボタンを押します。
- ・ iLO 経由の仮想電源ボタンを使用します。

ハードウェアオプションを取り付ける

この章では、サポートされるハードウェアオプションを取り付ける手順を説明します。サーバーの適切な展開と運用を確実にするため、Hewlett Packard Enterprise では、HPE 検証済みのハードウェアオプションのみを取り付けることをお勧めします。このサーバーの検証済みオプションのリストを表示するには、HPE Web サイトにある製品の QuickSpecs を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/quickspecs>

ご使用のサーバーおよびサポートされるオプションの保証を表示するには、保証情報を参照してください。

サブトピック

- [サーバーデータバックアップ](#)
- [ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン](#)
- [Hewlett Packard Enterprise 製品の QuickSpecs](#)
- [ラックマウントオプション](#)
- [フロントベゼルオプションの取り付け](#)
- [ドライブオプション](#)
- [電源装置オプション](#)
- [トランシーバーオプション](#)
- [ドライブケースオプション](#)
- [GPU オプション](#)
- [メモリオプション](#)
- [スタッキングライザーオプション](#)
- [セカンダリライザーケースオプション](#)
- [ストレージコントローラーオプション](#)
- [Energy Pack オプション](#)
- [拡張カードオプション](#)
- [プロセッサヒートシンクアセンブリオプション](#)
- [HPE NS204i-u ブートデバイスオプション](#)
- [OCPI NIC 3.0 オプション](#)
- [シャーシ侵入検知スイッチのオプション](#)
- [シリアルポートオプション](#)
- [内部 USB デバイスのオプション](#)

サーバーデータバックアップ

データ損失を防ぐために、ハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップしてください。

このコンテキストでのサーバーデータは、ハードウェアのメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の完了後、システムを通常の動作環境に戻すために必要になる可能性がある情報を指します。これには、次のような情報が含まれる可能性があります。

- ・ ユーザーデータファイル
- ・ ユーザーアカウント名とパスワード
- ・ アプリケーションの設定とパスワード
- ・ コンポーネントドライバとファームウェア
- ・ TPM リカバリキー/パスワード
- ・ BIOS 構成設定 - UEFI システムユーティリティのバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、UEFI ユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>) を参照してください。
 - カスタムデフォルトシステム設定
 - 電源オンおよび BIOS 管理者アクセス、不揮発性メモリ、およびサーバー構成ロック (HPE Trusted Supply Chain サーバー用) に必要なパスワードを含むセキュリティパスワード
 - サーバーシリアル番号と製品 ID
- ・ iLO 関連データ - iLO バックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、iLO のユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。
 - iLO のライセンス
 - お客様の iLO ユーザー名、パスワード、および DNS 名
 - iLO 構成設定

ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterprise ではハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップすることをお勧めします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- ・ サーバーを初期化する前にハードウェアオプションを取り付けます。
- ・ 複数のオプションを取り付ける場合は、すべてのハードウェアオプションの取り付け手順をよく読んで類似の手順を確認してから、効率よく取り付け作業を行うようにしてください。
- ・ ハードウェアオプションの取り付け時に内部ケーブル接続を行う場合は、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。

Hewlett Packard Enterprise 製品の QuickSpecs

製品について詳しく知るには、Hewlett Packard Enterprise Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を検索して製品の QuickSpecs を参照してください。

- ・ サポートされるオプション
- ・ サポートされている構成
- ・ コンポーネントの互換性
- ・ 新機能
- ・ 仕様

- ・ 部品番号

ラックマウントオプション

クイックデプロイ、工具不要の HPE ラックレールオプションを使用して、サーバーを標準 4 ポストラックに取り付けます。レール設計では、さまざまなマウントインターフェイスのラックへの取り付けをサポートしています。

ケーブル管理のために、ラックレールキットには次のオプションのいずれかまたは両方が含まれている場合があります。

- ・ ラックレールの面ファスナーストラップ
- ・ ケーブルマネジメントアーム

サブトピック

レール識別マーカー
ラックマウントインターフェイス
ラックレールのオプション
サーバーをラックに取り付ける
ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け
ケーブルマネジメントアームの取り付け

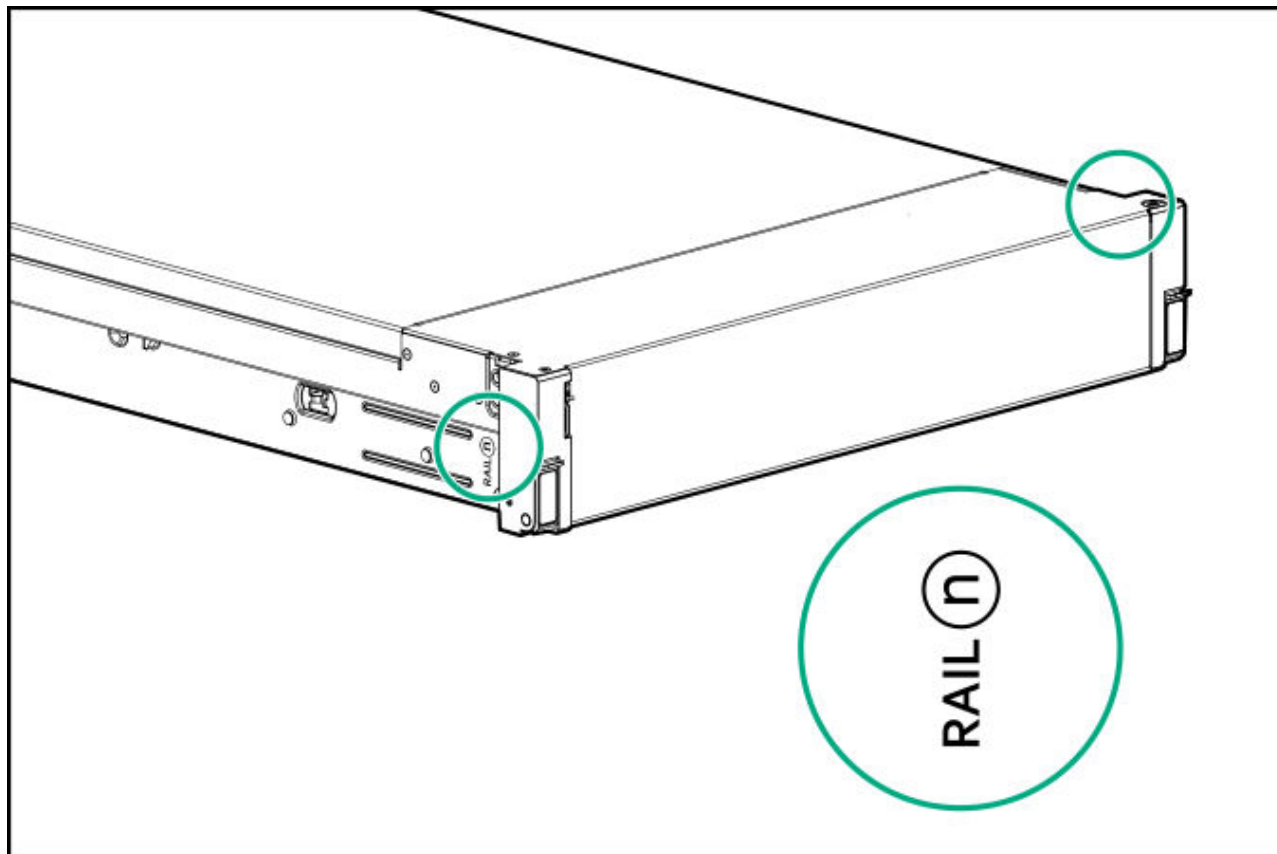
レール識別マーカー

ラックレールオプションのサポートは、次の 2 つの要因によって異なります。

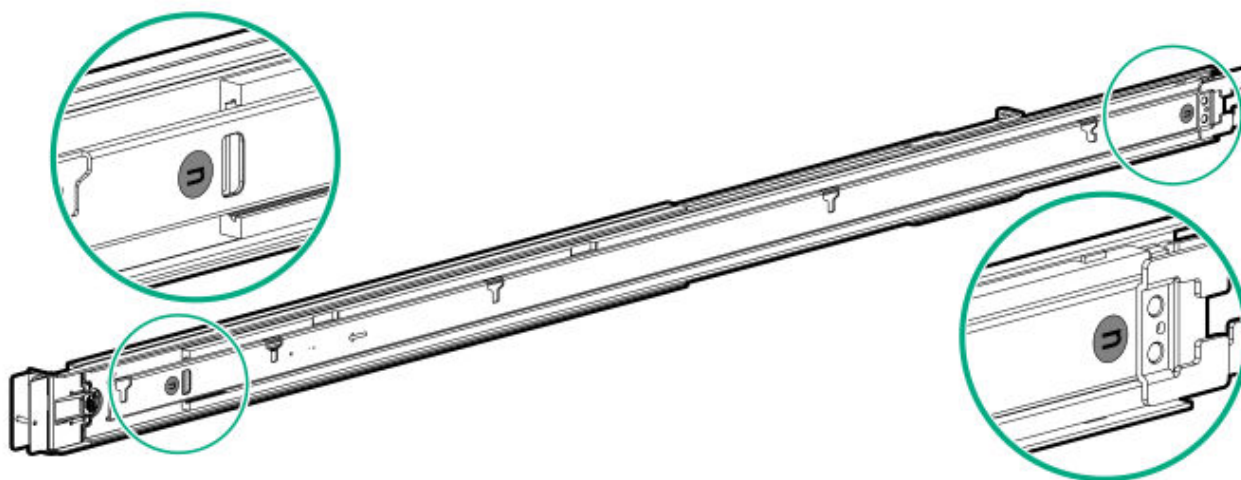
- ・ フロントエンドおよびリアエンドサーバー構成によって決まる、シャーシの高さと重量。
- ・ フロントパネル（フロントベゼルなし）の端からリアパネルの端までを測定したシャーシの奥行き。

ラックレールとサーバー間の互換性を確保するために、シャーシのレール番号ラベルがレールに表記されているものと一致していることを確認してください。

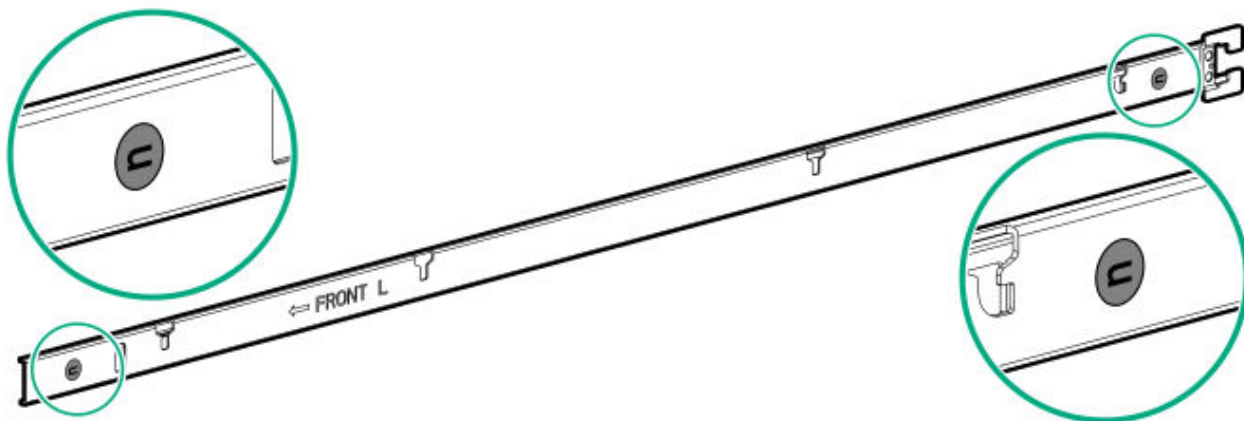
- ・ シャーシのレール番号ラベル



- ・ 短いボールベアリングレールにあるレール識別子スタンプ

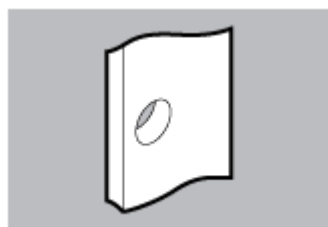


- ・ 長いボールベアリングレールにあるレール識別子スタンプ

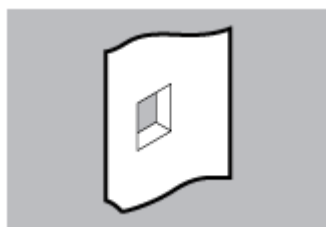


ラックマウントインターフェイス

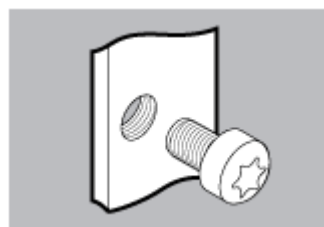
ラックレールは、次のマウントインターフェイスを備えたラックに取り付けることができます。



丸穴



角穴



丸ネジ穴

この手順で使用する図は、画像の右上隅にアイコンを表示します。このアイコンは、画像に描かれているアクションが有効なマウントインターフェイスのタイプを示します。

ラックレールのオプション

このサーバーでは、次のラックレールオプションがサポートされています。

構成	ラックレールのオプション	タイプ	最小レール長さ	調整可能なレール範囲
SFF (2.5 型) / E3.S ドライブ	レールオプション #8 (P52345-B21)	ボールベアリング ラックレール (ドロップイン)	852.91 mm (33.58 インチ)	609.60~918.10 m (24.00~36.15 インチ)

サーバーをラックに取り付ける

前提条件



警告

けがや装置の損傷を防止するために、次のいずれかを実行してください。

- ・ 組み立て作業中には、2人以上で製品を持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。
- ・ 製品の重量に耐えるリフトを使用してください。



警告

けがや装置の損傷を防止するために、シャーシを取り付ける前に、ラックが十分に安定していることを確認してください。

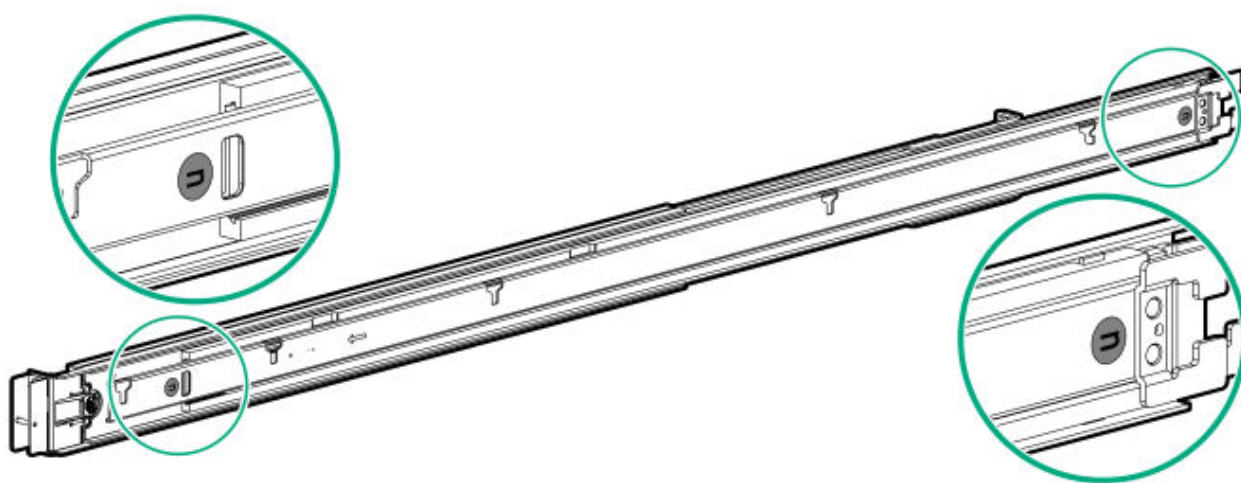
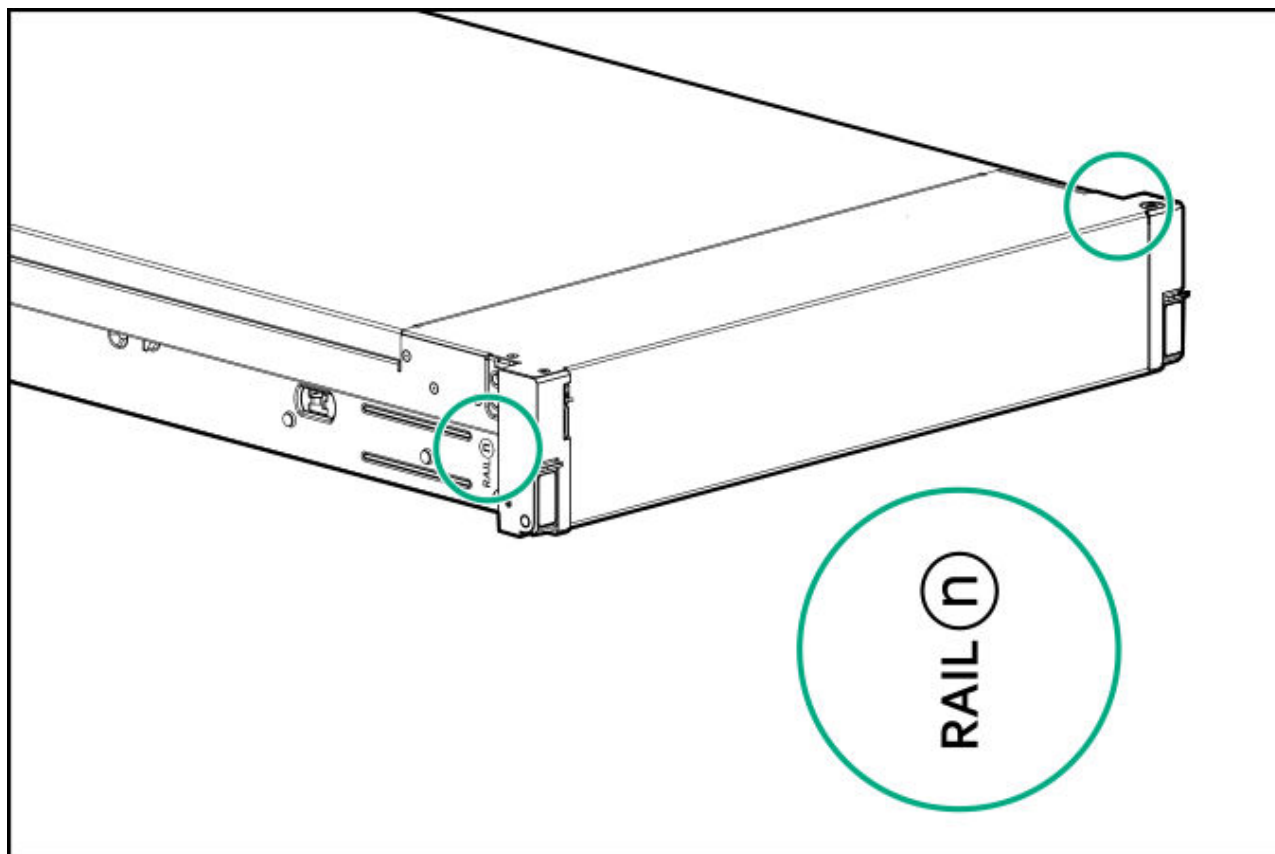


注意

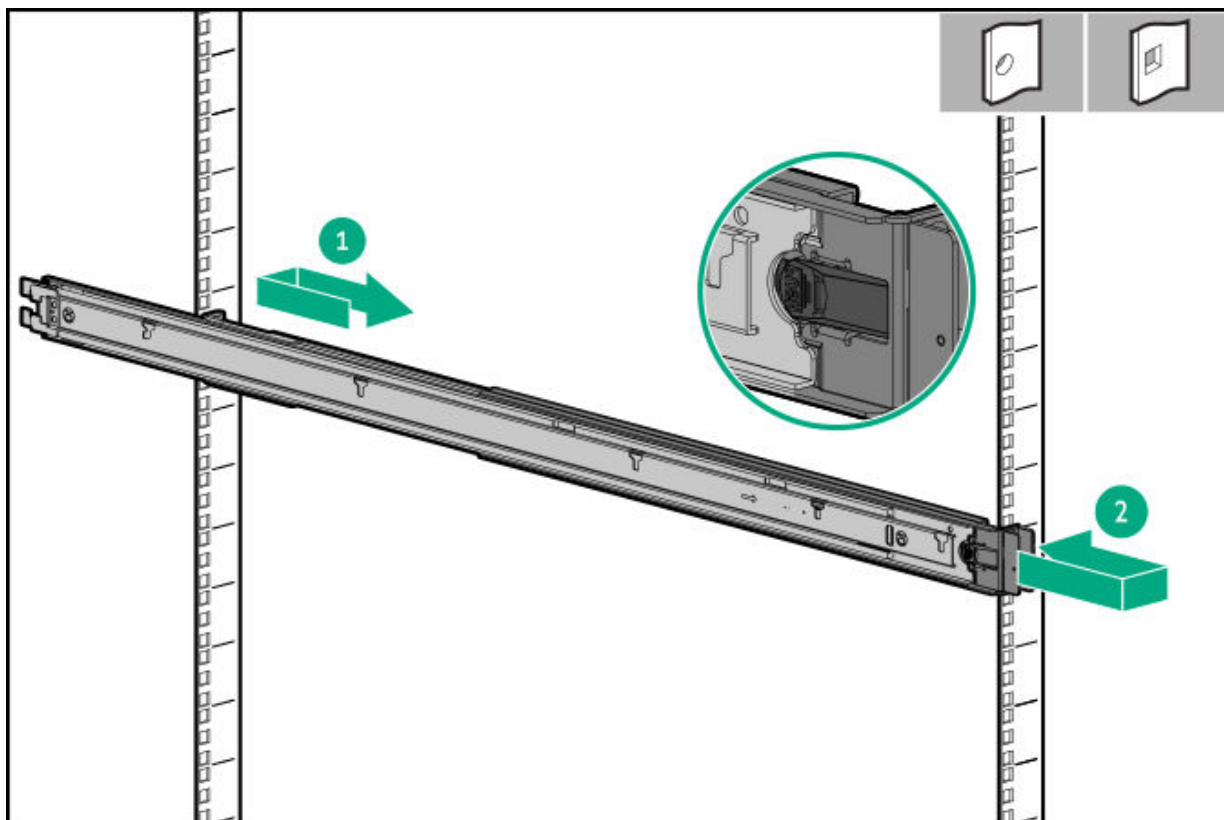
最も重いアイテムがラックの最下部になるように、常にラックの取り付けを計画してください。最も重いアイテムを最初に取り付け、下から上へとラックへの搭載を続けてください。

手順

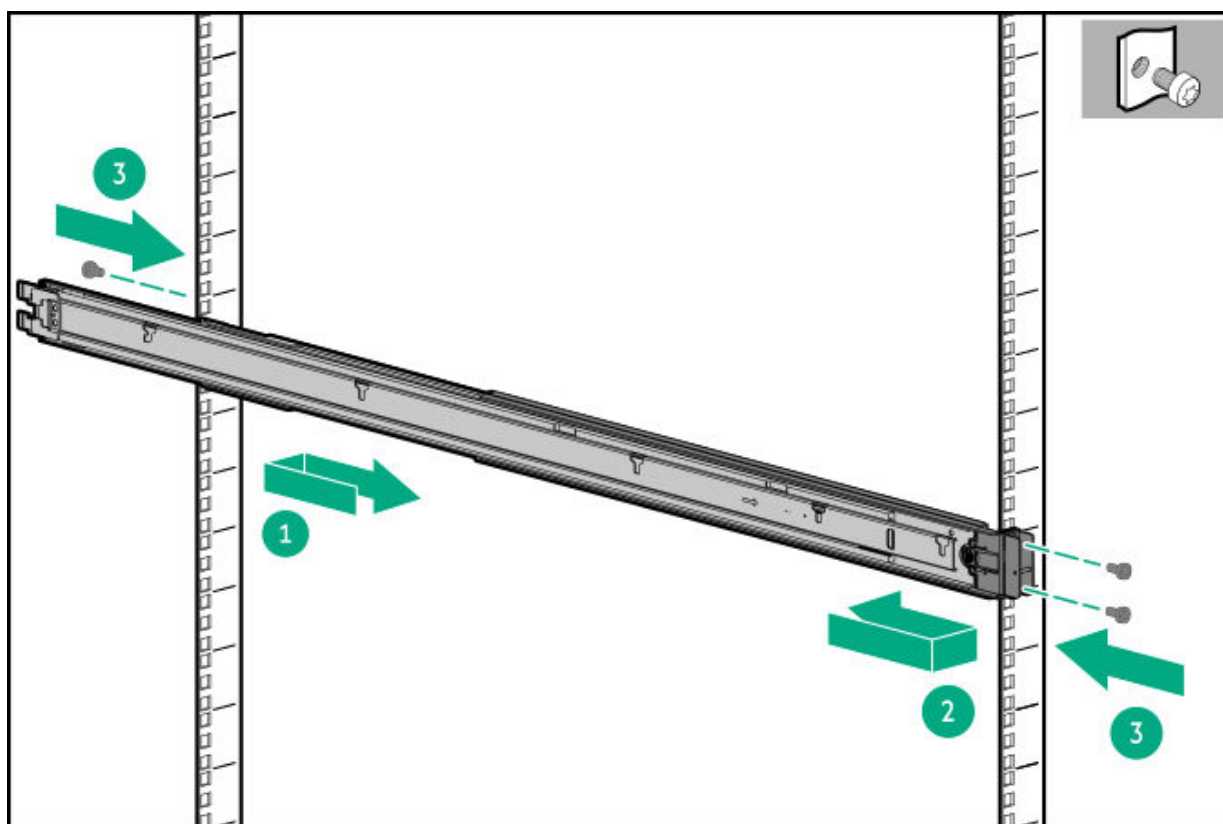
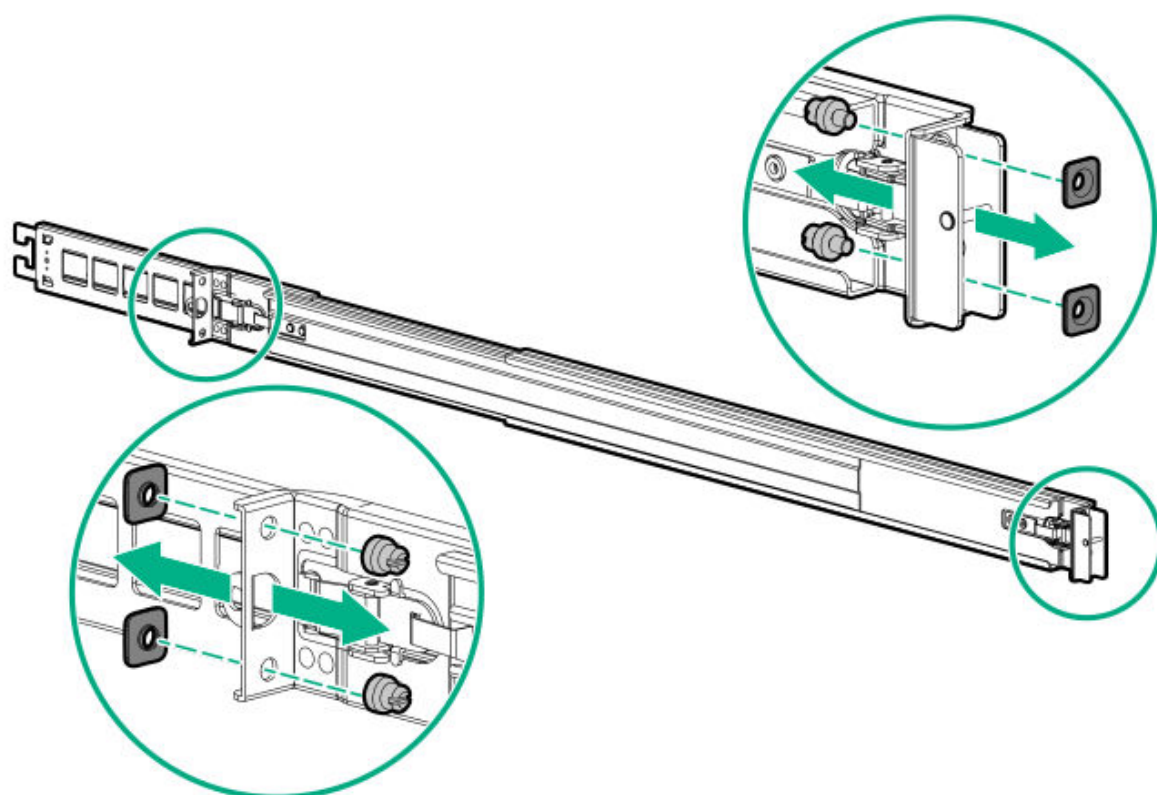
1. サーバーとレールのレール ID が一致していることを確認します。



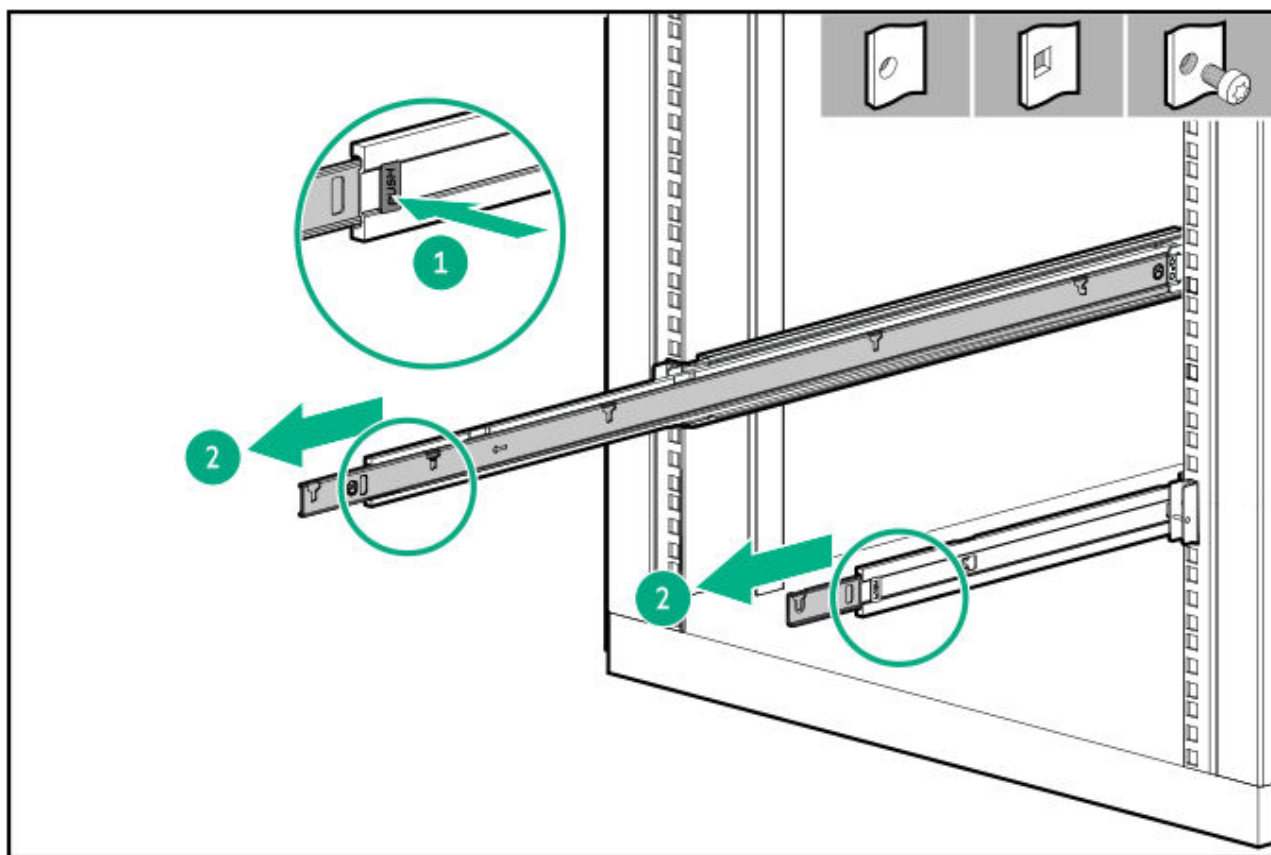
- ・ ラックレールを取り付けます。
- ・ 丸穴または角穴ラックの場合



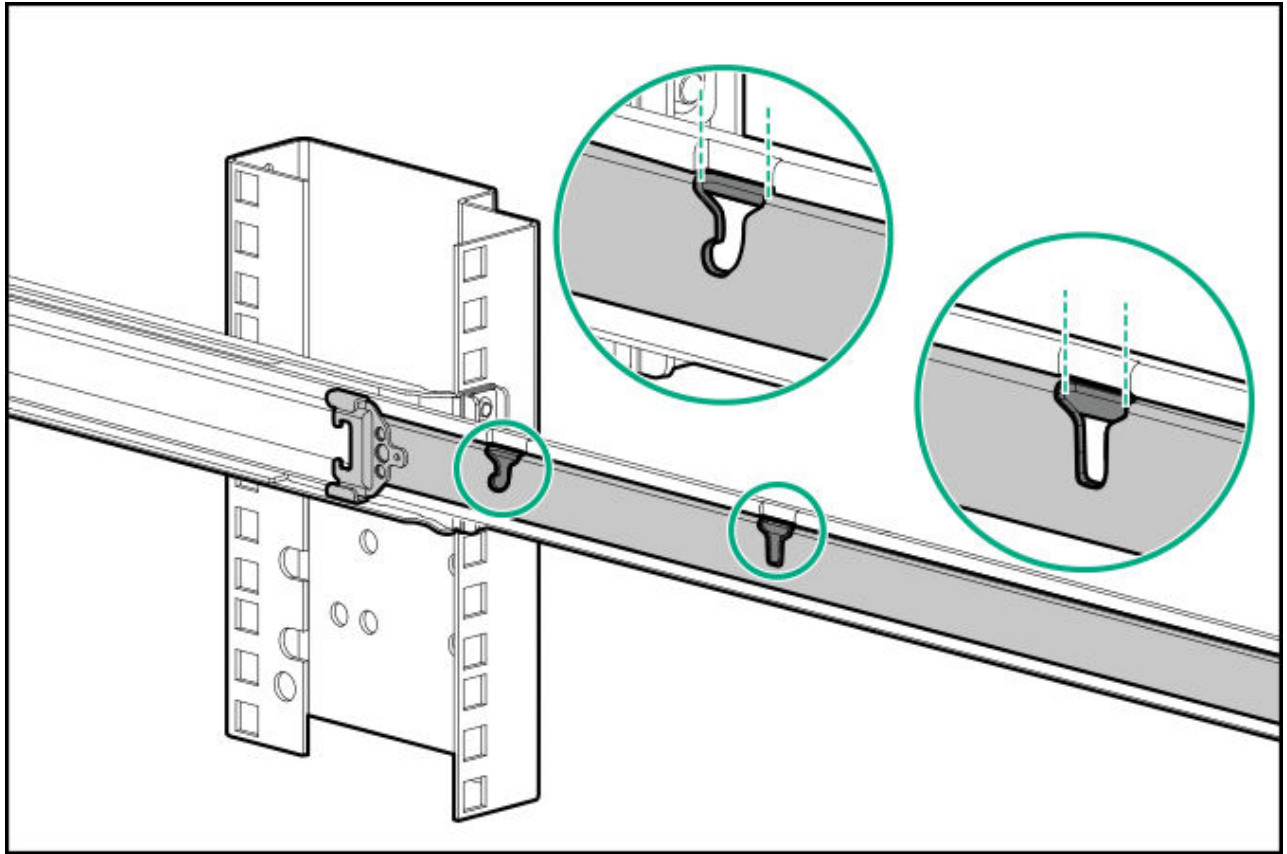
- ・ ネジ穴ラックの場合



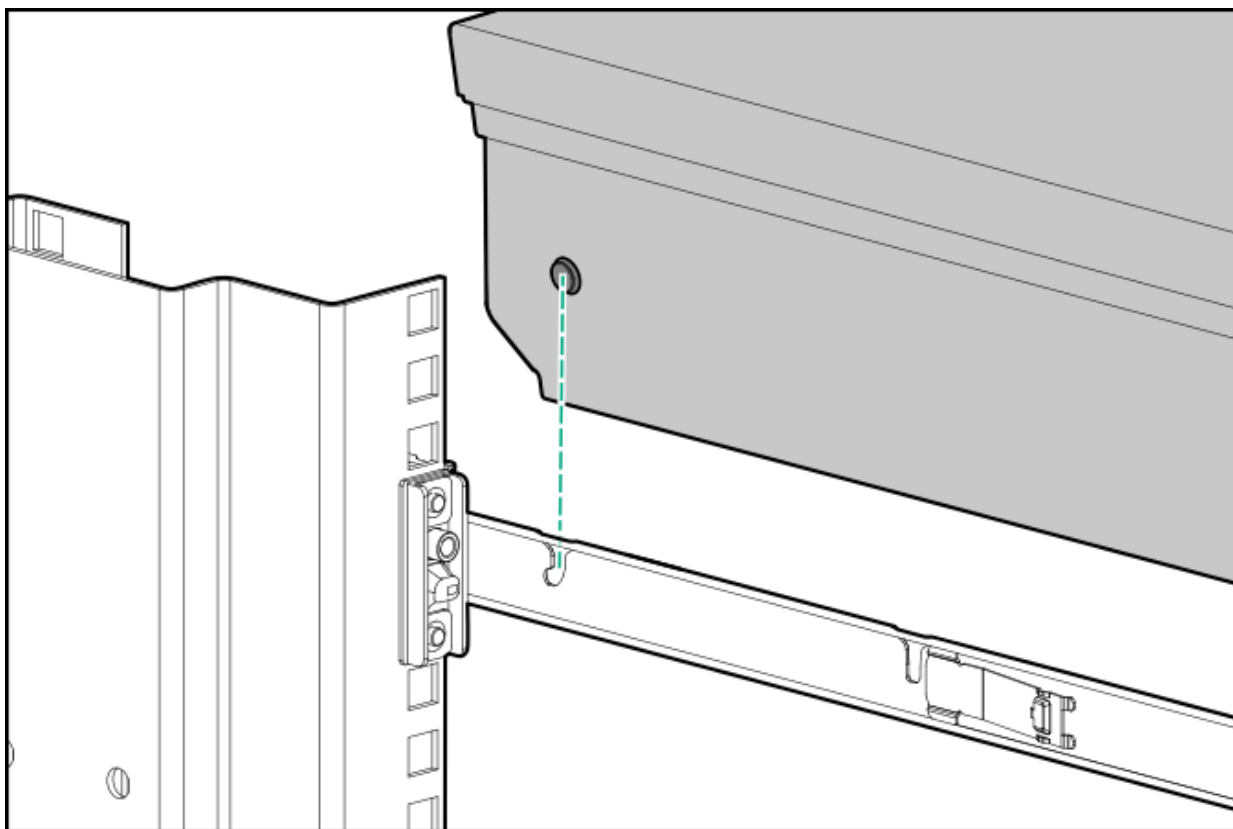
- レールをロック位置まで完全に伸ばします。



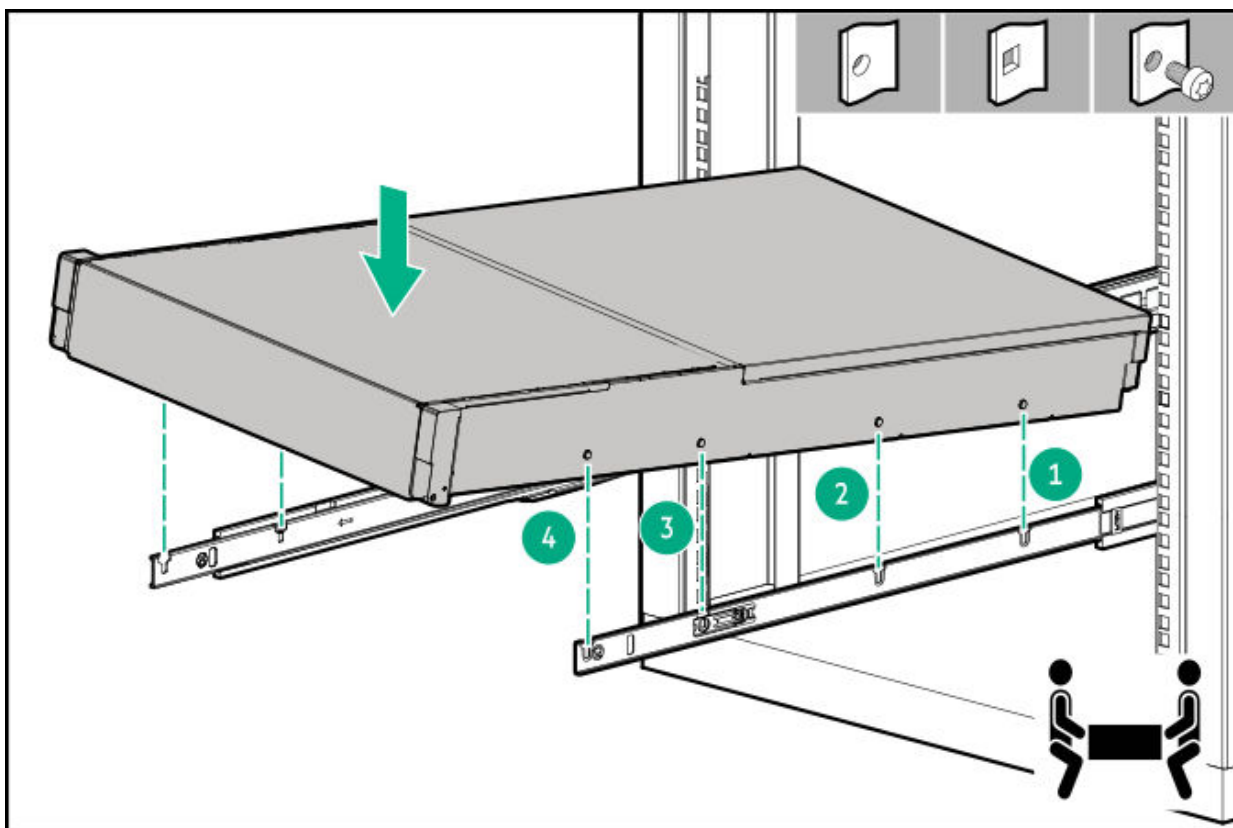
- レールが完全に伸びており、スロットが揃っていることを確認します。



- h. サーバーをレールに取り付けます。
 - a. サーバーの背面を J スロットに取り付けます。

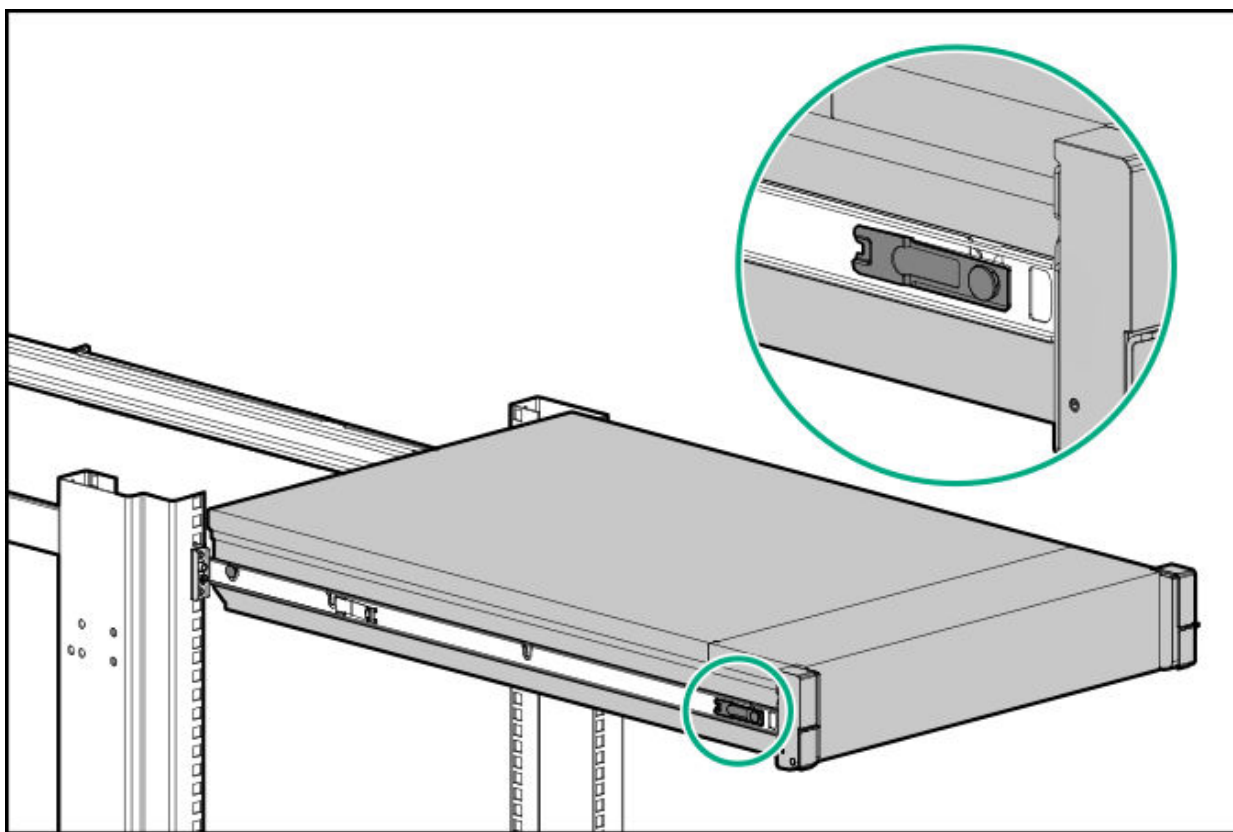


b. 各スプールをレールに取り付けます。



c. サーバーの前面を取り付けます。

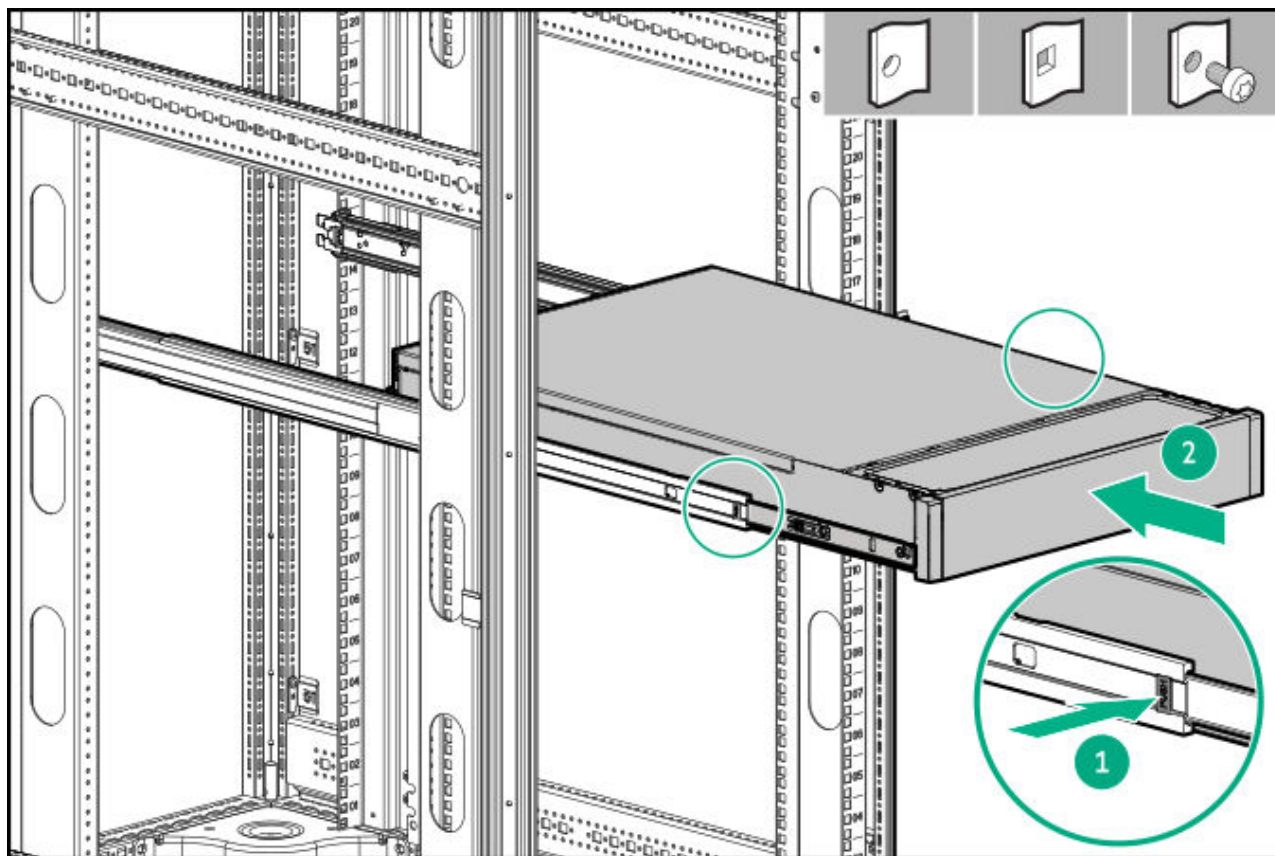
フロントスプールがロックタブにかみ合っていることを確認します。



注意

サーバーをラックに取り付ける際にラックレールへの損傷を防止するため、サーバーのすべてのスプールがレールのノッチにしっかりと装着されていることを確認してください。

d. サーバーをラックに取り付けます。



タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

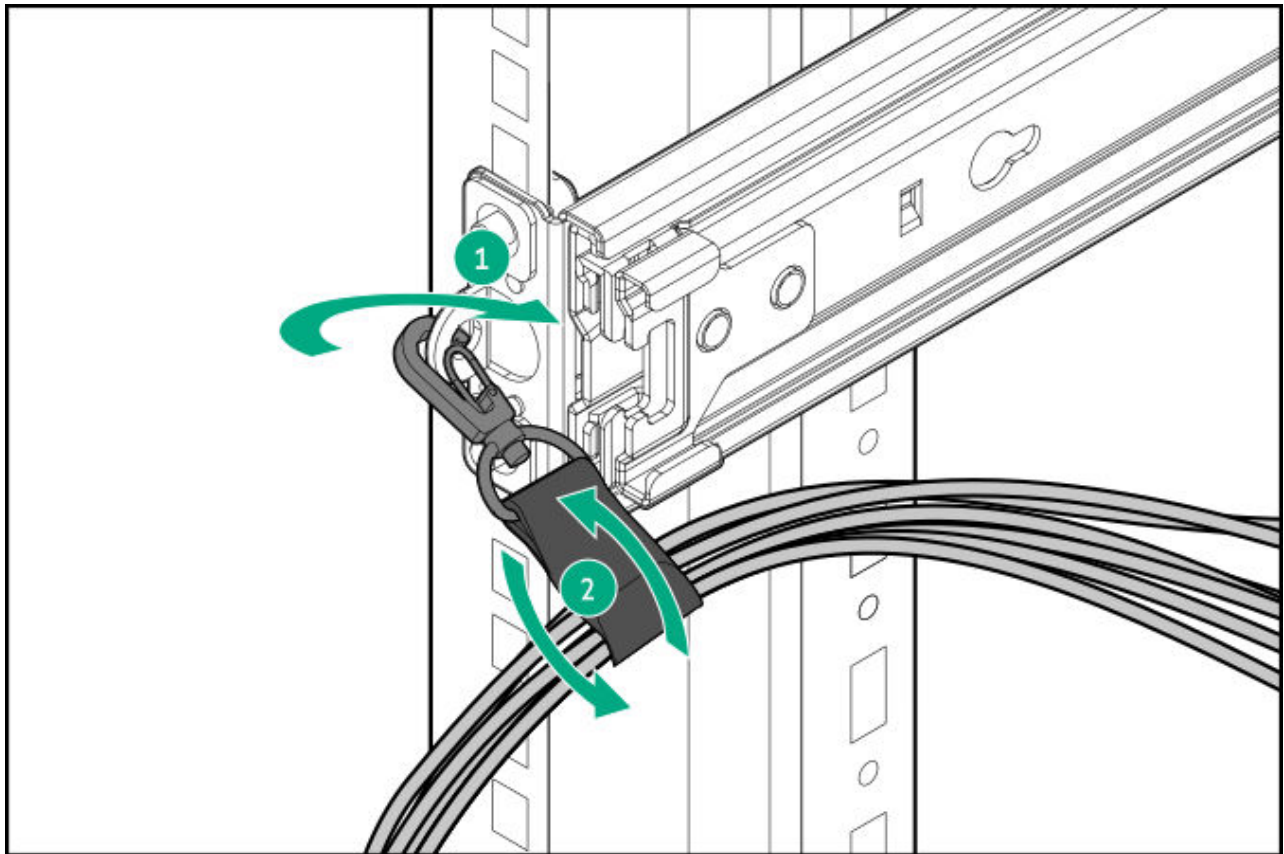
ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け

このタスクについて

面ファスナーストラップは、左側または右側のレールのいずれかに取り付けることができます。

手順

- ・ ストラップカラビナをレールに取り付けます。
- ・ コードとケーブルを束ねた後、ストラップをケーブルに巻き付けます。



タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ケーブルマネジメントアームの取り付け

前提条件

- ・ この手順を実行する前にラックに関する警告と注意事項を確認します。
- ・ T-25 トルクスドライバー - このツールは、シャーシヤー内にある輸送用ネジを緩めたり締めたりする場合に必要です。

このタスクについて

ケーブルマネジメントアーム（CMA）を使用すると、システムの電源を切ったり、リアパネルケーブルを抜いたりしなくても、サーバーをラックから完全に引き出すことができます。このCMAは、右開きと左開きの両方の実装に対応するよう設計されています。

この手順では、左右はラックの前面に向かって見たときの方向です。



注意

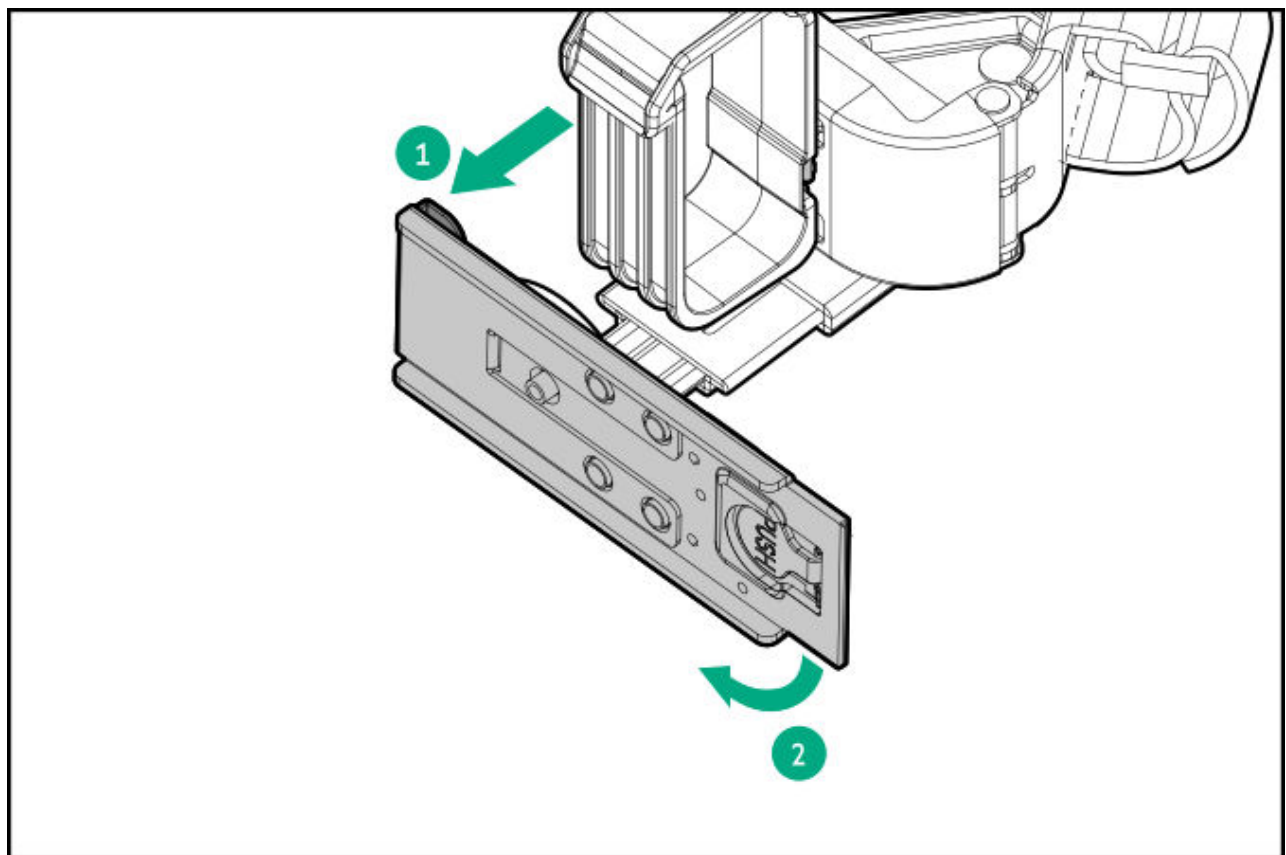
取り外しおよび交換手順の際は、CMA を支えてください。手順中に CMA が自重でぶら下がらないようにしてください。

手順

すべての周辺装置のケーブルと電源コードをリアパネルに接続して固定します。

(オプション) CMA 固定用ブラケットを回転させて、左側または右側の CMA 操作に合わせることができます。回転機構を押したまま、ブラケットを 180° 回転させます。

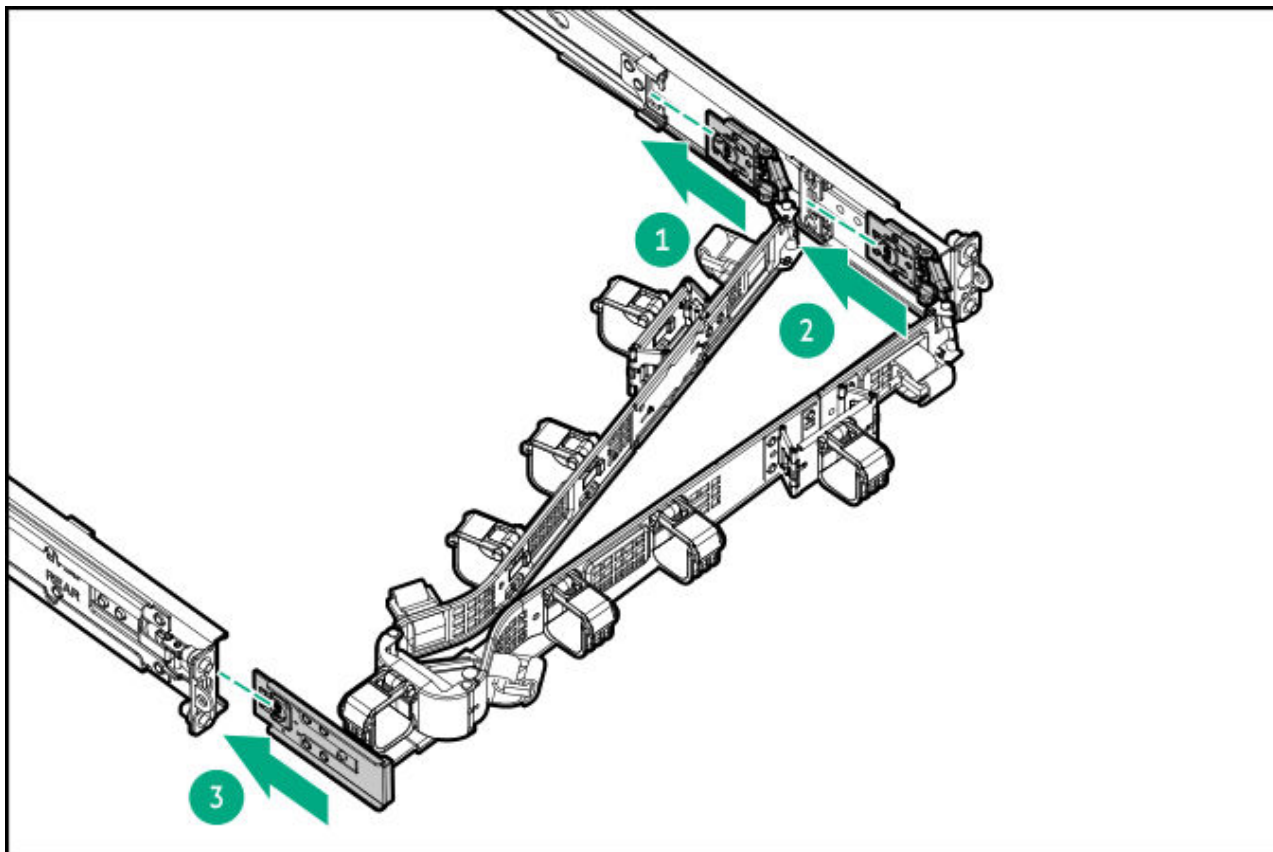
ブラケットが調整された位置でロックされたことを示すカチッという音がします。



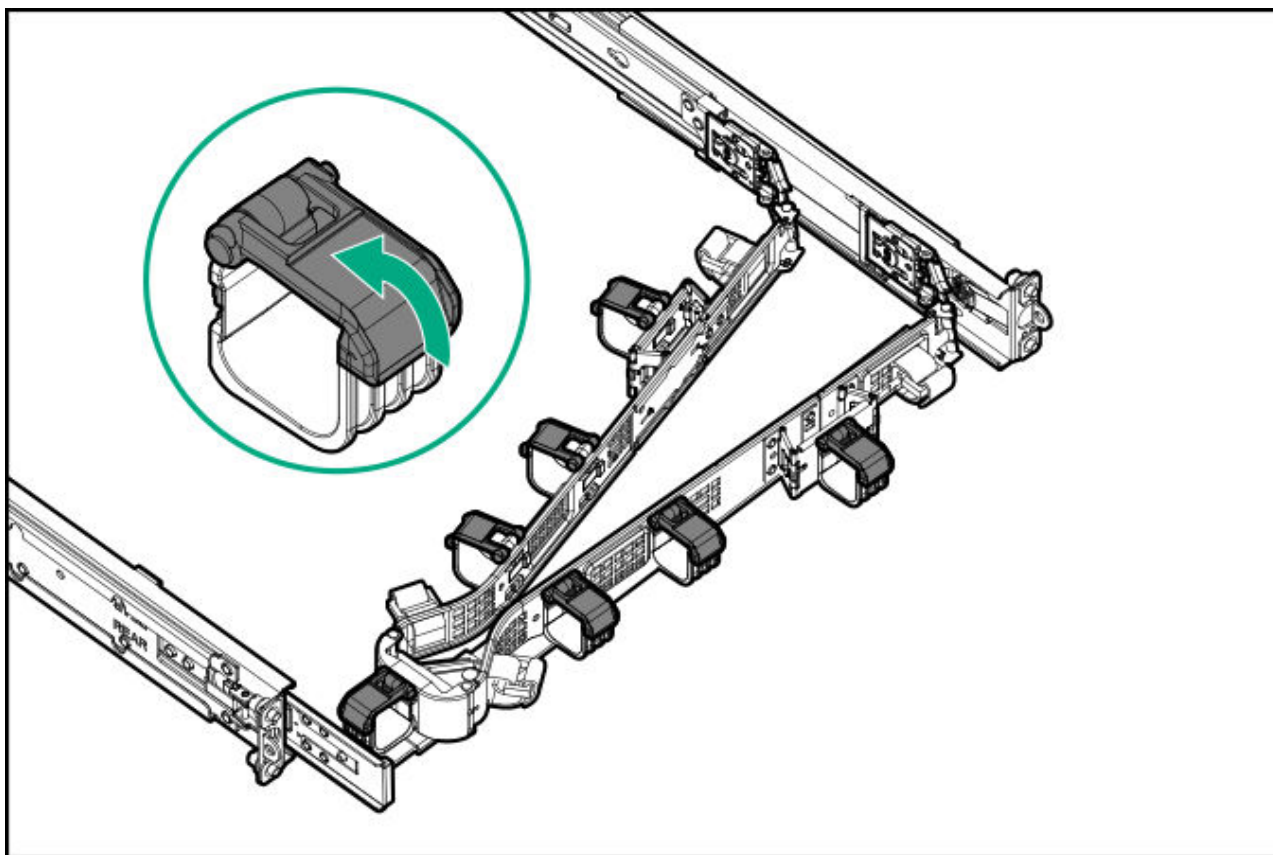
CMA ヒンジ付きタブと固定ブラケットをラックレールに取り付けます。

- a. 内側のタブをスライドレールに挿入します。
- b. 外側のタブをマウンティングレールに挿入します。
- c. 固定ブラケットを反対側のマウンティングレールに挿入します。

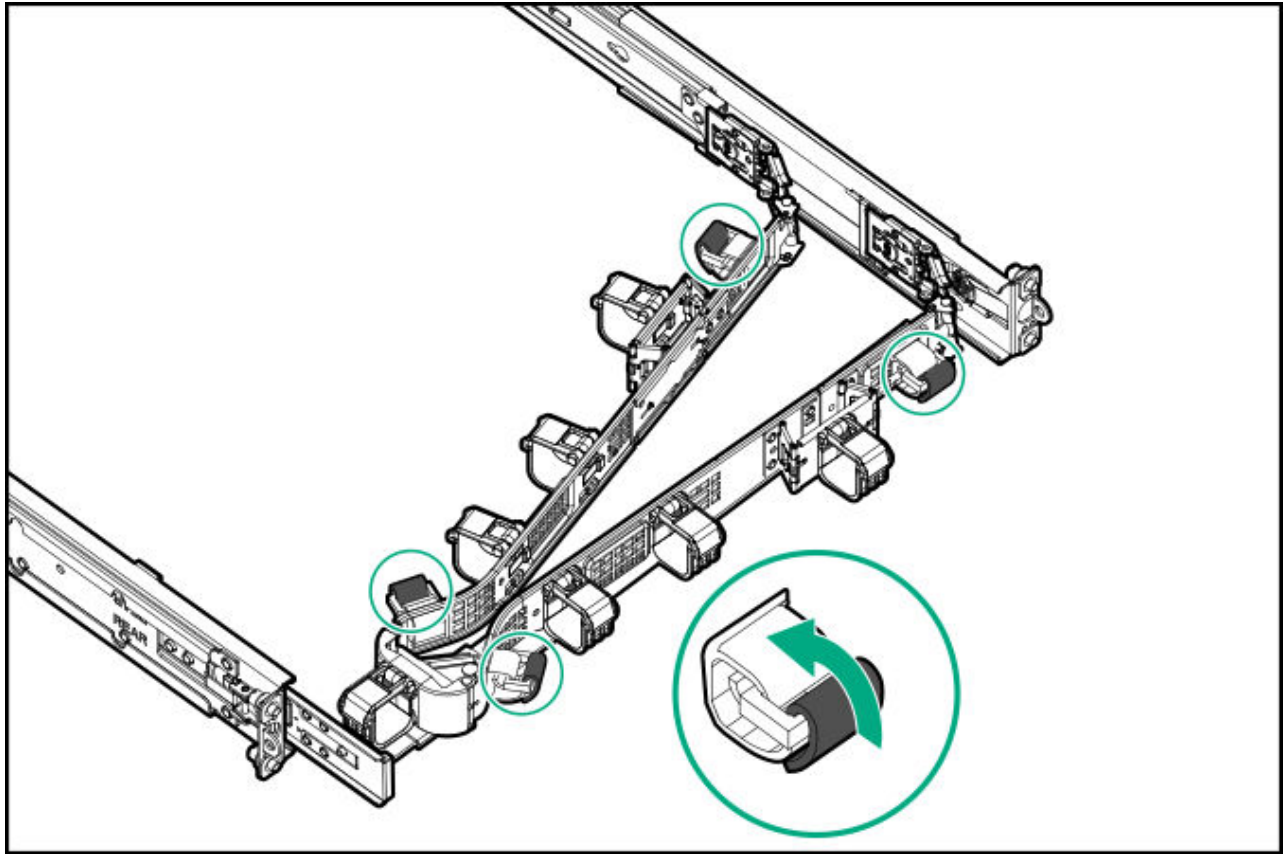
タブとブラケットが所定の位置にロックされたことを示すカチッという音がします。



ケーブルクランプを開きます。



- ・ (オプション) CMA にケーブルストレインリリーフを追加するためのケーブルストラップが付いている場合は、ストラップを外します。

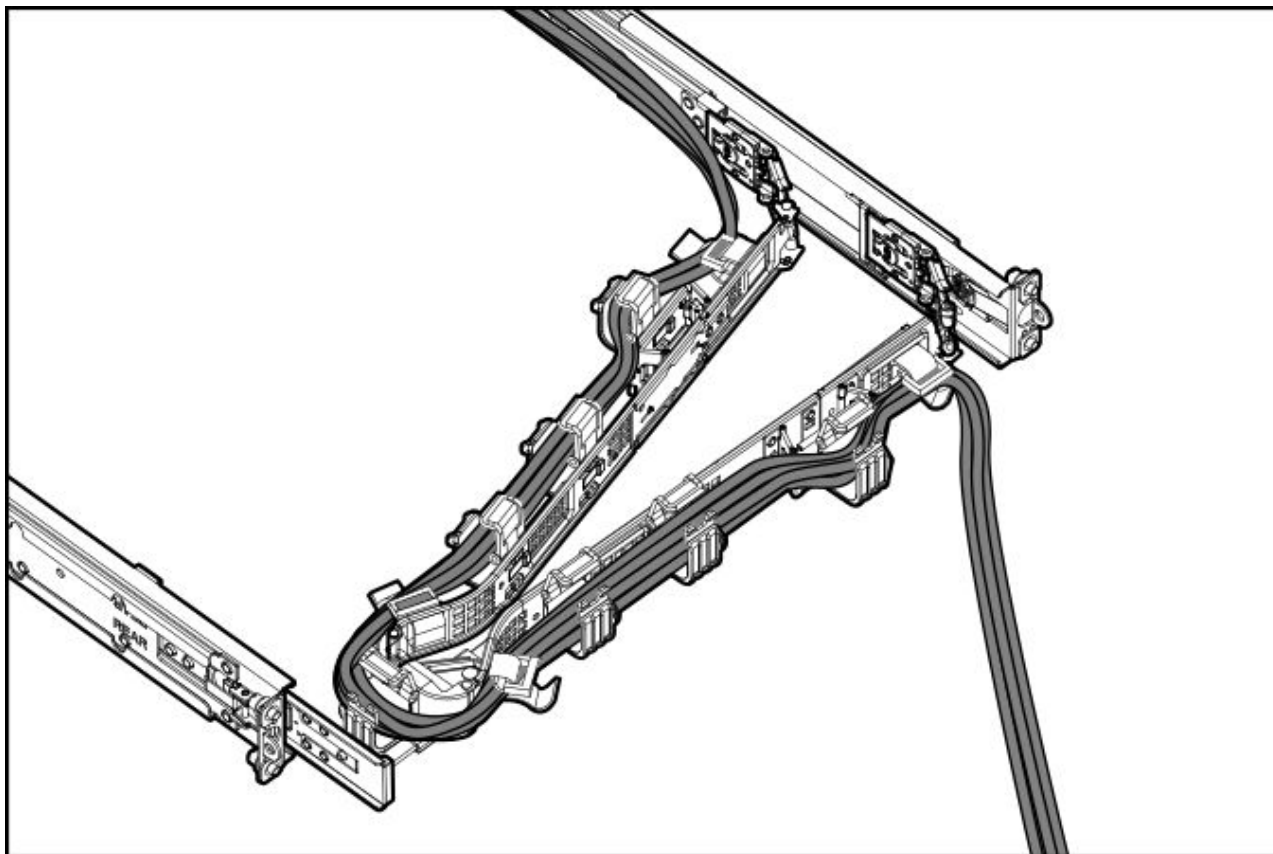


△ 注意

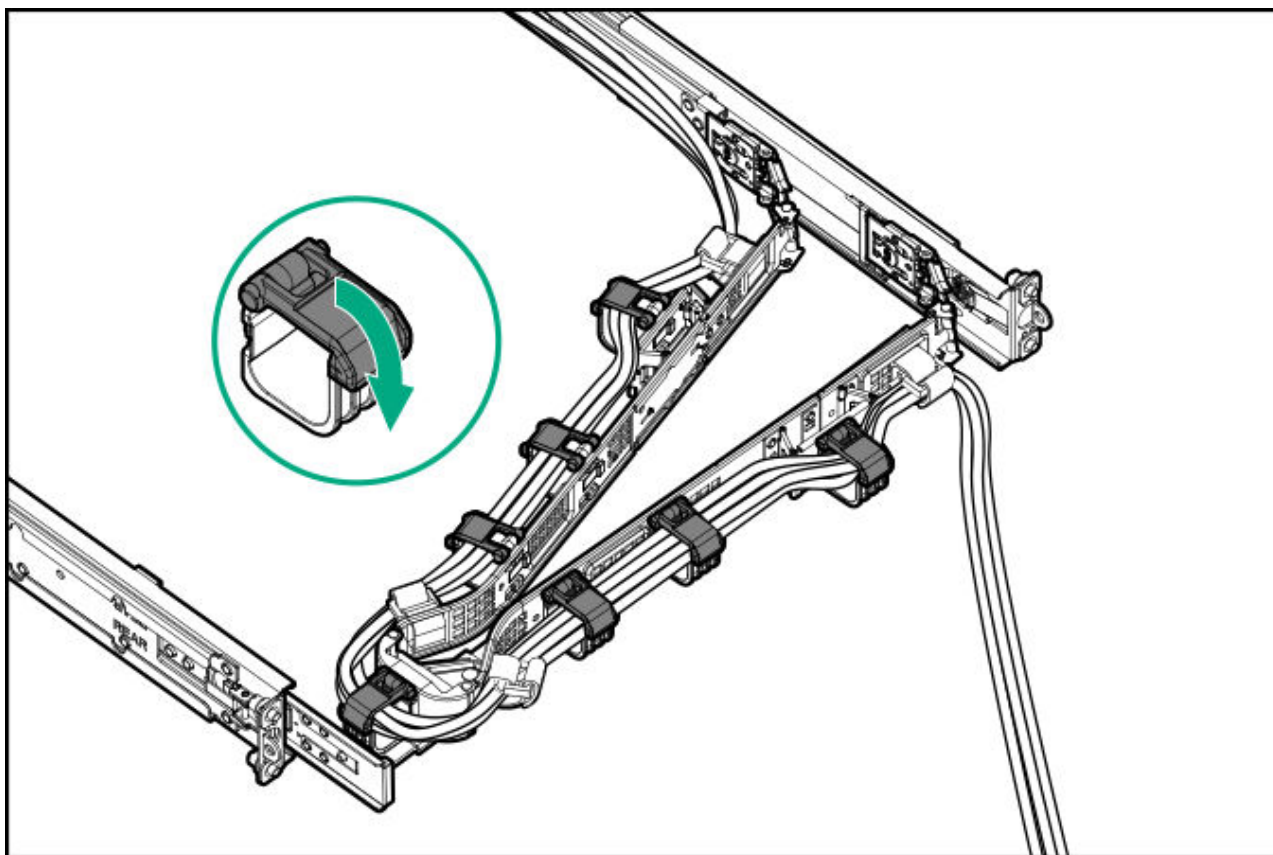
CMA に固定された周辺ケーブルと電源コードの管理には、業界のベストプラクティスを採用してください。これらはさらに重要なポイントのいくつかです。

- ・ リアパネルと CMA の間に十分なケーブルのたるみを残して、サーバーをラックから引き出す際に、CMA を完全に引き出せるようにします。
- ・ ただし、CMA 内に余分なケーブルのたるみがないようにしてください。これにより、ケーブルがからまり、ケーブルが損傷する可能性があります。
- ・ ケーブルと電源コードが、それらが接続されているサーバーの上部または底部を越えて伸びていないことを確認してください。さもないと、サーバーをラックから引き出すか戻すときに、ラックに取り付けられている他の機器にケーブルが引っかかる可能性があります。

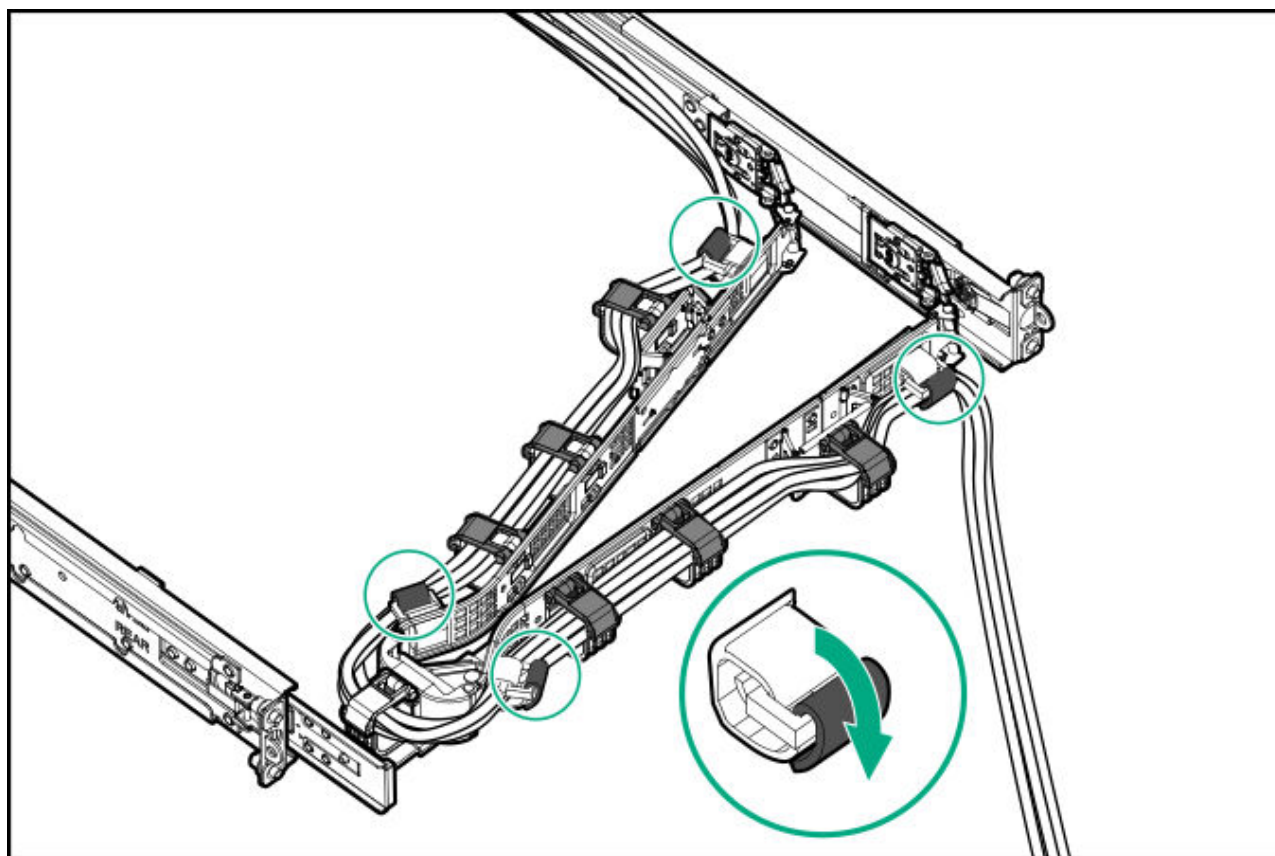
周辺ケーブルと電源コードをケーブルクランプやストラップに通します。



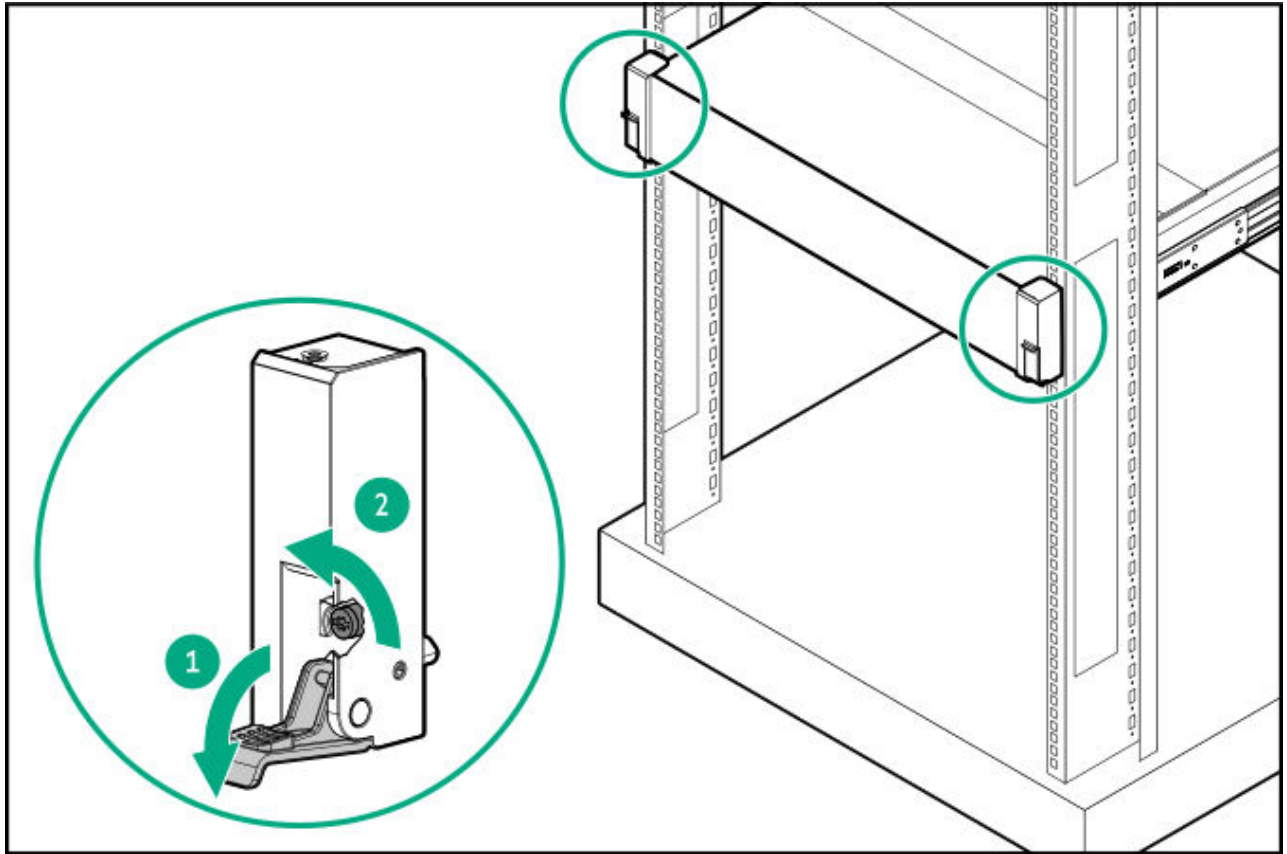
ケーブルクランプを閉じます。



- （オプション）CMA にケーブルストラップが付いている場合は、ストラップを締めます。



- ラックレールの動作を確認します。
 - a. ラックからシャーシを完全に引き出します。
 - b. シャーシを完全に引き出しても、ケーブルと電源コードに十分なたるみがあることを確認します。ケーブルが絡んだり折れたりしていないことを確認してください。
 - c. ケーブルとコードが正しく固定されていることを確認するには、シャーシをラックから出し入れします。周辺ケーブルと電源コードが誤って外れる恐れがないことを確認してください。
- シャーシイヤーがサーバーポストにぴったり接するまで、ラックをスライドさせてラックに押し込みます。
- （オプション）シャーシイヤーラッチを開き、輸送用ネジを締めます。



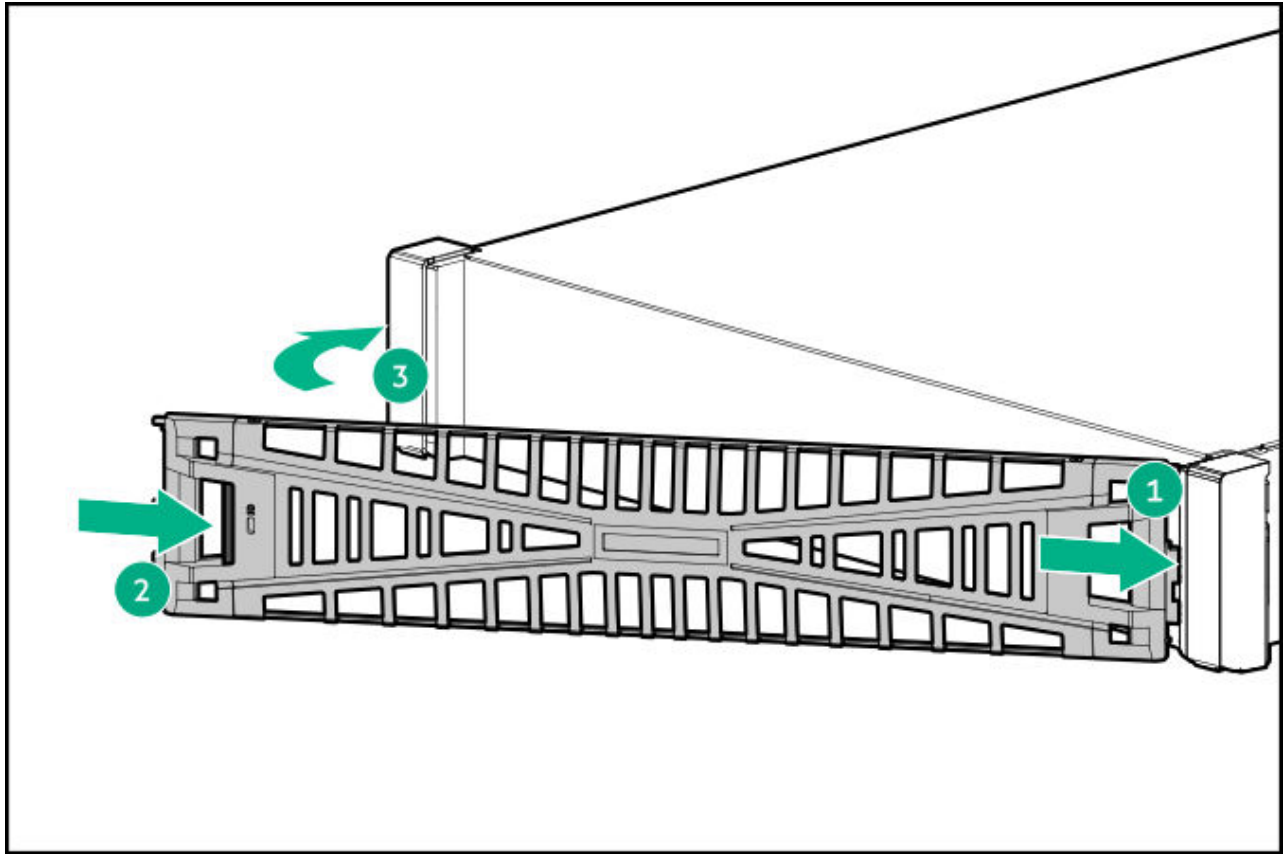
タスクの結果

取り付け手順は完了です。

フロントベゼルオプションの取り付け

手順

- 1. フロントベゼルを右側のシャーシヤーに接続します。
- 2. フロントベゼルのリリースラッチを押し続けます。
- 3. フロントベゼルを閉じます。



- ・ (オプション) Kensington セキュリティロックを取り付けます。

詳しくは、ロックのドキュメントを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ドライブオプション

取り付けられているドライブバックプレーンに応じて、サーバーは次のドライブタイプをサポートしています。

- ・ ホットプラグ対応 SFF (2.5 型) SAS、SATA、または U.3 NVMe ドライブ
- ・ ホットプラグ対応 E3.S E3.S NVMe SSD

内蔵 Intel VROC for HPE Gen11 (Intel VROC) では、直接接続された SATA および NVMe ドライブ用のソフトウェア RAID がサポートされています。

ハードウェア RAID をサポートするには、ストレージコントローラーオプションを取り付けます。

サブトピック

ドライブの取り付けのガイドライン
ホットプラグ対応 SFF (2.5 型) SAS、SATA、または NVMe ドライブの取り付け
E3.S ドライブの取り付け

ドライブの取り付けのガイドライン

次の一般的なガイドラインに従ってください。

- ・ システムがすべてのドライブ番号を自動的に設定します。



注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブランクが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブランクが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

- ・ ドライブを 1 台しか使用しない場合、最も小さいドライブ番号のベイに取り付けてください。
ドライブ番号については、ドライブベイの番号を参照してください。
- ・ このサーバーは、ドライブタイプの混在をサポートしていません。
- ・ NVMe ドライブを取り付ける場合は、同じタイプのドライブを取り付けてください。NVMe ドライブの混在はサポートされていません。
- ・ すべてのドライブを同じドライブアレイにまとめる場合は、以下の基準を満たす必要があります。
 - すべてのハードディスクドライブ、またはすべてがソリッドステートドライブでなければなりません。
 - ストレージの容量効率を最大限に高めるには、各ドライブを同じ容量にしてください。

ホットプラグ対応 SFF（2.5 型）SAS、SATA、または NVMe ドライブの取り付け

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

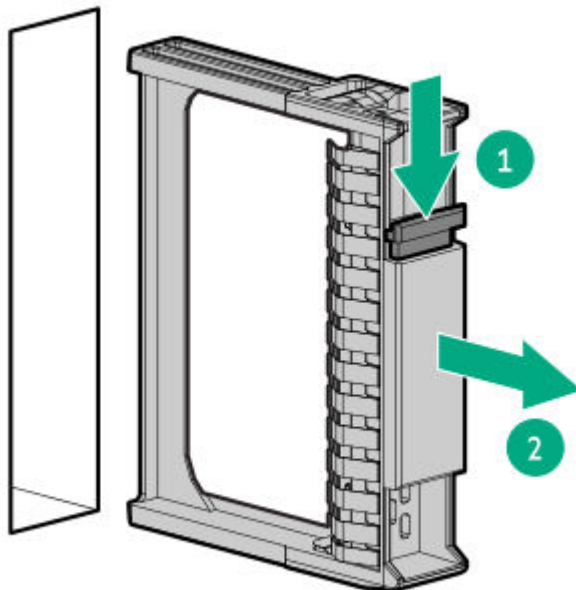
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

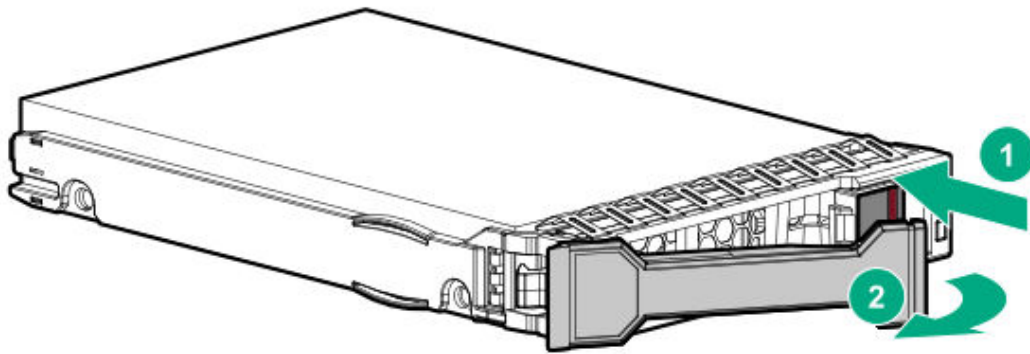
1. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。

2. ドライブブランクを取り外します。

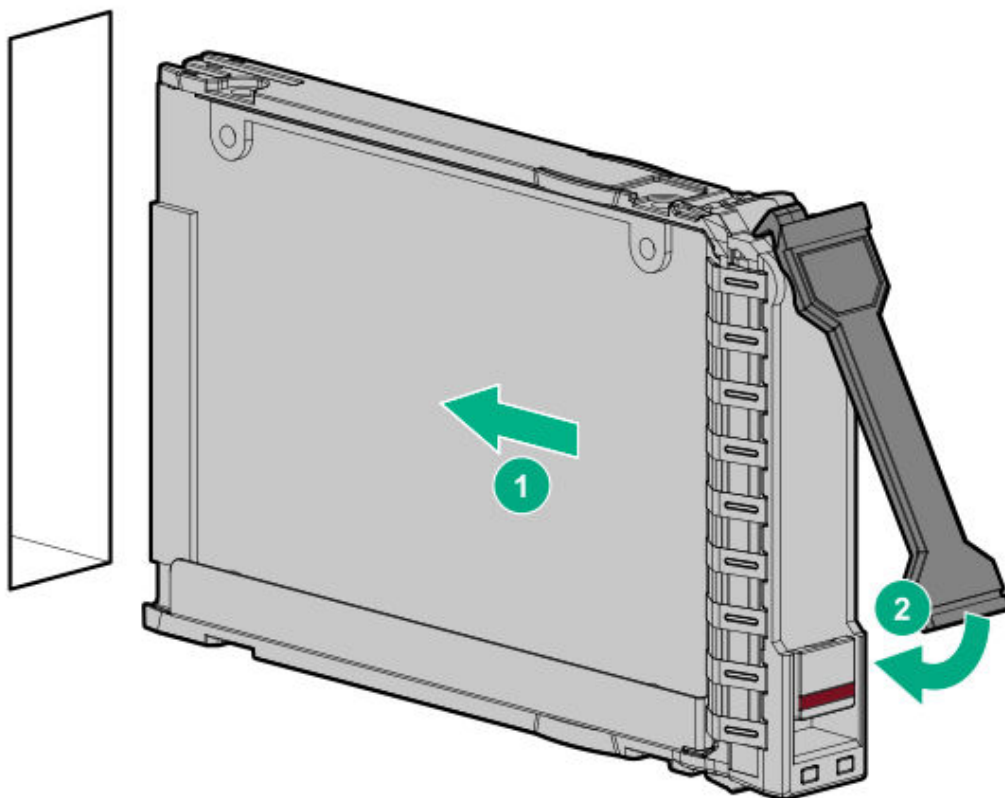
ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



3. ドライブを準備します。



- ドライブを取り付けます。



- ドライブ LED の定義から、ドライブのステータスを確認します。
- 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
- ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

E3. S ドライブの取り付け

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

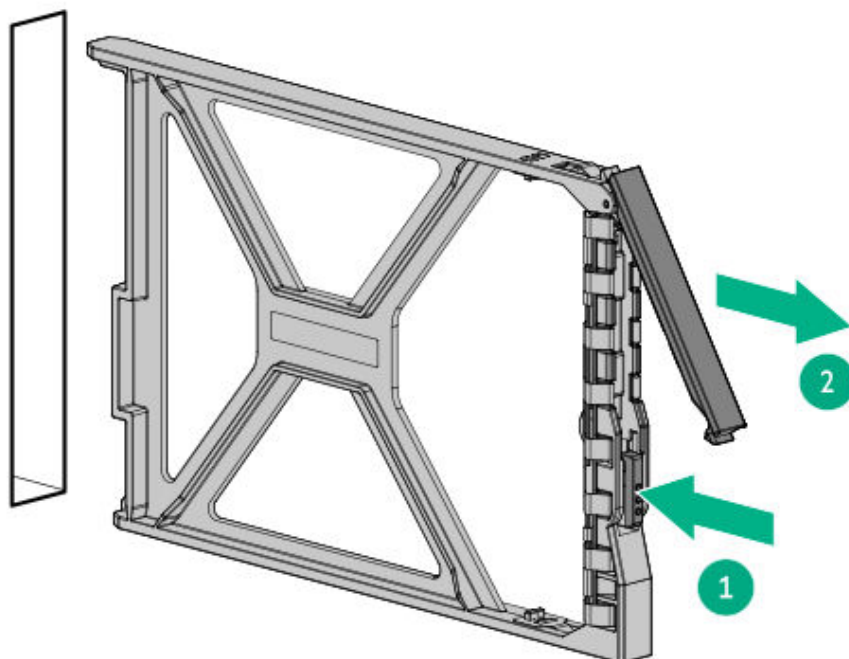


注意

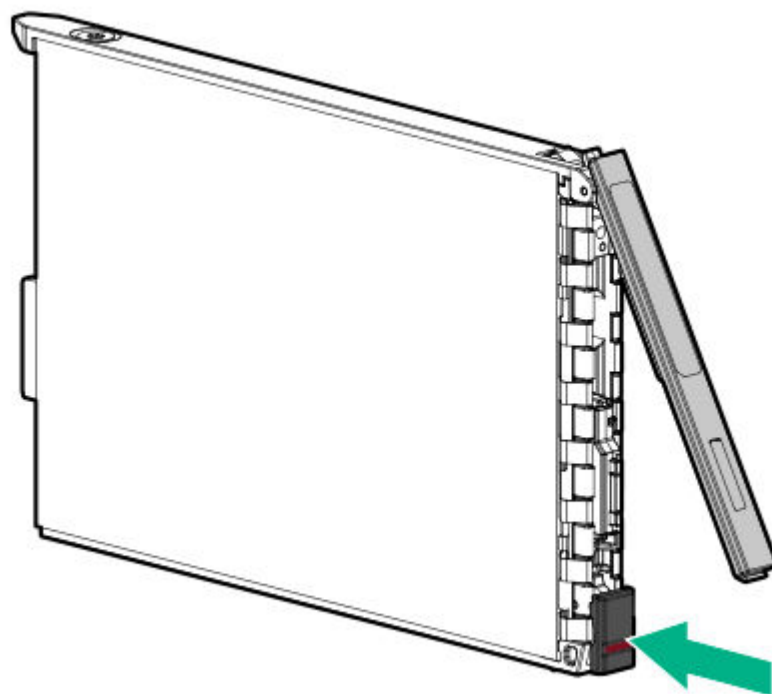
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

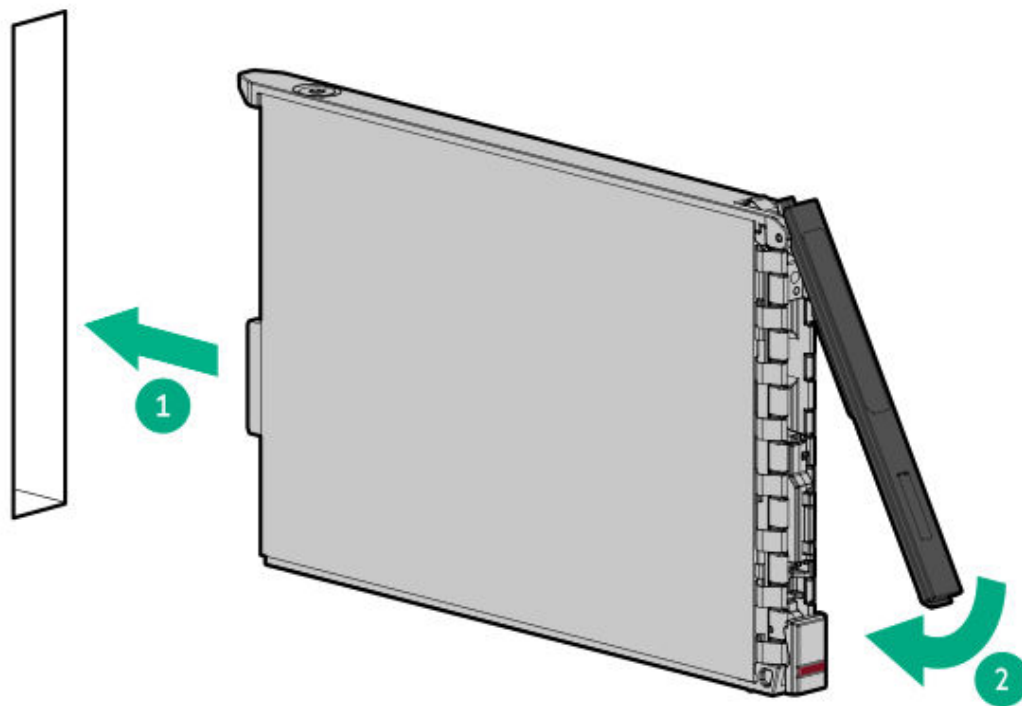
1. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
2. ドライブの LED ステータスを確認し、ドライブを取り外すことができるかどうかを判断します。
3. ドライブブランクを取り外します。
ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



4. ドライブを準備します。



- 1. ドライブを取り付けます。



- 2. ドライブ LED の定義から、ドライブのステータスを確認します。
- 3. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
- 4. ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

電源装置オプション

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーはサポートされる 電源装置 のいずれかで構成されます。

サブトピック

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

電源装置に関する警告と注意事項
DC 電源装置に関する警告と注意事項
電源装置の冗長性
DC 電源装置のワイヤーの色
AC 電源装置の取り付け
DC 電源装置の取り付け
DC 電源ケーブルの DC 電源への接続

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

ホットプラグ対応電源装置の仕様、およびサーバーの電気ならびに熱負荷を調べるための計算ツールについては、Hewlett Packard Enterprise Power Advisor の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/poweradvisor/online>) を参照してください。

電源装置に関する警告と注意事項



警告

感電または装置の損傷を防ぐために、以下の点に注意してください。

- ・ 電源コードのアース用プラグは常に取り付けてください。アース用プラグは安全上必要です。
- ・ 電源コードは、いつでも簡単に手の届くところにあるアース付きコンセントに接続してください。
- ・ 装置の電源を切る場合は、電源コードを電源装置から抜き取ってください。
- ・ 電源コードは、踏みつけられたり、上や横に物が置かれて圧迫されることがないように配線してください。プラグ、電源コンセント、サーバーと電源コードの接続部には、特に注意してください。



警告

感電を防止するために、電源装置のカバーを開けないようにしてください。メンテナンス、アップグレード、および修理はすべて資格のある担当者に依頼してください。



注意

異なるタイプの電源装置を同じサーバー内に混在させると、次のようになる場合があります：

- ・ 電源の冗長性のサポートを含む一部の電源装置の機能が制限されたり無効になる。
- ・ システムが不安定になり、シャットダウンすることがある。

使用可能なすべての機能にアクセスできるようにするには、同一サーバー内のすべての電源装置の出力と効率を同じ定格にする必要があります。すべての電源装置の部品番号とラベルの色が一致することを確認してください。

DC 電源装置に関する警告と注意事項



警告

感電の危険を減らすため、必ずケーブルのアースキットを正しく取り付け、適切な保護用アース端子に接続してから、ラックに電源を接続してください。



注意

この装置は、DC 供給回路のアース用導体と装置のアース用導体を接続できるように設計されています。上記の接続の場合、次の条件がすべて満たされている必要があります。

- ・ この装置は、DC 供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端末のバーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- ・ この装置は、同じ DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、および DC システムのアースポイントと同じ隣接区域（隣接するキャビネットなど）に設置する必要があります。DC システムは、別の場所でアースされている必要があります。
- ・ DC 供給源は、装置と同じ建物内に設置する必要があります。
- ・ スイッチや電源切断用のデバイスは、DC 供給源とアース電極導体の接続ポイントの間にある、アースされている回路導体には置かないでください。

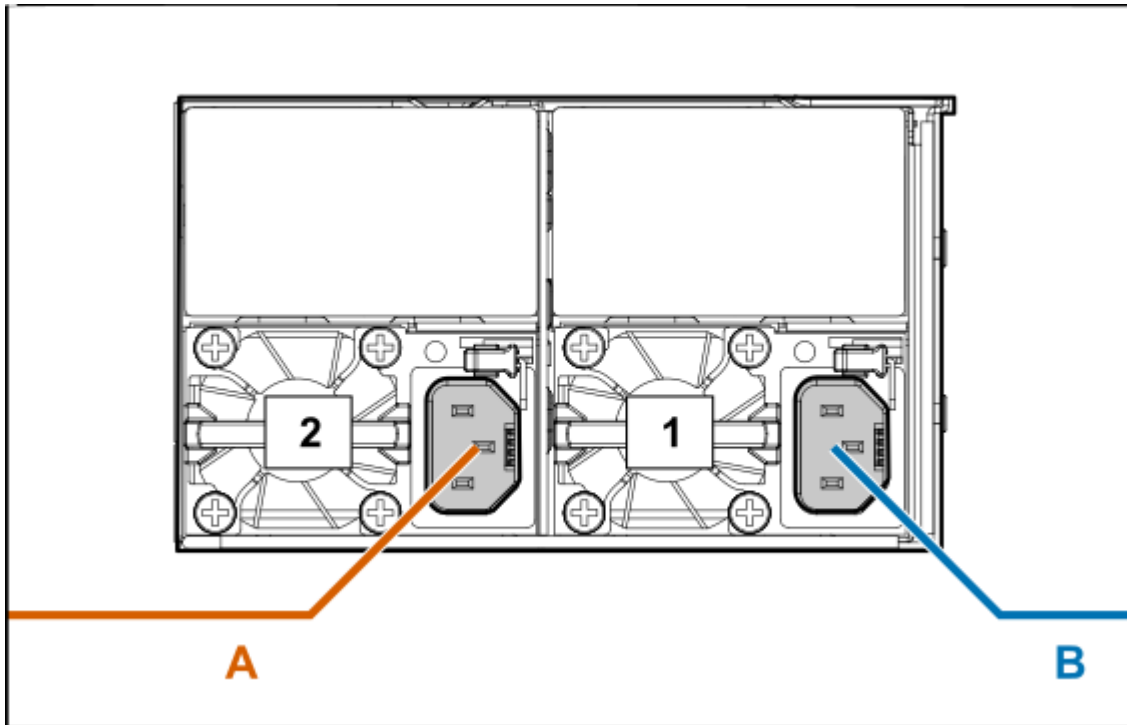
電源装置の冗長性

このサーバーは、2 台または 4 台の電源装置をサポートします。

2 電源装置構成

2 電源装置構成では、サーバーは 1 + 1 の冗長性をサポートします。1 台の電源装置が故障しても、サーバーは稼働を継続します。

電源装置 1（青色）と電源装置 2（オレンジ色）は、冗長性のために水平方向での取り付けをサポートしています。

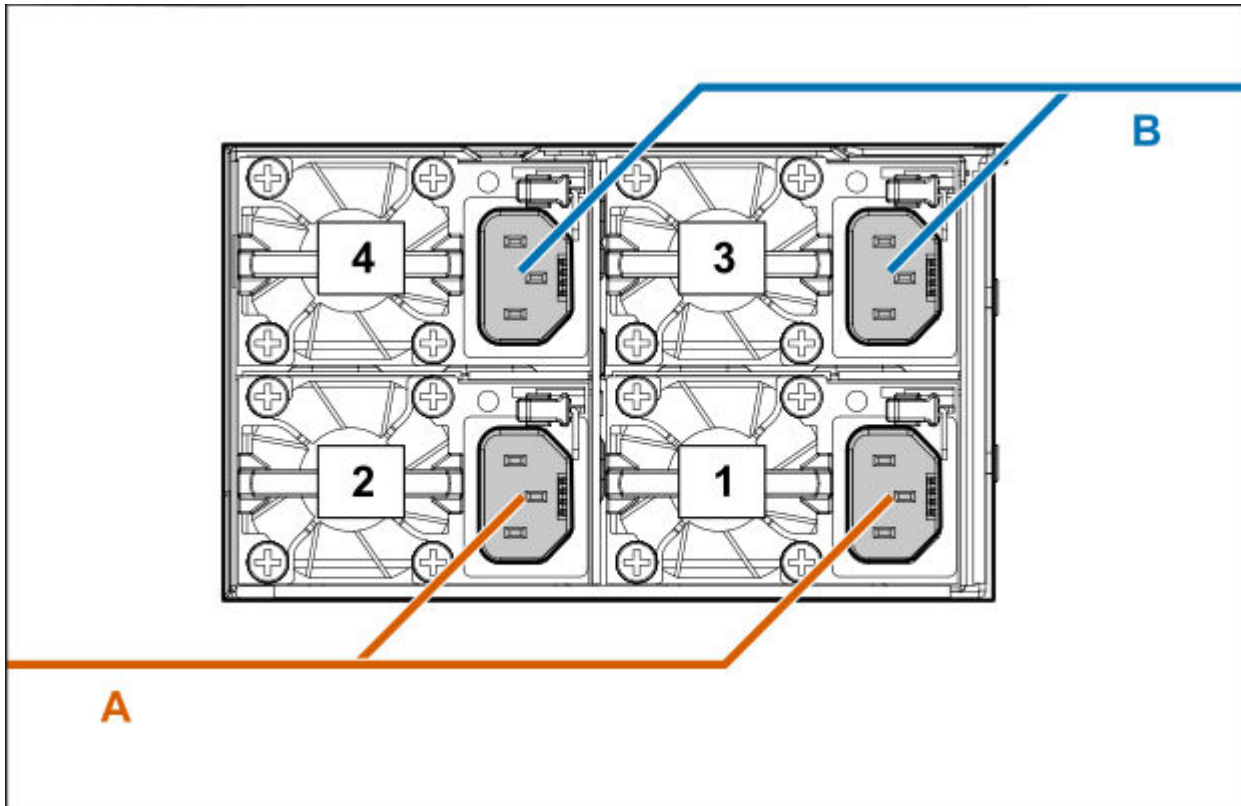


4 電源装置構成

4 電源装置構成では、サーバーは次の冗長モードをサポートします。

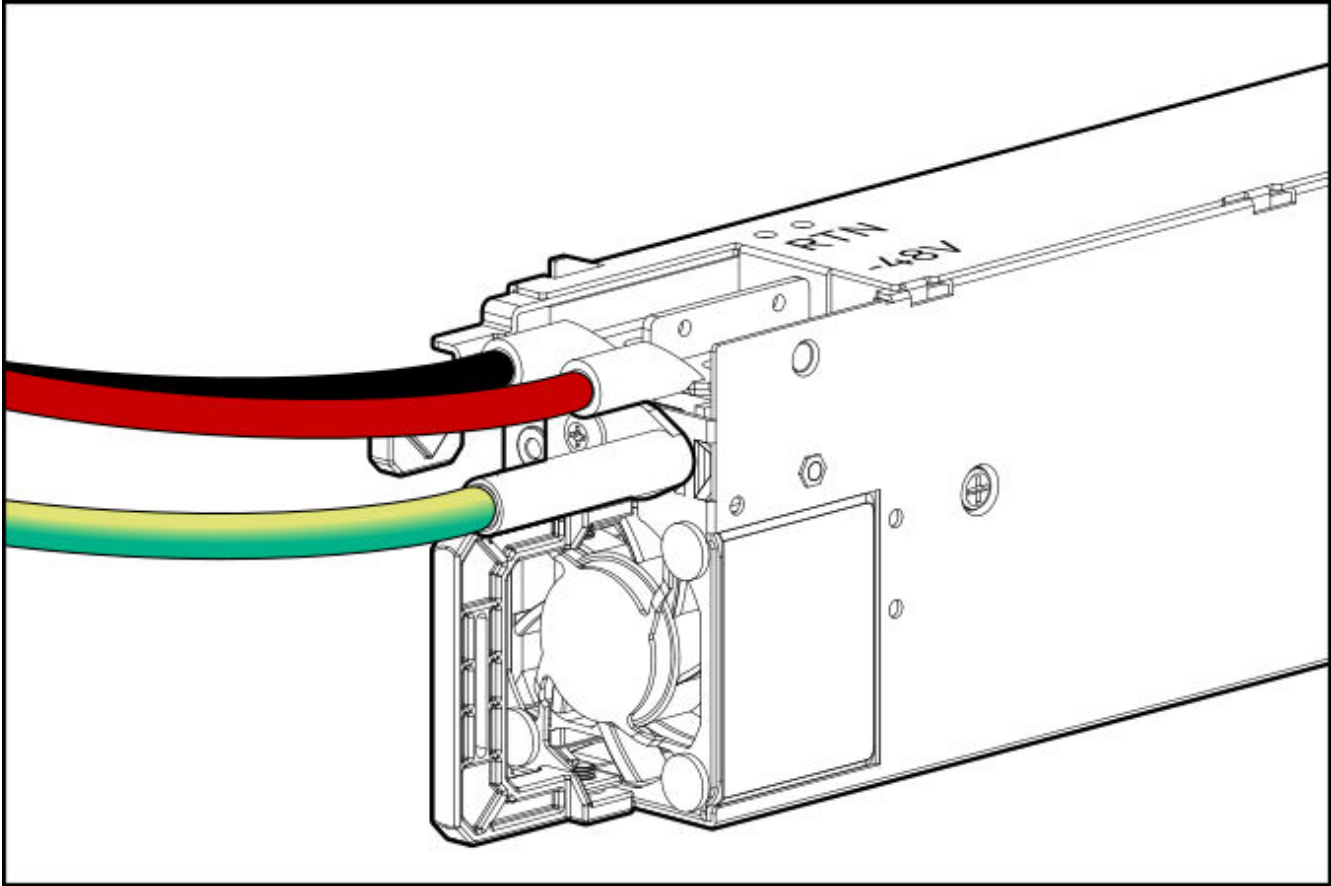
- ・ 2 + 2 の冗長性 - 2 台の電源装置が故障するか、1 つの電源装置供給の電源が失われても、サーバーは稼働を継続します。
- ・ 3 + 1 の冗長性 - 1 台の電源装置が故障しても、サーバーは稼働を継続します。2 台の電源装置が故障した場合、サーバーはオペレーティングシステムのシャットダウンを開始します。電源の冗長性は使用できません。
- ・ 4 + 0 の冗長性 - 電源装置の冗長性はありません。サーバーは、冗長性が供給できるよりも多くの電源を消費し、1 台以上の電源装置が故障すると、オペレーティングシステムのシャットダウンを開始します。

4 電源装置構成では、サーバーはデフォルトで 2 + 2 の冗長性を確保するように構成されます。電源装置 1 および 2（オレンジ色）と電源装置 3 および 4（青色）は、冗長性のために水平方向での取り付けをサポートしています。



UEFI システムユーティリティで電源の冗長性設定を確認またはアップデートするには、サーバーの電源装置冗長性設定の調整を参照してください。

DC 電源装置のワイヤーの色



ワイヤーの色	説明	ワイヤースロット
赤色	ラインワイヤー	-48V
黒色	リターンワイヤー	Return
緑色+黄色	アース用ワイヤー	安全アース

AC 電源装置の取り付け

前提条件

電源装置オプションを取り付ける前に、電源装置に関する警告と注意事項をお読みください。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラंक、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。



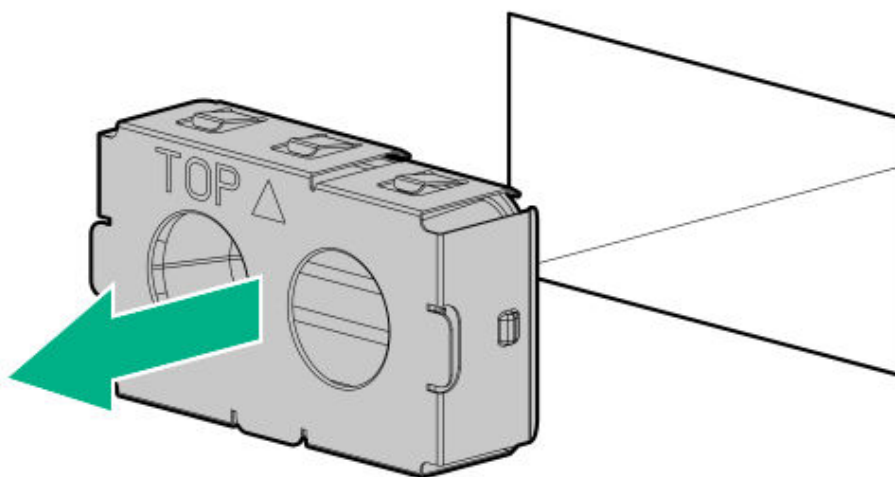
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラंकのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

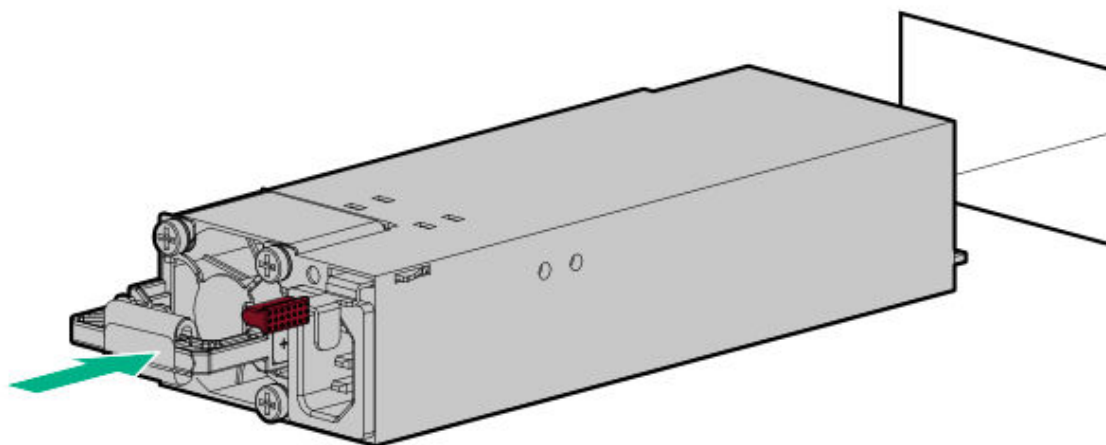
手順

1. 電源装置ブラंकを取り外します。

ブラंकは、将来使用できるように保管しておいてください。



2. 電源装置を取り付けます。

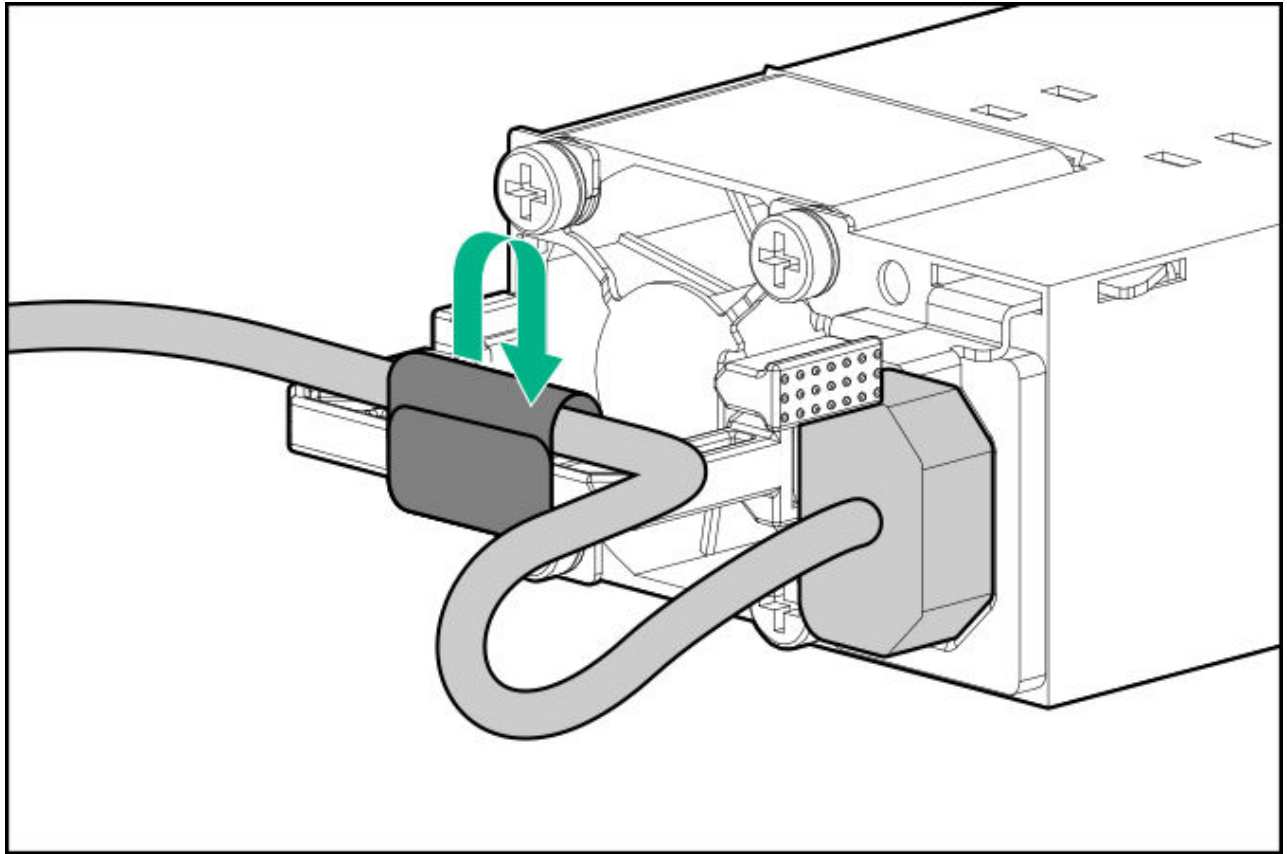


- 1. 電源コードを電源装置に接続します。
- 2. 電源コードを固定します。



注意

電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。



1. 電源コードを接続します。
 - a. 各電源コードをサーバーに接続します。
 - b. 各電源コードを電源ソースに接続します。
2. 電源装置 LED が緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

DC 電源装置の取り付け

前提条件

- ・ 電源装置を取り付ける前に、以下の記載をお読みください。
 - [電源装置に関する警告と注意事項](#)
 - [DC 電源装置に関する警告と注意事項](#)

- DC 電源装置のワイヤーの色

- ・ この手順を実行する前に、プラスドライバー（No. 2）を用意しておきます。
- ・ 電源ケーブルを接続する前に、次の点を確認してください。
 - お客様が用意した電源ケーブルで使用するために、オプションの P36877-B21 HPE ラグキットを HPE 製品販売店から購入できます。（以下にリストされている電源ケーブルとラグキットは、1600 W -48 VDC 電源装置でのみ使用できます。）
 - 入力電源コードオプションを使用している場合は、P22173-B21 HPE 1600 W DC PSU 電源ケーブルキットを HPE 製品販売店から購入できます。
 - DC 電源装置オプションキットには、電源装置の DC ケーブルキットが付属していないため、電源装置ケーブルラグキットが含まれていない場合があります。DC ケーブルキット（オプション）または DC ケーブルラグキット（オプション）は、Hewlett Packard Enterprise または HPE 製品販売店から直接購入できます。詳しくは、<https://www.hpe.com/info/fsps-qs> にある電源装置の QuickSpecs を参照してください。

このタスクについて

入力電源コードオプションを使用しない場合、電源装置のケーブル接続は資格のある電気技師と相談した上で行い、ご使用の地域の規定に準拠している必要があります。



警告

感電、火災、または装置の損傷を防止するために、この製品の取り付けについては、必ず、以下のガイドラインに従ってください。

- ・ HPE 1600 W FS DC-48V パワーサプライは、立ち入りが制限された場所に設置されたサーバーへの取り付け専用です。
- ・ HPE 1600 W FS DC-48V パワーサプライは、DC 供給分岐回路に直接接続するものではありません。必ず、各 DC 電源装置用の独立した過電流保護の出力を提供するパワーディストリビューションユニット (PDU) に接続してください。PDU の過電流保護出力装置は、それぞれ DC 電源から利用可能な電流の障害を防止するのに適していなければなりません。また、最大 45 A の定格でなければなりません。
- ・ PDU 出力は、各電源装置への電力を切断する遮断器または回路ブレーカーを備えている必要があります。電源装置の電源を完全に切るには、PDU で電力を切断してください。最終的な電力供給先の製品は、複数の電源装置を備えている場合があります。そのような製品の電源を完全に切るには、各電源装置への電力を切断してください。
- ・ この電源装置は、情報技術機器および通信機器に関する各国の適合した要件に従って、SELV または TNV として分類された DC 電源にのみ接続されます。通常、これらの要件は、IEC 60950-1/IEC 62368-1 の International Standard for Information Technology Equipment に基づいています。各地域の電源に関する規定に従って、DC 供給源にはアース端子に確実に接続できる電極 (Neutral/Return) が 1 本備わっている必要があります。
- ・ 電源装置の前面にある電源装置アース用ネジを、必ず、適切なアース端子に接続してください。この端子は、各地域の電源に関する規定に従って、必ず、建物内の適切なアース端子に接続してください。十分なアースを継続して提供できるように、ラックまたはキャビネットシャーシの上に物を置かないでください。

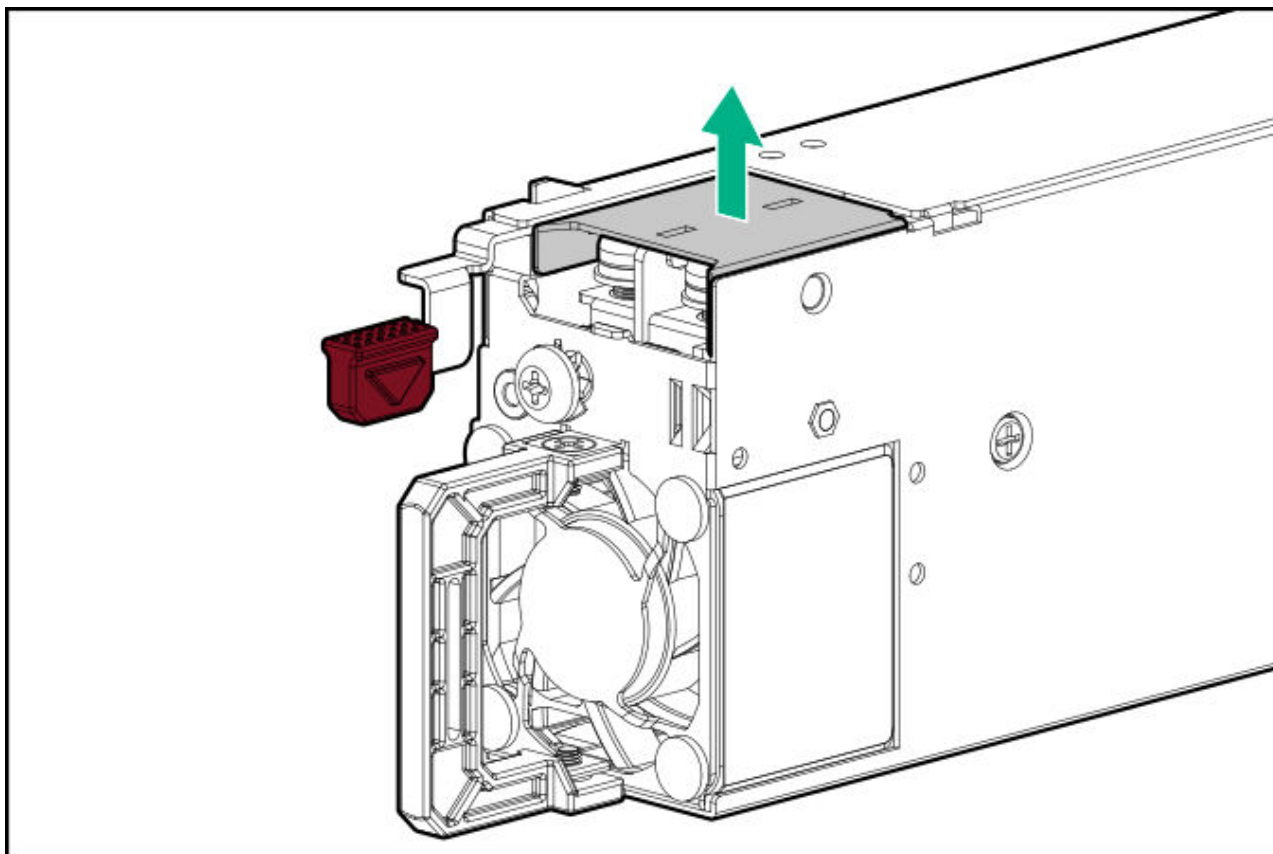


警告

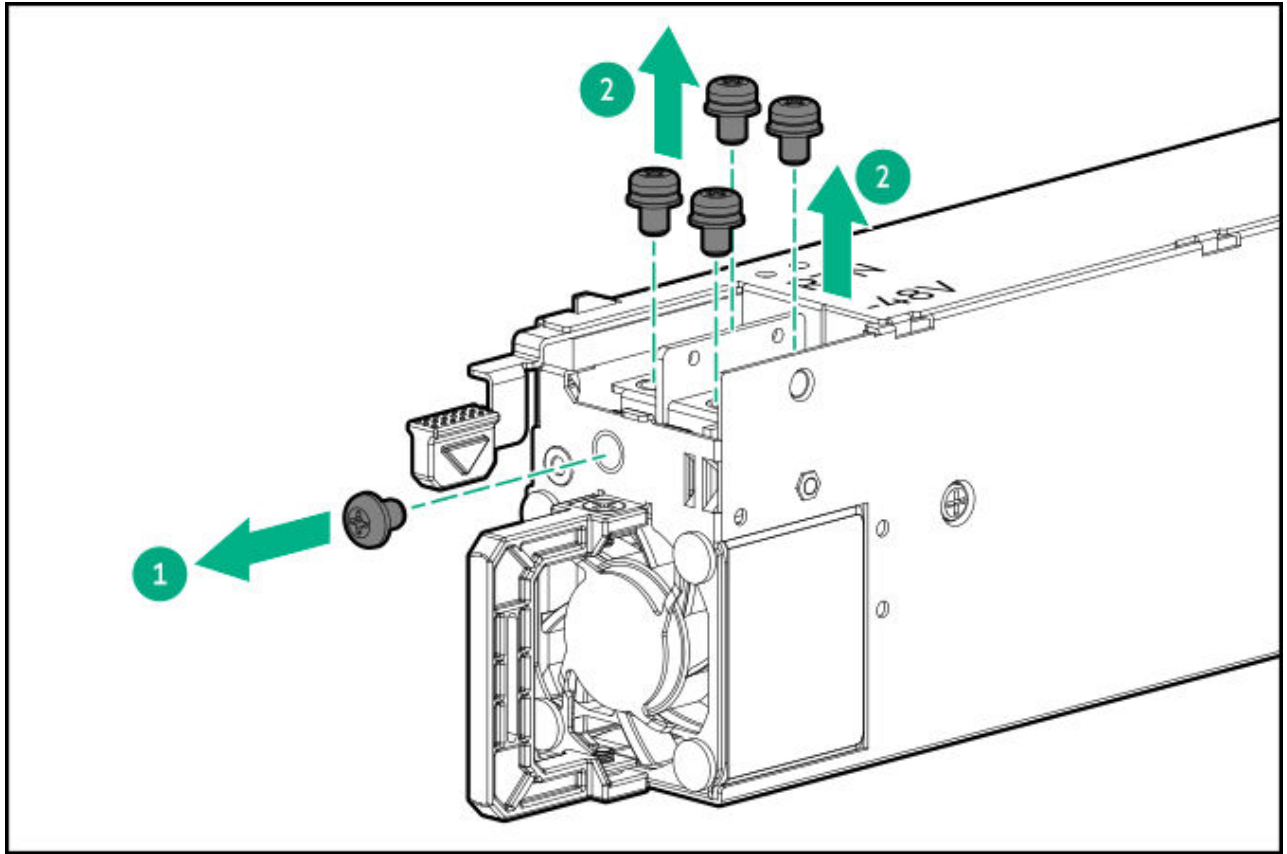
表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラック、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に

手順

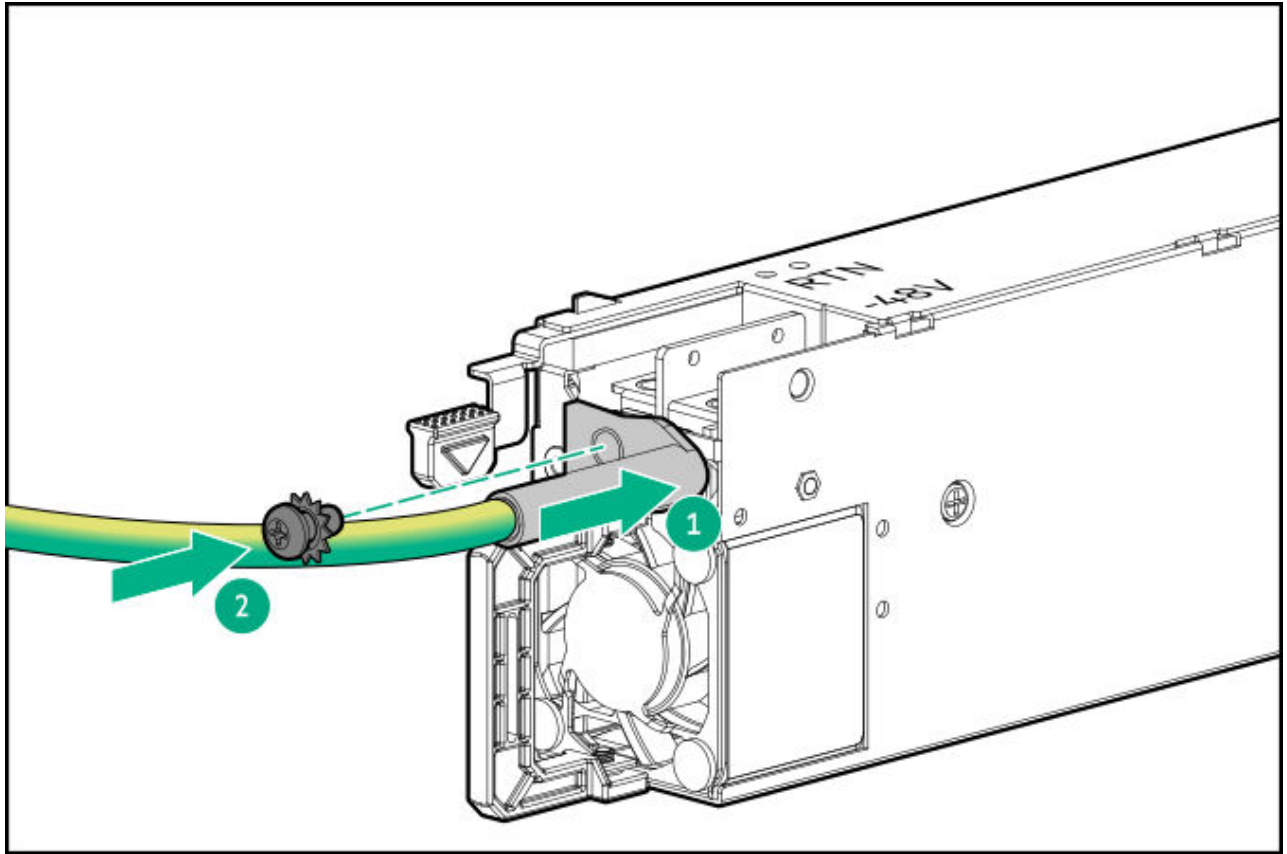
1. 電源装置から保護カバーを取り外します。



2. アース線のネジを取り外してから、リターンワイヤーとラインワイヤーのネジを取り外します。

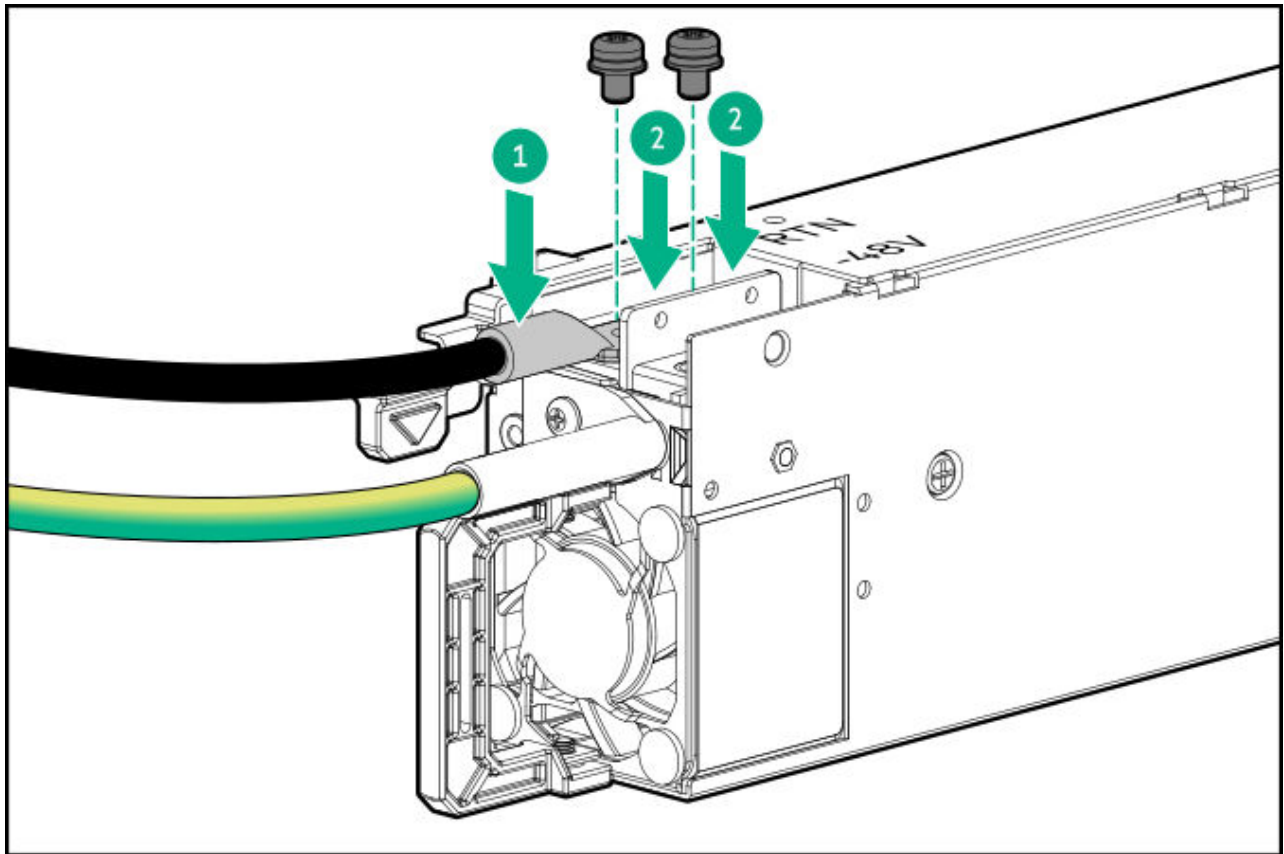


アース線（緑色と黄色）を DC 電源装置に接続し、ネジとワッシャーを 1.47 N-m (13 lbf-in) トルクで締めます。

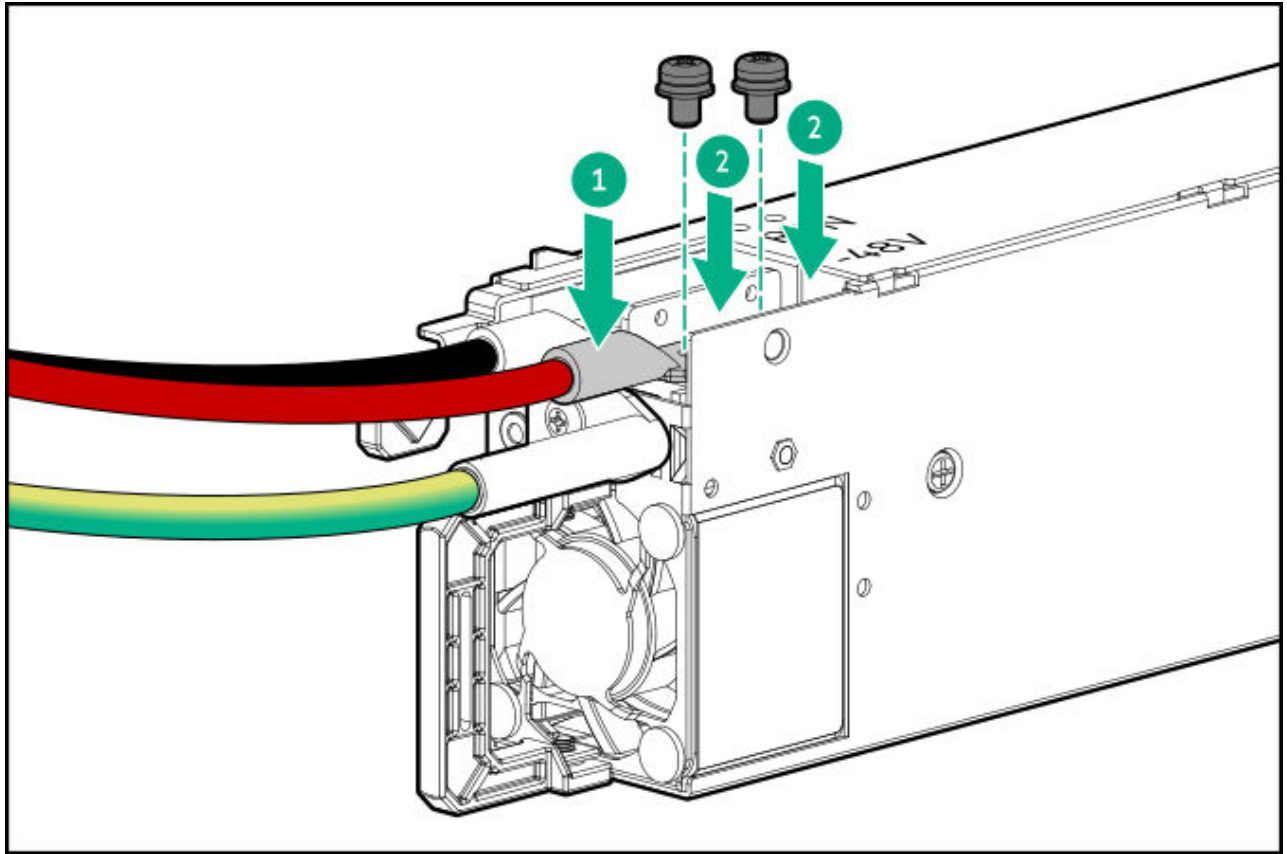


リターンワイヤー（黒色）を取り付けます。

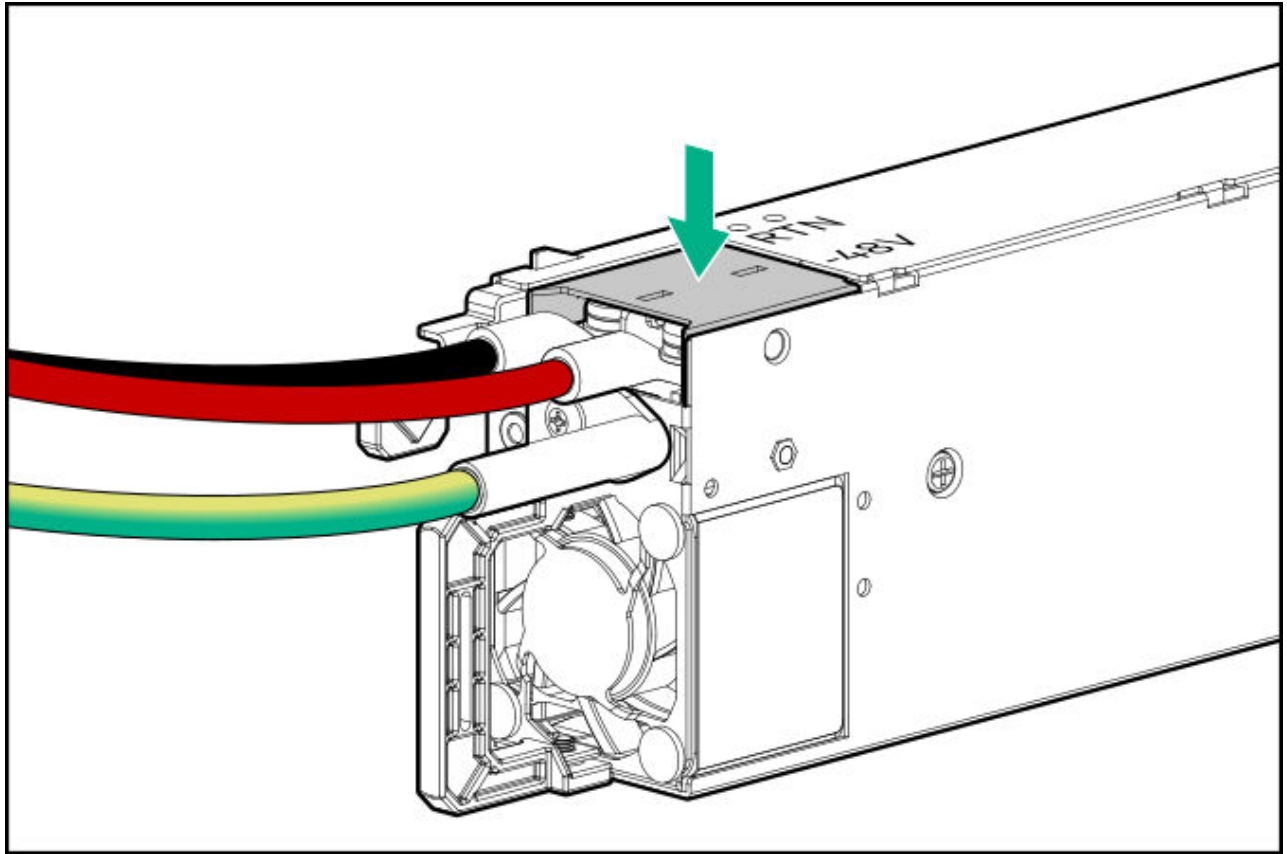
- a. リターンワイヤーを DC 電源装置の RTN スロットに挿入します。
- b. 0.98 N-m (8.68 lbf-in) トルクでネジを締めます。



1. ラインワイヤー（赤色）を取り付けます。
 - a. ラインワイヤーを DC 電源装置の-48V スロットに挿入します。
 - b. ネジを 0.98 N-m (8.68 lbf-in) トルクに締めます。



- ④ DC 電源装置に保護カバーを取り付けます。
保護カバーがロックされていることを確認します。

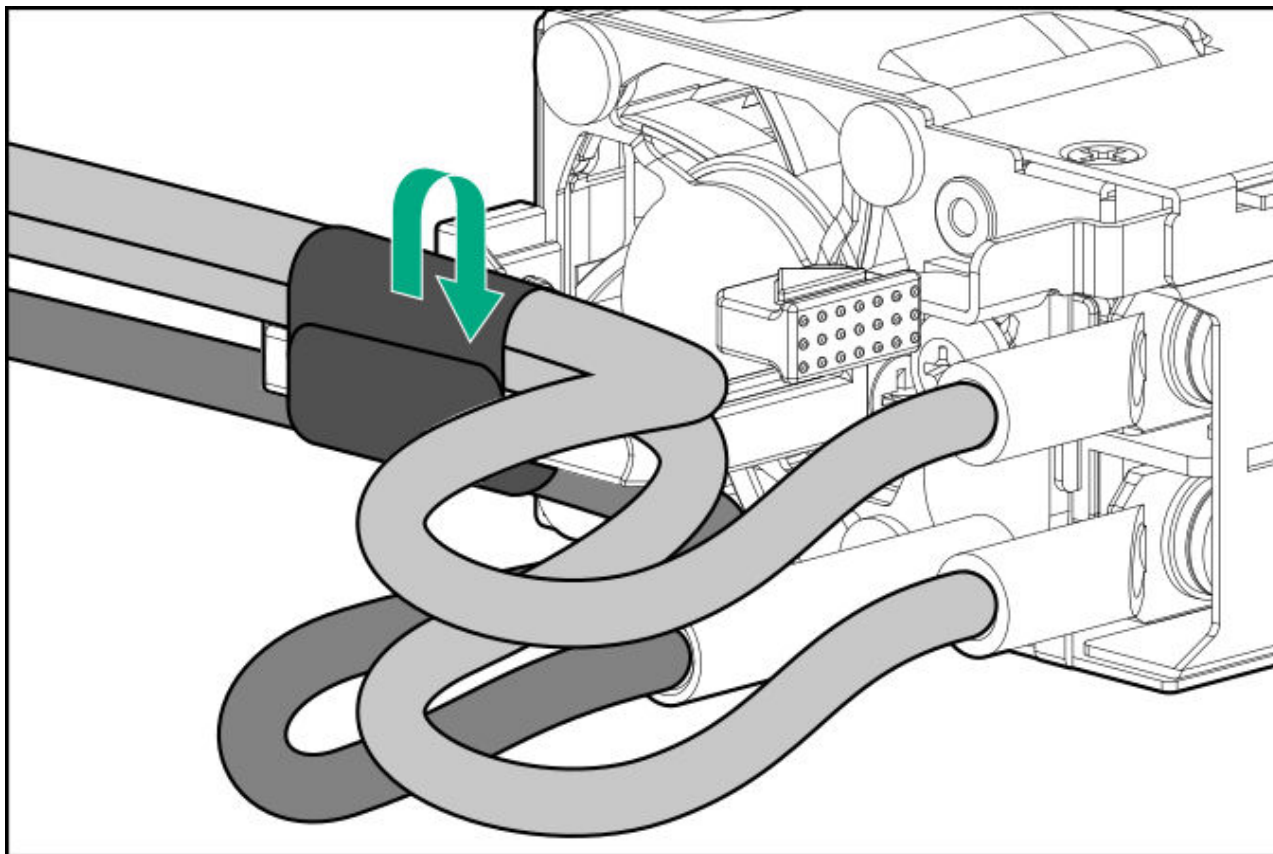


アース、正のリターン、および負の入力ワイヤーをストレインリリーフストラップに固定します。

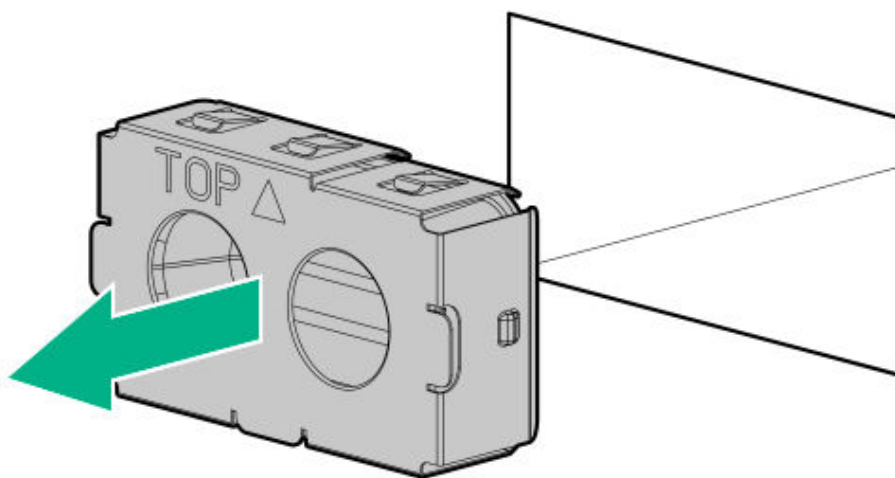


注意

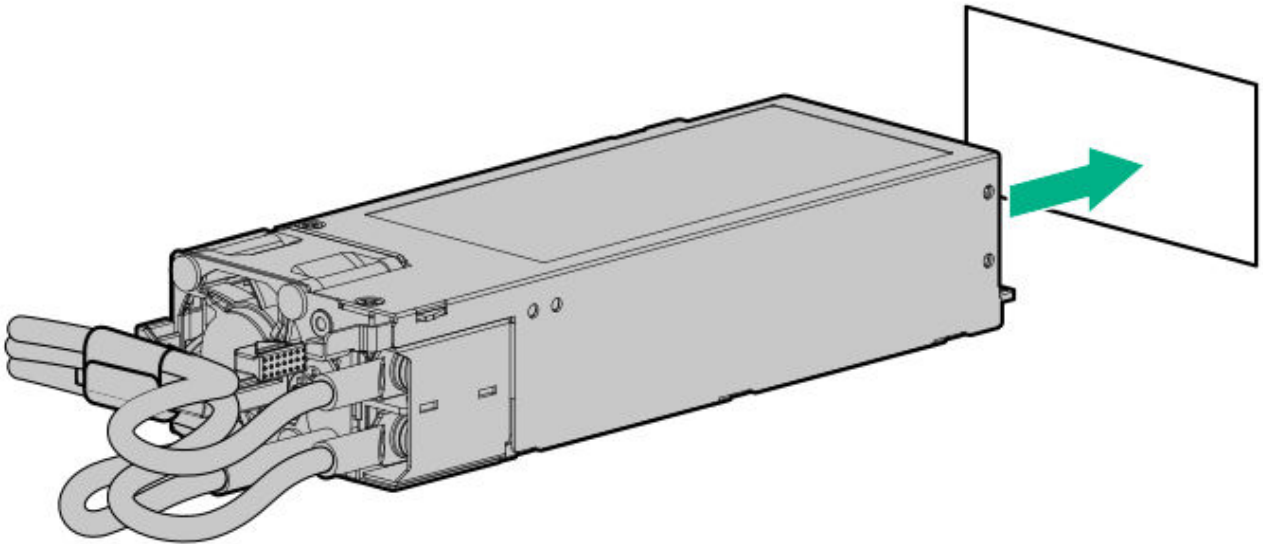
電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。



電源装置ベイ 2 に電源装置を取り付ける場合は、電源装置ブラックを取り外します。
ブラックは、将来使用できるように保管しておいてください。



電源装置が所定の位置にカチッと収まるまで、すぐにベイにスライドさせて押し込みます。



- 必ず、-48 V DC 電源をオフにするか PDU ブレーカーをオフの位置にしてから、電源コードを-48 V DC 電源または PDU に接続します。
- 48 V 電源をオンにするか PDU ブレーカーをオンの位置にして-48 V の電力を電源装置に供給します。
- DC 電源ケーブルと DC 電源を接続します。
- 電源装置 LED が緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

DC 電源ケーブルの DC 電源への接続

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- 電線カッター
- 手動圧着工具

このタスクについて



警告

感電や高電圧によるけがを防止するために、次の注意事項を守ってください。

- ・ この装置は、訓練を受けたサービス担当者が、地方および地域の電気規定および規制に従って設置する必要があります
- ・ 正しくアースされているセカンダリ回路の電源に、装置を接続してください。セカンダリ回路はプライマリ回路と直接の接続はなく、変圧器、コンバーター、または同等の隔離装置から電力を得ます。
- ・ DC 電源の過電流保護は 45 A を超えてはなりません。



警告

DC 電源装置を取り付ける際には、正極または負極リードを接続する前にアース線を接続する必要があります。



警告

電源装置の取り付け手順やメンテナンスを実行する前に、電源装置の電源を切ってください。



注意

サーバー装置で、DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体が接続されます。詳しくは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。



注意

DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体がサーバー装置で DC 接続されている場合は、次の条件を満たす必要があります。

- ・ この装置は、DC 供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端子のバーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- ・ 装置は、同じ DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、および DC システムのアースポイントと同じ隣接区域（隣接するキャビネットなど）に設置してください。DC システムは、別の場所でアースされている必要があります。

手順

- DC 電源コードが 150.00 cm (59.06 インチ) 以上になるように切ります。



重要

リング端子は、UL 認定の 6 AWG ワイヤーに対応するものである必要があります。



重要

ピラーまたはスタッドタイプの端子の最小公称ネジ径は、3.50 mm (0.138 インチ) にする必要があります。また、ネジタイプの端子の直径は、5.00 mm (0.197 インチ) にする必要があります。

- 電源にリングトングが必要な場合は、圧着工具を使って電源コード線とアース線にリングトングを取り付けます。
 - 同色ワイヤーごとにまとめて、同じ電源に取り付けます。
- 詳しくは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。

トランシーバーオプション

トランシーバーは、高速パフォーマンスを維持するためにアダプターとネットワークケーブル間の接続として機能します。

サブトピック

トランシーバーに関する警告および注意事項
トランシーバーの取り付け

トランシーバーに関する警告および注意事項



警告

光ファイバートランシーバーおよびトランシーバーに接続されている光ファイバーケーブルは、目に損傷を与える可能性があるレーザー光を放出します。目への損傷を避けるため、電源投入時に光ファイバートランシーバーの光線や光ファイバーケーブルの両端を直視しないでください。



注意

トランシーバーのポートに埃が溜まっていると、ケーブル接続が不良になることがあります。埃の侵入を防ぐには、未使用のトランシーバーポートにダストプラグを取り付けます。



注意

サポート対象のトランシーバーは、ホットスワップ（サーバーの電源が入った状態で、取り外しと取り付けを行う）ことができます。ただし、トランシーバーまたは光ファイバーケーブルに損傷が及ぶ可能性を防ぐため、ホットスワップの前にケーブルをトランシーバーから外してください。



注意

トランシーバーの取り外しや取り付けは、絶対に必要な場合にのみ行ってください。それらの作業を行うと、トランシーバーの耐用期間が短くなる可能性があります。



重要

トランシーバーを異なるタイプの製品と交換した後も、サーバーは交換されたトランシーバーで設定していたポート固有の構成を維持します。必要に応じて、ポート設定を確実に検証または再構成してください。

トランシーバーの取り付け

前提条件

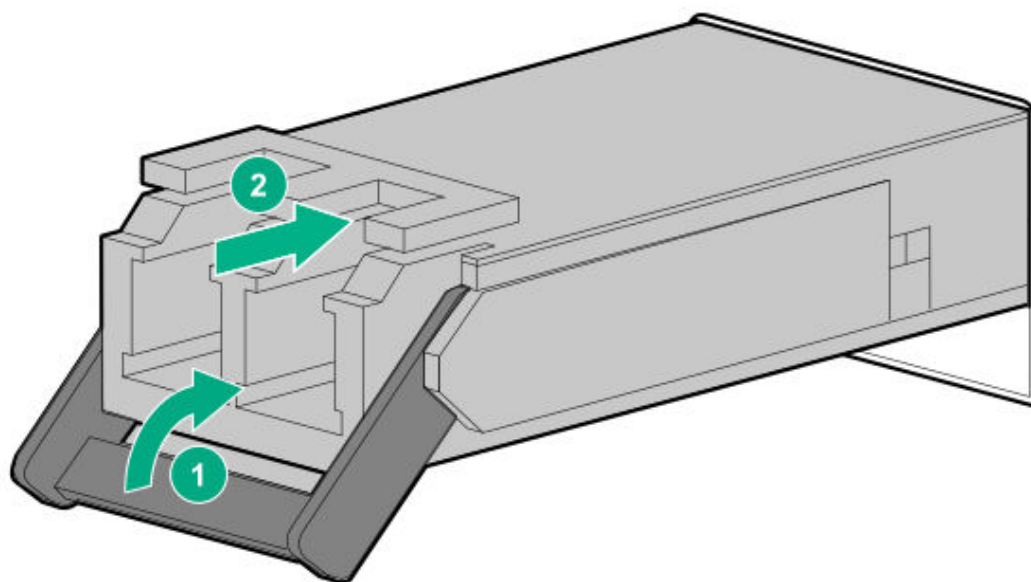
トランシーバーオプションを取り付ける前に、以下の記載をお読みください。

- ・ トランシーバーに関する警告および注意事項
- ・ トランシーバーに関する、特定の動作およびケーブル接続要件のドキュメント

手順

- ・ トランシーバーの側面を持ち、定位置に収まるまでネットワークアダプターポートにゆっくりと挿入します。

トランシーバーは、正しい方向にのみ挿入できるように逆挿入防止の切り込みが入っています。トランシーバーが簡単にポートに挿入できない場合、位置が正しくない可能性があります。トランシーバーの向きを逆にしてから、改めて差し込んでください。



- ・ トランシーバーからダストプラグまたは保護カバーを外します。
- ・ 互換性のある LAN セグメントのケーブルをトランシーバーに接続します。
- ・ ポートの NIC リンク LED が緑色に点灯していることを確認します。

ポートの LED の動作について詳しくは、トランシーバーに付属しているドキュメントを参照してください。

- ・ 必要に応じて、トランシーバーに該当する、モデル固有の固定メカニズムについて、トランシーバーのドキュメントを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ドライブケースオプション

サブトピック

8 SFF (2.5 型) ドライブケースの取り付け

8 E3.S ドライブケースの取り付け

8 SFF (2.5 型) ドライブケースの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ・ T-10 トルクスドライバー
- ・ T-15 トルクスドライバー

このタスクについて

このサーバーでは、バックプレーンが異なる複数のフロント 8 SFF (2.5 型) ドライブケースオプションがサポートされます。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



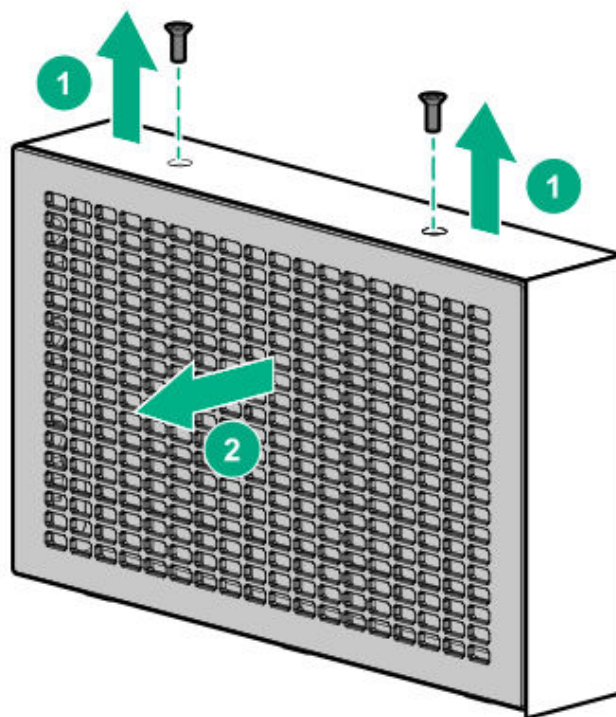
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

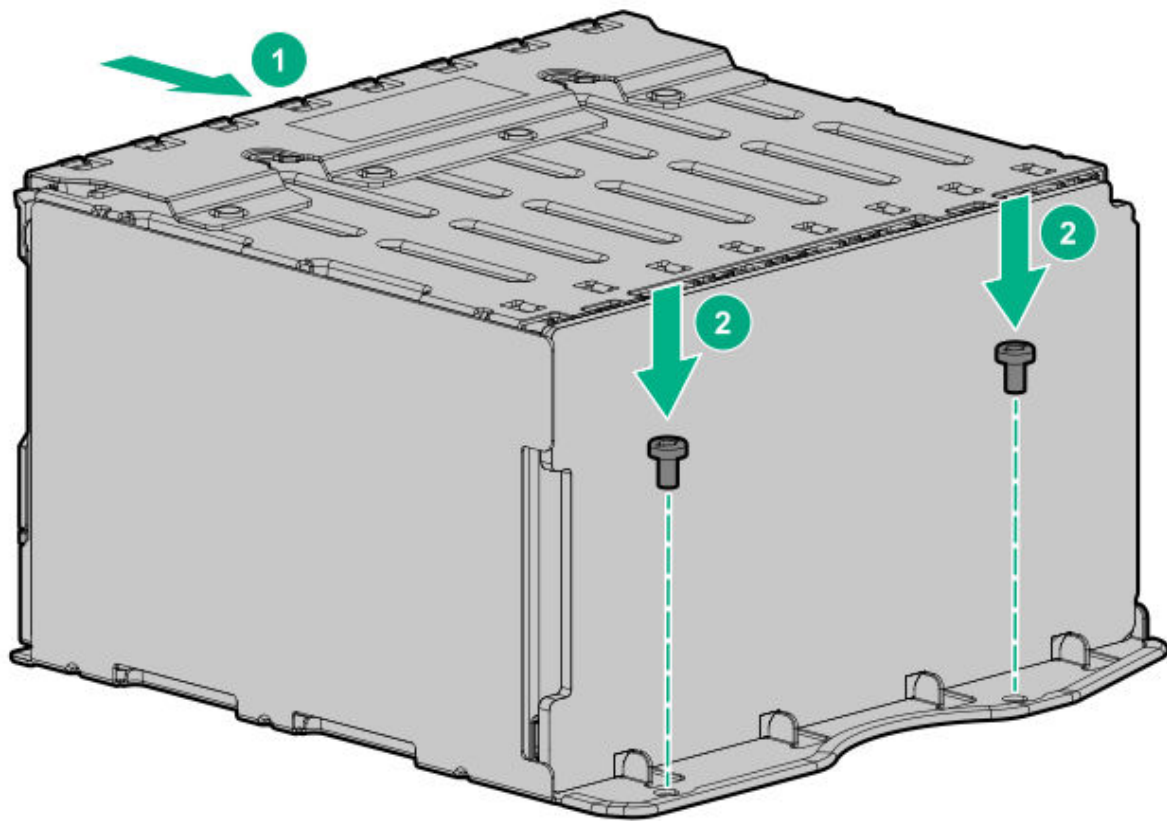
手順

- ・ 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

- 1. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜きます。
- 2. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
- 3. アクセスパネルを取り外します。
- 4. エアバッフルを取り外します。
- 5. ファンケージを取り外します。
- 6. 中央カバーを取り外します。
- 7. ドライブボックスブランクを取り外します。
 - a. ドライブボックスブランクのネジを取り外します。
 - b. ドライブボックスブランクを取り外します。



- 8. すべてのドライブケーブルを束ね、ドライブボックスベイを通して配線します。
- 9. 8 SFF (2.5 型) ドライブケージを取り付けます。
 - a. 8 SFF (2.5 型) ドライブケージをサーバーに取り付けます。
 - b. ドライブケージのネジを取り付けます。



8 SFF (2.5 型) ドライブをストレージコントローラーで管理する予定がある場合は、次のいずれかのオプションを取り付けます。

- ・ タイプ p ストレージコントローラー
- ・ タイプ o ストレージコントローラー (OROC)

次のケーブルを 8 SFF (2.5 型) ドライブバックプレーンとシステムボードに接続します。

- ・ ストレージコントローラーケーブル
- ・ ドライブ電源ケーブル

上側の PCIe スイッチボードが取り付けられている場合、ドライブケーブルが GPU ライザーケースに沿って配線されていることを確認します。

中央カバーを取り付けます。

ファンケースを取り付けます。

すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャネルを通して配線されていることを確認します。

エアバッフルを取り付けます。

- ・ アクセスパネルを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。
- ・ SFF (2.5 型) ドライブを取り付けます。
- ・ 取り外している場合、フロントベゼルを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

8 E3. S ドライブケースの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ・ T-10 トルクスドライバー
- ・ T-15 トルクスドライバー

このタスクについて

このサーバーでは、バックプレーンが異なる複数のフロント 8 E3. S ドライブケースオプションがサポートされます。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

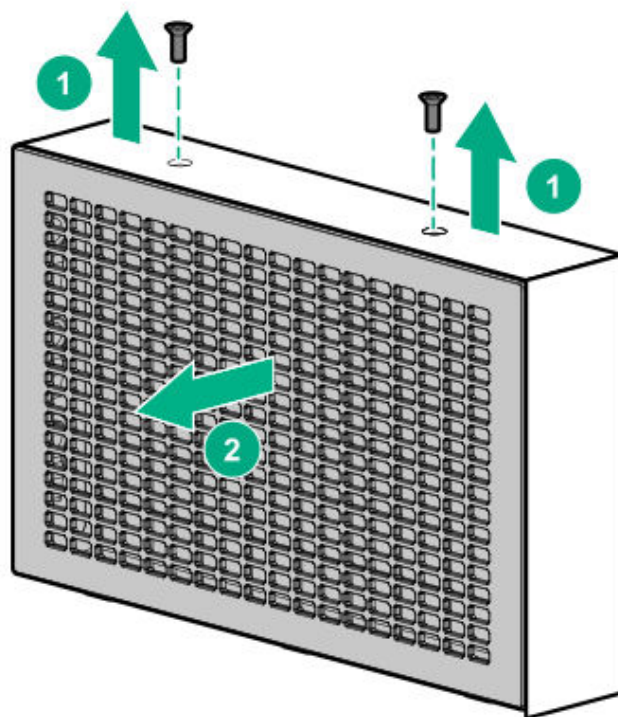


注意

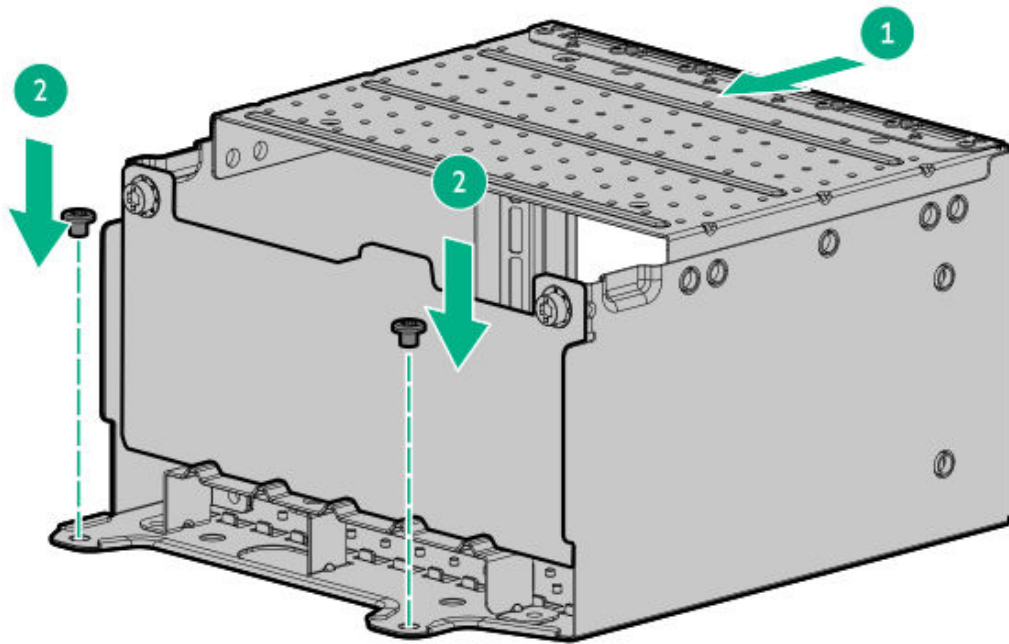
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

1. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
5. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. エアバッフルを取り外します。
8. ファンケースを取り外します。
9. 中央カバーを取り外します。
10. ドライブボックスブラנקを取り外します。
 - a. ドライブボックスブラנקのネジを取り外します。
 - b. ドライブボックスブラנקを取り外します。



- ・ すべてのドライブケーブルを束ね、ドライブボックスベイを通して配線します。
- ・ 8 E3.S ドライブケージを取り付けます。
 - a. 8 E3.S ドライブケージをサーバーに取り付けます。
 - b. ドライブケージのネジを取り付けます。



次のケーブルを 8 E3.S ドライブバックプレーンおよびシステムボードに接続します。

- ・ ストレージコントローラーケーブル
- ・ ドライブ電源ケーブル

上側の PCIe スイッチボードが取り付けられている場合、ドライブケーブルが GPU ライザーケーシングに沿って配線されていることを確認します。

中央カバーを取り付けます。

ファンケーシングを取り付けます。

すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。

エアバッフルを取り付けます。

アクセスパネルを取り付けます。

サーバーをラックに取り付けます。

周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

各電源コードをサーバーに接続します。

各電源コードを電源ソースに接続します。

サーバーの電源を入れます。

- ・ E3. S ドライブを取り付けます。
- ・ 取り外している場合、フロントベゼルを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

GPU オプション

このサーバーは、コンピューターおよびグラフィックスのワークロード要件を満たすためにさまざまな GPU のオプションをサポートしています。サポートされる GPU モデルのリストについては、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) のサーバー QuickSpecs を確認してください。

- ・ PCIe ワークロード GPU - これらのオプションは PCIe カードベースのダイレクトアタッチソリューションであり、PCI バスに直接ソリッドステートストレージテクノロジーを使用して I/O パフォーマンスを向上させ、処理要件に応じてスケールするために遅延時間を短縮します。
- ・ 演算およびグラフィックス GPU - これらのオプションは、ディープラーニング、ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC)、およびグラフィックスを多用するアプリケーションを幅広くサポートするための高速計算パフォーマンスを提供します。

サブトピック

GPU の取り付けに関するガイドライン

GPU ライザーケースへのシングル幅 GPU の取り付け

GPU ライザーケースへのダブル幅 GPU の取り付け

PCIe ライザーケースへの DPU の取り付け

GPU の取り付けに関するガイドライン

- ・ 高出力 GPU (> TDP 75 W) をサポートするには、次の GPU 補助電源ケーブルが必要です。
 - PCIe 16 ピン GPU 補助電源ケーブルキット (P84273-B21) - NVIDIA H100、L40 (S)、または Intel Data Center GPU Max 1100
 - PCIe 16 ピン GPU 補助電源ケーブルキット (P84274-B21) - NVIDIA H100 / H100 NVL
- ・ このサーバーでは、同じシステム内に異なる GPU モデルを設置できません。

- ・ システムの適切な冷却を維持するには、GPU の取り付けに 6 個のすべての高性能ファンが必要です。
- ・ GPU に必要な制限付き動作時吸気温度は、モデルやサーバーのドライブ構成によって異なります。詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にあるサーバーの QuickSpecs を参照してください。



重要

パッシブ冷却を搭載した高性能 GPU のワークロードを処理する場合、最適なシステム冷却を維持するためにファンが高速で作動することがあります。当然静かな環境が期待されるサイトまたはその近くにある場所の場合、Hewlett Packard Enterprise ではパッシブ冷却を搭載した GPU を取り付けることをお勧めしません。

GPU ライザーケースへのシングル幅 GPU の取り付け

前提条件

- ・ 以下の内容を確認してください。
 - GPU の取り付けに関するガイドライン
 - GPU ライザーロットの番号
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-10 トルクスドライバー
 - T-15 トルクスドライバー

手順

- ・ 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ 以下のいずれかを実行します。

- ・ ラックからサーバーを引き出す。

- ・ ラックからサーバーを取り外す。

- ・ アクセスパネルを取り外します。

- ・ エアバッフルを取り外します。

- ・ ファンケージを取り外します。

- ・ 中央カバーを取り外します。

- ・ 以下のケーブルを取り外します。

- ・ GPU ライザー直接接続ケーブル

- ・ GPU ライザー電源ケーブル

- ・ GPU ライザーが PCIe スイッチボードに接続されている場合は、GPU ライザーと電源ケーブルを取り外します。

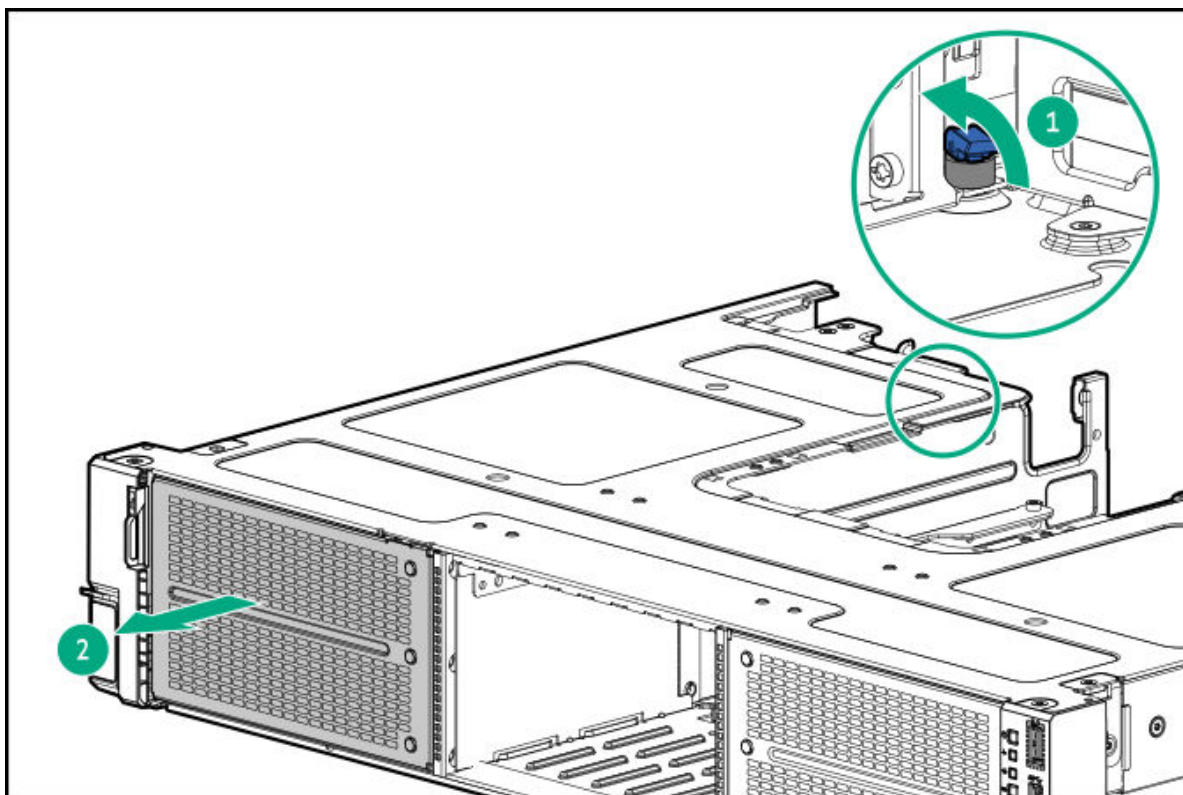
- ・ GPU ライザーケージを取り外します。

- a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。

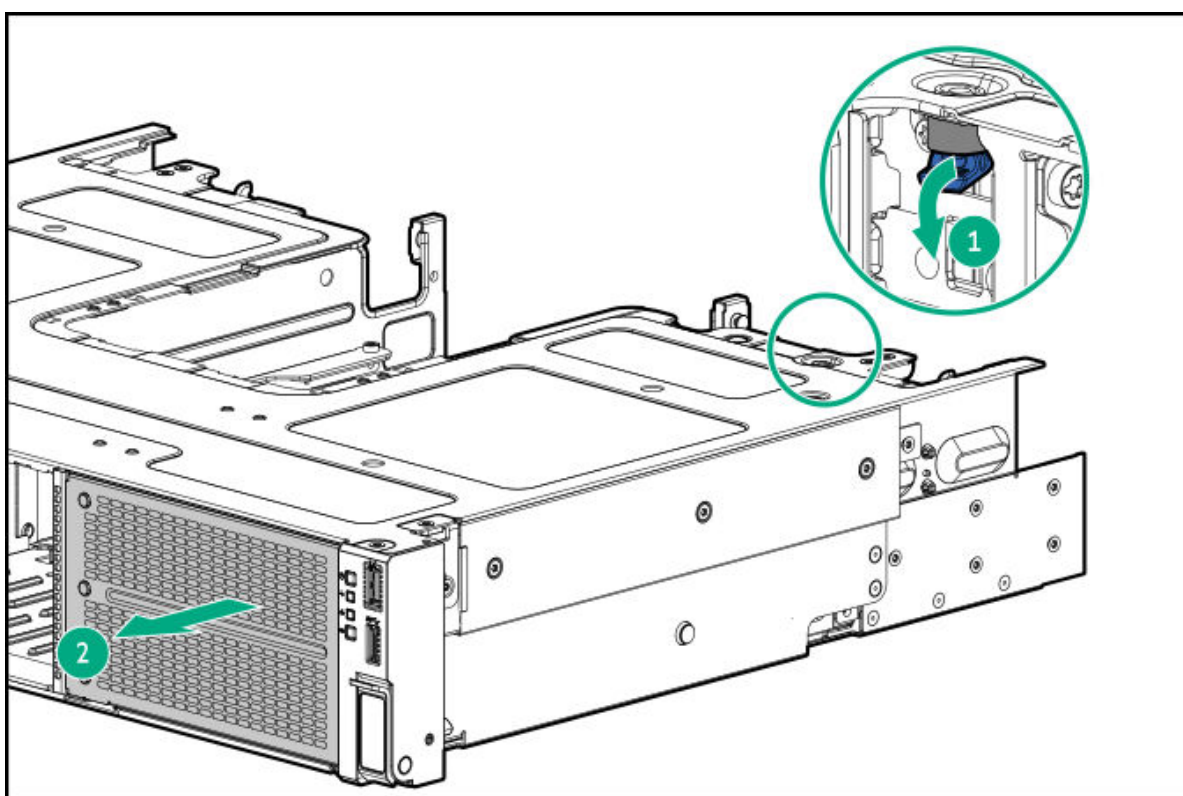
- b. GPU ライザーケージをサーバーから取り外します。

ライザーケーブルを、ケーブルチャンネルに慎重に通します。

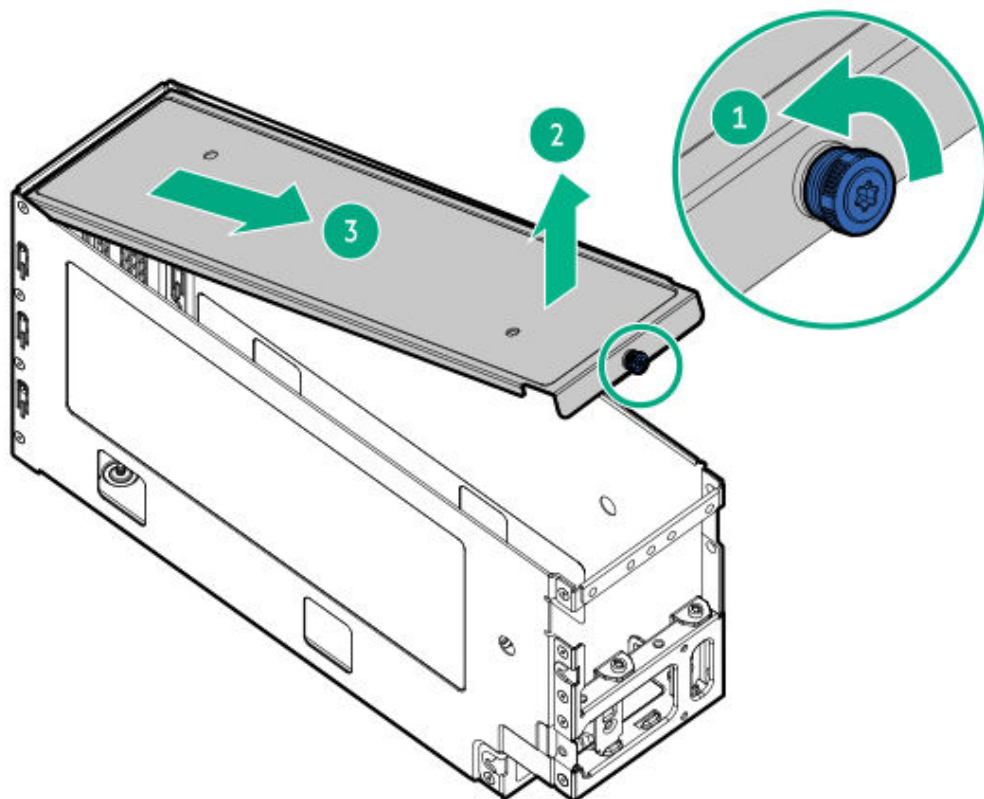
- ・ GPU ライザーケージ 1



- ・ GPU ライザーケーシング 2

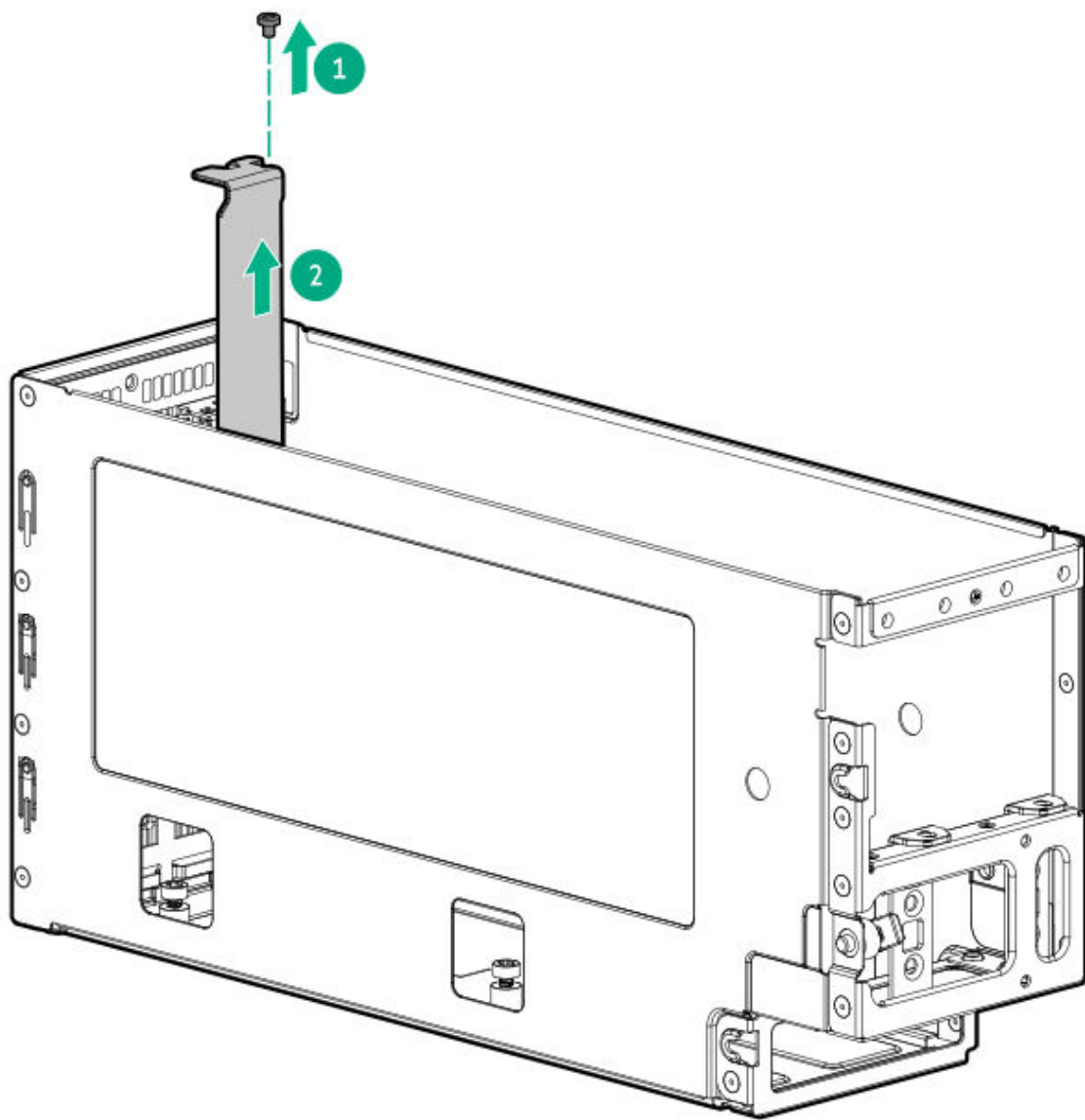


- ・ GPU ライザーケーシングカバーを取り外します。

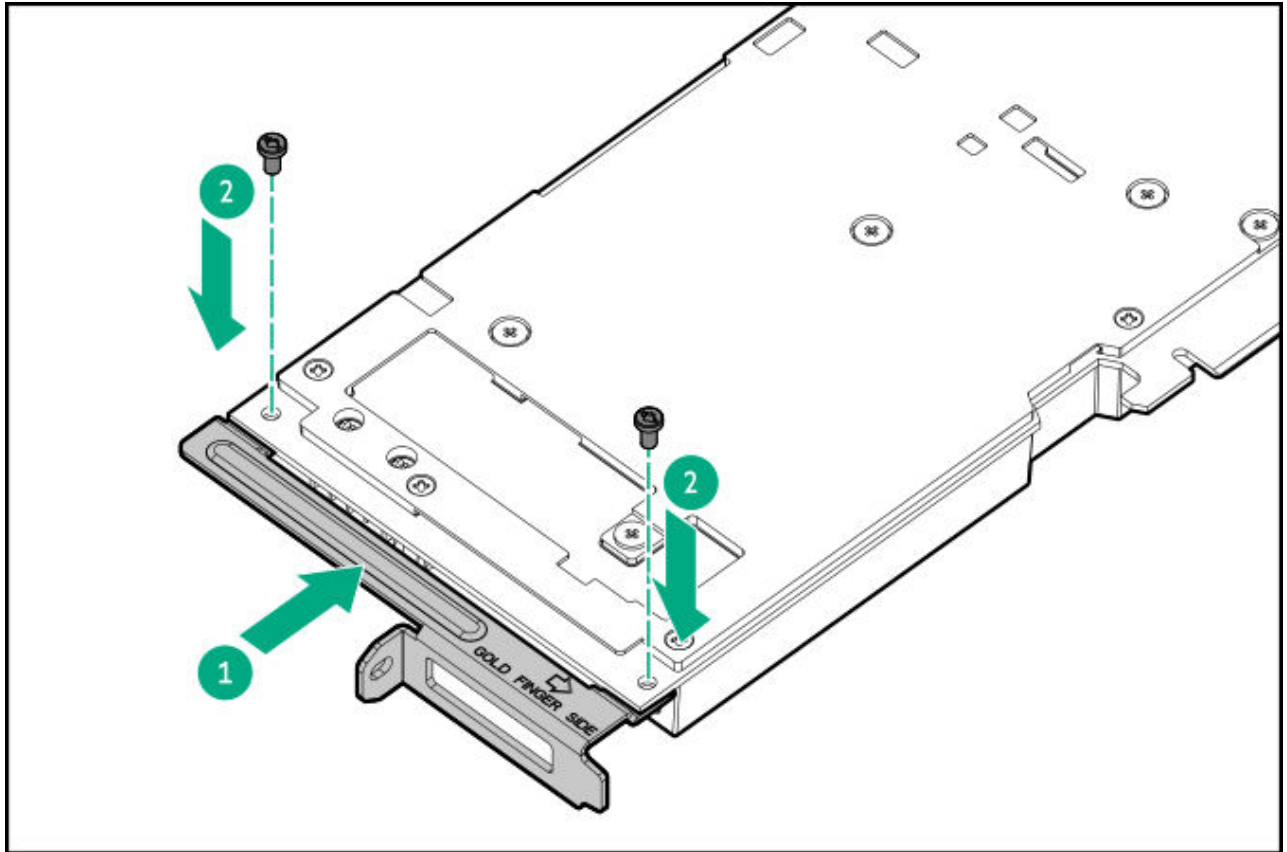


GPU ライザー Slots のブラケットを取り外します。

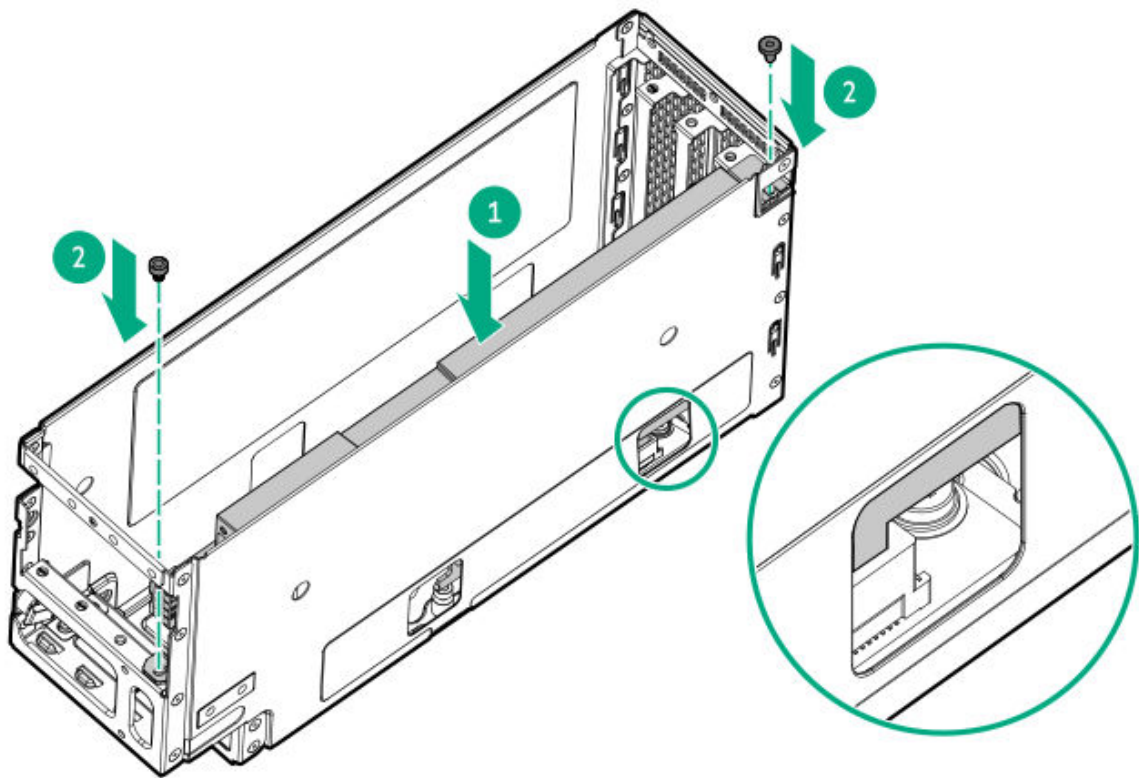
ネジは保管しておいてください。このネジは、GPU を取り付けるために使用されます。



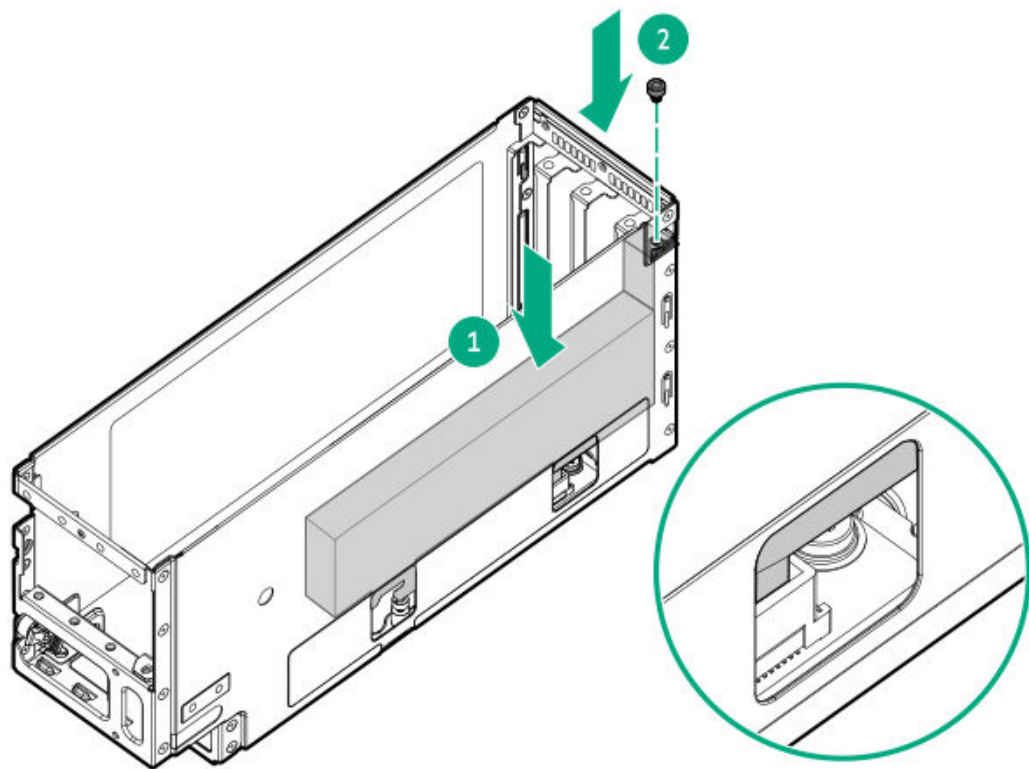
- フルハイト、フルレングス、シングル幅 GPU を取り付ける場合は、サポートブラケットを取り付けます。



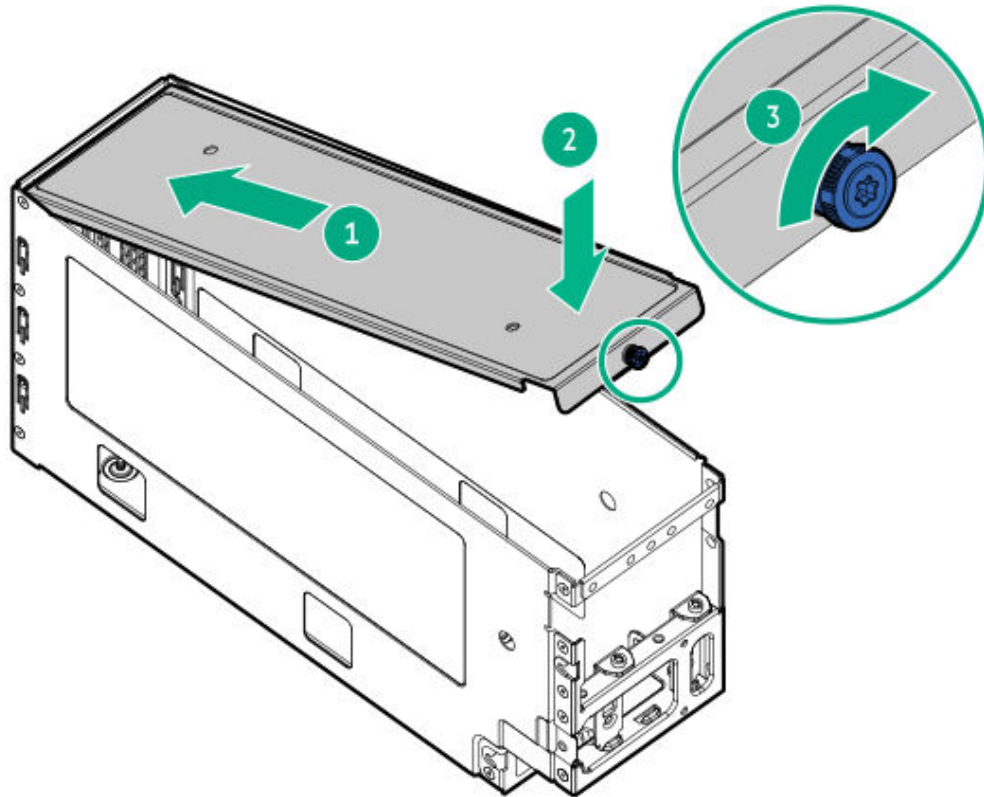
1. シングル幅 GPU をライザーに取り付け、ネジで固定します。
クリック音は、GPU が適切にかみ合っていることを示します。
 - ・ フルハイト、フルレングス、シングル幅 GPU



- ・ ハーフハイト、ハーフレングス、シングル幅 GPU



- ・ GPU ライザーケージカバーを取り付けます。



GPU ライザーケージを取り付けます。

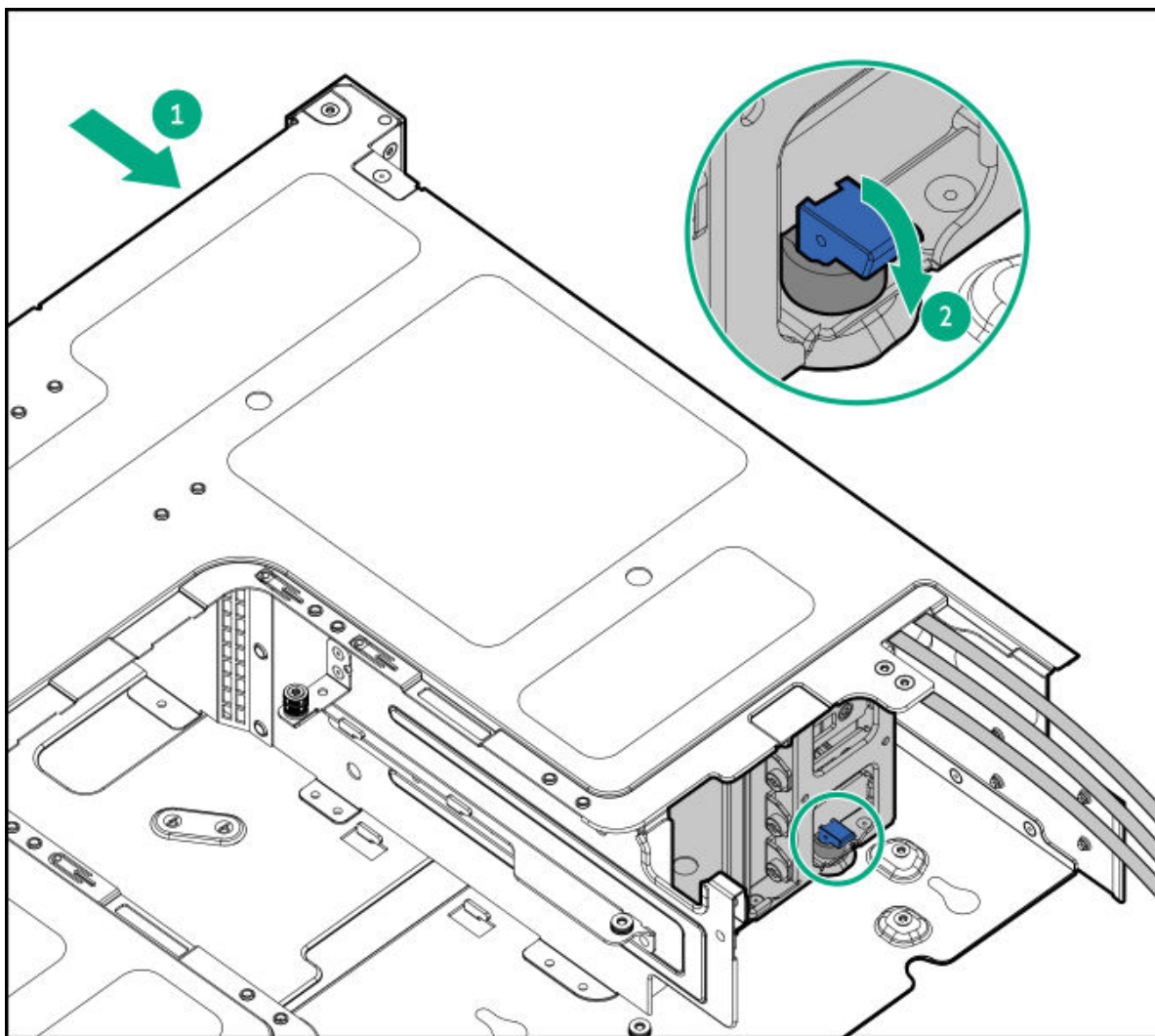
- a. GPU ライザーケージをスライドさせてサーバーに押し込みます。

ライザーケーブルを、シャーシの壁に最も近いチャンネルに通します。

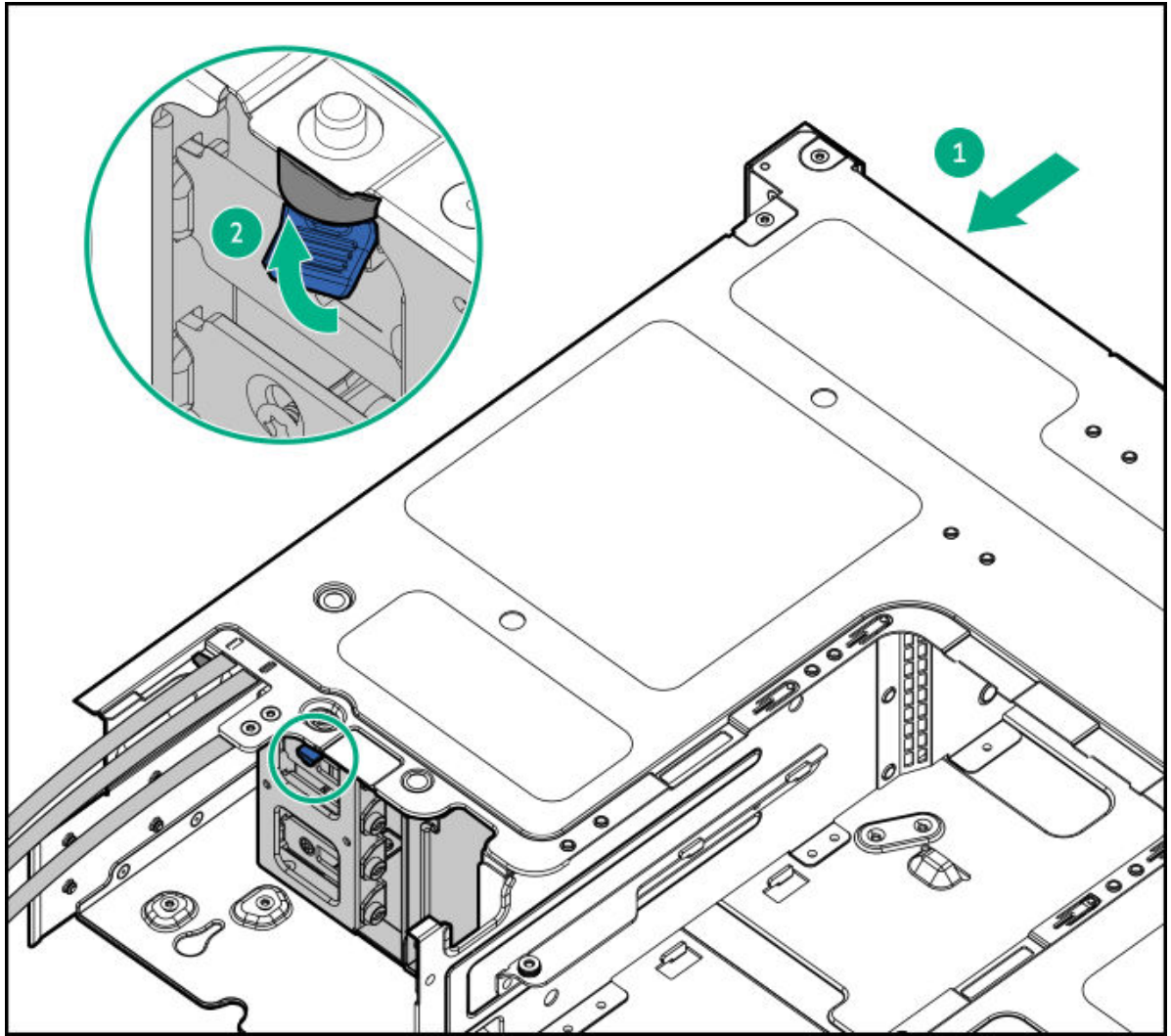
- b. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。

ロックピンがシャーシにロックされていることを確認します。

- ・ GPU ライザーケージ 1



- ・ GPU ライザーケージ 2



- 以下のケーブルを接続します。



重要

GPU ライザーと電源ケーブルが正しく接続されていないと、システムの電源が入りません。

- ・ GPU ライザー直接接続ケーブルをシステムボードに
- ・ GPU ライザー電源ケーブルを PDB に
- ・ GPU ライザーケーブルを PCIe スイッチボードに
- ・ 中央カバーを取り付けます。
- ・ ファンケージを取り付けます。
- ・ すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャネルを通して配線されていることを確認します。

- ・ エアバッフルを取り付けます。
- ・ アクセスパネルを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。
- ・ 取り外している場合、フロントベゼルを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

GPU ライザーケースへのダブル幅 GPU の取り付け

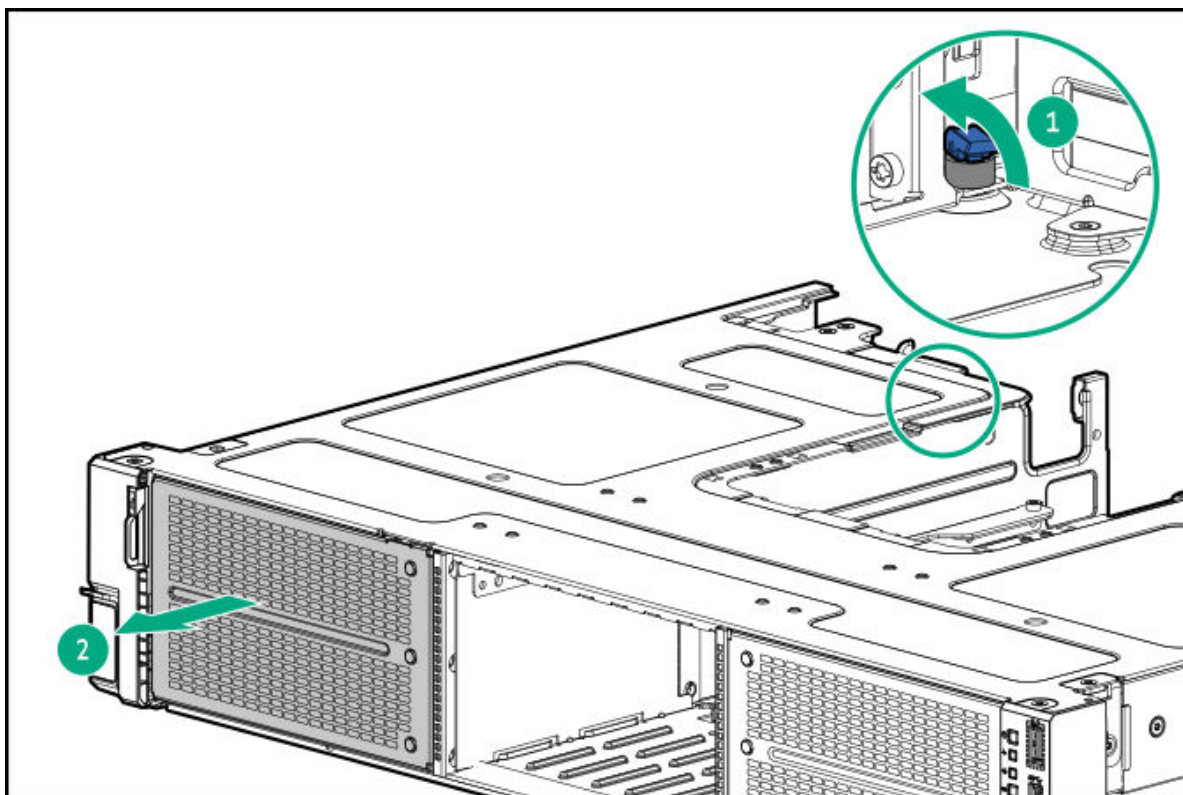
前提条件

- ・ 以下の内容を確認してください。
 - GPU の取り付けに関するガイドライン
 - GPU ライザーロットの番号
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-10 トルクスドライバー
 - T-15 トルクスドライバー

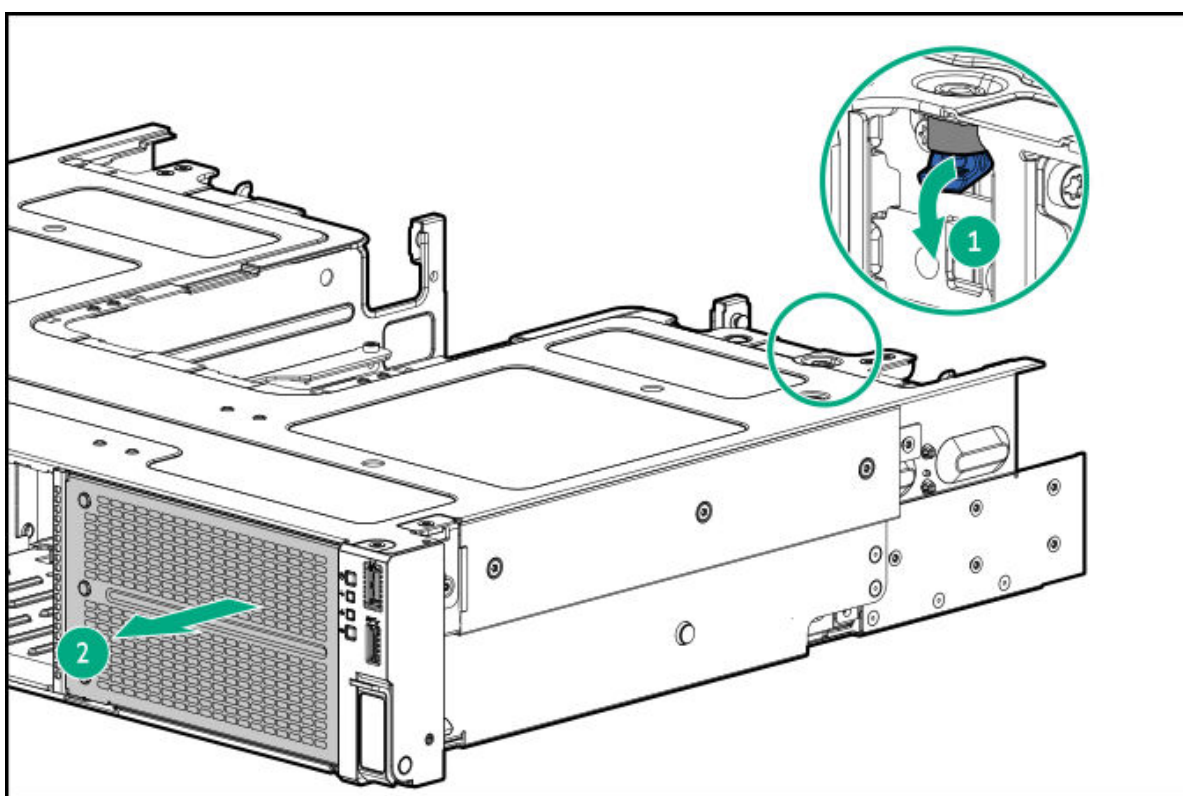
手順

- ・ 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。

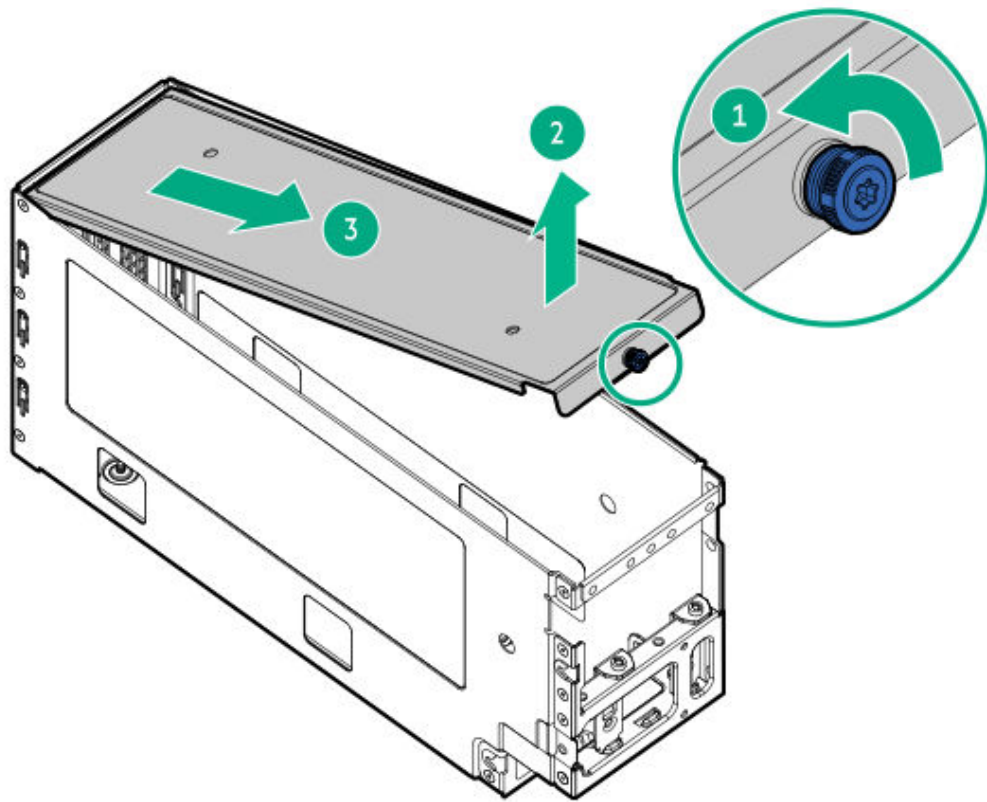
- 1. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
 - 2. アクセスパネルを取り外します。
 - 3. エアバッフルを取り外します。
 - 4. ファンケージを取り外します。
 - 5. 中央カバーを取り外します。
 - 6. 以下のケーブルを取り外します。
 - ・ GPU ライザー直接接続ケーブル
 - ・ GPU ライザー電源ケーブル
 - 7. GPU ライザーが PCIe スイッチボードに接続されている場合は、GPU ライザーと電源ケーブルを取り外します。
 - 8. GPU ライザーケージを取り外します。
 - a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。
 - b. GPU ライザーケージをサーバーから取り外します。
- ライザーケーブルを、ケーブルチャンネルに慎重に通します。
- ・ GPU ライザーケージ 1



- ・ GPU ライザーケーシング 2

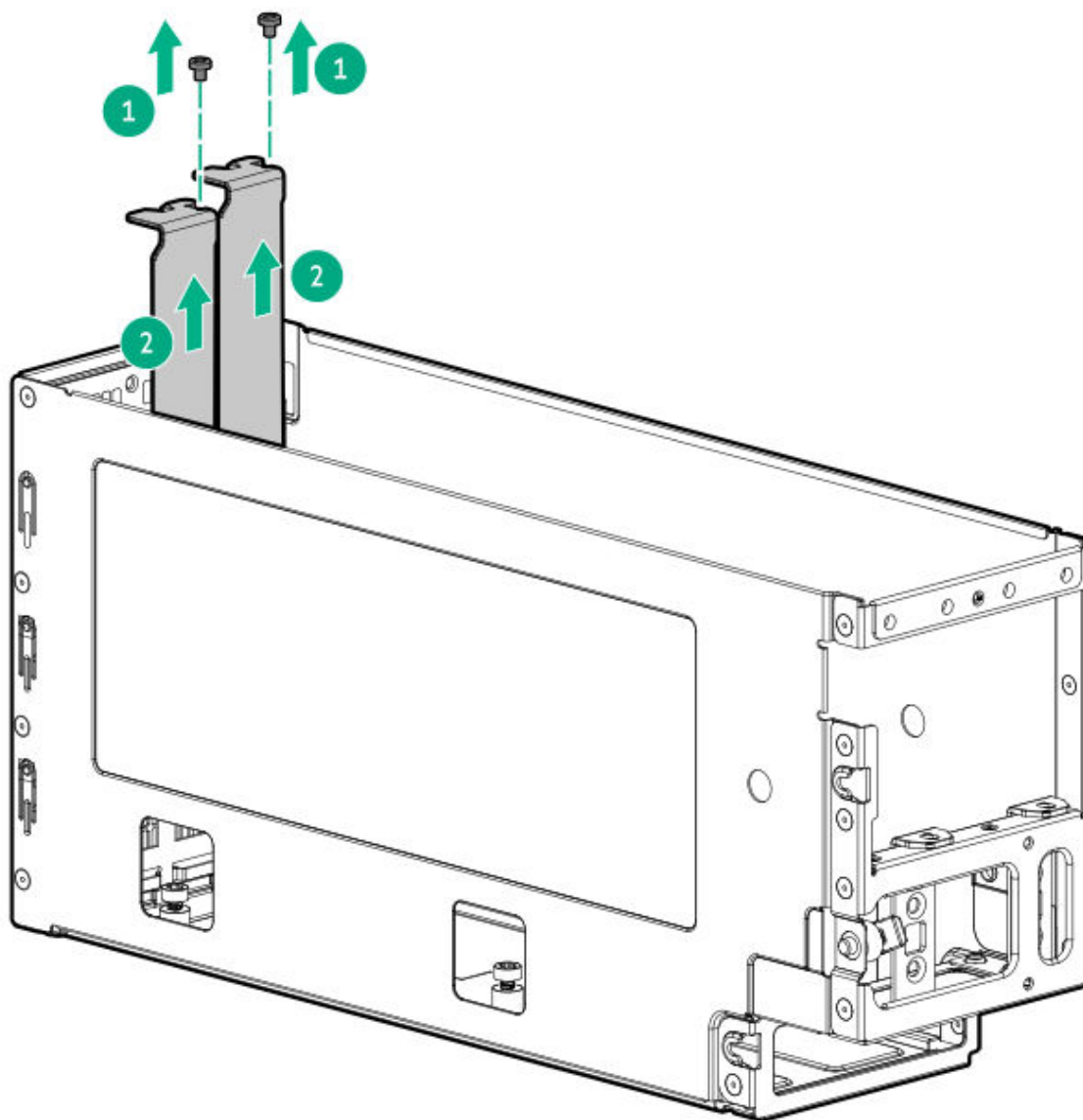


- ・ GPU ライザーケーシングカバーを取り外します。

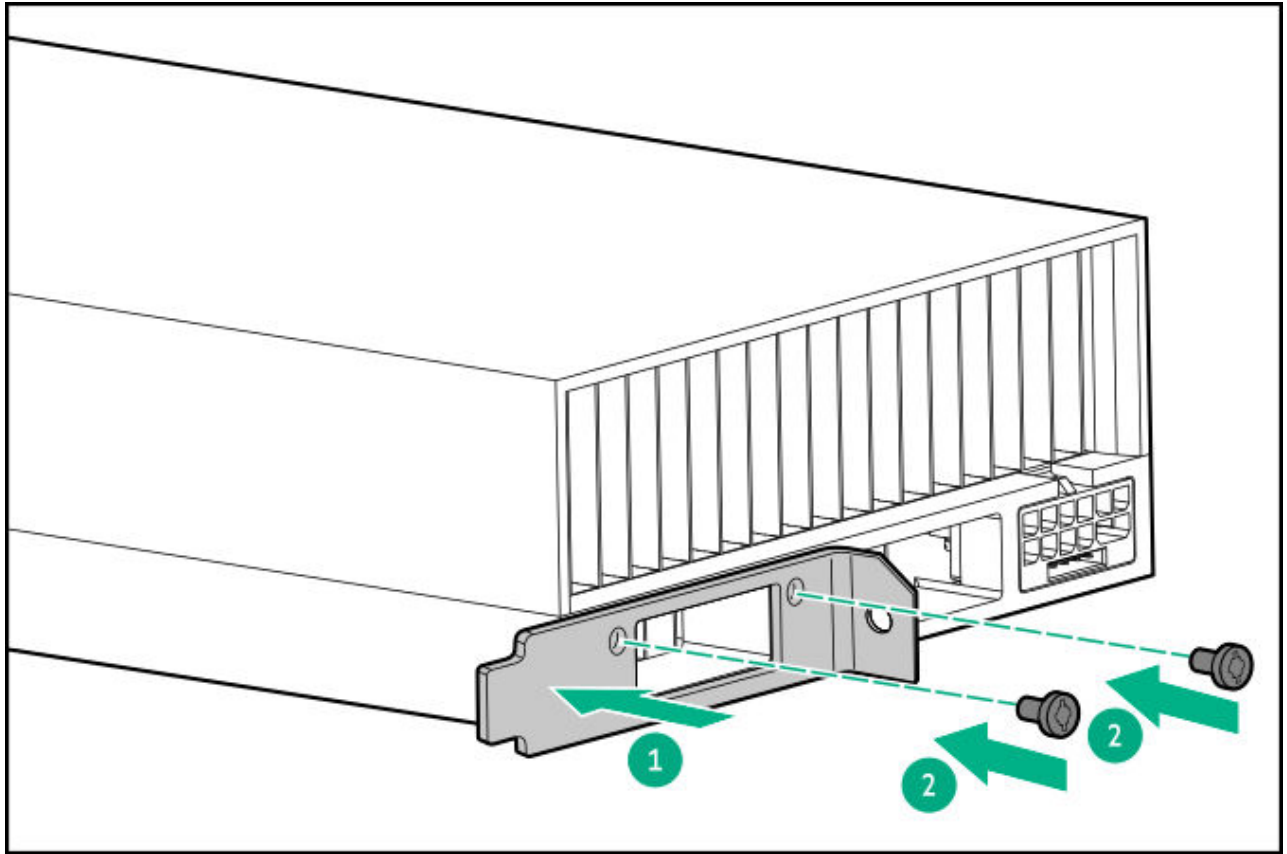


GPU ライザー Slots のブラケットを取り外します。

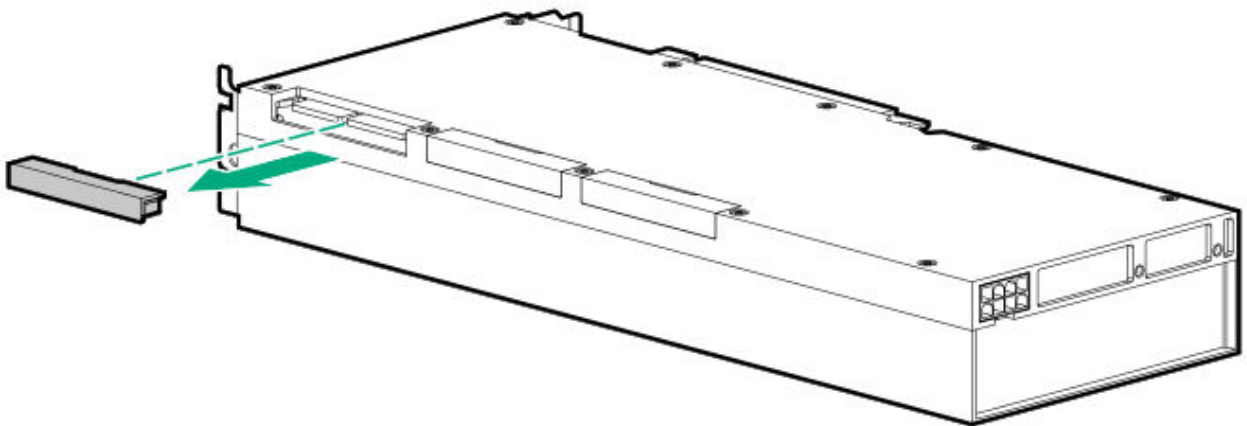
ネジは保管しておいてください。これらのネジは、ダブル幅 GPU を取り付けるために使用されます。



1. GPU ライザーケージパッケージから GPU サポートブラケットとネジを取り出します。
2. GPU にサポートブラケットを取り付けます。



NVLink ブリッジを取り付ける予定がある場合は、GPU からコネクタカバーを取り外します。

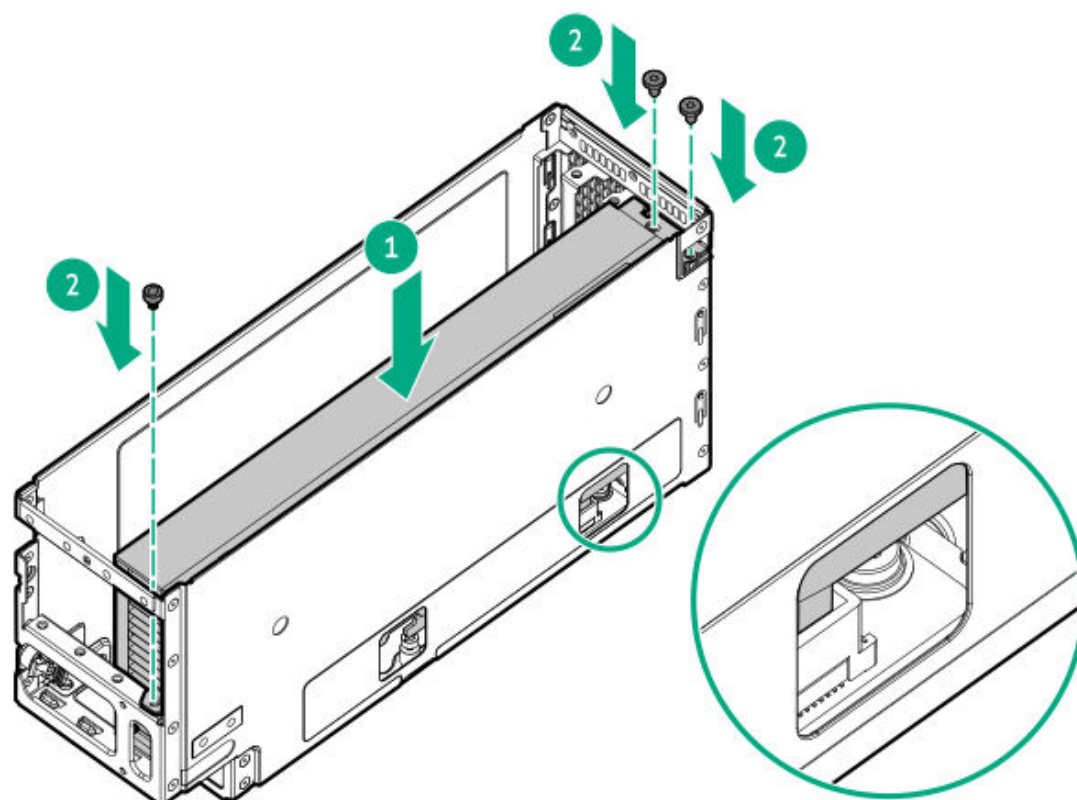


GPU を GPU ライザーケースに取り付けます。

a. 必ず GPU ライザーにしっかりと固定されるように、GPU を取り付けます。

クリック音は、GPU が適切にかみ合っていることを示します。

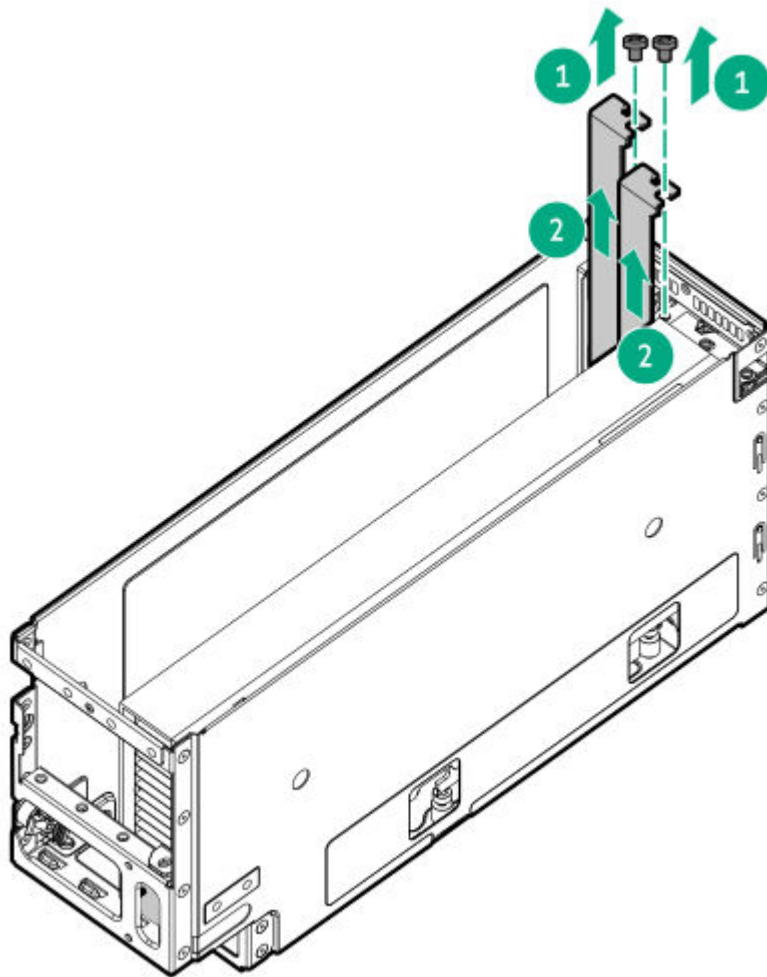
b. ネジを取り付けます。



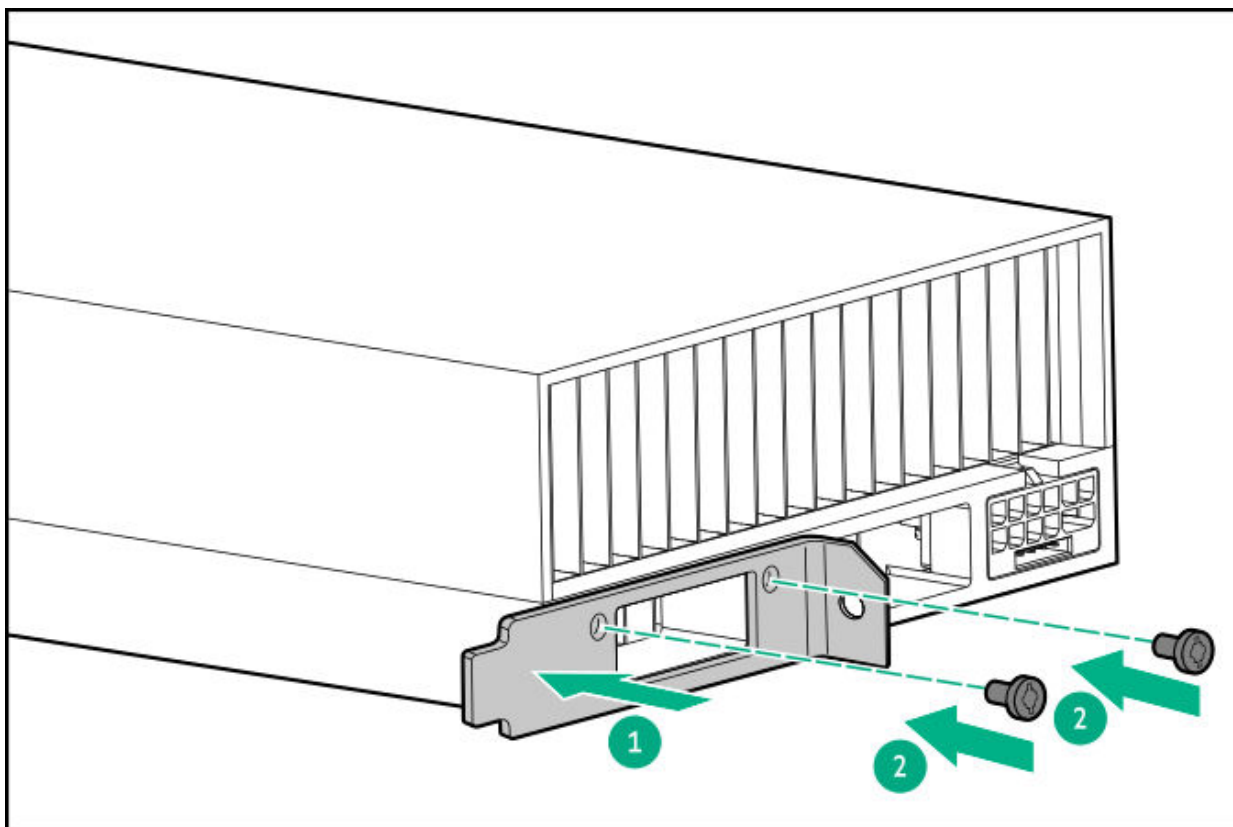
2 つ目のダブル幅 GPU を取り付ける場合は、次の手順に従ってください。

a. GPU ライザーロットブランクを取り外します。

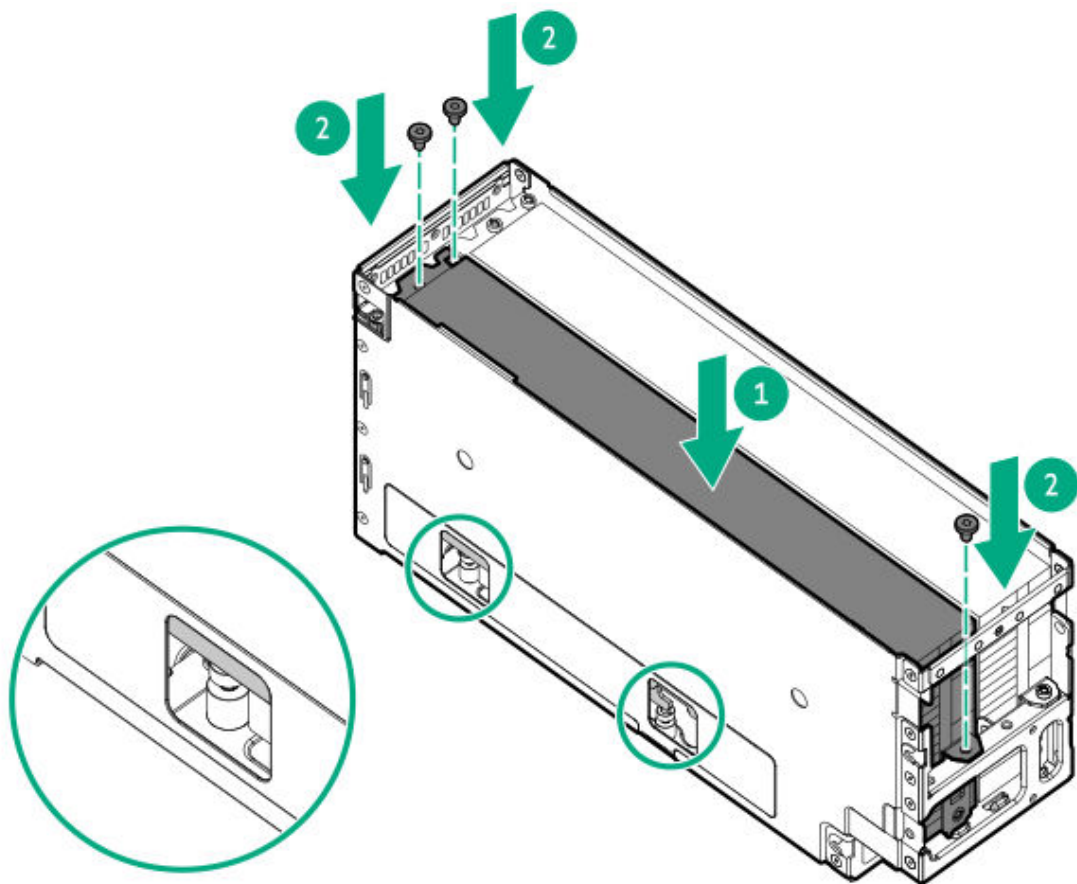
ネジは保管しておいてください。これらのネジは、2 つ目のダブル幅 GPU を取り付けるために使用されます。



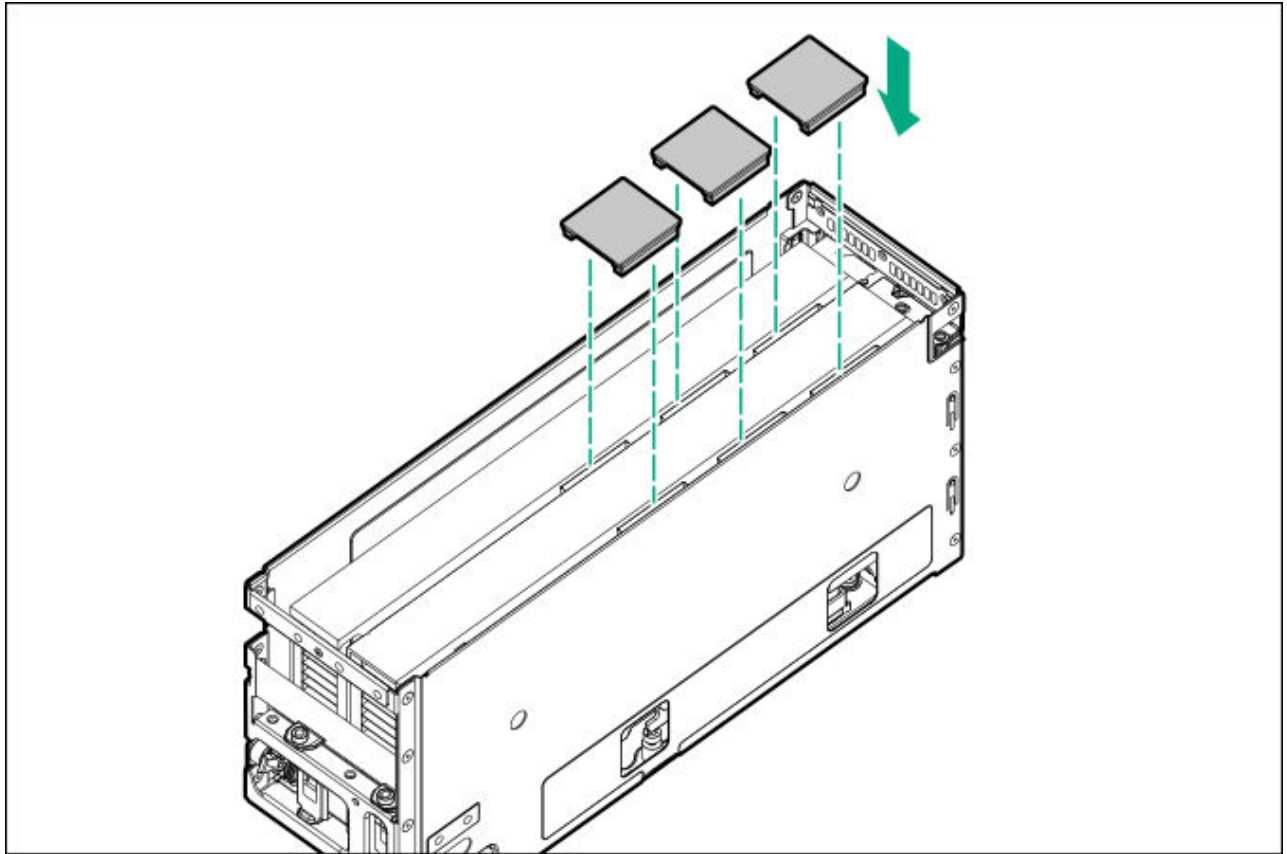
- b. GPU ライザーケージのパッケージから同梱されている GPU サポートブラケットとネジを取り出します。
- c. 2 つ目のダブル幅 GPU に取り付けます。



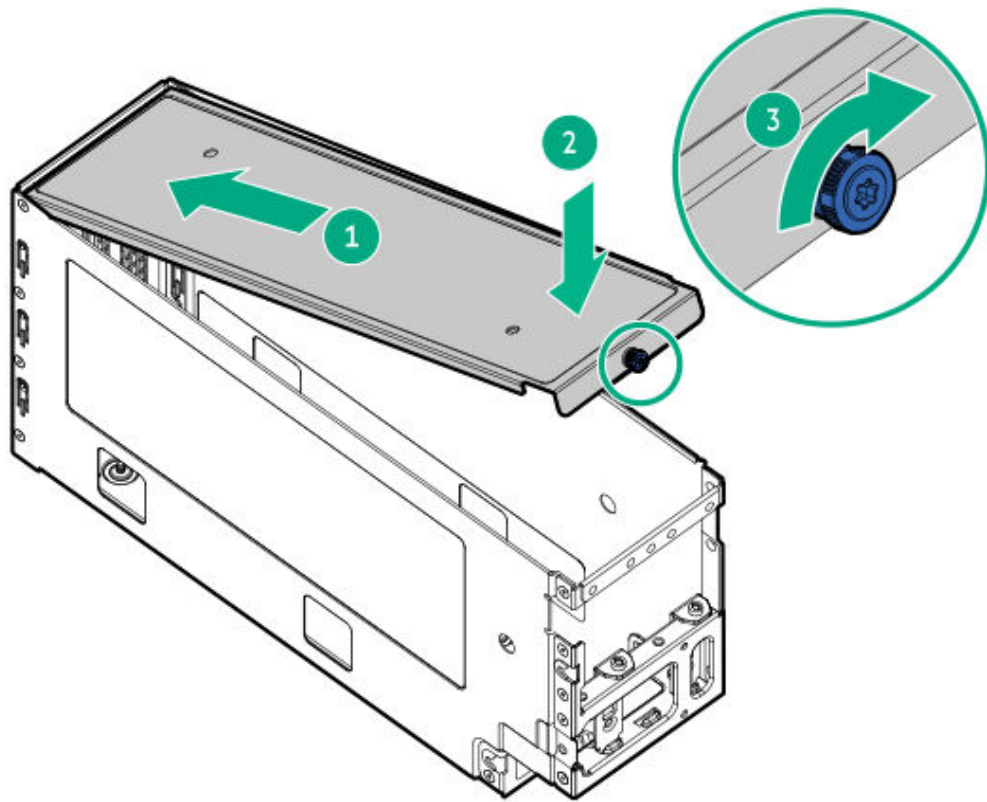
- l. GPU ライザーケージから 2 つ目のダブル幅 GPU を取り付けます。
 - a. 必ず GPU ライザーにしっかりと固定されるように、GPU を取り付けます。
クリック音は、GPU が適切にかみ合っていることを示します。
 - b. ネジを取り付けます。



- ・ NVLink ブリッジを GPU に取り付けます。



GPU ライザーケージカバーを取り付けます。



GPU 補助電源ケーブルを GPU に接続します。

すべての GPU 補助電源ケーブルと GPU ライザーケーブルをグループ化し、GPU ライザーケーブルベイを通して配線します。

GPU ライザーケースを取り付けます。

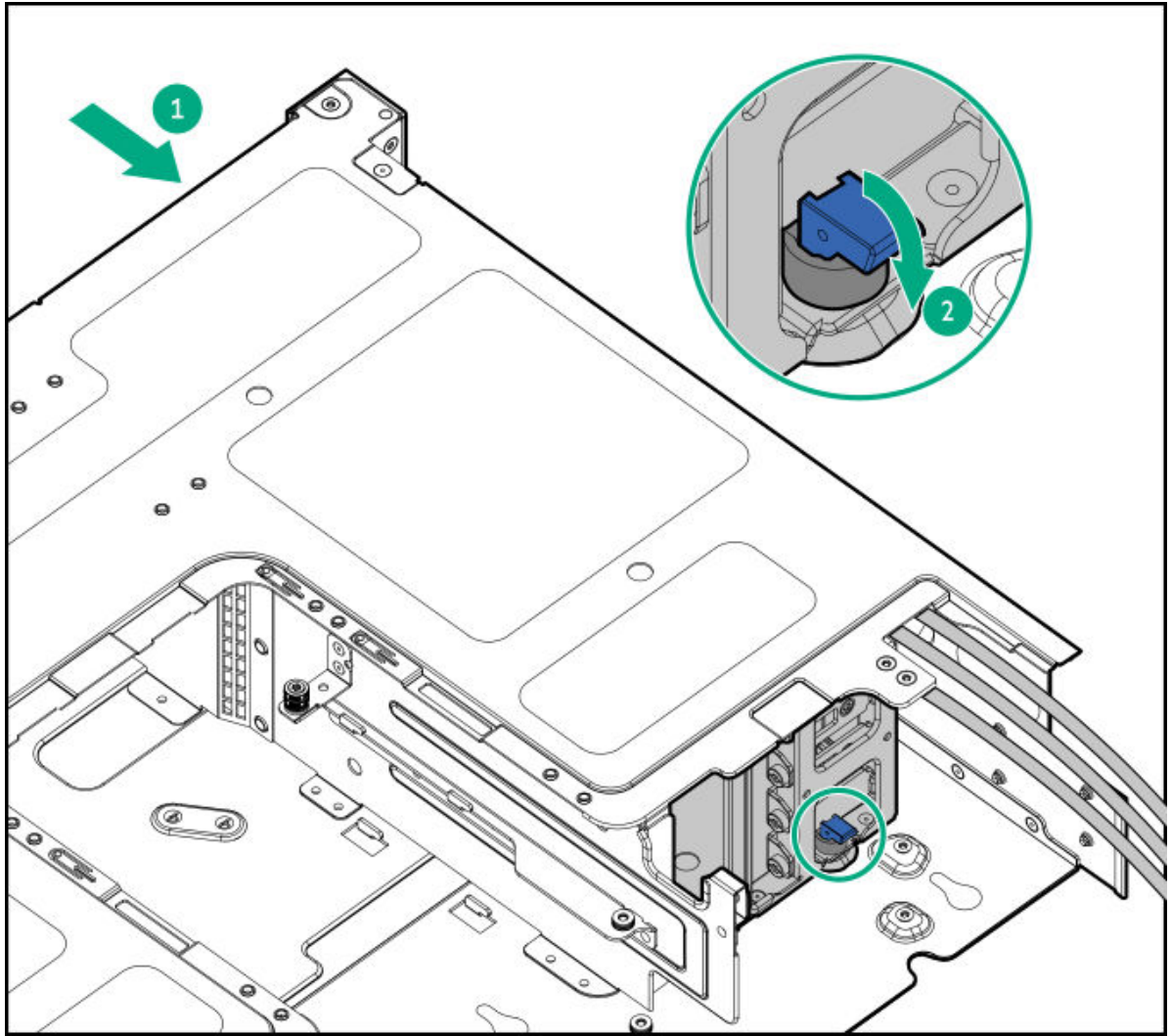
a. GPU ライザーケースをスライドさせてサーバーに押し込みます。

ライザーケーブルを、シャーシの壁に最も近いチャンネルに通します。

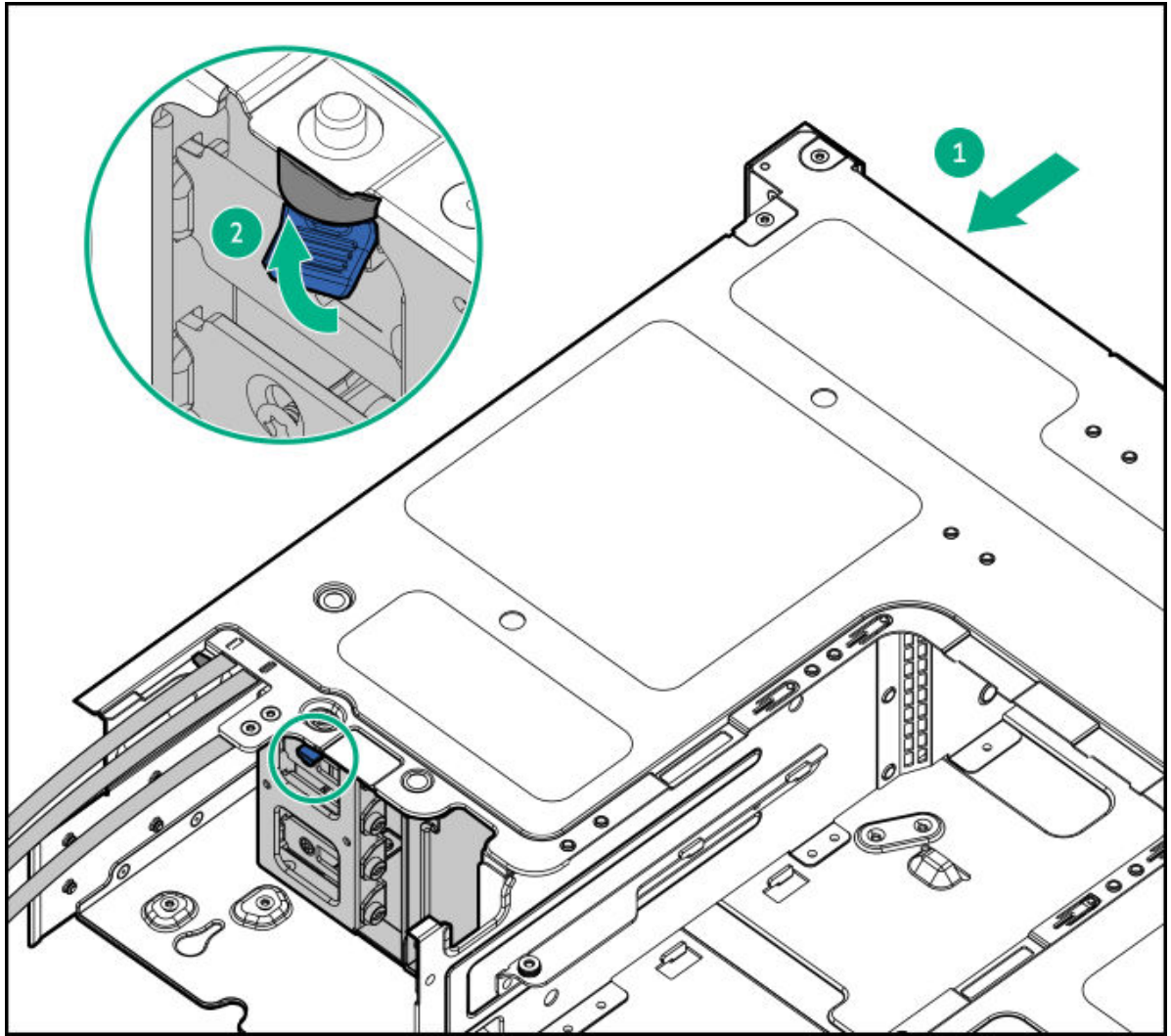
b. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。

ロックピンがシャーシにロックされていることを確認します。

・ GPU ライザーケース 1



- ・ GPU ライザーケーシング 2



以下のケーブルを接続します。



重要

GPU ライザーと電源ケーブルが正しく接続されていないと、システムの電源が入りません。

- ・ GPU ライザー直接接続ケーブルをシステムボードに
- ・ GPU ライザー電源ケーブルを PDB に
- ・ GPU ライザーケーブルを PCIe スイッチボードに

中央カバーを取り付けます。

ファンケージを取り付けます。

すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャネルを通して配線されていることを確認します。

- 1. エアバッフルを取り付けます。
- 2. アクセスパネルを取り付けます。
- 3. サーバーをラックに取り付けます。
- 4. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 5. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 6. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 7. サーバーの電源を入れます。
- 8. 取り外している場合、フロントベゼルを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

PCIe ライザーケーシングへの DPU の取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべての PCIe スロットに必ず、ライザースロットブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。

手順

- 1. サーバーの電源を切ります。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。

以下のいずれかを実行します。

- ・ ラックからサーバーを引き出す。

- ・ ラックからサーバーを取り外す。

アクセスパネルを取り外します。

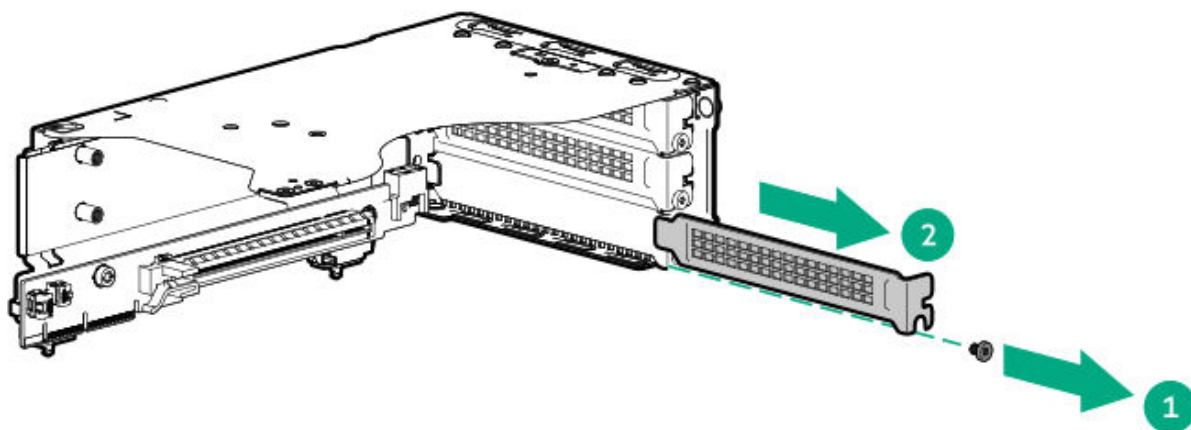
エアバッフルを取り外します。

ライザーケーシングを取り外します。

DPU を取り付けます。

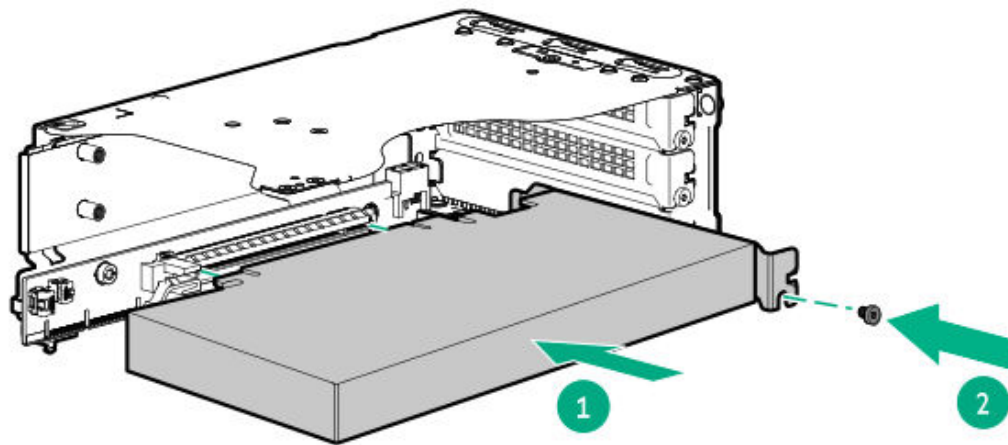
a. ライザーロットブランクを取り外します。

ネジは保管しておいてください。このネジは、新しい DPU を取り付けるために使用されます。



b. DPU を取り付けます。

DPU がスロットにしっかりと固定されていることを確認します。



- 1. DPU 補助電源ケーブルを接続します。
- 2. ライザーケージを取り付けます。
- 3. すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。
- 4. エアバッフルを取り付けます。
- 5. アクセスパネルを取り付けます。
- 6. サーバーをラックに取り付けます。
- 7. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 8. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 9. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 10. サーバーの電源を入れます。

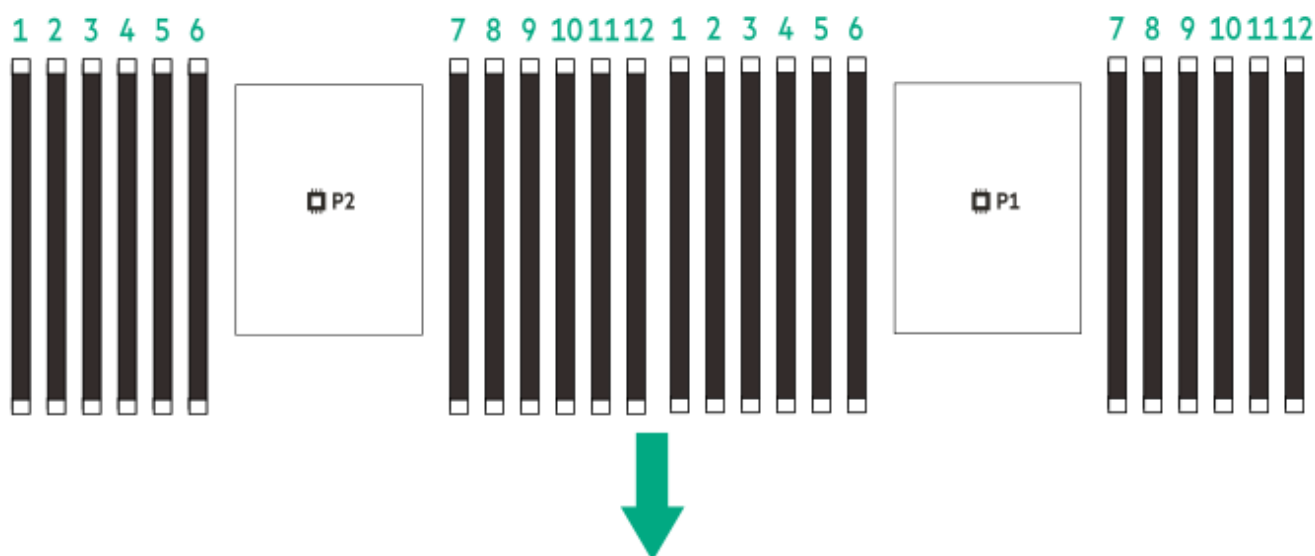
タスクの結果

取り付け手順は完了です。

メモリオプション

サーバーには、HPE DDR5 Smart メモリ (RDIMM) をサポートする 12 の DIMM スロットがあります。

矢印は、サーバーの正面側を指しています。



サブトピック

HPE Smart メモリの速度と取り付け情報
DIMM の取り付けに関するガイドライン
DIMM の取り付け

HPE Smart メモリの速度と取り付け情報

第4および第5世代 Intel Xeon スケーラブルプロセッサを使用した HPE サーバーのメモリ速度とサーバー固有の DIMM 取り付けルールについては、次の関連するメモリのテクニカルペーパーを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>

DIMM の取り付けに関するガイドライン

DIMM を取り扱うときは、次のことに従ってください。

- ・ 静電気防止の注意事項に従ってください。
- ・ DIMM は両端だけを持つようにしてください。
- ・ DIMM の両側のコンポーネントに触れないでください。
- ・ DIMM の下部にあるコネクタに触れないでください。
- ・ DIMM を握るようにして持たないでください。

- ・ DIMM を決して曲げたり、収縮させないでください。

DIMM を取り付けるときは、次のことに従ってください。

- ・ DIMM の位置を合わせて固定する際は、2 本の指で DIMM の両端を持つようにしてください。
- ・ DIMM を取り付けするには、DIMM の上部にそって 2 本の指で軽く押しつけます。

詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/support/DIMM-20070214-CN>) を参照してください。

DIMM の取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、以下を確認してください。

- ・ [DIMM の取り付け情報](#)
- ・ [DIMM の取り付けに関するガイドライン](#)

このタスクについて



注意

同じサーバーにデータ幅が x4 と x8 の DRAM を取り付けないでください。サーバーに取り付けられるすべてのメモリは、タイプが同じである必要があります。異なるタイプの DIMM を取り付けると、BIOS の初期化中にサーバーが停止する可能性があります。



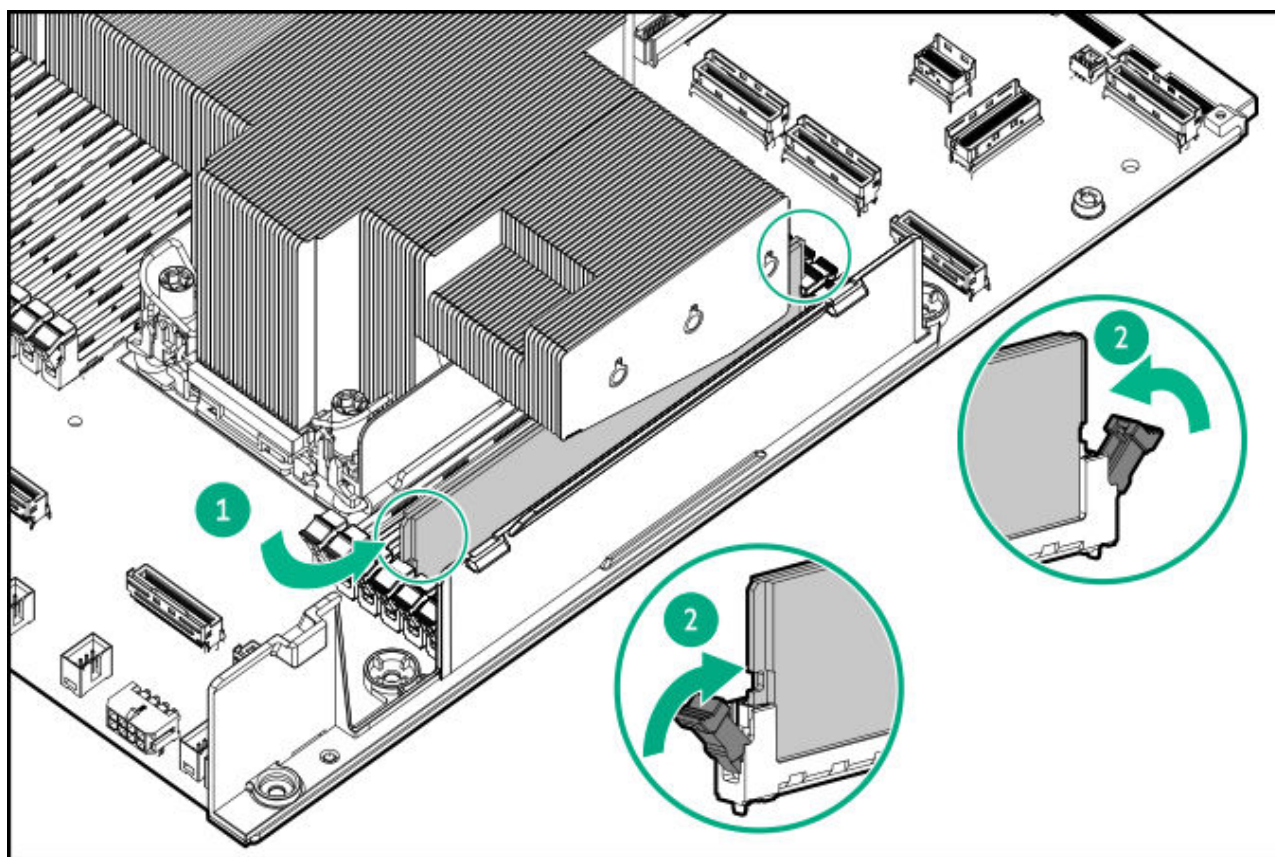
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

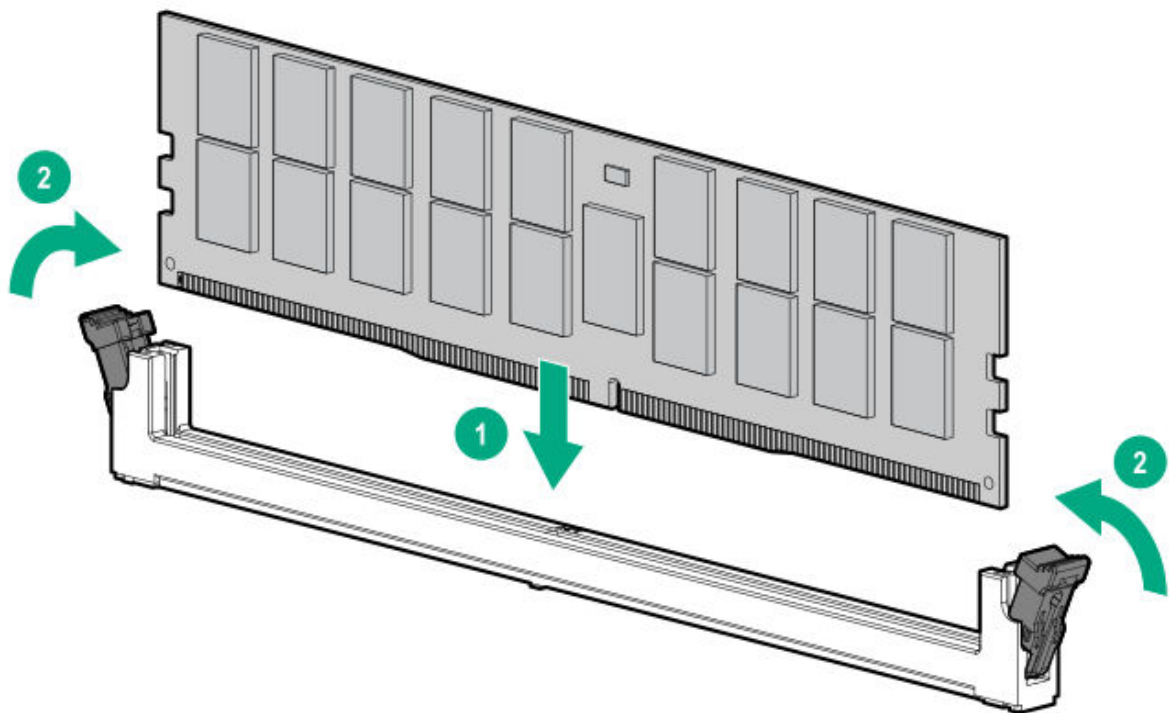
- ・ [サーバーの電源を切ります。](#)
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。

- ・ 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ エアバッフルを取り外します。
- ・ 高性能ヒートシンクが取り付けられた状態で DIMM を取り付けするには：
 - a. 高性能ヒートシンクの下で DIMM を慎重にスライドさせます。
 - b. DIMM をスロットに完全に押し込み、ラッチを固定します。



- ・ 標準ヒートシンクが取り付けられた状態で DIMM を取り付けするには：
 - a. DIMM スロットのラッチを開きます。
 - b. DIMM 下端のノッチを DIMM スロットのキーの付いた部分に合わせ、DIMM をスロットに完全に押し込みます。ラッチが所定の位置に戻るまで押し込んでください。

DIMM スロットはモジュールが正しく取り付けられるような構造になっています。DIMM をスロットに簡単に挿入できない場合は、方向などが間違っている可能性があります。DIMM の向きを逆にしてから、改めて差し込んでください。



- すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。
- エアバッフルを取り付けます。
- アクセスパネルを取り付けます。
- サーバーをラックに取り付けます。
- 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 各電源コードをサーバーに接続します。
- 各電源コードを電源ソースに接続します。
- サーバーの電源を入れます。
- メモリ設定を構成するには、以下を行います。
 - a. ブート画面で、F9 キーを押して、UEFI システムユーティリティにアクセスします。
 - b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプションを選択します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

スタッキングライザーオプション

PCIe ライザースロットを拡張するために、このサーバーではスタッキングライザーをサポートします。

- ・ プライマリ/セカンダリライザーケース内のベースライザーに接続します
- ・ 電力と信号を供給するドッキングコネクタを備えています

サブトピック

スタッキングライザーを取り付ける

スタッキングライザーを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



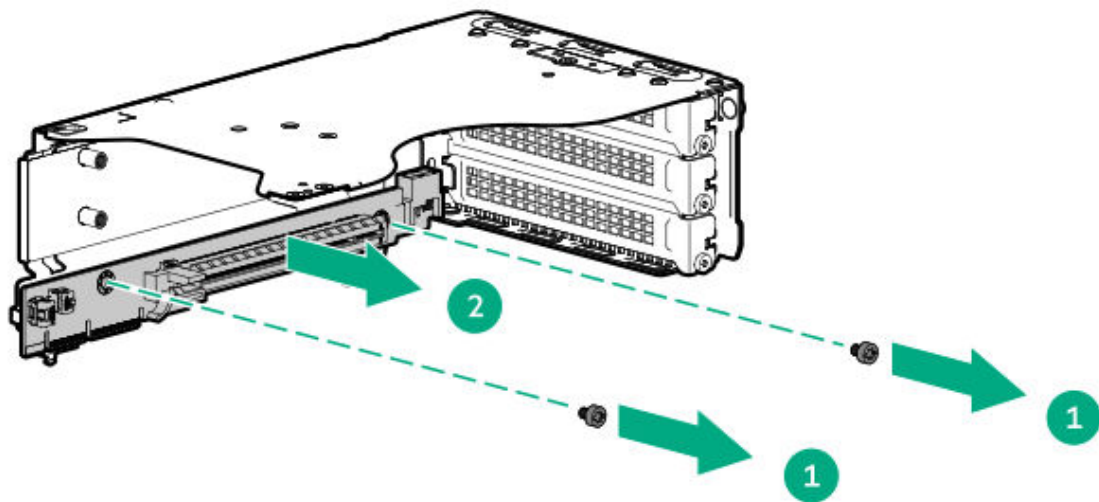
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

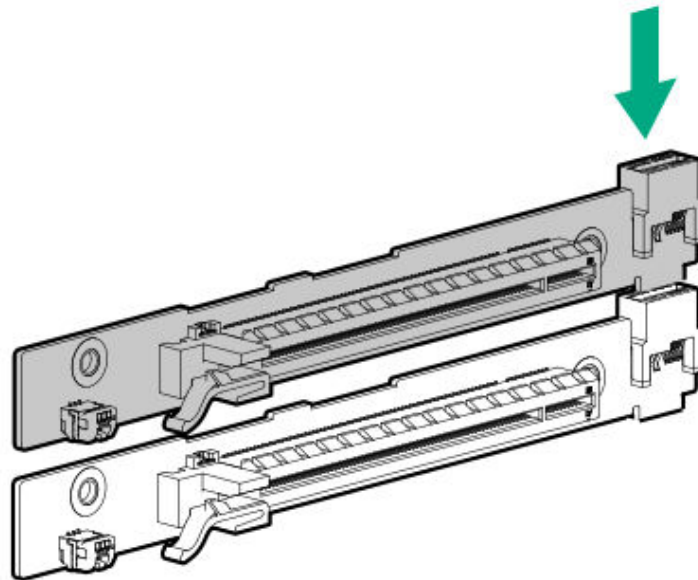
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。

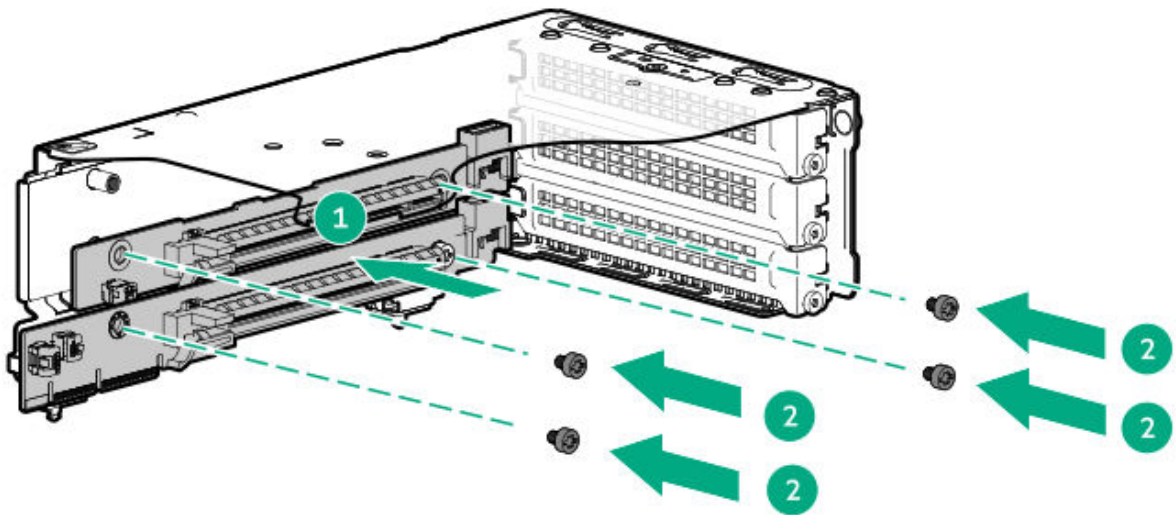
- ・ ラックからサーバーを引き出す。
- ・ ラックからサーバーを取り外す。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ エアバッフルを取り外します。
- ・ ライザーケージを取り外します。
- ・ ベースライザーを取り外します。



- ・ スタッキングライザーをベースライザーに接続します。



- l. ライザーをライザーケージに取り付けます：
 - a. ライザーをライザーケージに取り付けます。
 - b. ライザーのネジを取り付けます。



- l. (オプション) 以下のオプションを取り付けます。
 - ・ 拡張カード
 - ・ ストレージコントローラー
 - ・ DPU
- l. ライザーケージを取り付けます。
- l. アクセスパネルを取り付けます。
- l. サーバーをラックに取り付けます。
- l. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- l. 各電源コードをサーバーに接続します。
- l. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- l. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

セカンダリライザーケースオプション

このサーバーは、セカンダリライザーコネクタに接続する標準ライザーボードを備えたセカンダリライザーケースをサポートします。標準ライザーは、フルハイト、ハーフレングス、フルハイトおよびハーフハイト、ハーフレングス（ロープロファイル）の拡張カードをサポートします。

セカンダリライザーケースは、2つの 2280 M.2 NVMe SSD を含む HPE NS204i ブートデバイスをサポートしています。

サブトピック

2 スロットセカンダリライザーケースの取り付け

2 スロットセカンダリライザーケースの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ・ T-15 トルクスドライバー
- ・ T-10 トルクスドライバー

このタスクについて



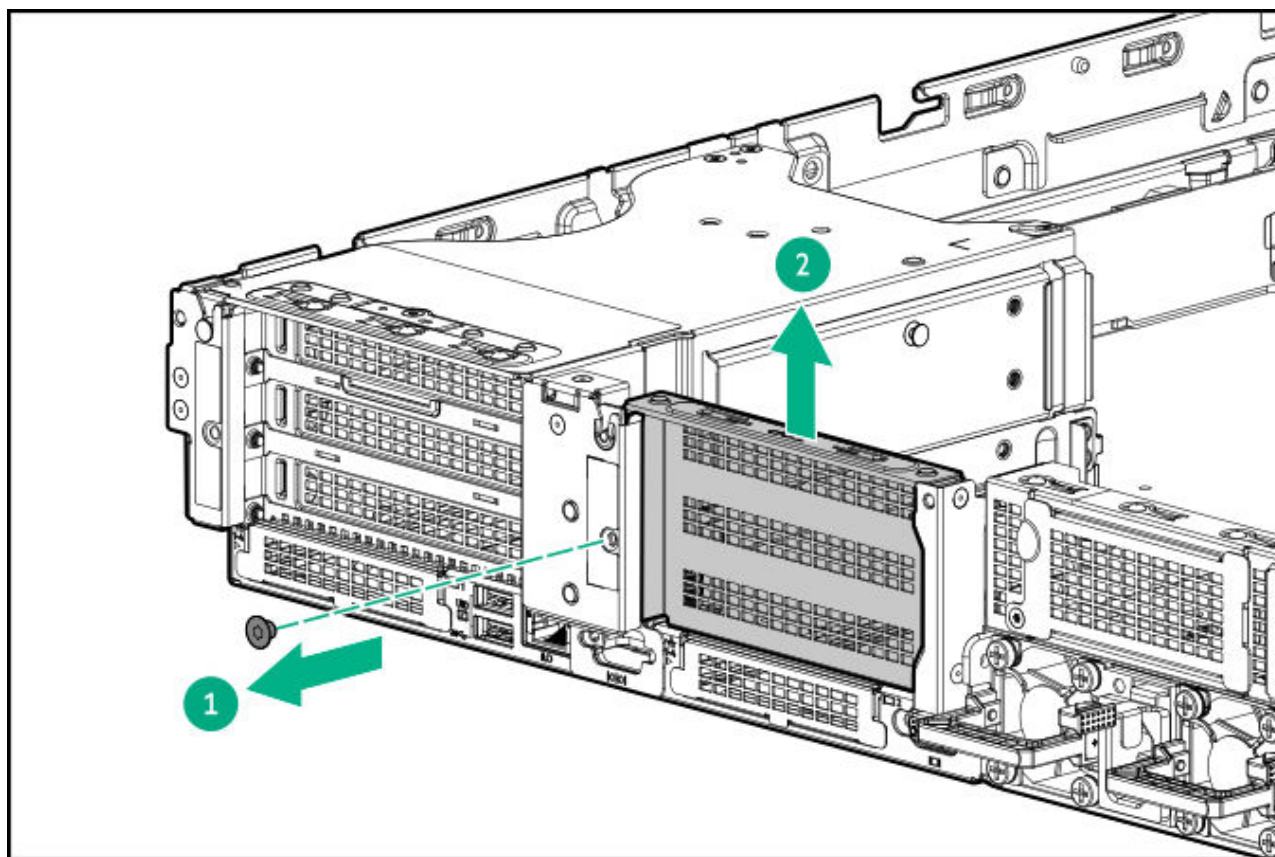
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

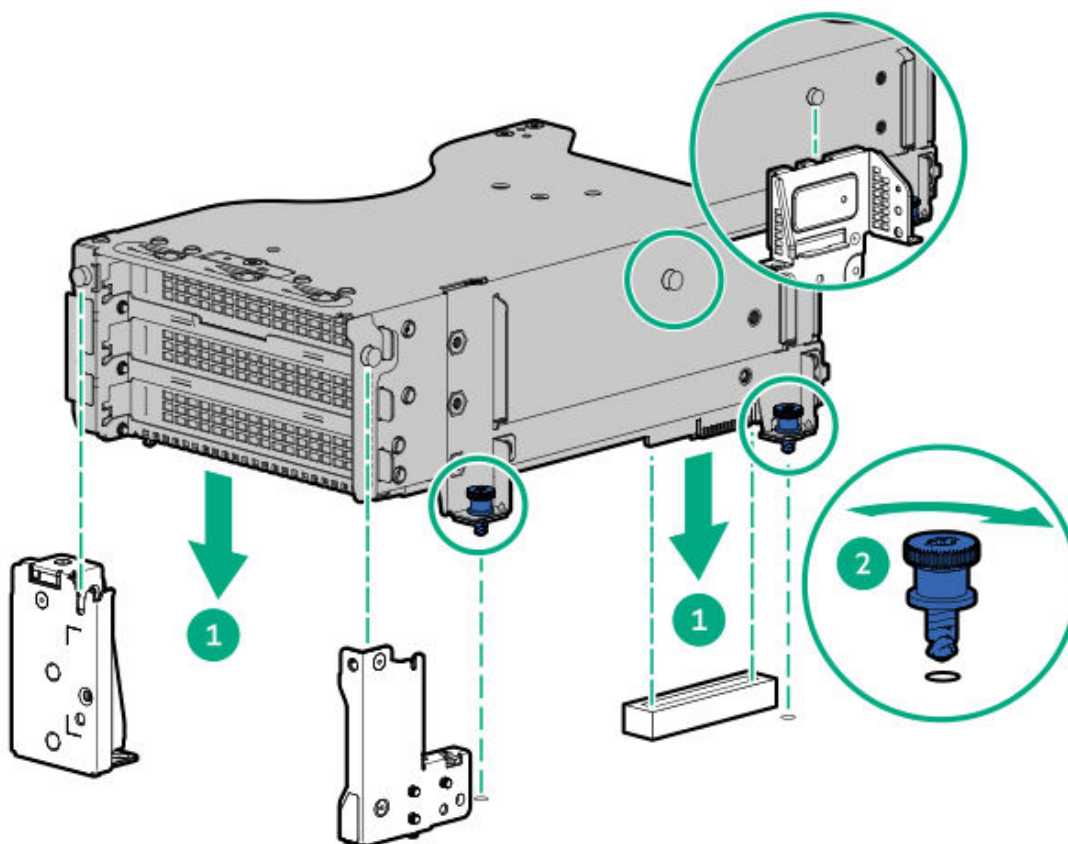
- 1. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜きます。
- 2. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
- 3. アクセスパネルを取り外します。
- 4. エアバッフルを取り外します。
- 5. セカンダリライザーケーシングブランクを取り外します。



- 6. 次のオプションをセカンダリライザーケーシングに取り付けます。
 - ・ 拡張カード
 - ・ スタッキングライザー
 - ・ ストレージコントローラー
 - ・ HPE NS204i ブートデバイス
 - ・ DPU

セカンダリライザーケースを取り付けるには：

- a. ライザーケースのピンをサーバーの後ろ側にあるノッチと、ライザーケースブラケットにあるノッチに合わせます。
- b. システムボードコネクタにライザーを慎重に押し込みます。
ライザーボードがしっかりと固定されていることを確認します。
- c. つまみネジを締めます。



すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャネルを通して配線されていることを確認します。

エアバッフルを取り付けます。

アクセスパネルを取り付けます。

サーバーをラックに取り付けます。

周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

各電源コードをサーバーに接続します。

各電源コードを電源ソースに接続します。

- ・ サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ストレージコントローラーオプション

このサーバーでは、内蔵ソフトウェア RAID がサポートされていません。直接接続された SATA ドライブは、AHCI モードで動作します。

ハードウェア RAID をサポートするには、ストレージコントローラーオプションを取り付けます。

- ・ HPE MR タイプ o およびタイプ p Gen11 コントローラー
- ・ HPE SR タイプ p Gen11 コントローラー

トライモードストレージコントローラーオプションを U.3 ドライブバックプレーンと一緒に使用する際に、システムは混合ドライブ構成をサポートします。

サブトピック

ストレージコントローラー取り付けのためのサーバーの準備
タイプ o ストレージコントローラー (OROC) の取り付け
タイプ p ストレージコントローラーの取り付け

ストレージコントローラー取り付けのためのサーバーの準備

前提条件

この手順を開始する前に、Service Pack for ProLiant (SPP) の Web サイト (Hewlett Packard Enterprise) から https://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl をダウンロードします。

手順

- ・ サーバーが以前に構成されている場合、以下を行います。
 - a. システムのデータのバックアップを取ります。
 - b. すべてのアプリケーションを終了します。

- c. サーバーからユーザーがログオフしていることと、すべてのタスクが完了したことを確認してください。



注意

外付データストレージを使用しているシステムでは、必ず、サーバーの電源を最初に切り、電源を入れるときはサーバーの電源を最後に入れてください。こうすることで、サーバーが起動したときにシステムがドライブを故障とみなす誤動作を防止できます。

- サーバーファームウェアが最新のリビジョンでない場合は、ファームウェアをアップデートします。
- 新しいコントローラーが新しいブートデバイスである場合は、コントローラードライバーをインストールします。

タイプ0ストレージコントローラー (OROC) の取り付け

前提条件

- ストレージコントローラーオプションのフラッシュバック式ライトキャッシュ (FBWC) 機能を有効にするには、Energy Pack を取り付けます。

コントローラーキャッシュ機能について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/qs>) でコントローラーの QuickSpecs を参照してください。

- この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - 互換性のあるコントローラーのケーブル
 - T-10 トルクスドライバー
 - スパッジャーまたは小さな持ち上げ工具

このタスクについて

このサーバーでは、OCP スロット 17 および 18 へのタイプ o ストレージコントローラーの取り付けがサポートされています。



注意

ポートブランクは EMI シールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応する I/O ポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。



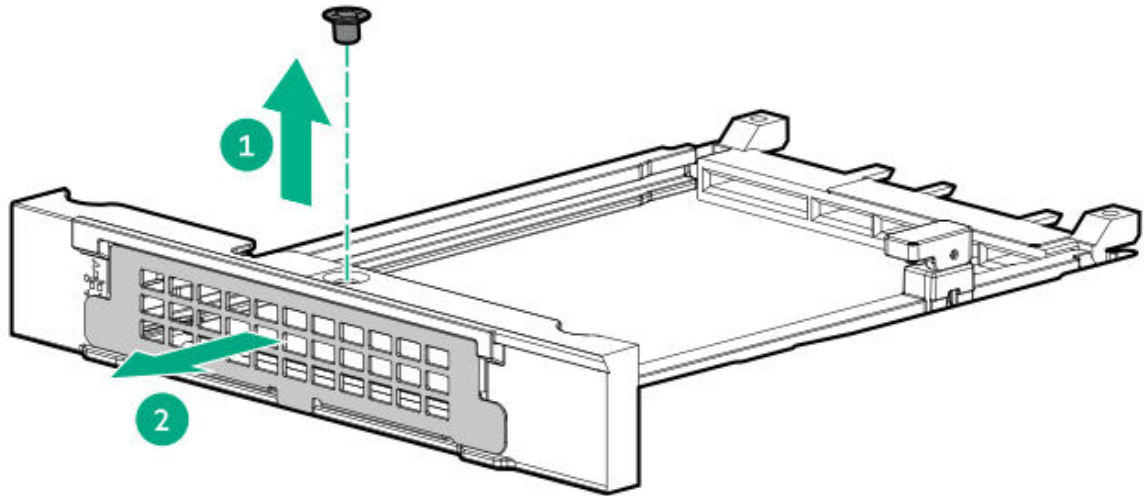
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. エアバッフルを取り外します。
7. ライザーケージを取り外します。
8. OCP スロットブランクを取り外します。
 - a. ブランクのネジを取り外します。
 - b. ブランクを取り外します。

ネジとブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。

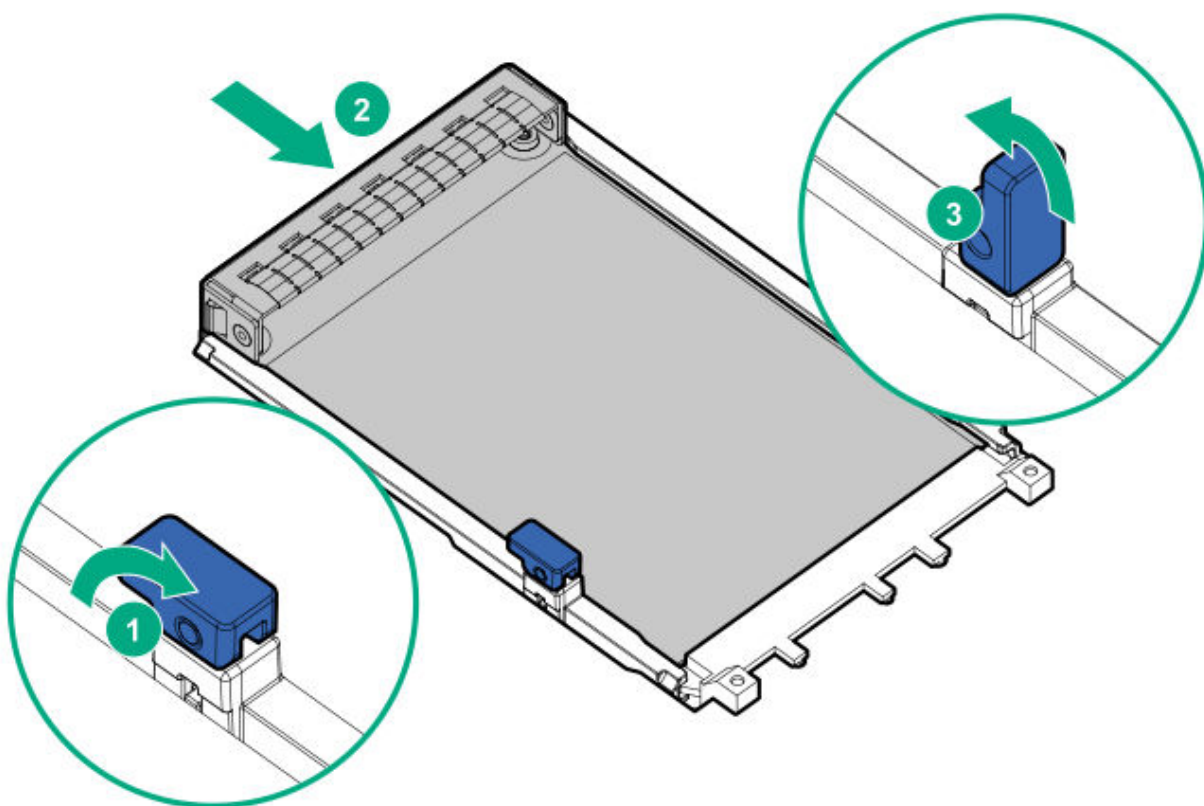


タイプ O ストレージコントローラーを取り付けます。

- a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。
- b. カチッとハマるまで、コントローラーをベイにスライドさせます。

コントローラーがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。

- c. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。



- 1. ライザーケージを取り付けます。
- 2. ストレージコントローラーの FBWC 機能を有効にするには、Energy Pack を取り付けます。
- 3. すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。
- 4. エアバッフルを取り付けます。
- 5. アクセスパネルを取り付けます。
- 6. サーバーをラックに取り付けます。
- 7. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 8. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 9. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 10. サーバーの電源を入れます。
- 11. サーバーファームウェアが最新のリリースでない場合はアップデートします。
- 12. コントローラーを構成します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

タイプ p ストレージコントローラーの取り付け

前提条件

- ・ ストレージコントローラーオプションのフラッシュバック式ライトキャッシュ (FBWC) 機能を有効にするには、Energy Pack を取り付けます。

コントローラーキャッシュ機能について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/qs>) でコントローラーの QuickSpecs を参照してください。

- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - 互換性のあるコントローラーのケーブル
 - T-10 トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

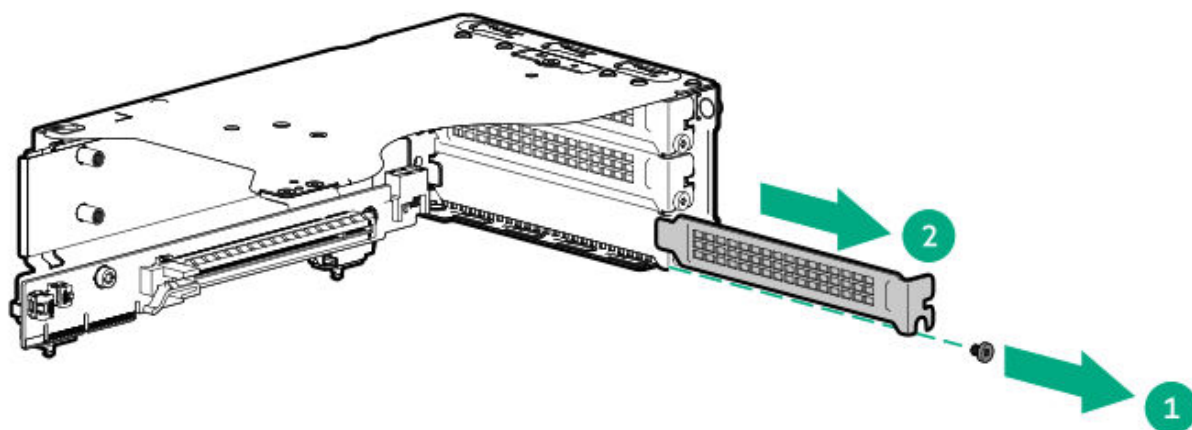
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべての PCIe スロットに必ず、ライザースロットブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。

手順

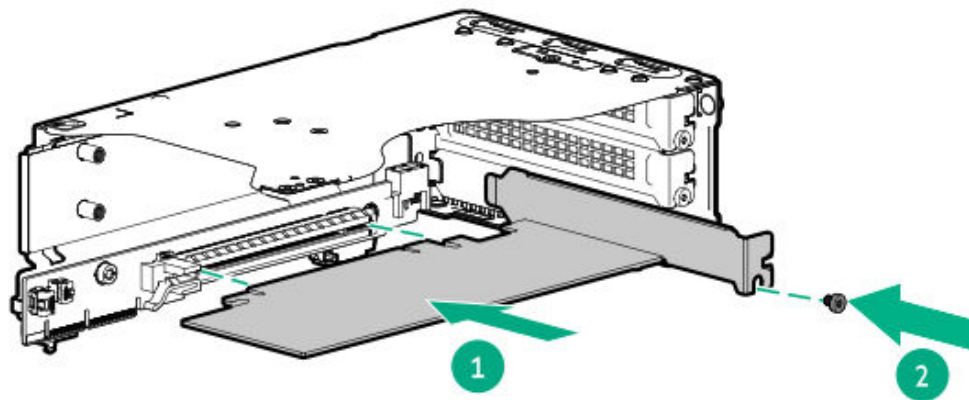
- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。

- ・ 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ エアバッフルを取り外します。
- ・ ライザーケージを取り外します。
- ・ タイプ p コントローラーを取り付けます。
 - a. ライザー SLOT ブランクを取り外します。

ネジとブランクは保管しておいてください。このネジは、新しいタイプ p ストレージコントローラーを固定するために使用されます。



- b. ストレージコントローラーを取り付ける
拡張カードがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。



- 1. ライザーケージを取り付けます。
- 2. ストレージコントローラーの FBWC 機能を有効にするには、Energy Pack を取り付けます。
- 3. すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。
- 4. エアバッフルを取り付けます。
- 5. アクセスパネルを取り付けます。
- 6. サーバーをラックに取り付けます。
- 7. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 8. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 9. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 10. サーバーの電源を入れます。
- 11. サーバーファームウェアが最新のリリースでない場合はアップデートします。
- 12. コントローラーを構成します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

Energy Pack オプション

サーバー電源の計画外の停電が発生した場合、HPE ストレージコントローラーのフラッシュバックアップ式ライトキャッシュ (FBWC) 機能には、フラッシュデバイス内の書き込みキャッシュデータをバックアップするための集中型バックアップ電源が必要です。このサーバーは、Energy Pack と総称される次の電源オプションをサポートします。

- ・ HPE Smart ストレージバッテリー
- ・ HPE Smart ストレージハイブリッドキャパシター

1 つの Energy Pack で、複数のデバイスをサポートします。その取り付け後に、Energy Pack のステータスが HPE iLO に表示されます。詳しくは、iLO のユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>

サブトピック

HPE Smart ストレージバッテリー
HPE Smart ストレージハイブリッドキャパシター
Energy Pack を取り付ける

HPE Smart ストレージバッテリー

1 個の 96 W バッテリーで最大 24 のデバイスをサポートできます。

バッテリーの取り付け後、充電に最大で 2 時間かかることがあります。バックアップ電源が必要なコントローラーの機能は、バッテリーがバックアップ電源をサポートできるようになるまで再度有効になりません。

このサーバーは、260 mm ケーブル付き 96 W HPE Smart ストレージバッテリーをサポートします。

詳しくは、HPE Smart ストレージバッテリーおよびハイブリッドキャパシターの QuickSpecs を参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-qs

HPE Smart ストレージハイブリッドキャパシター

コンデンサーパックは、最大 3 つまでのデバイスをサポートできます。

このサーバーは、260 mm ケーブル付き 12 W または 16 W HPE Smart ストレージハイブリッド キャパシターをサポートします。

HPE Smart ストレージハイブリッドキャパシターを取り付ける前に、このコンデンサーパックをサポートするためのファームウェアの最小要件をシステム BIOS が満たしていることを確認します。



重要

システム BIOS またはコントローラーファームウェアがファームウェアの最小推奨バージョンよりも古い場合、コンデンサーパックは1つのデバイスのみサポートします。

コンデンサーパックは、システムの起動後に完全に充電されています。

詳しくは、HPE Smart ストレージバッテリーおよびハイブリッドキャパシターの QuickSpecs を参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-qs

サブトピック

最小ファームウェアバージョン

最小ファームウェアバージョン

製品	最小ファームウェアバージョン
サーバーシステム ROM	1.20
HPE MR タイプ o およびタイプ p Gen11 コントローラー	52.24.3-4948
HPE SR900 シリーズタイプ p Gen11 コントローラー	03.01.14.062

Energy Pack を取り付ける

前提条件

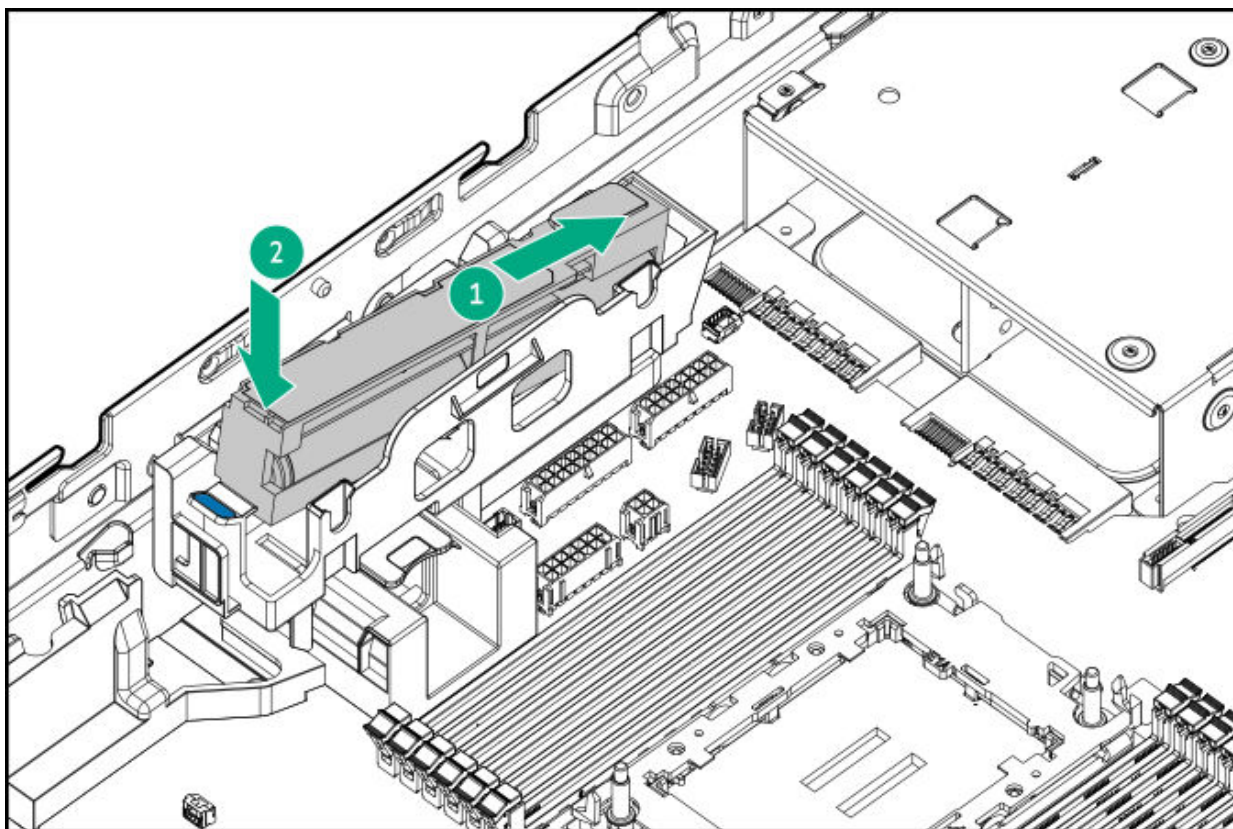
この手順を実行する前に、以下を確認してください。

- ・ SR/MR タイプ p またはタイプ o ストレージコントローラーが取り付けられていることを確認します。
- ・ 以下のアイテムが揃っていることを確認してください。
 - ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル（ストレージコントローラー付属）
 - Energy Pack オプション

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. エアバッフルを取り外します。
7. Energy Pack を取り付けます。
 - a. Energy Pack をホルダーに斜めに挿入します。
 - b. Energy Pack を下方向に回転させます。

Energy Pack がホルダーにロックされていることを確認します。



1. Energy Pack ケーブルをシステムボードに接続します。
2. すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。
3. エアバッフルを取り付けます。
4. アクセスパネルを取り付けます。
5. サーバーをラックに取り付けます。
6. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
7. 各電源コードをサーバーに接続します。
8. 各電源コードを電源ソースに接続します。
9. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

拡張カードオプション

このサーバーでは、次のようなフルハイト、ハーフレングス、フルハイトおよびハーフハイト、ハーフレングス（ロープロファイル）の PCIe 拡張/アドイン（AIC）カードの取り付けをサポートしています。

- ・ HPE タイプ p ストレージコントローラー
- ・ イーサネットアダプター
- ・ HDR InfiniBand アダプター
- ・ ファイバーチャネルホストバスアダプター（FC HBA）
- ・ アクセラレータ（ワークロード、演算、またはグラフィックスプロセッシングユニット）

このサーバーで検証済みの拡張オプションについて詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトにあるサーバーの QuickSpecs を参照してください。

<https://buy.hpe.com/us/en/p/1014696168>

サブトピック

拡張カードの取り付け

拡張カードの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-10 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



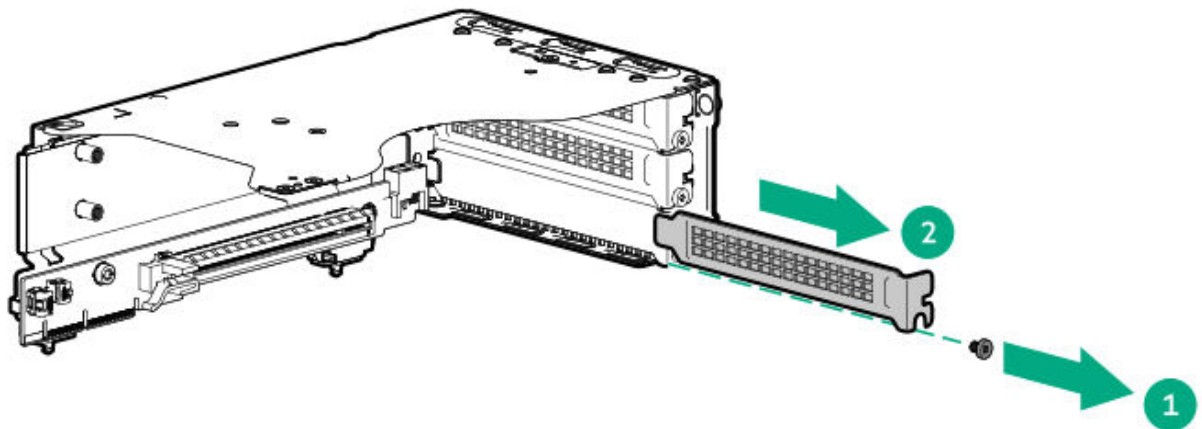
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべての PCIe スロットに必ず、ライザースロットブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。

手順

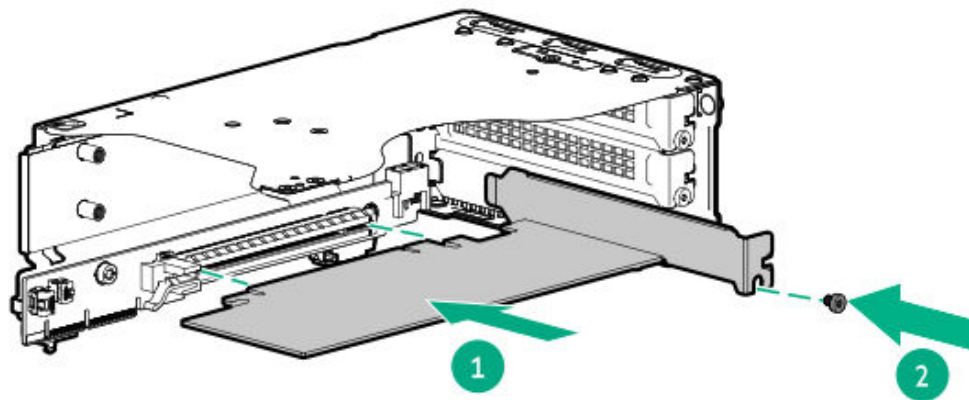
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. エアバッフルを取り外します。
7. ライザーケージを取り外します。
8. 拡張カードを取り付けます。
 - a. ライザーロットブランクを取り外します。

ネジとブランクは保管しておいてください。このネジは、新しい拡張カードを取り付けるために使用されます。



- b. 拡張カードを取り付けます。

拡張カードがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。



- 1. ライザーケージを取り付けます。
- 2. 必要な内部ケーブルをすべて拡張カードに接続します。
これらのケーブル接続の要件について詳しくは、オプションに付属のドキュメントを参照してください。
- 3. すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。
- 4. エアバッフルを取り付けます。
- 5. アクセスパネルを取り付けます。
- 6. サーバーをラックに取り付けます。
- 7. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 8. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 9. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 10. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

プロセッサースヒートシンクアセンブリオプション

サブトピック

プロセッサに関する注意事項



注意

プロセッサやシステムボードの損傷を防止するために、この サーバー のプロセッサの交換や取り付けは、認定された担当者のみが行ってください。



注意

サーバーの誤動作や装置の損傷を防止するために、マルチプロセッサ構成では、必ず、同じ部品番号のプロセッサを使用してください。



注意

プロセッサソケットとプロセッサのピンは非常に壊れやすく、簡単に損傷します。コンポーネントの損傷を避けるために、これらのピンには触れないでください。ピンが壊れると、システムボードやプロセッサの交換が必要になる場合があります。



重要

プロセッサソケット 1 には必ずプロセッサを取り付けてください。ソケット 1 にプロセッサが取り付けられていない場合、サーバーは動作しません。



重要

以前より高速のプロセッサを取り付ける場合は、プロセッサを取り付ける前に、システム ROM をアップデートしてください。ファームウェアをダウンロードする場合は、ファームウェアまたはシステム ROM のアップデートを参照してください。

プロセッサヒートシンクアセンブリの取り付け

前提条件

- ・ ヒートシンクとプロセッサソケットコンポーネントを特定します。

- ・ 以下の内容を確認してください。
 - プロセッサに関する注意事項を確認します
 - ファンとヒートシンクの要件
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - トルクドライバーと T-30 トルクスビット
 - 1.0 gm (0.5 ml) x 2 のサーマルグリース

このタスクについて

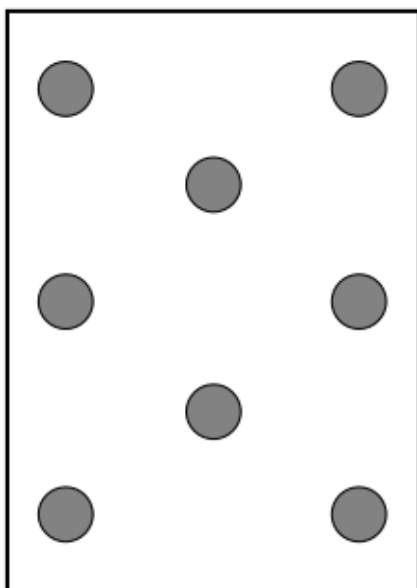


注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. エアバッフルを取り外します。
7. 同じヒートシンクを使用している場合は、プロセッサの上部にサーマルグリースシリンジの内容物すべてを塗ります。次の図に示すパターンに従ってください。

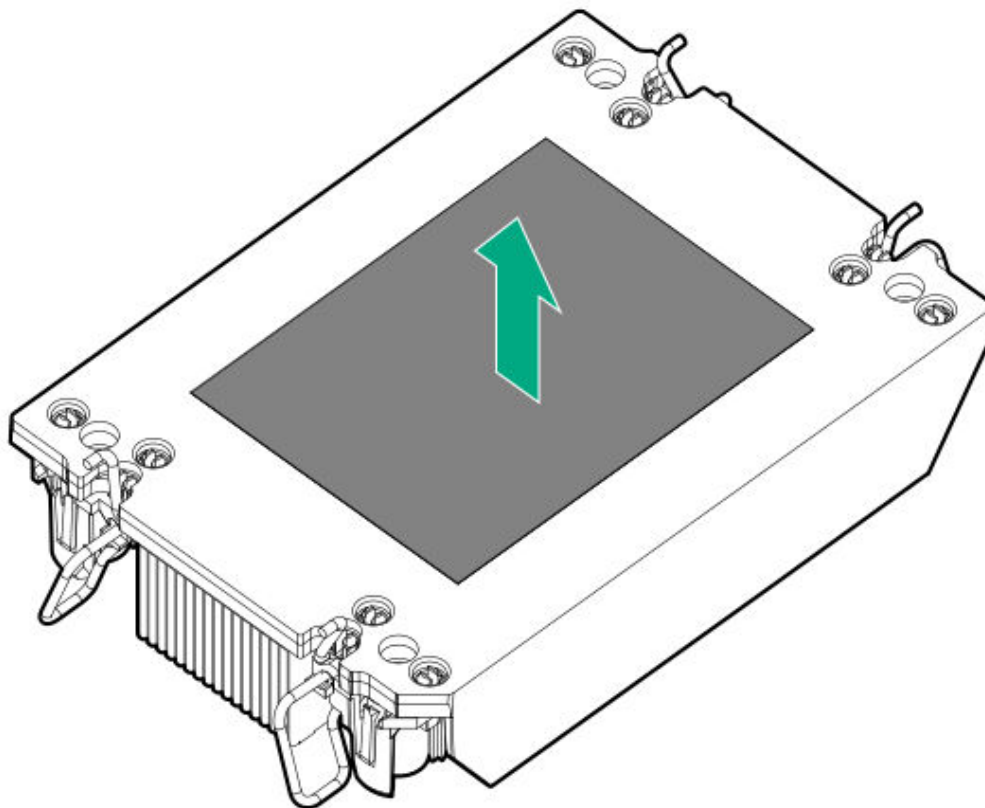


新しいヒートシンクを使用する場合は、サーマルインターフェースマテリアルから保護フィルムを取り外します。

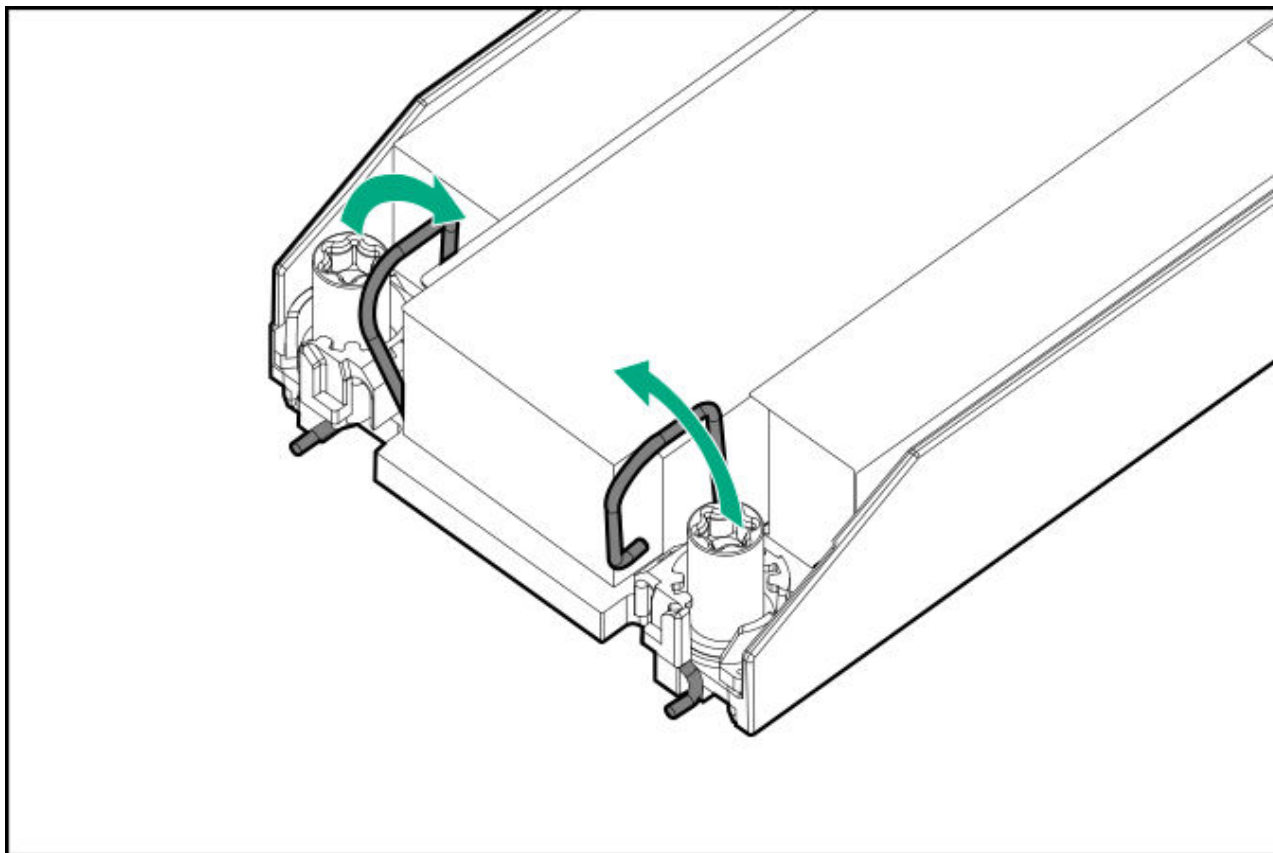


注意

機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れがヒートシンクの接触面に付かないようにするため、ヒートシンクはベースプレートの端だけでお持ちください。ヒートシンクのフィンに手を触れないでください。



傾き防止ワイヤーをロック解除位置に設定します。

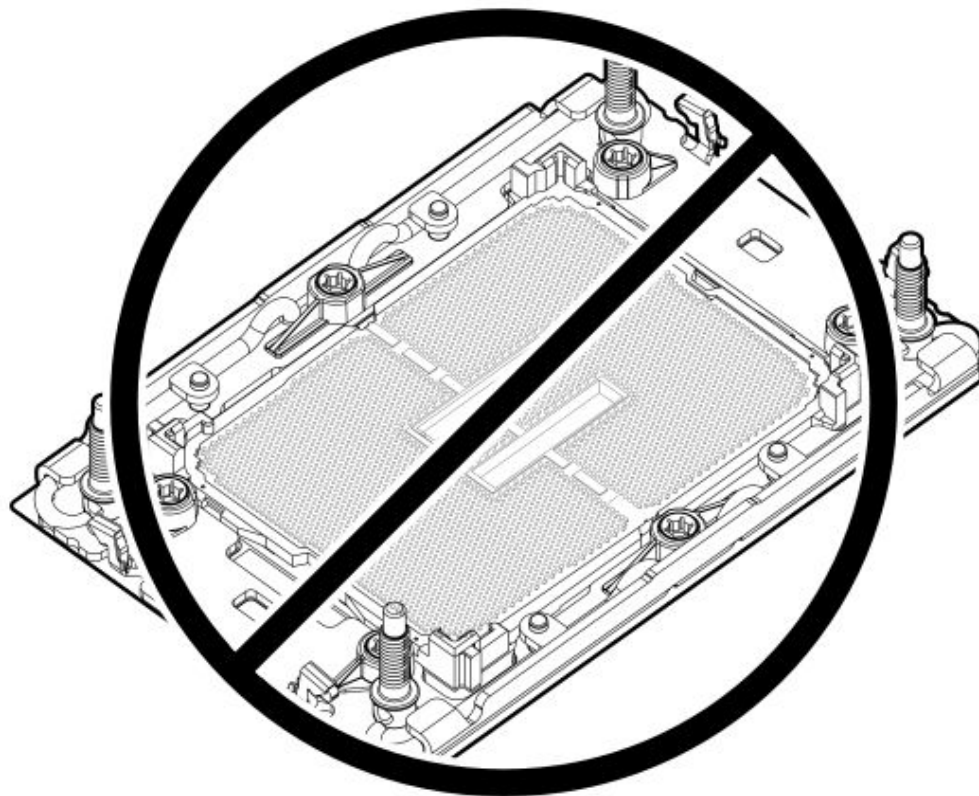


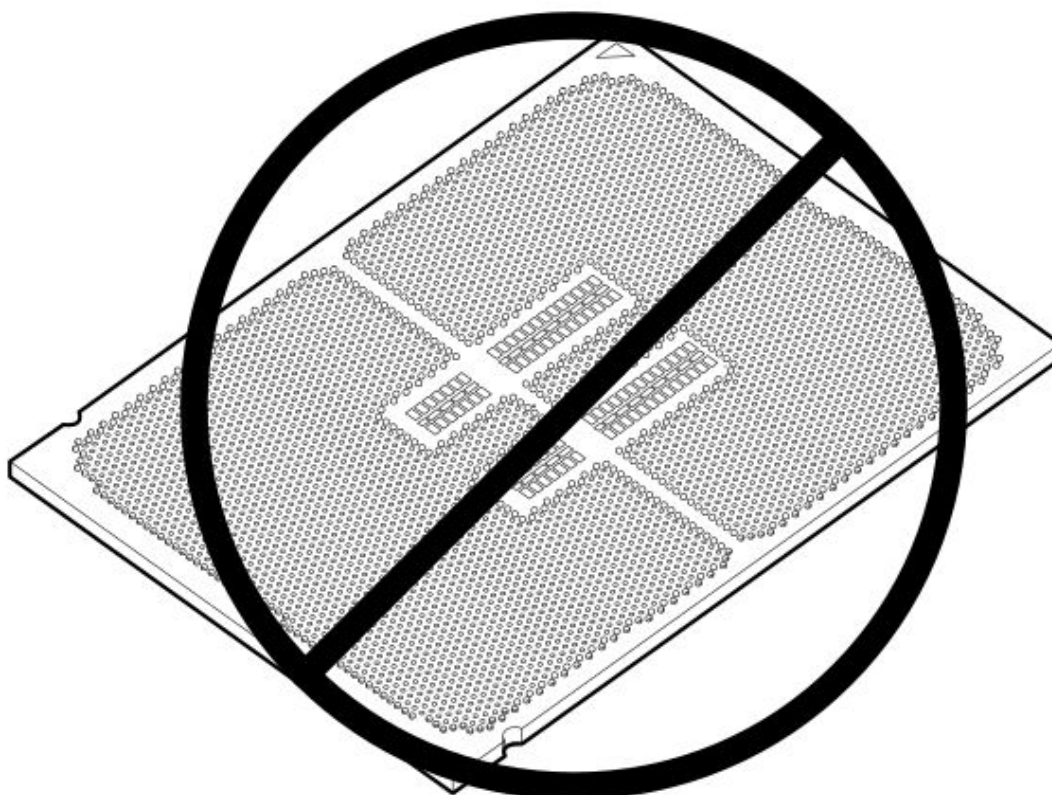
- ! プロセッサースocketとプロセッサのピンには触れないでください。



注意

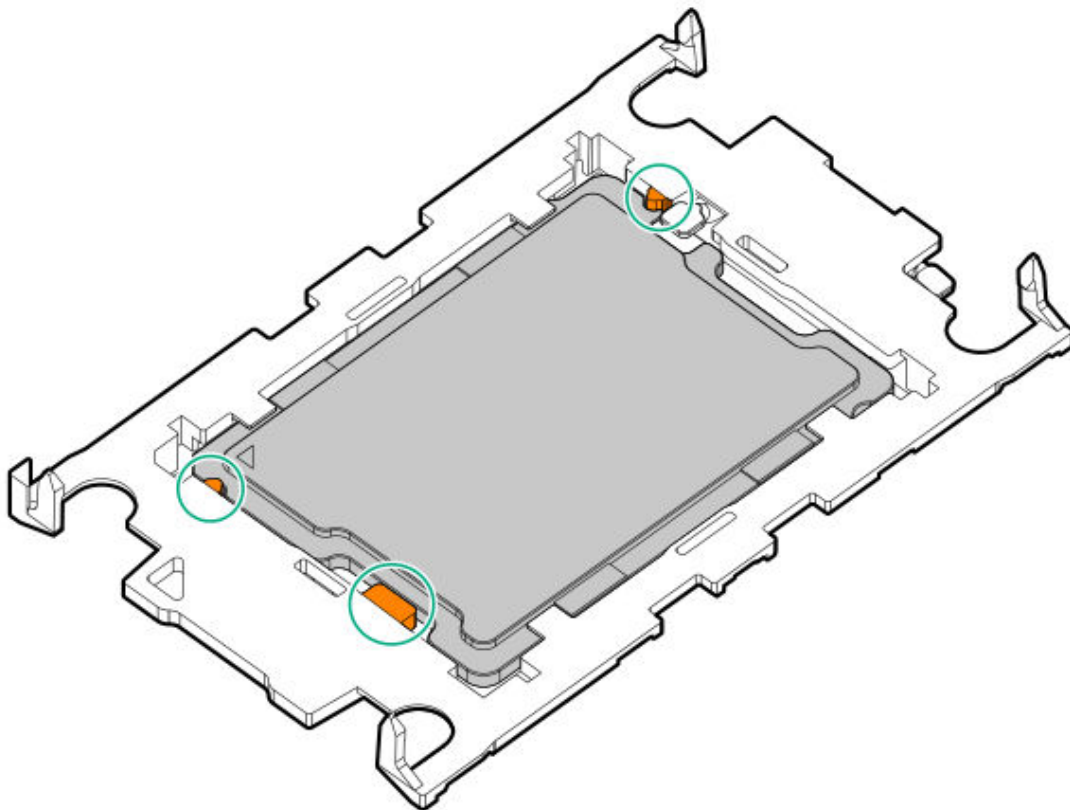
プロセッサースocketとプロセッサのピンは非常に壊れやすく、簡単に損傷します。ピンが壊れると、システムボードの交換が必要になる場合があります。



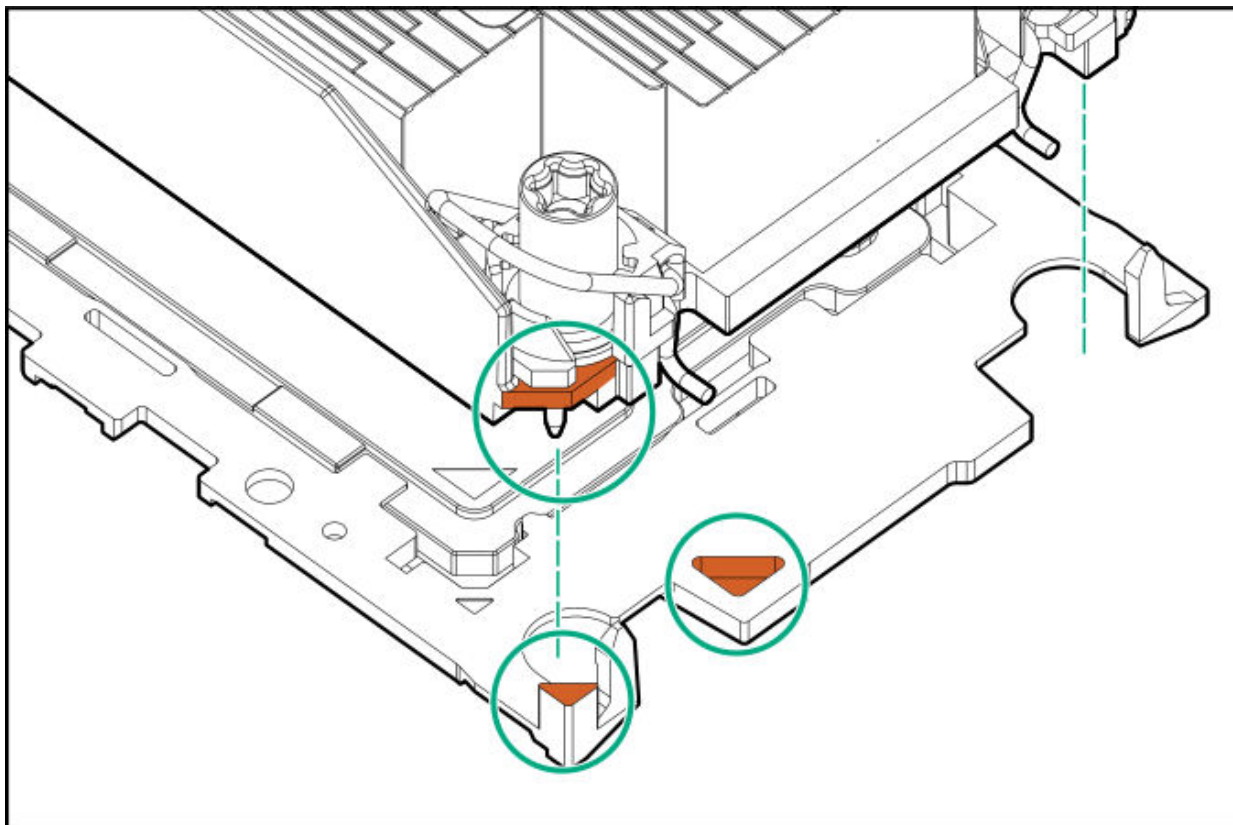


． プロセッサがプロセッサキャリアにしっかりと固定されていることを確認します。

次の図は、プロセッサを固定するキーイング機能タブを示しています。これらのタブの位置は、プロセッサキャリアによって異なります。



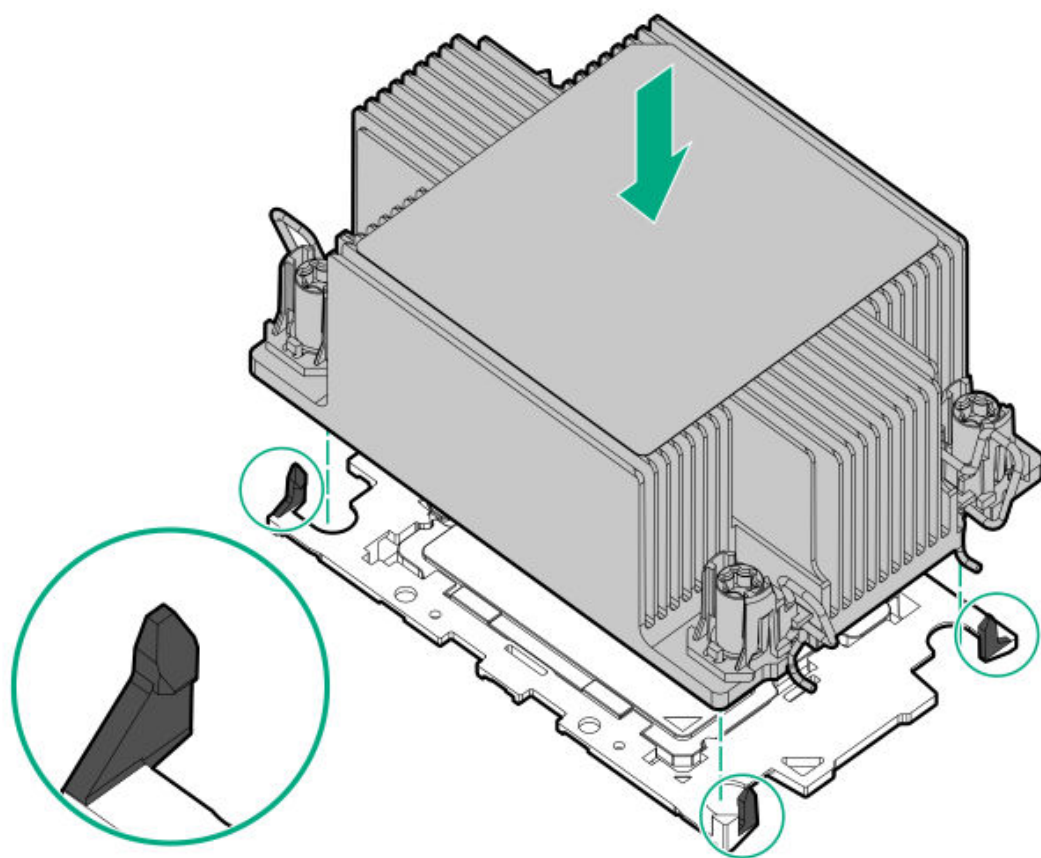
4. ヒートシンクをプロセッサキャリアに接続します。
 - a. プロセッサキャリアとヒートシンクとでピン1インジケータを揃えます。



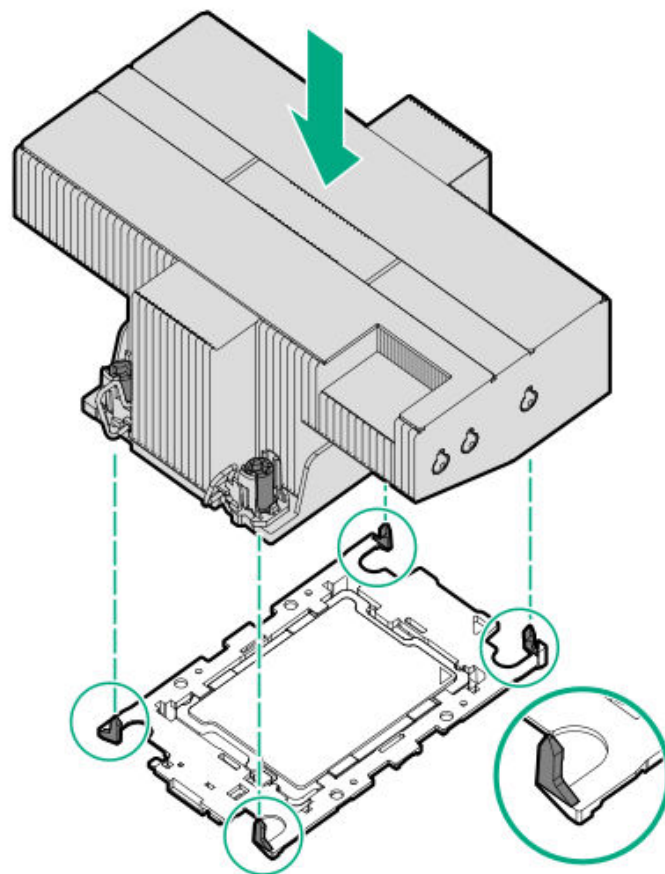
- b. プロセッサキャリアのタブが所定の位置にカチッと収まるまで、ヒートシンクをキャリアの上に下ろします。

ヒートシンクがプロセッサキャリアに正しく固定されたことを示すカチッという音がします。

- ・ 標準ヒートシンク

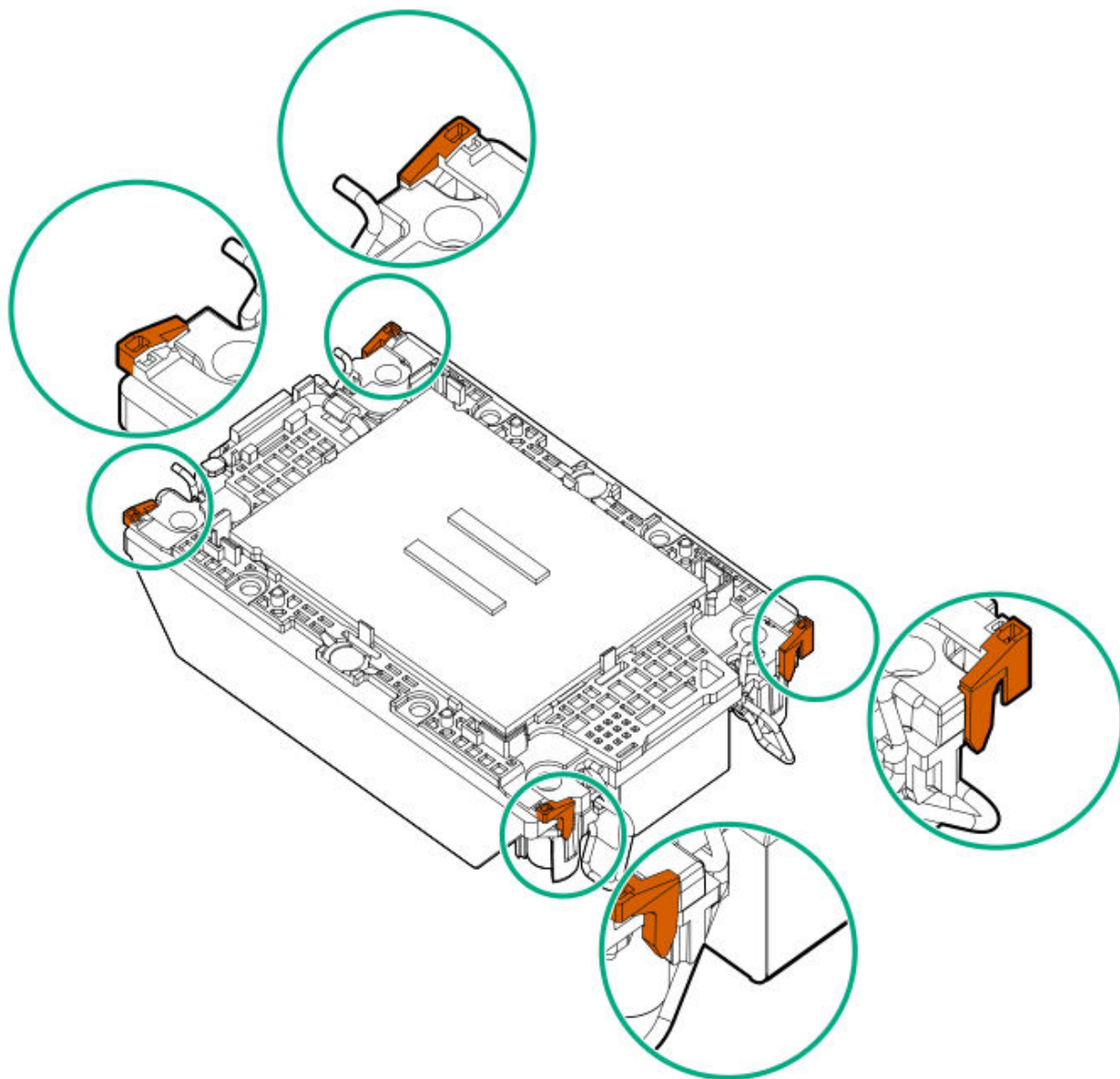


- ・ 高性能ヒートシンク

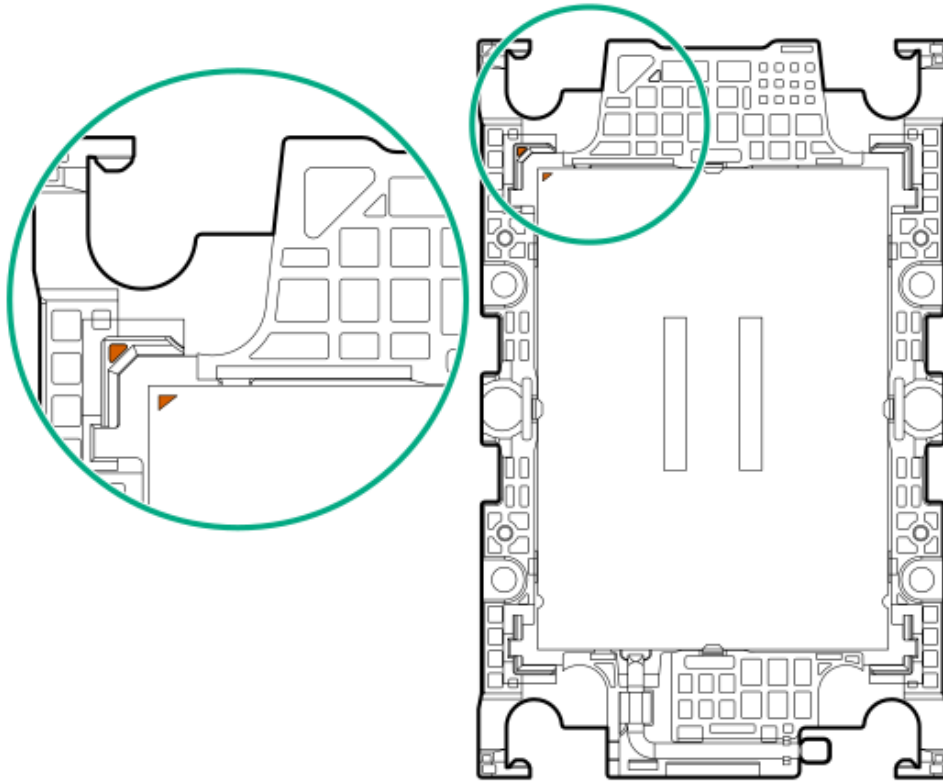


次の確認手順を実行します。

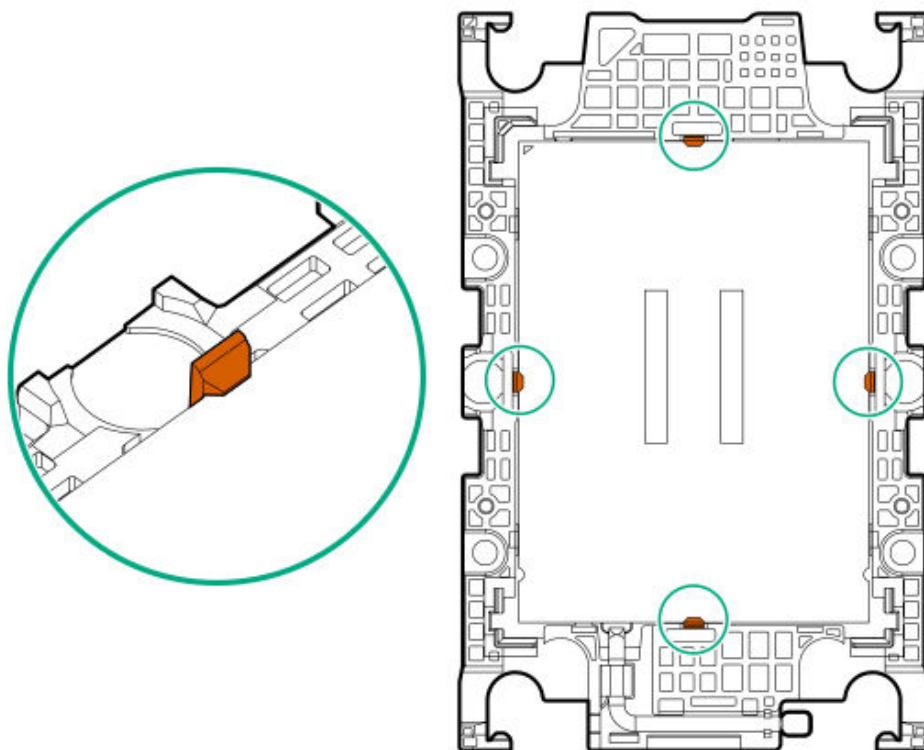
- a. プロセッサキャリアのタブがヒートシンクにしっかりと固定されていることを確認します。



- b. プロセッサとプロセッサキャリアのピン1インジケーターが揃っていることを確認します。



c. プロセッサがキャリアのスナップで正しく固定されていることを確認します。





注意

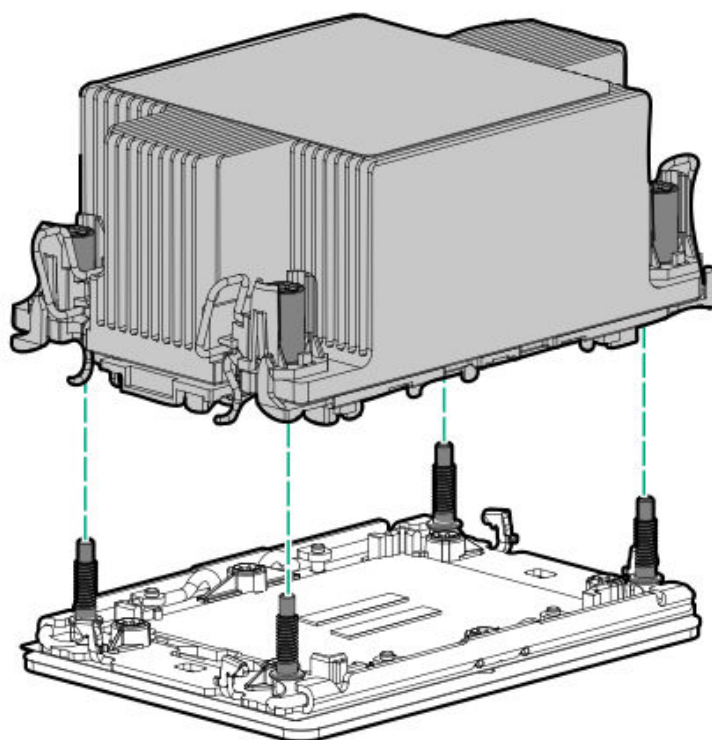
温度劣化またはコンポーネントの損傷を防ぐため、ヒートシンクのベースプレートの下部がプロセッサの上部に触れたら、ヒートシンクを動かさないでください。ヒートシンクの動きが大きすぎると、サーマルグリースが汚れて不均一になる可能性があります。コンパウンドのボイドは、プロセッサからの熱伝導に悪影響を与える可能性があります。

プロセッサヒートシンクモジュールを取り付けます。

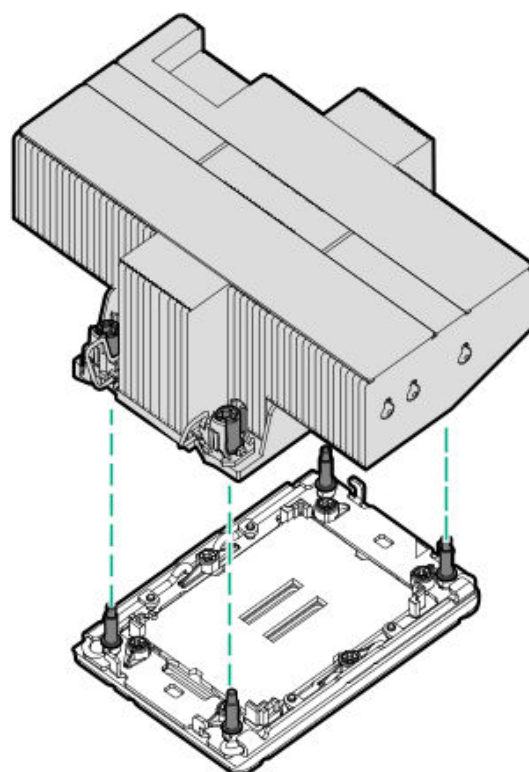
- a. トルクレンチを使用してヒートシンクのネジを締める場合は、0.9 N-m (8 in-lb)のトルクに設定します。
- b. ヒートシンクラベルの **Front of** サーバーのテキストに注意して、ボルスタープレート上でプロセッサヒートシンクモジュールを正しい向きにします。
- c. ボルスタープレートのガイドポストにプロセッサヒートシンクモジュールを慎重に下ろします。

モジュールを一方向にのみ取り付けることができるように、ポストにはキーが付いています。ネジを固定する前に、モジュールがボルスタープレートに正しく取り付けられていることを確認してください。

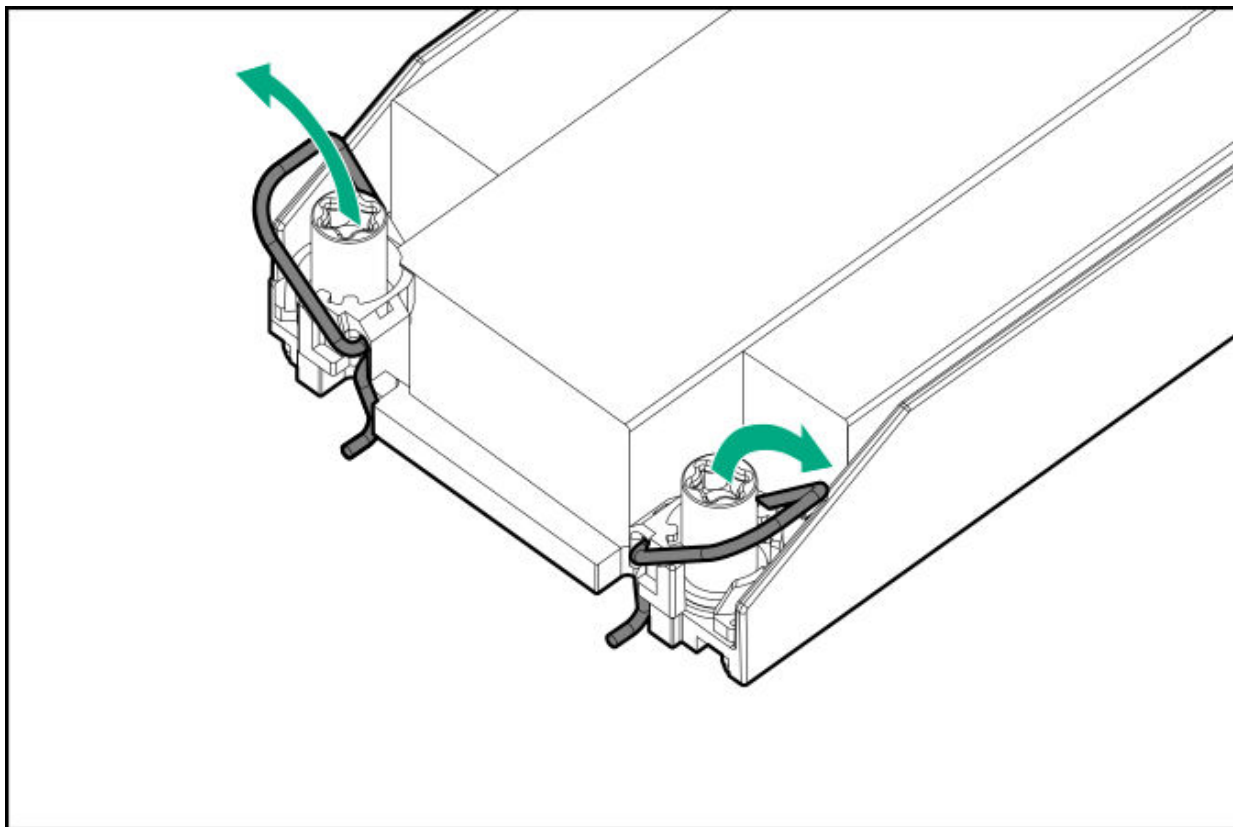
- ・ 標準ヒートシンク



- ・ 高性能ヒートシンク

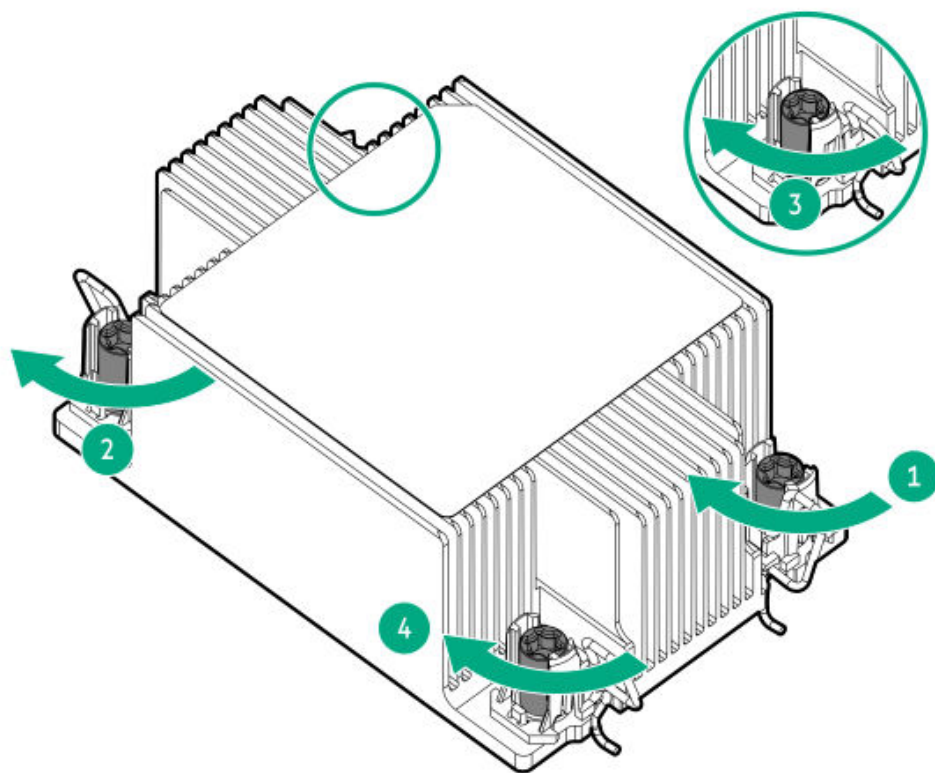


- d. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。

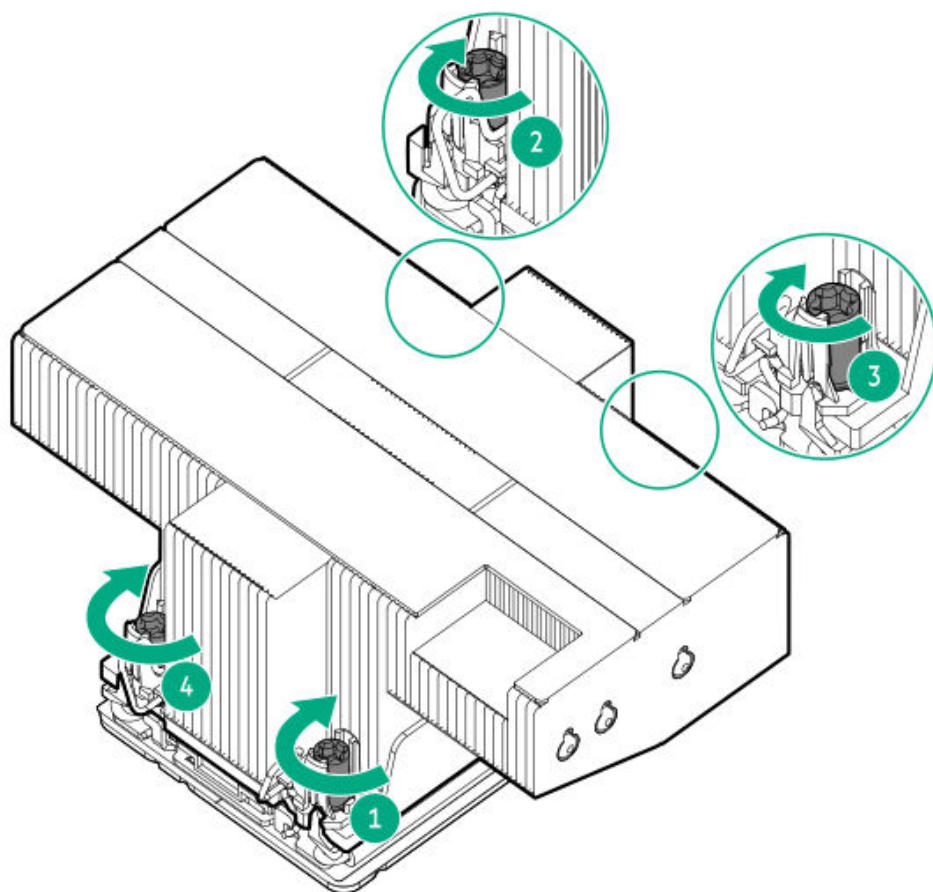


e. 対角線上にある 1 組のヒートシンクネジを締めて、次にもう 1 組のヒートシンクネジを締めます。

- ・ 標準ヒートシンク



- ・ 高性能ヒートシンク



- すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。
- エアバッフルを取り付けます。
- アクセスパネルを取り付けます。
- サーバーをラックに取り付けます。
- 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 各電源コードをサーバーに接続します。
- 各電源コードを電源ソースに接続します。
- サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

HPE NS204i-u ブートデバイスオプション

HPE NS204i-u ブートデバイスオプションに関する次の情報に注意してください。

- ・ HPE NS204i-u NVMe ホットプラグ対応ブート最適化ストレージデバイスは、ホットプラグ対応 2280 M.2 NVMe SSD を 2 台搭載した PCIe5 カスタムフォームファクターモジュールです。
- ・ このブートデバイスを使用すると、展開された OS を専用のハードウェア RAID 1 を介してミラーリングできます。
- ・ ブートデバイスは起動時に RAID 1 ボリュームを自動的に作成します。これは、ブートデバイスがそれ以上の RAID 構成を必要としないことを意味します。
- ・ このブートデバイスは、次のネイティブ OS と互換性があります。
 - Windows
 - Linux
 - VMware
- ・ このブートデバイスは、ネイティブインボックス OS NVMe ドライバーを使用します。

サブトピック

セカンダリライザーケースへのブートデバイスの取り付け
内部シャーシへのブートデバイスの取り付け

セカンダリライザーケースへのブートデバイスの取り付け

前提条件

- ・ ご使用の OS または仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。
<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>
- ・ 最新の iLO ファームウェアとサーバーの BIOS バージョンを実行していることを確認してください。
- ・ HPE NS204i-u ブートデバイスコンポーネントを特定します。
- ・ この手順を実行する前に、T-10 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて

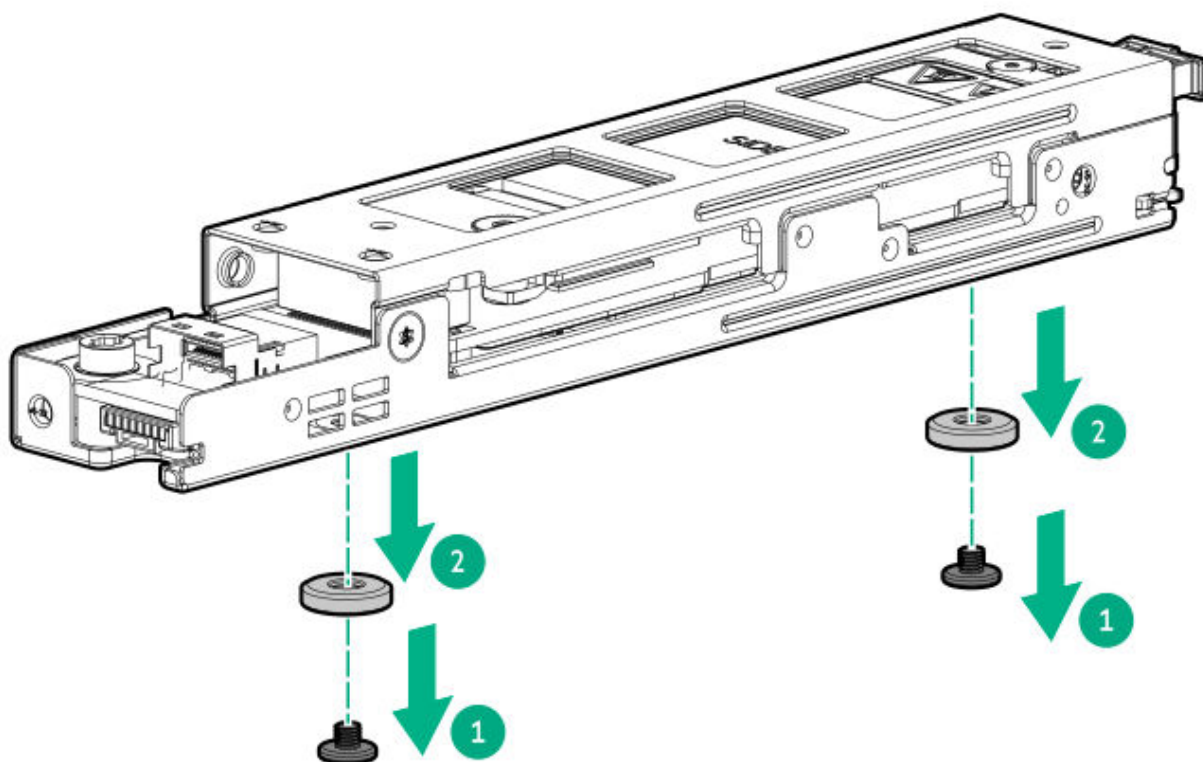


注意

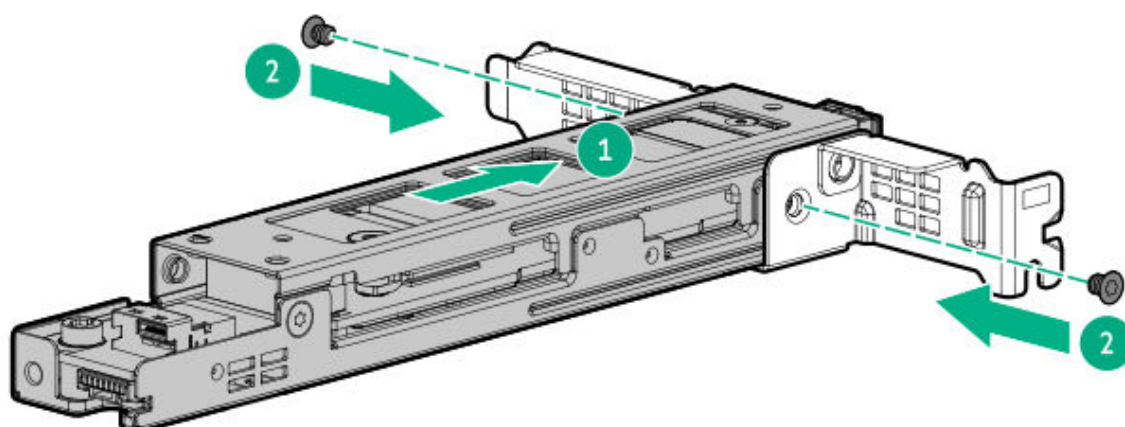
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

- 1. サーバーの電源を切ります。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- 4. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
- 5. アクセスパネルを取り外します。
- 6. エアバッフルを取り外します。
- 7. HPE NS204i-u ブートデバイスからネジとスプールを取り外します。



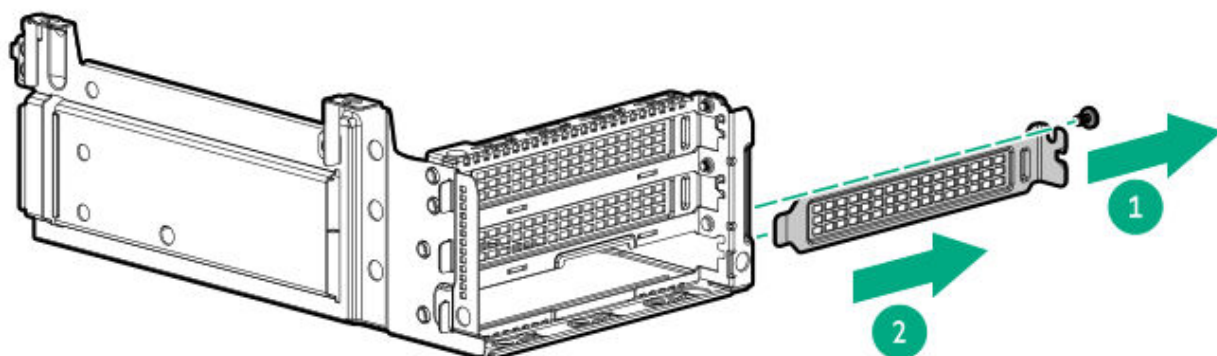
4. ブラケットにブートデバイスを取り付けます。
 - a. ブートデバイスをブラケットまでスライドさせます。
 - b. 側面にネジを取り付けます。



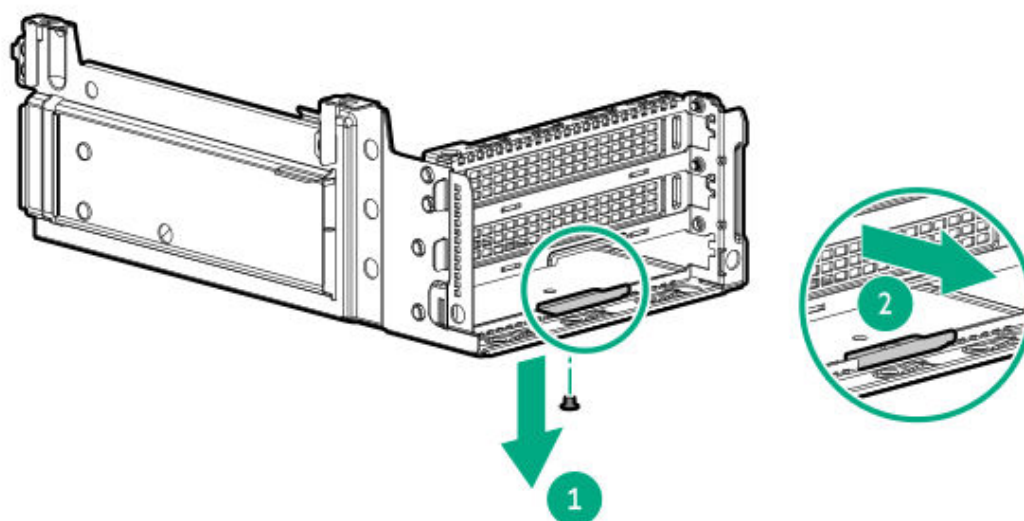
5. ブートデバイスに信号ケーブルと電源ケーブルを接続します。

- 1. セカンダリライザーケーシングからスロットブラックを取り外します。

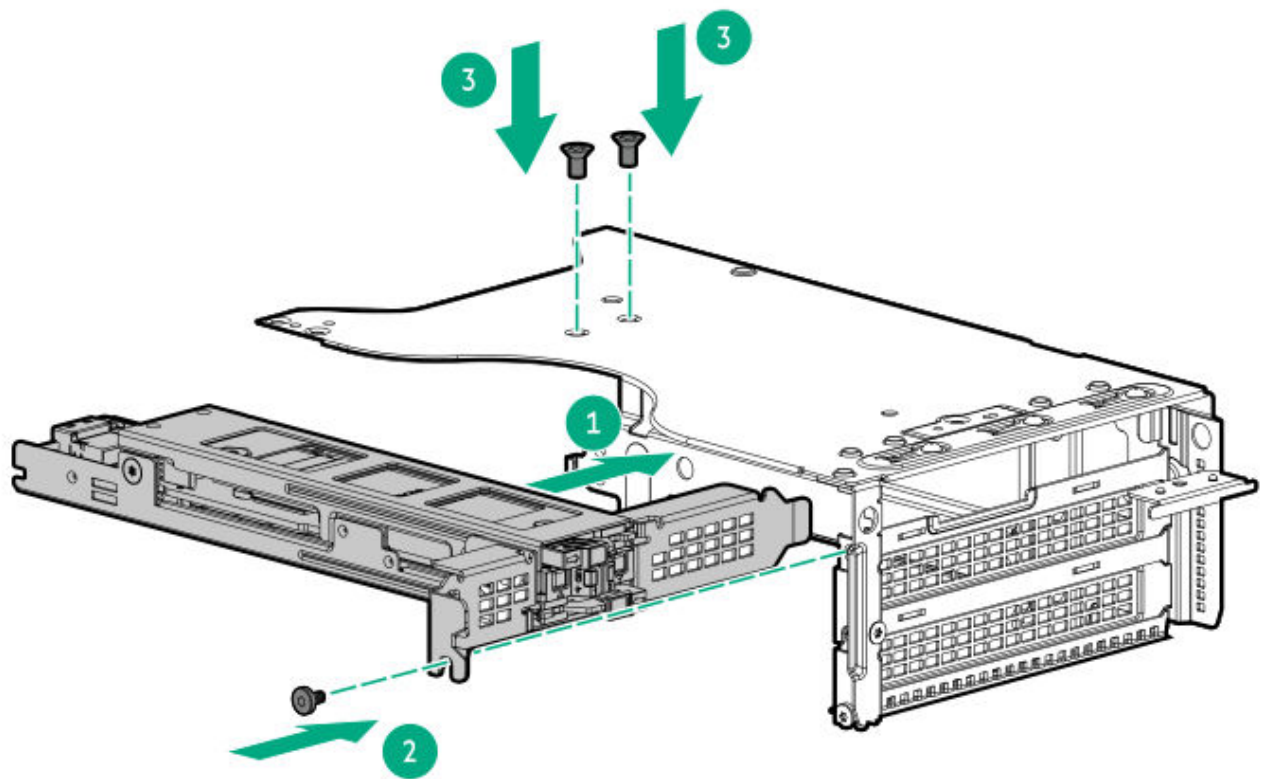
ネジは保管しておいてください。このネジは、ブートデバイスを固定するために使用されます。



- 2. セカンダリライザーケーシングからブートデバイスカバーを取り外します。



- 3. セカンダリライザーケーシングにブートデバイスアセンブリを取り付けます。



1. ライザーケージを取り付けます。
2. HPE NS204i ブートデバイスケーブルをシステムボードに接続します。
3. すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。
4. エアバッフルを取り付けます。
5. アクセスパネルを取り付けます。
6. サーバーをラックに取り付けます。
7. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
8. 各電源コードをサーバーに接続します。
9. 各電源コードを電源ソースに接続します。
10. サーバーの電源を入れます。
11. ブートデバイス上のオンライン/アクティビティ LED が緑色で点灯していることを確認します。
12. サポートされているオペレーティングシステムをブートデバイスに展開します。

- ・ OS のインストールが完了すると、システムはオペレーティングシステムをブートデバイスの 2 番目のミラー化されたドライブに自動的にコピーします。

通常のシステムセットアップと操作を続行します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

内部シャーシへのブートデバイスの取り付け

前提条件

- ・ ご使用の OS または仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。
<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>
- ・ 最新の iLO ファームウェアとサーバーの BIOS バージョンを実行していることを確認してください。
- ・ HPE NS204i-u ブートデバイスコンポーネントを特定します。
- ・ この手順を実行する前に、T-10 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。

・ ラックからサーバーを取り外す。

・ アクセスパネルを取り外します。

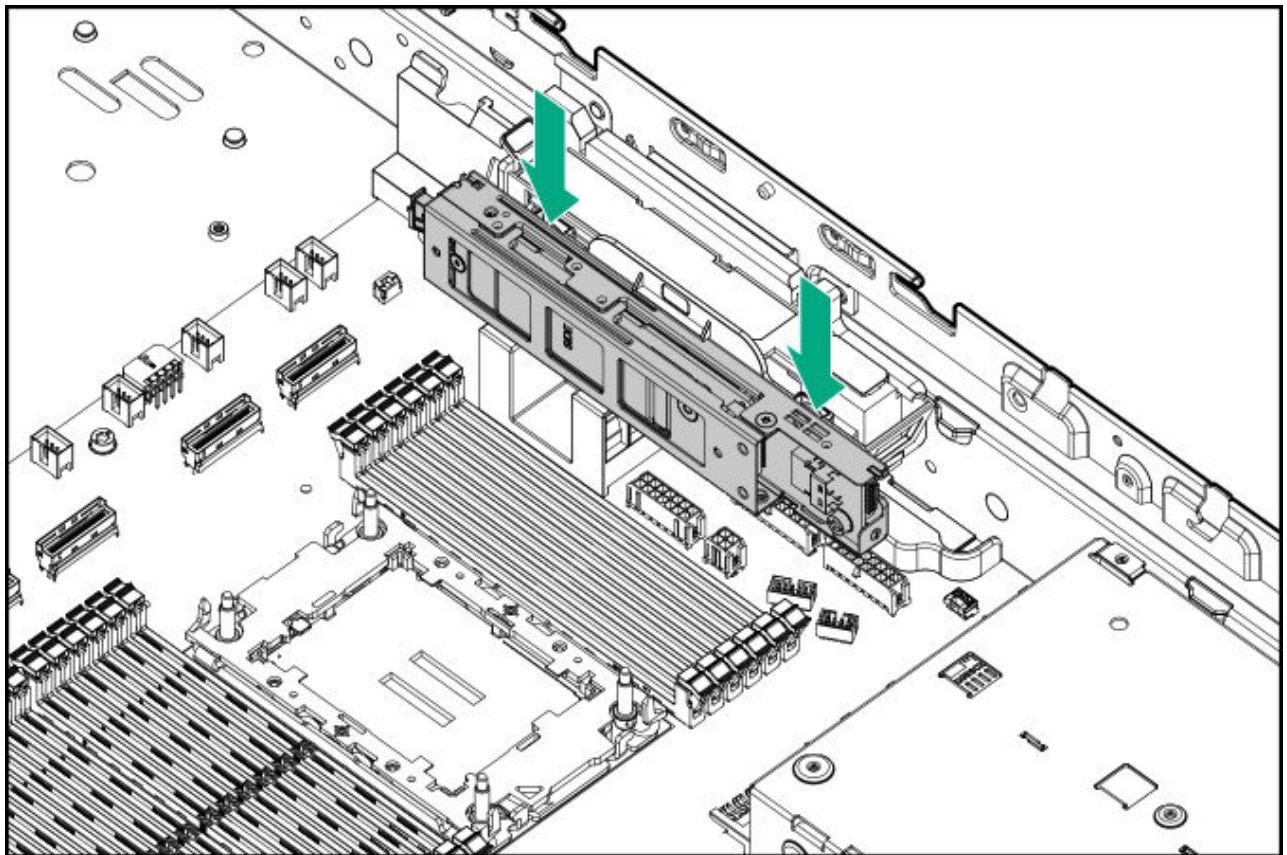
・ エアバッフルを取り外します。

・ 内部 HPE NS204i-u ブートデバイスを取り付けます。

a. HPE NS204i-u ブートデバイスのスプールを Energy Pack ホルダーに合わせます。

b. HPE NS204i-u ブートデバイスを押し下げます。

HPE NS204i-u ブートデバイスが Energy Pack ホルダーにロックされていることを確認します。



・ 内部 HPE NS204i ブートデバイスケーブルを接続します。

・ すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。

・ エアバッフルを取り付けます。

・ アクセスパネルを取り付けます。

・ サーバーをラックに取り付けます。

- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。
- ・ ブートデバイス上のオンライン/アクティビティ LED が緑色で点灯していることを確認します。
- ・ サポートされているオペレーティングシステムをブートデバイスに展開します。
- ・ OS のインストールが完了すると、システムはオペレーティングシステムをブートデバイスの 2 番目のミラー化されたドライブに自動的にコピーします。

通常のシステムセットアップと操作を続行します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

OCP NIC 3.0 オプション

サーバーは、高帯域幅アプリケーション向けのさまざまなインターフェイスと高度なインターコネクト機能を備えた SFF (2.5 型) デュアルポートおよび 4 ポート OCP NIC 3.0 オプションをサポートしています。

サブトピック

OCP NIC の取り付け

OCP NIC の取り付け

前提条件

- ・ OCP スロットの取り付けルールを確認します
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-10 トルクスドライバー
 - スパッジャーまたは小さな持ち上げ工具

- ・ OCP NIC x16 をスロット 17 に取り付ける場合は、帯域幅アップグレードケーブル (P51942-B21) が必要です。
- ・ OCP NIC x16 をスロット 18 に取り付ける場合は、2 つの帯域幅アップグレードケーブル (P51943-B21) が必要です。

このタスクについて



注意

ポートブランクは EMI シールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応する I/O ポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。



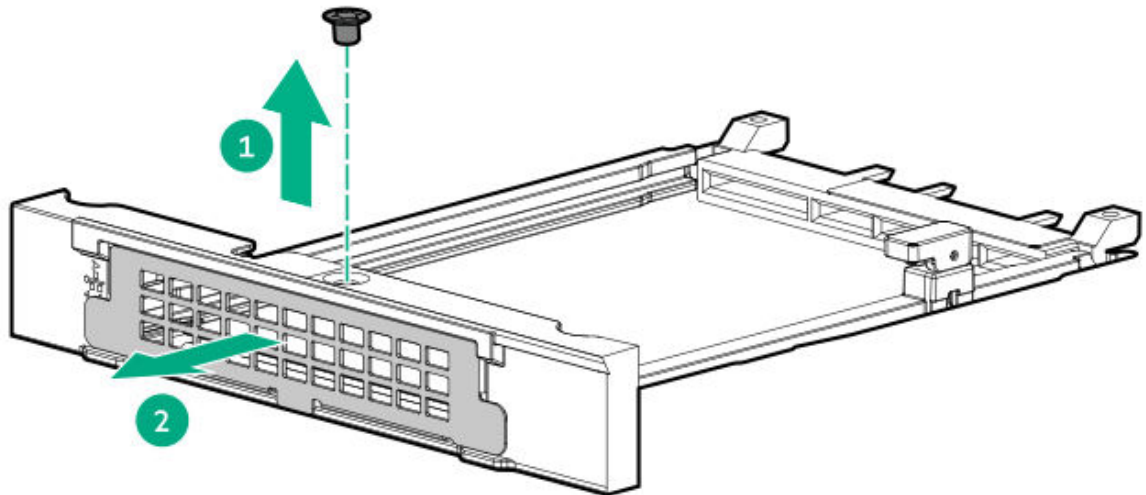
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. エアバッフルを取り外します。
7. ライザーケージを取り外します。
8. OCP スロットブランクを取り外します。
 - a. ブランクのネジを取り外します。
 - b. ブランクを取り外します。

ネジとブラנקは、将来使用できるように保管しておいてください。

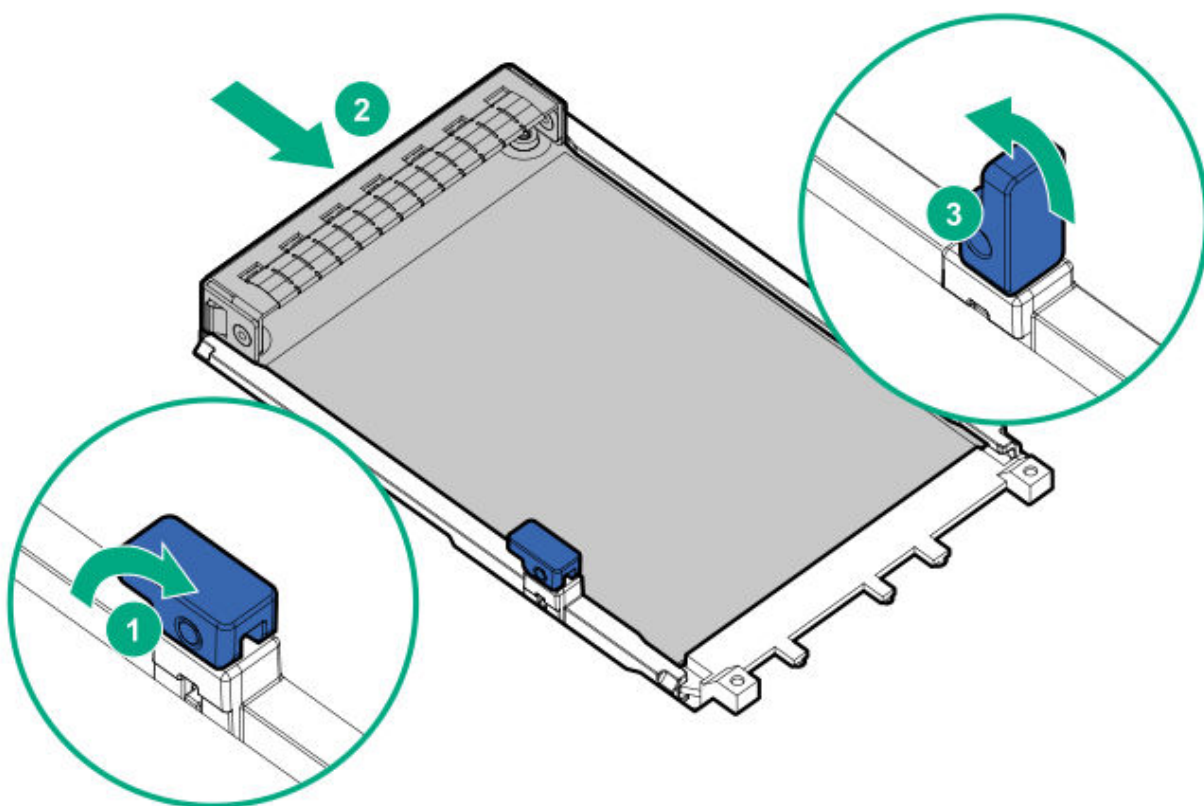


4. OCP NIC を取り付けます。

- a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。
- b. カチッとハマるまで、OCP NIC をベイにスライドさせます。

OCP NIC がスロットにしっかりと固定されていることを確認します。

- c. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。



- 1. ライザーケージを取り付けます。
- 2. すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャネルを通して配線されていることを確認します。
- 3. エアバッフルを取り付けます。
- 4. アクセスパネルを取り付けます。
- 5. サーバーをラックに取り付けます。
- 6. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 7. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 8. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 9. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

シャーシ侵入検知スイッチのオプション

シャーシ侵入検知スイッチにより、アクセスパネルが物理的に開かれたり取り外されたりするたびに、iLO ではインテグレートドマネジメントログ (IML) にイベントが記録されます。また、シャーシ侵入が検知されるたびに、BIOS にアラートが送信されます。シャーシ侵入検知は、サーバーが接続されている間は、サーバーの電源がオンであるかオフであるかに関係なく発生します。

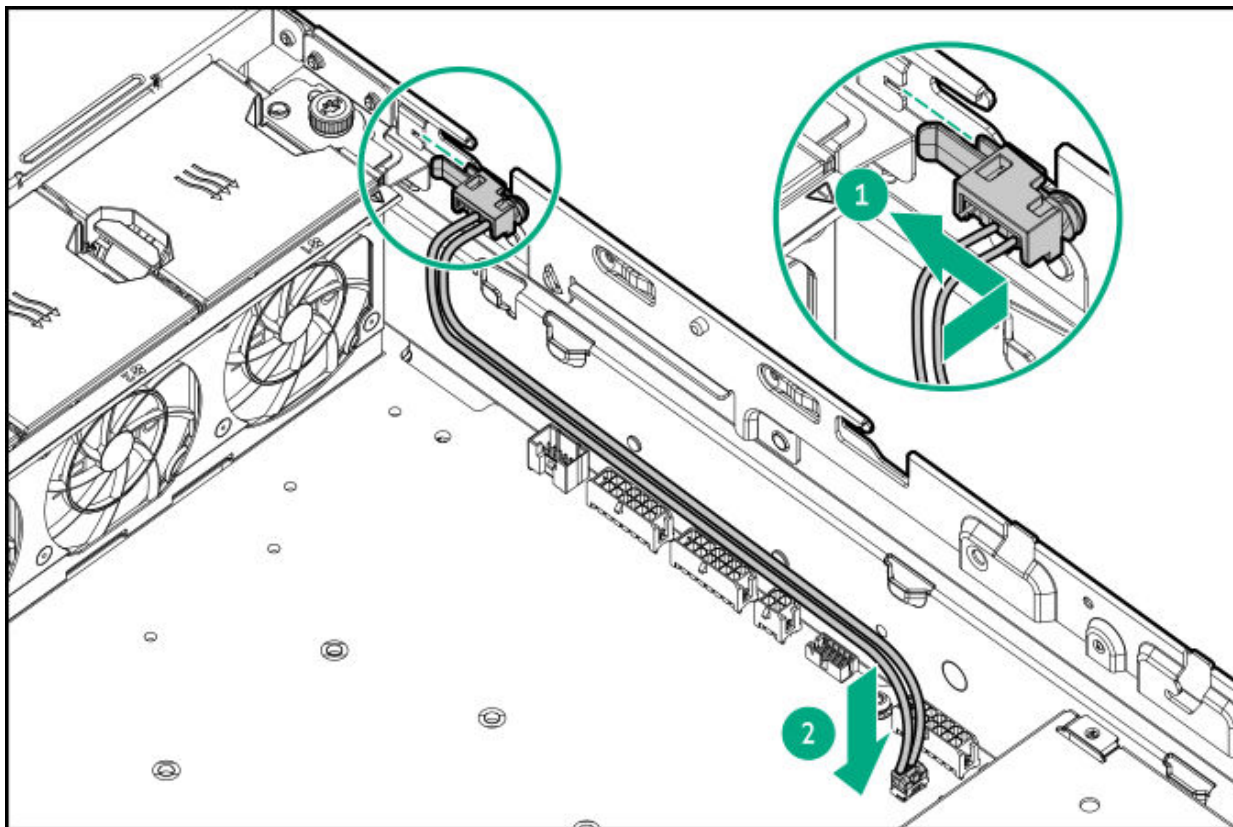
サブトピック

シャーシ侵入検知スイッチの取り付け

シャーシ侵入検知スイッチの取り付け

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. エアバッフルを取り外します。
7. シャーシ侵入検知スイッチを取り付けます。
 - a. カチッと音がしてスイッチが所定の位置に収まるまで、スイッチタブをシャーシスロットに挿入します。
 - b. スイッチケーブルを接続し、ケーブルクランプに固定します。



- 1. シャーシ侵入検知スイッチのケーブルをシステムボードに接続します。
- 2. すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。
- 3. エアバッフルを取り付けます。
- 4. アクセスパネルを取り付けます。
- 5. サーバーをラックに取り付けます。
- 6. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 7. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 8. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 9. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

UEFI システムユーティリティの**システム侵入検知**設定は、シャーシ侵入検知スイッチを取り付けると自動的に有効になります。侵入イベントのログを表示するには、iLO の Web インターフェイスを使用して IML または iLO イベントログにアクセスします。詳しくは、Hewlett

Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/support/ilo-docs>) にある iLO ユーザーガイドを参照してください。

シリアルポートオプション

シリアルポートオプションを取り付けて、物理シリアルデバイスと通信できるようにします。シリアル接続を使用して、システム BIOS にリモートアクセスし、POST エラーメッセージを表示することもできます。

サブトピック

シリアルポートを取り付ける

シリアルポートを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ・ 六角ドライバー
- ・ スパッジャーまたは小さな持ち上げ工具

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



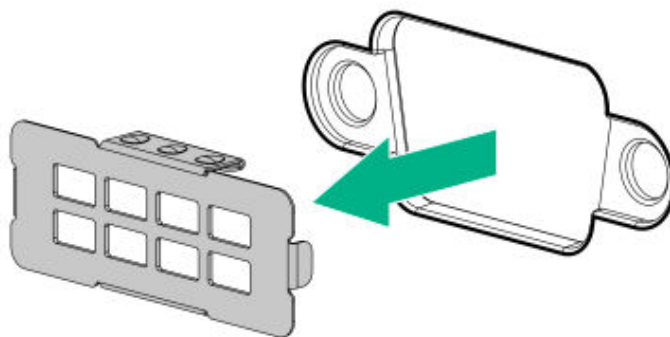
注意

ポートブランクは EMI シールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応する I/O ポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。

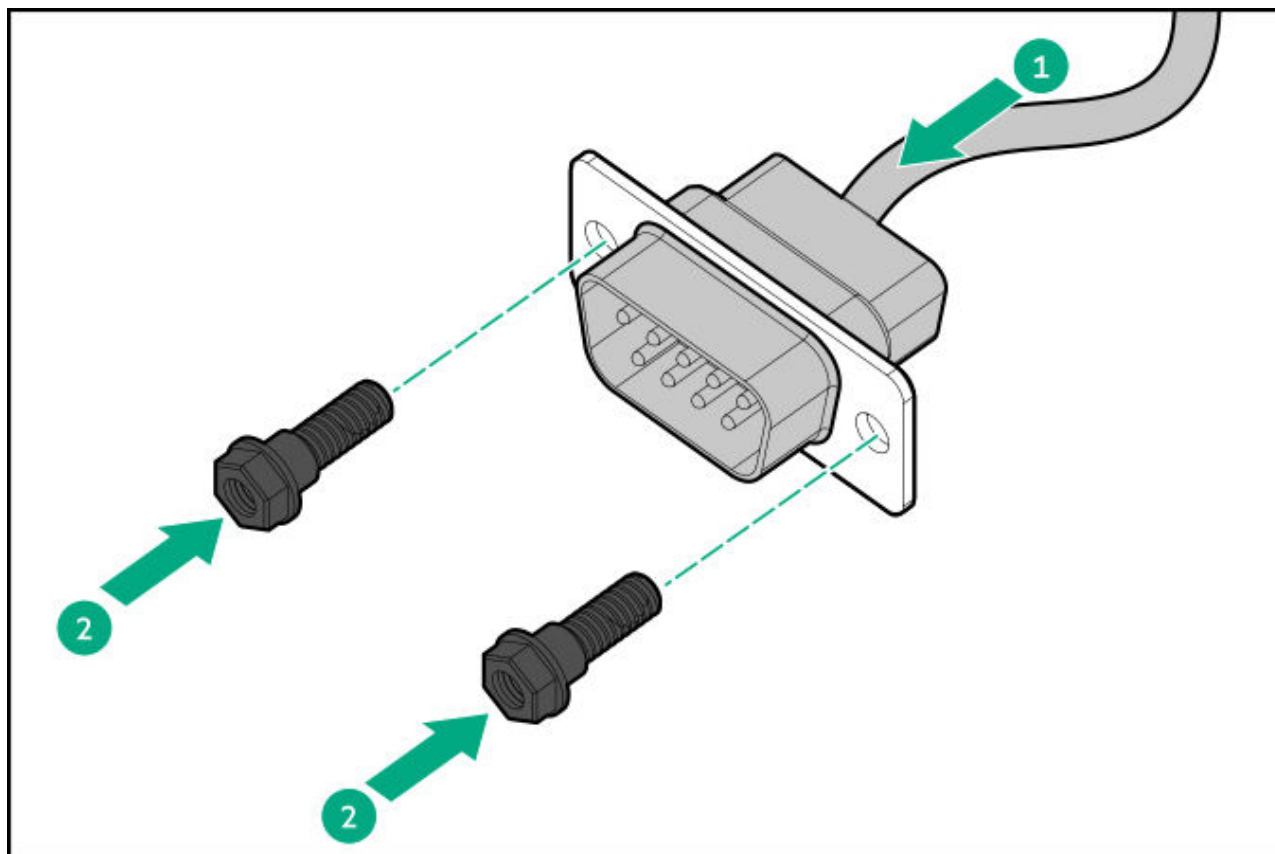
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
- アクセスパネルを取り外します。
- エアバッフルを取り外します。
- セカンダリライザーケースを取り外します。
- シリアルポートブランクを取り外します。



- シリアルポートケーブルを取り付けます。
 - a. シリアルポートをリアパネルの開口部に挿入します。
 - b. 六角ネジを取り付けます。



1. シリアルポートケーブルをシステムボードに接続します。
1. セカンダリライザーケージを取り付けます。
1. すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャネルを通して配線されていることを確認します。
1. エアバッフルを取り付けます。
1. アクセスパネルを取り付けます。
1. サーバーをラックに取り付けます。
1. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
1. 各電源コードをサーバーに接続します。
1. 各電源コードを電源ソースに接続します。
1. サーバーの電源を入れます。

シリアルポートの構成

1. シリアルポート設定を構成するには、以下を行います。
 - a. ブート画面で、F9 キーを押して、UEFI システムユーティリティにアクセスします。

- b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > シリアルポートオプション > 内蔵シリアルポートを選択します。
- c. 設定を選択します。
- d. F12 キーを押して、選択内容を保存します。
- e. はい - 変更の保存をクリックします。
- f. 再起動をクリックします。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

内部 USB デバイスのオプション

サーバーには、1 つの USB 3.2 Gen1 ポートが備わっており、次の目的で、内部 USB フラッシュメディアデバイスを取り付けるために使用できます。

- ・ フラッシュソリューションからの起動
- ・ データバックアップ/冗長性

サブトピック

内部 USB デバイスの取り付け

内部 USB デバイスの取り付け

このタスクについて



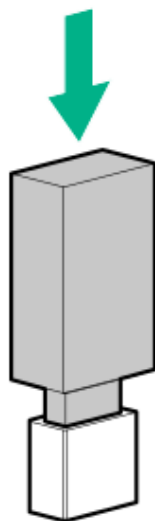
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

- 1. サーバーの電源を切ります。
- 2. すべての電源を取り外します。

- a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
- アクセスパネルを取り外します。
- エアバッフルを取り外します。
- セカンダリライザーケージが取り付けられている場合は取り外します。
- 内部 USB ポートに USB デバイスを差し込みます。



- セカンダリライザーケージを取り付けます。
- すべてのシステムケーブルが、ケーブルガードに固定され、シャーシの側面に沿ったケーブルチャンネルを通して配線されていることを確認します。
- エアバッフルを取り付けます。
- アクセスパネルを取り付けます。
- サーバーをラックに取り付けます。
- 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 各電源コードをサーバーに接続します。

- 1. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 2. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ケーブル接続

サブトピック

ケーブル接続のガイドライン

ケーブル図

内部ケーブル管理

ストレージのケーブル接続

ライザーのケーブル接続

GPU のケーブル接続

DPU 補助電源のケーブル接続

PCIe スイッチボードのケーブル接続

HPE NS204i-u ブートデバイスのケーブル接続

OCF 帯域幅アップグレードのケーブル接続

分電盤サイドバンドのケーブル接続

シリアルポートのケーブル接続

シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続

フロント I/O のケーブル接続

ケーブル接続のガイドライン

次の注意事項に従ってください。



注記

ケーブル配線図の色は、説明目的でのみ使用されます。



注意

コネクタの損傷を防ぐため、ケーブルの抜き差しを繰り返さないでください。過剰な取り扱いはケーブルの寿命を縮める可能性があります。

- ・ ケーブルオプションキットについては、製品の QuickSpecs を参照してください。
- ・ ケーブルのスペア部品番号については、メンテナンス&サービスガイドの図による部品カタログを参照してください。
- ・ 一部の図では、A、B、C などのアルファベット順のコールアウトを示しています。これらのコールアウトは、ケーブルのコネクタ近くのラベルに対応しています。
- ・ Y ケーブルなど、一部のケーブルには複数のコネクタがありますが、すべてのコネクタが使用されるわけではありません。
- ・ サーバーケーブルを取り扱う際は、すべてのガイドラインを守ってください。

ケーブルを接続する前

- ・ PCA コンポーネントのポートラベルに注意してください。すべてのサーバーがすべてのコンポーネントを使用するわけではありません。
 - システムボードのポート
 - ドライブおよび電源装置バックプレーンのポート
 - 拡張ボードのポート（コントローラー、リタイマー、アダプター、エキスパンダー、ライザーなどのボード）
- ・ 各ケーブルコネクタ付近のラベルに注意してください。このラベルは、ケーブルコネクタの接続先ポートを示します。
- ・ 一部のデータケーブルは事前に曲がっています。ケーブルを伸ばしたり、操作したりしないでください。
- ・ 機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れが付かないようにするため、コネクタの終端には触らないようにしてください。

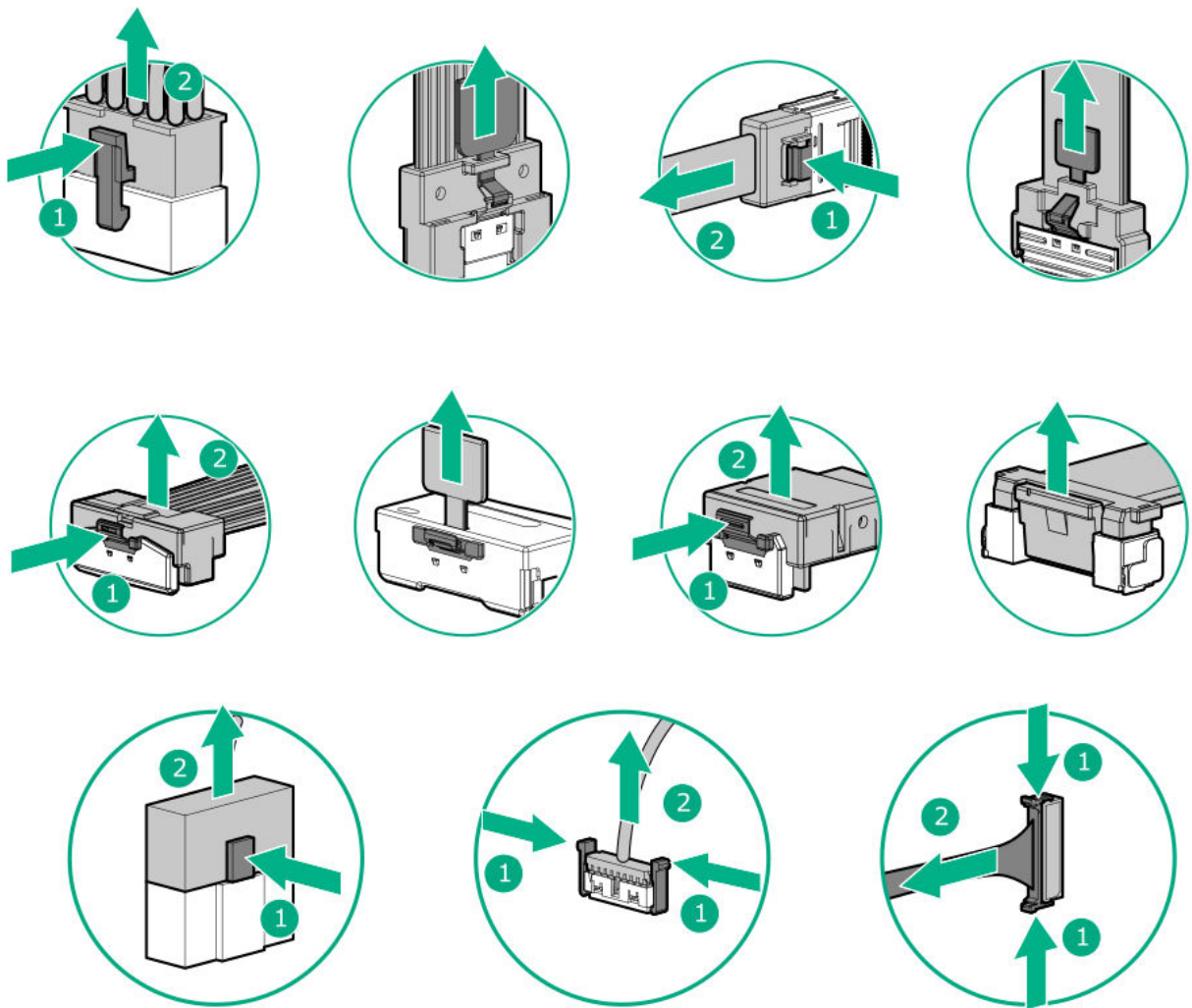
ケーブルの接続時

- ・ ケーブルをポートに接続する前に、所定の場所にケーブルを置いて、ケーブルの長さを確認します。
- ・ 内部ケーブル管理機能を使用し、ケーブルを適切に配線し、固定します。
- ・ ケーブルは、ヒートシンクなどの冷却コンポーネントに接触したり、上に置いたりしないように配線してください。ケーブル配線がヒートシンクや通気用開口部の通気を妨げないようにしてください
- ・ ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。

- ・ 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。
- ・ 余分な長さのケーブルを適正に固定して、曲げすぎたり邪魔になったり、通気が制限されないようにしてください。
- ・ 新しいコンポーネントを取り付ける前、またはサーバーを閉じる前に、すべてのケーブルが適切な配線位置にあることを確認してください。このケーブルチェックにより、コンポーネントの損傷や信号干渉の可能性を防ぎます。

ケーブルを取り外す場合

- ・ ケーブルコネクターの本体をしっかりと持ちます。ケーブル本体は引っ張らないようにしてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブル内部のワイヤーや、ポートのピンが損傷を受けることがあります。
- ・ ケーブルをスムーズに取り外せない場合は、ケーブルを取り外すために使われるリリースラッチの有無を確認してください。



- ・ 使用しないケーブルを取り外します。サーバーの中に残したままにしておくと、通気の妨げになることがあります。取り外したケーブルを後から使用する場合は、再利用できるようにラベルを付けて保管してください。

ケーブル図

次の注意事項に従ってください。

- ・ コンポーネントを配線する前に、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。
- ・ ケーブルの部品番号または検索機能を使用して、図を見つけます。

コンポーネントのケーブル	ケーブルの部品番号
ドライブストレージコントローラーケーブル	–
8 SFF (2.5 型) ドライブ直接接続ケーブル	P54879-001
8 SFF (2.5 型) ドライブケーブル : スロット 17 タイプ o コントローラー	P54882-001
8 SFF (2.5 型) ドライブケーブル : スロット 18 タイプ o コントローラー	P54883-001
8 SFF (2.5 型) ドライブケーブル : スロット 3 SR932i-p コントローラー	P54880-001
8 SFF (2.5 型) ドライブケーブル : スロット 3 MR416i-p コントローラー	P54880-001
8 SFF (2.5 型) ドライブケーブル : スロット 6 MR416i-p コントローラー	P54881-001
8 E3.S 直接接続ケーブル	P54879-001
ドライブ電源ケーブル	–
8 SFF (2.5 型) ドライブ電源ケーブル	P54884-001
8 E3.S ドライブ電源ケーブル	P54884-001
ライザーケーブル	–
スタッキングライザーケーブル	P41276-001
GPU ライザーケーブル	P44002-001
GPU ライザー電源ケーブル	P54886-001
GPU ライザーから PCI スイッチボードへの信号ケーブル	P44002-001
GPU ライザーから PCI スイッチボードへの電源ケーブル	P54887-001
GPU/DPU 補助電源ケーブル	–
CPU 8 ピン GPU 補助電源ケーブル : GPU ライザー スロット 9 および 11	P54891-001
CPU 8 ピン GPU 補助電源ケーブル : GPU ライザー スロット 14 および 16	P54892-001
CPU 8 ピン シングル幅 GPU 補助電源ケーブル : GPU ライザー スロット 9、10、11、12	P54889-001
CPU 8 ピン シングル幅 GPU 補助電源ケーブル : GPU ライザー スロット 13、14、15、16	P54890-001
PCIe 16 ピン GPU 補助電源ケーブル : GPU ライザー スロット 9 および 11	P58448-001
PCIe 16 ピン GPU 補助電源ケーブル : GPU ライザー スロット 14 および 16	P58449-001

コンポーネントのケーブル

ケーブルの部品番号

PCIe 16 ピン GPU 補助電源ケーブル: ライザーロット 9 の H 100 NVL GPU [P68288-001](#)

PCIe 16 ピン GPU 補助電源ケーブル: ライザーロット 11 の H100 NVL GPU [P80657-001](#)

PCIe 16 ピン GPU 補助電源ケーブル: ライザーロット 14 および 16 の H100 NVL GPU [P68289-001](#)

DPU 補助電源ケーブル [P70191-002](#)

上側 PCIe スイッチボードケーブル -

ポート 1 から MCIO コネクタ 4B へ [P54894-001](#)

ポート 2 から MCIO コネクタ 3B へ [P54893-001](#)

ポート 3 から MCIO コネクタ 2A へ [P54894-001](#)

ポート 4 から MCIO コネクタ 1A へ [P54896-001](#)

上側スイッチボード電源 Y ケーブル [P54898-001](#)

下側 PCIe スイッチボードケーブル -

ポート 1 から MCIO コネクタ 2B へ [P54893-001](#)

ポート 2 から MCIO コネクタ 1B へ [P54895-001](#)

ポート 3 から MCIO コネクタ 4A へ [P54893-001](#)

ポート 4 から MCIO コネクタ 3A へ [P54894-001](#)

下側スイッチボード電源 Y ケーブル [P54899-001](#)

PCIe スイッチボードサイドバンドケーブル -

下側 PCIe スイッチボードサイドバンドケーブル [P54897-001](#)

PCIe スイッチボードサイドバンド延長ケーブル [P54900-001](#)

セカンダリライザーケージ内の HPE NS204i ブートデバイスのケーブル -

信号ケーブル [P54088-001](#)

電源ケーブル [P54092-001](#)

内部シャーシ内の HPE NS204i ブートデバイスのケーブル -

信号ケーブル [P54088-001](#)

電源ケーブル [P54092-001](#)

OCP 帯域幅アップグレードケーブル -

スロット 17 [P47741-001](#)

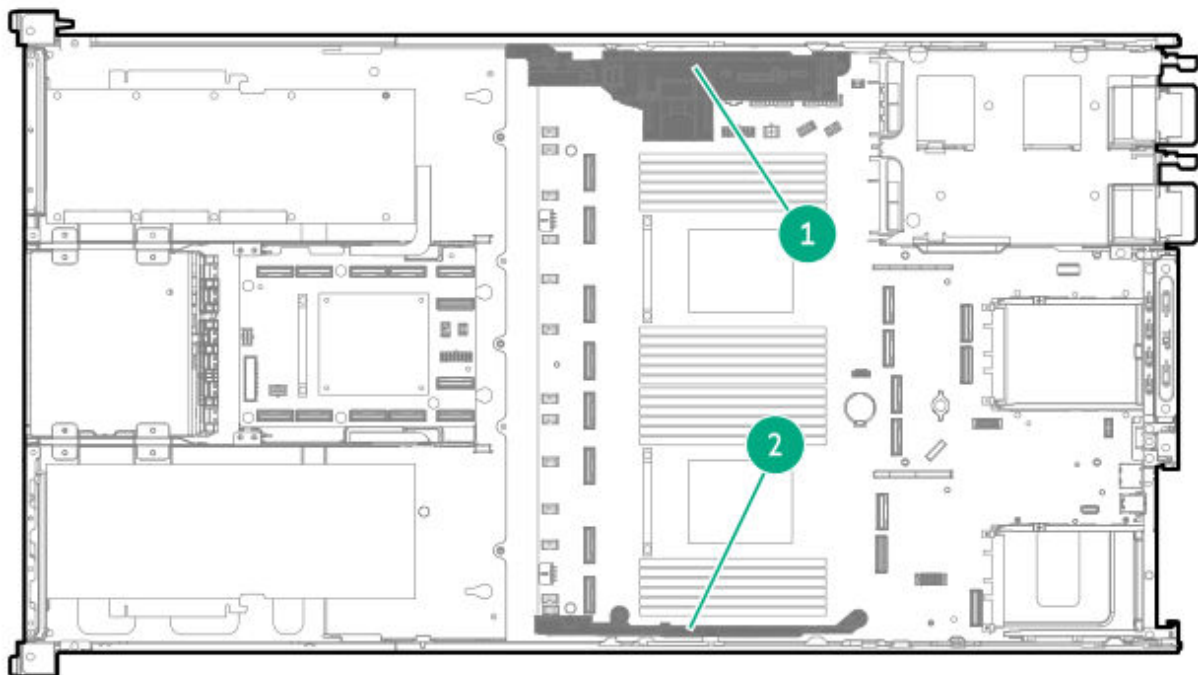
スロット 18 [P47742-001](#)

[P47742-001](#)

分電盤サイドバンドケーブル [P54888-001](#)

コンポーネントのケーブル	ケーブルの部品番号
シリアルポートケーブル	P47752-001
シャーシ侵入検知スイッチケーブル	P54901-001
フロント I/O ケーブル	P54733-001

内部ケーブル管理



番号	説明
1	Energy Pack ホルダー
2	DIMM ガード

ストレージのケーブル接続

サブトピック

ストレージコントローラーのケーブル接続

ドライブ電源のケーブル接続

Energy Pack のケーブル接続

ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続

ストレージコントローラーのケーブル接続

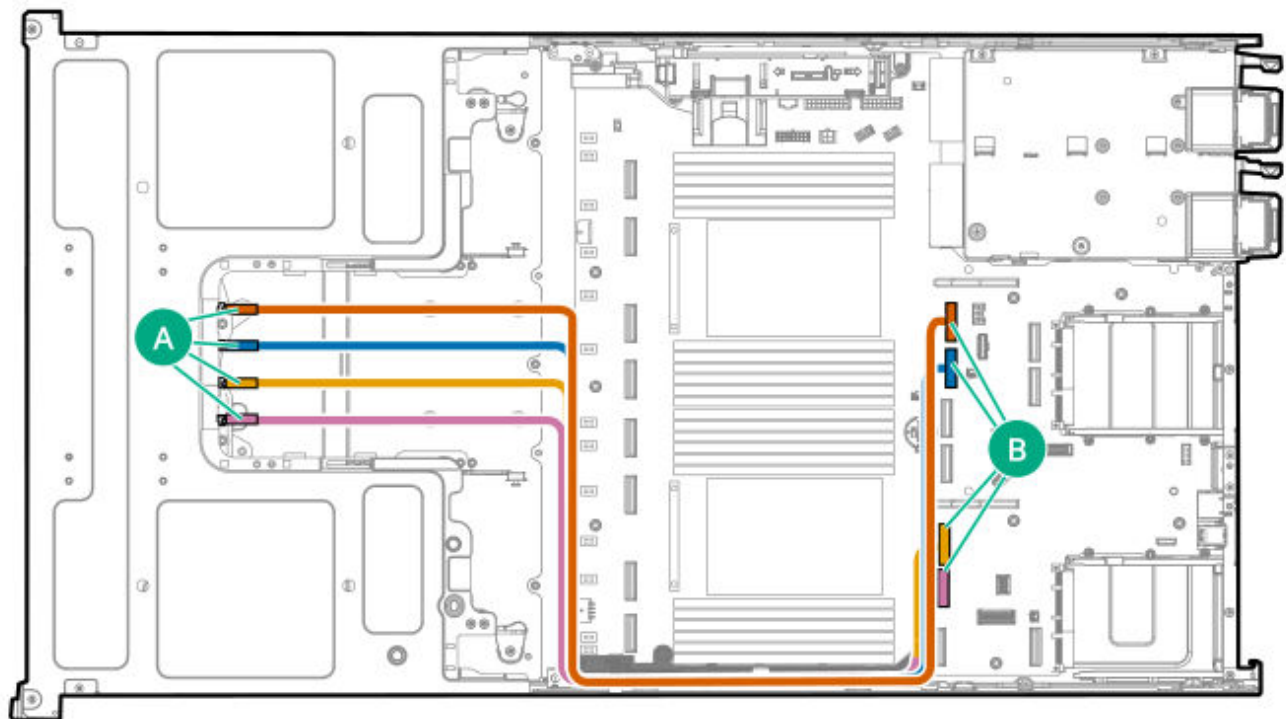
サブトピック

8 SFF (2.5 型) ドライブコントローラーのケーブル接続

8 E3.S ドライブコントローラーのケーブル接続

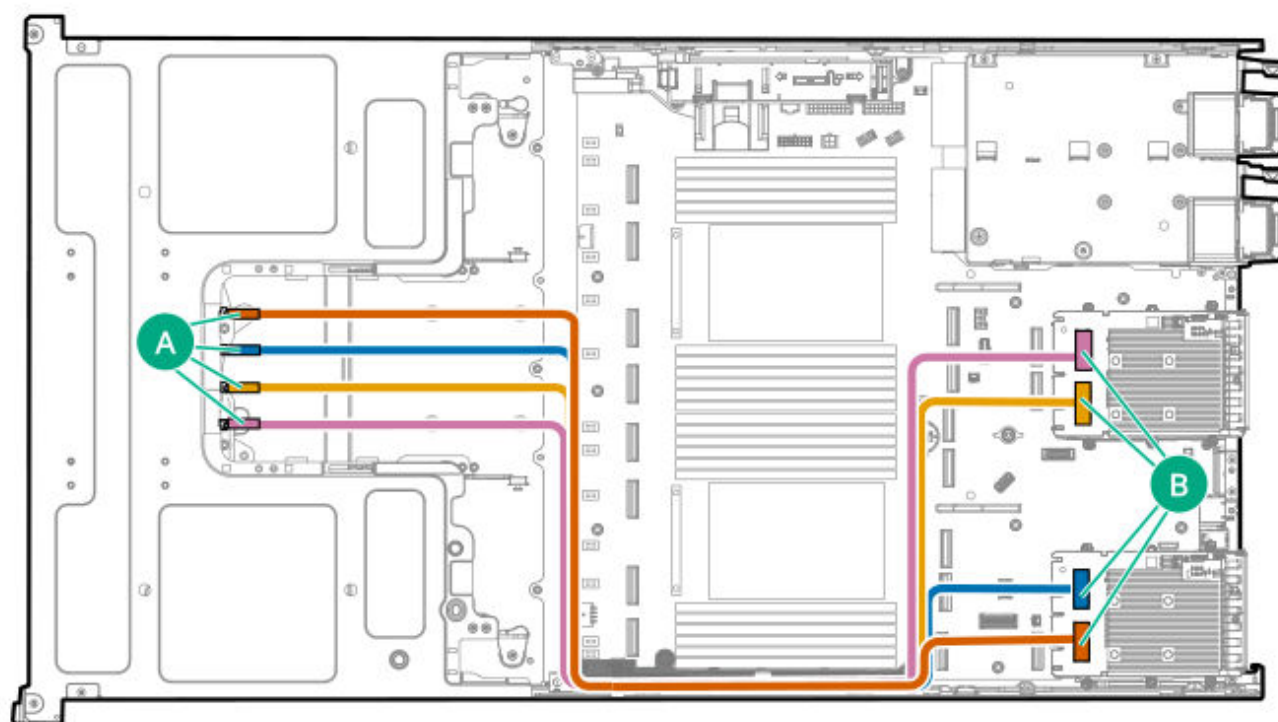
8 SFF (2.5 型) ドライブコントローラーのケーブル接続

8 SFF (2.5 型) ドライブ : ケーブル直接接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54879-001	オレンジ色	ポート 1	ソケット 2 MCIO コネクター 5B
	青色	ポート 2	ソケット 2 MCIO コネクター 6B
	金色	ポート 3	ソケット 1 MCIO コネクター 6A
	ピンク色	ポート 4	ソケット 1 MCIO コネクター 5A

8 SFF (2.5 型) ドライブのケーブル接続 : スロット 17 および 18 タイプ 0 ストレージコントローラー



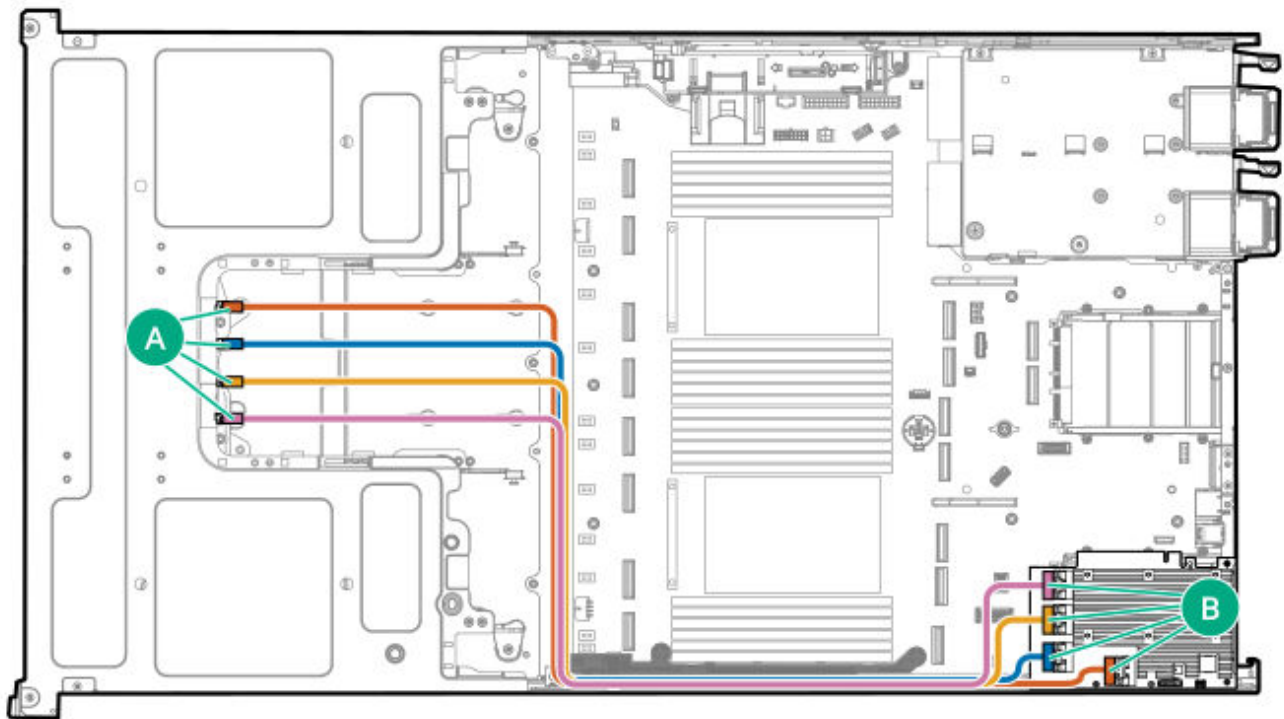
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54882-001	オレンジ色	ポート 1	タイプ 0 コントローラーポート 1 ₁
	青色	ポート 2	タイプ 0 コントローラーポート 2 ₁

ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54883-001	金色	ポート 3	タイプ 0 コントローラーポート 1 ² _—
	ピンク色	ポート 4	タイプ 0 コントローラーポート 2 ² _—

¹ このストレージコントローラーはスロット 17 に取り付けられています。

² このストレージコントローラーはスロット 18 に取り付けられています。

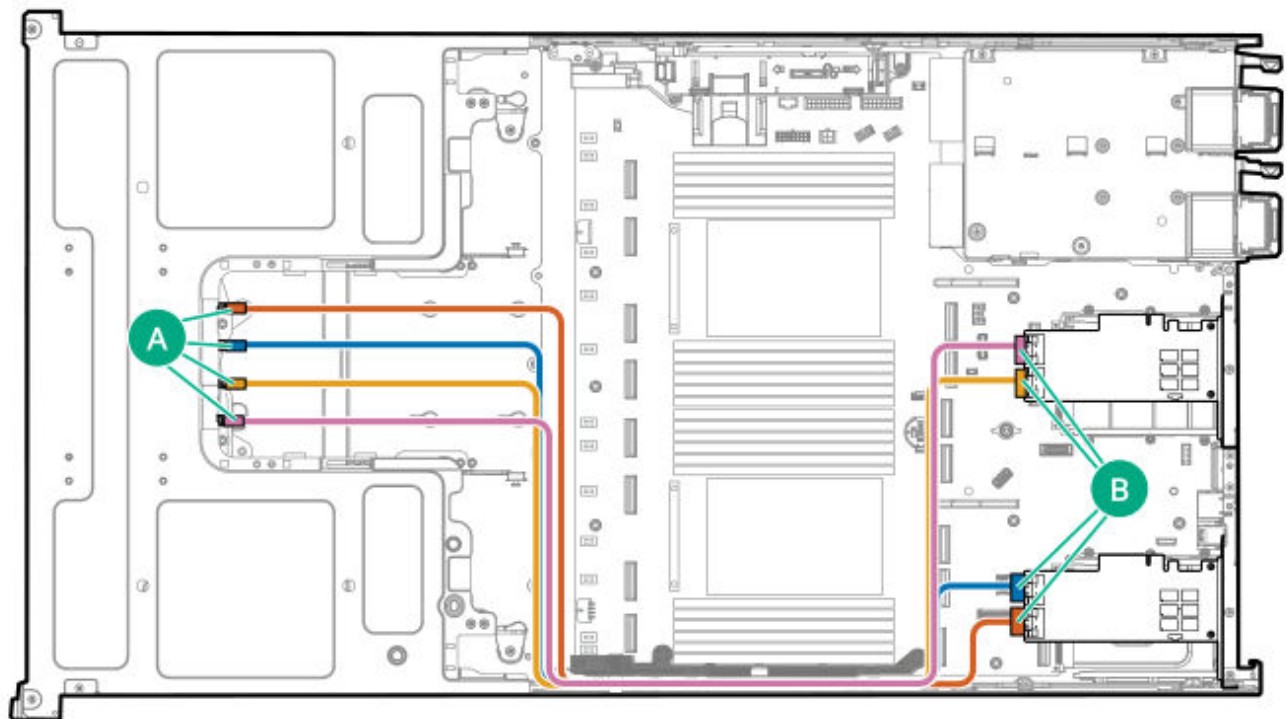
8 SFF (2.5 型) ドライブのケーブル接続 : スロット 3 SR932i-p コントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54880-001	オレンジ色	ポート 1	SR932i-p コントローラーポート 1 ¹ _—
	青色	ポート 2	SR932i-p コントローラーポート 2 ¹ _—
	金色	ポート 3	SR932i-p コントローラーポート 3 ¹ _—
	ピンク色	ポート 4	SR932i-p コントローラーポート 4 ¹ _—

¹ このストレージコントローラーはプライマリライザーに取り付けられています。

8 SFF (2.5 型) ドライブのケーブル接続 : スロット 3 および 6 MR416i-p コントローラー



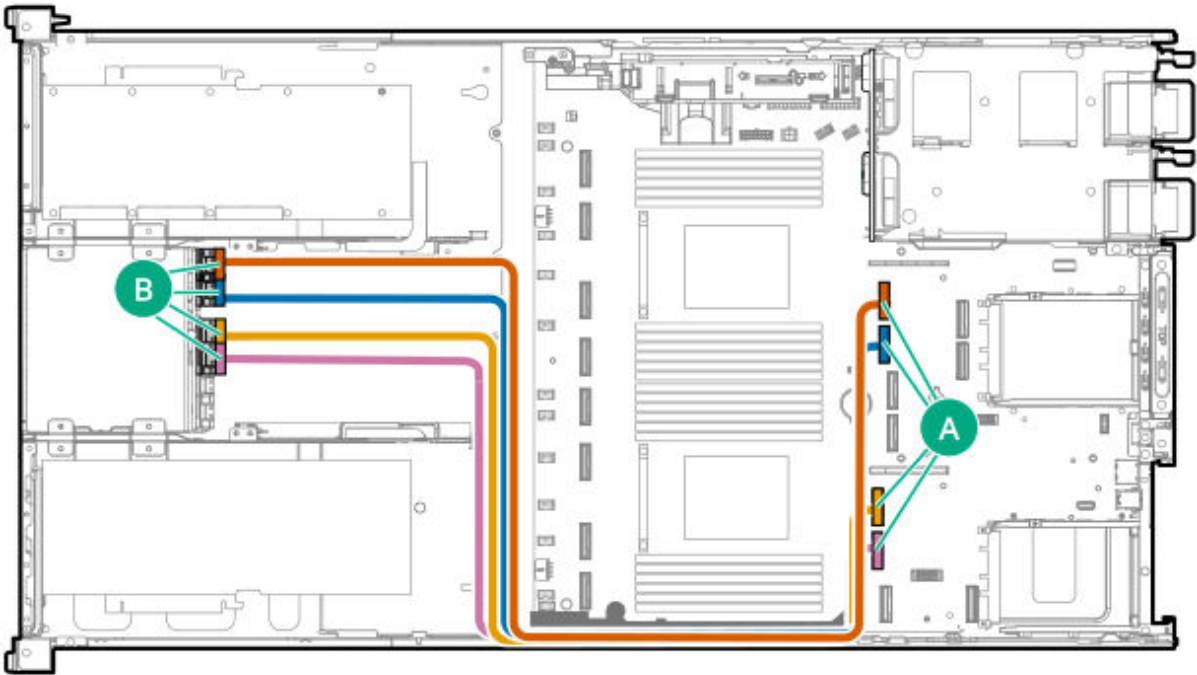
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54880-001	オレンジ色	ポート 1	MR416i-p コントローラーポート 1 ¹
	青色	ポート 2	MR416i-p コントローラーポート 2 ¹
P54881-001	金色	ポート 3	MR416i-p コントローラーポート 3 ²
	ピンク色	ポート 4	MR416i-p コントローラーポート 4 ²

¹ このストレージコントローラーはプライマリライザーに取り付けられています。

² このストレージコントローラーはセカンダリライザーに取り付けられています。

8 E3. S ドライブコントローラーのケーブル接続

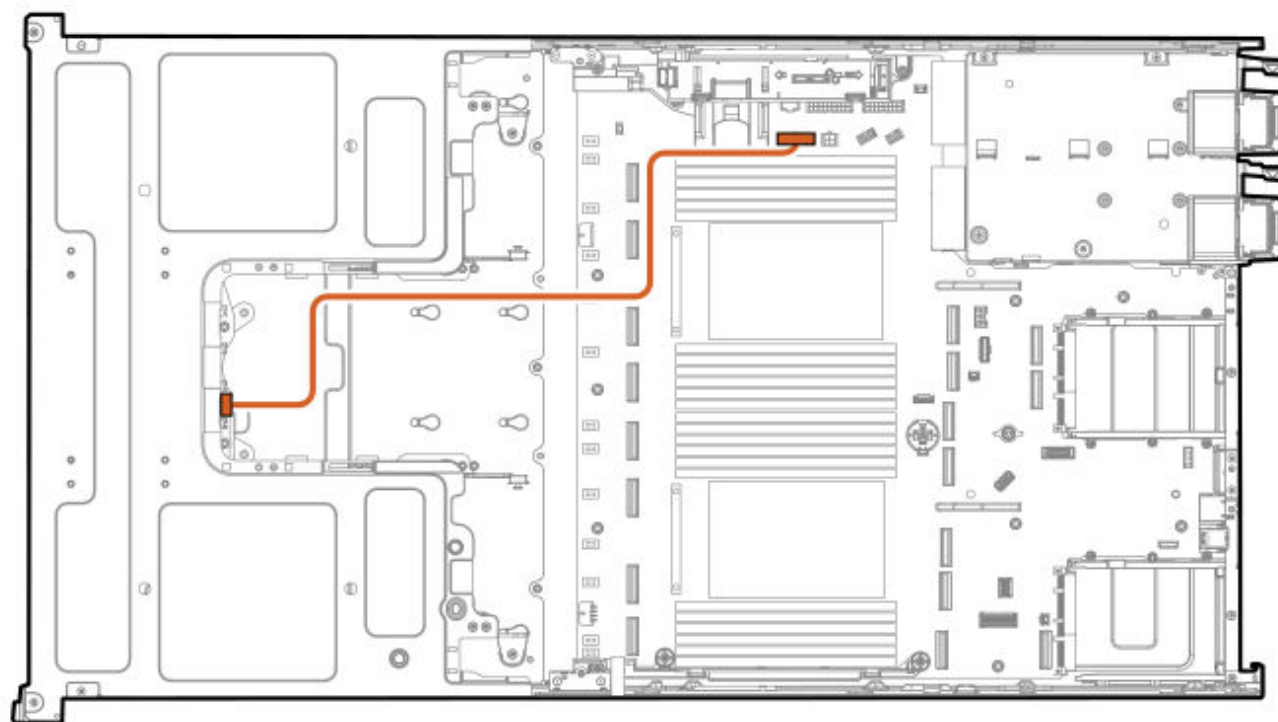
8 E3. S ドライブ : ケーブル直接接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54879-001	オレンジ色	ポート 1	ソケット 2 MCIO コネクター 5B
	青色	ポート 2	ソケット 2 MCIO コネクター 6B
	金色	ポート 3	ソケット 1 MCIO コネクター 6A
	ピンク色	ポート 4	ソケット 1 MCIO コネクター 5A

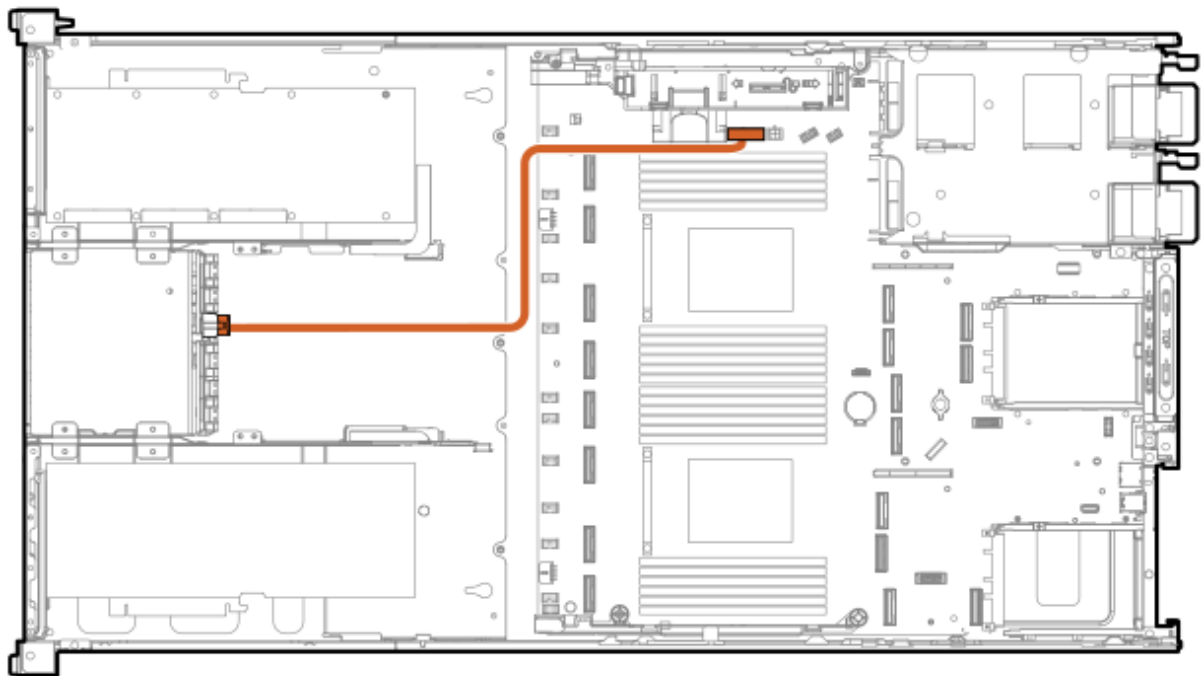
ドライブ電源のケーブル接続

SFF (2.5 型) ドライブ電源のケーブル接続



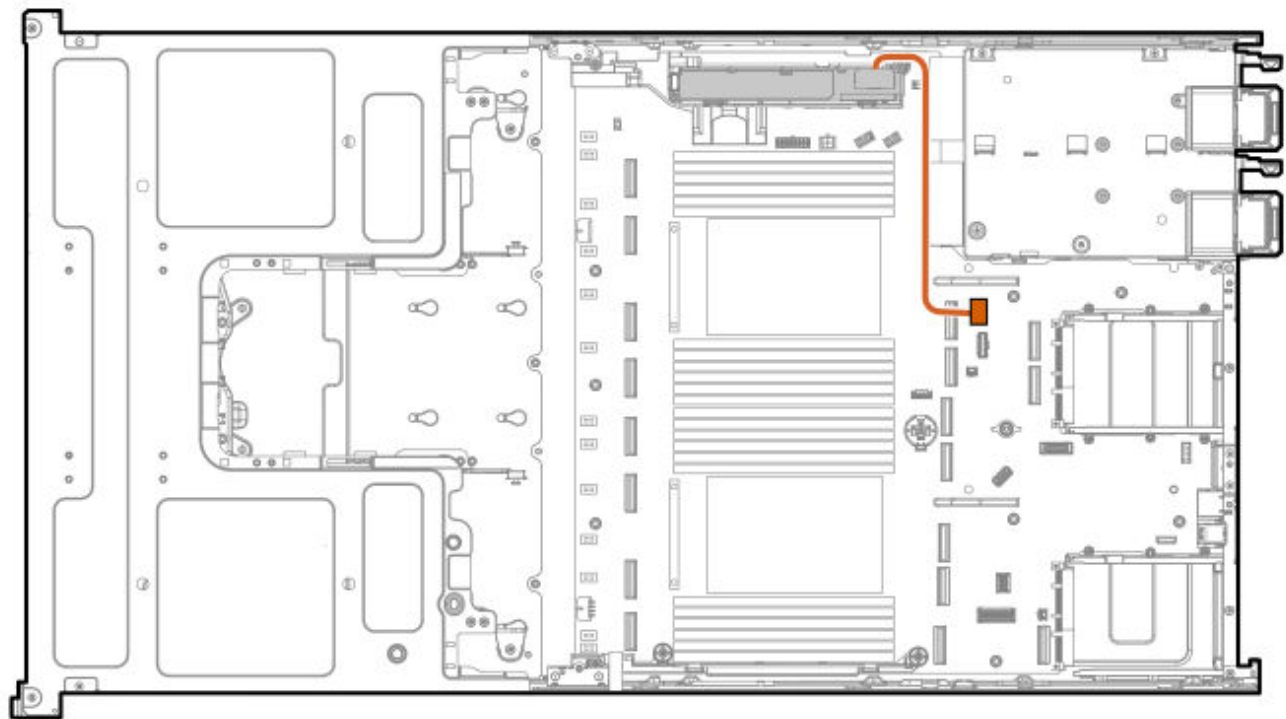
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54884-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	バックプレーン電源コネクタ

E3. S ドライブ電源のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54884-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	バックプレーン電源コネクター

Energy Pack のケーブル接続



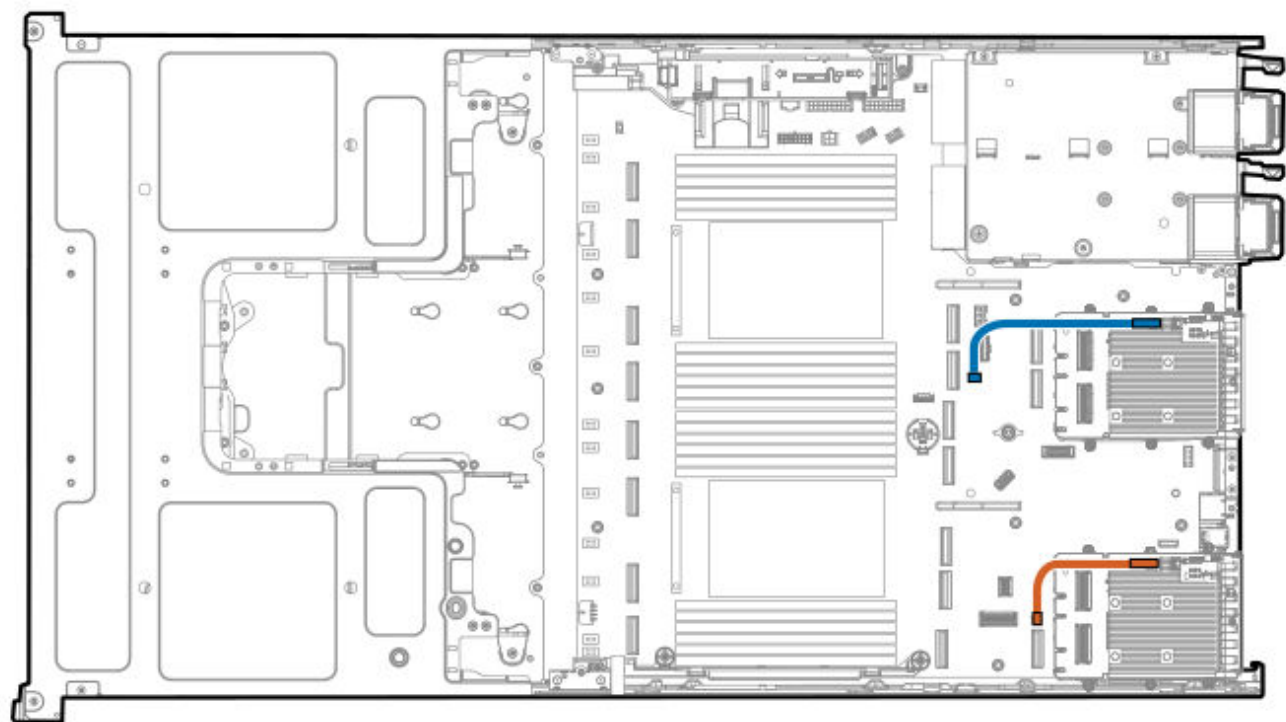
オプションの部品番号	色	接続元	接続先
P01366-B21	オレンジ色	Energy Pack	Energy Pack コネクター

ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続

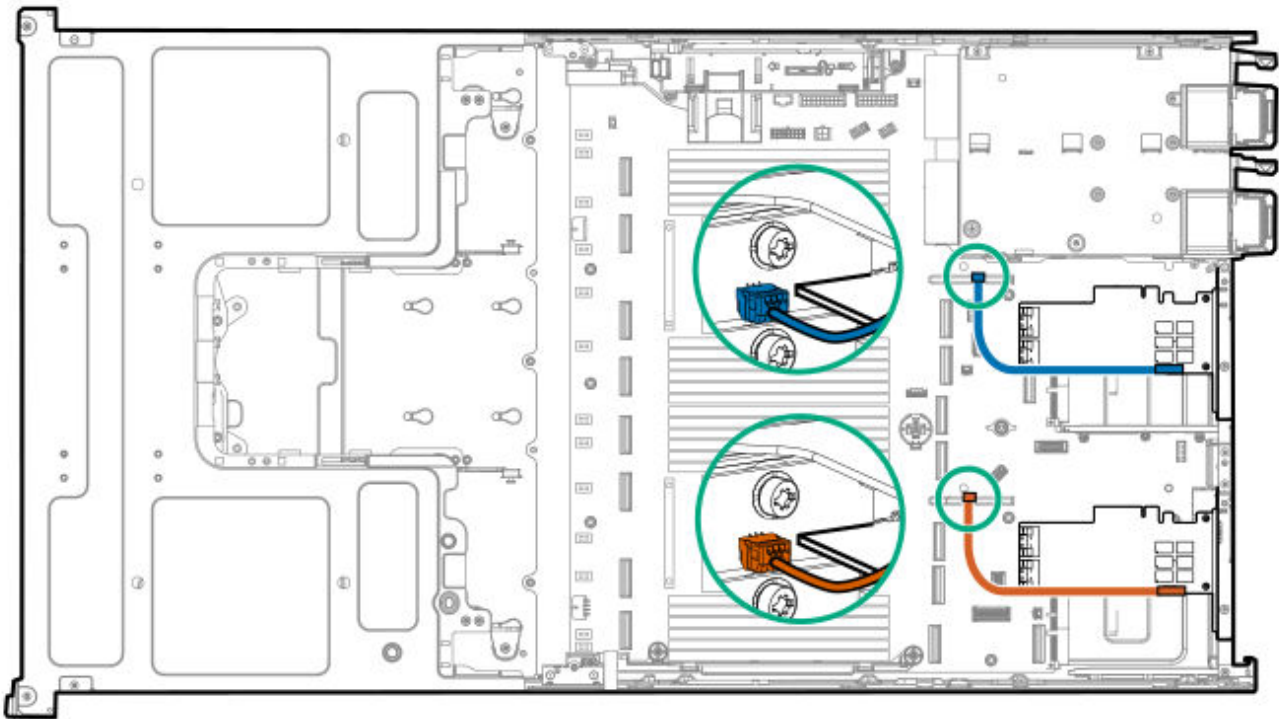
ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続の正確なルートは、以下によって異なります。

- ・ コントローラーが取り付けられているライザーロット
- ・ コントローラー上のストレージコントローラーバックアップ電源コネクターの位置

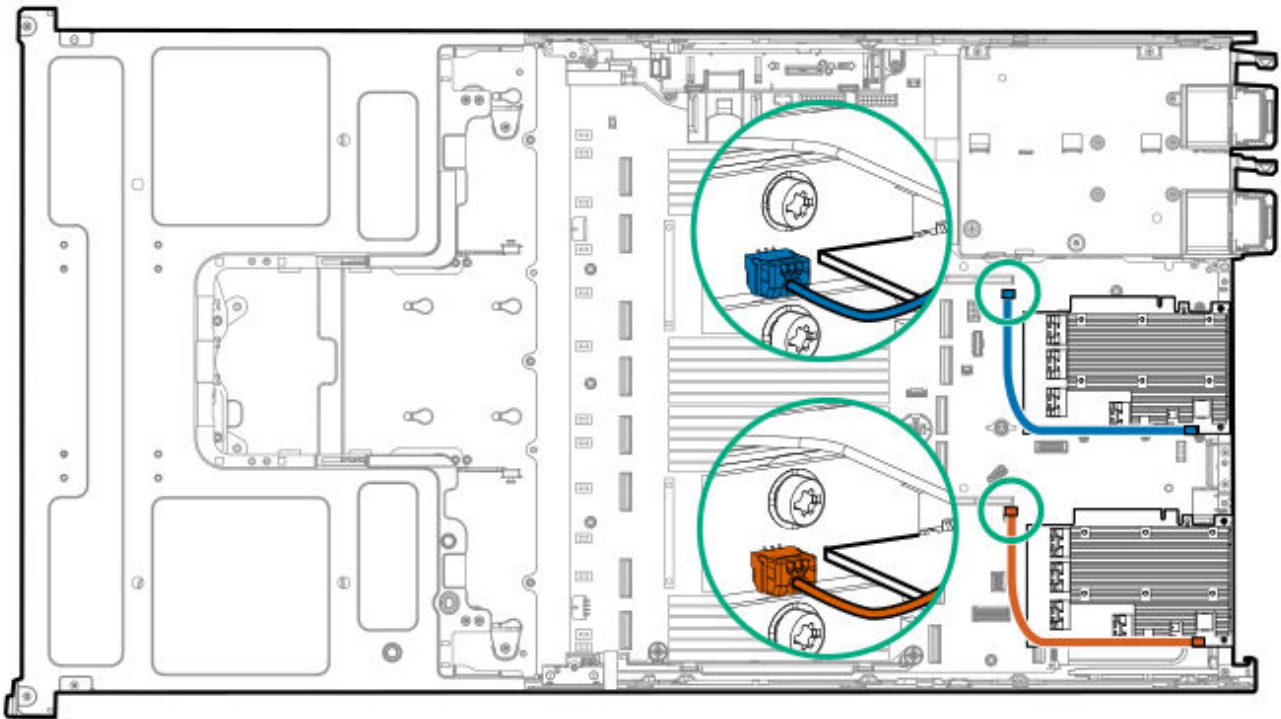
次の図は参照用にのみ使用してください。



色	接続元	接続先
オレンジ色	スロット 17 の MR408i-o/MR416i-o	システムボードのスロット 17 OR0C ストレージバックアップ電源コネクター
青色	スロット 18 の MR408i-o/MR416i-o	システムボードのスロット 18 OR0C ストレージバックアップ電源コネクター



色	接続元	接続先
オレンジ色	プライマリライザーケースの MR416 i-p	ライザーボードのストレージコントローラーのバックアップ電源コネクター
青色	セカンダリライザーケースの MR416 i-p	ライザーボードのストレージコントローラーのバックアップ電源コネクター



ケーブルの部 品番号	色	接続元	接続先
877850-001	オレンジ色	プライマリライザーケージの SR932i-p	ライザーボードのストレージ コントローラーのバックアッ プ電源コネクター
877850-001	青色	プライマリライザーケージの SR932i-p	ライザーボードのストレージ コントローラーのバックアッ プ電源コネクター

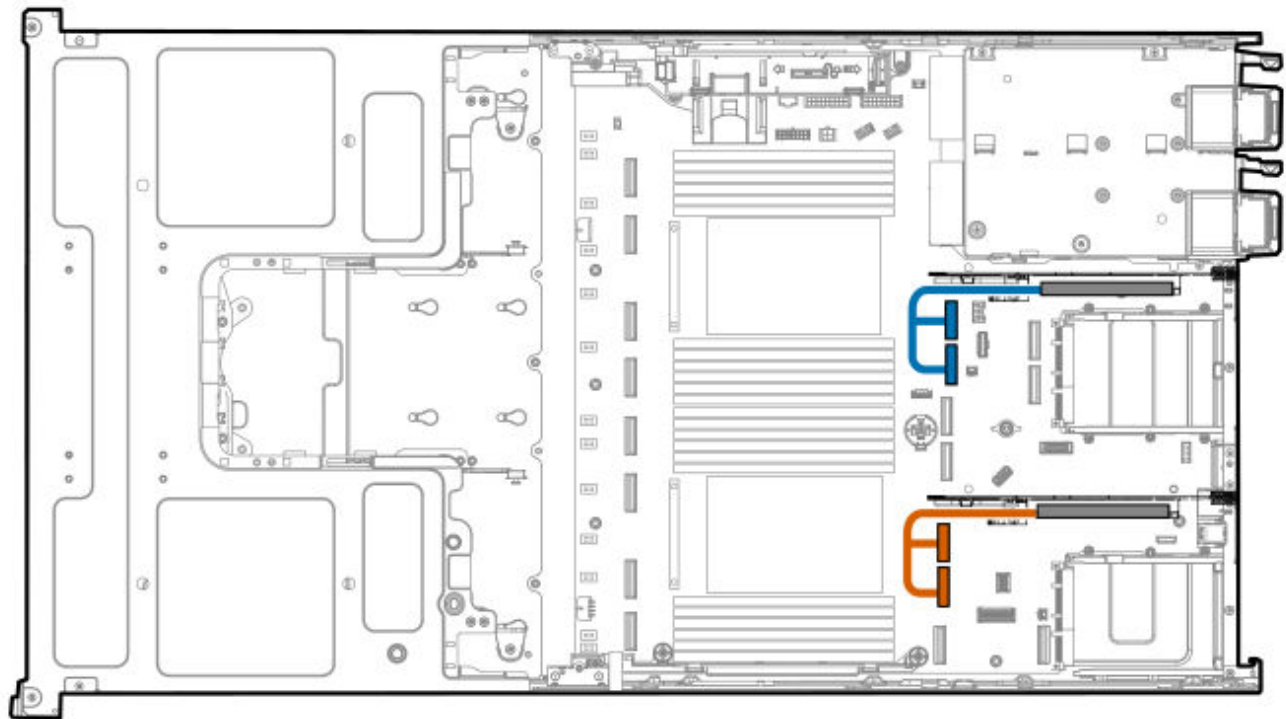
ライザーのケーブル接続

サブトピック

スタッキングライザーのケーブル接続

スタッキングライザーのケーブル接続

スロット 3 および 5 スタッキングライザーのケーブル接続



ライザー部品番号	色	接続元	接続先
P41276-001	オレンジ色	スロット 3 スタッキングライザー	ソケット 1 MCIO コネクター 6A (PRIM) ¹
			ソケット 1 MCIO コネクター 5A (SEC) ¹
	青色	スロット 5 スタッキングライザー	ソケット 2 MCIO コネクター 5B (PRIM) ¹
			ソケット 2 MCIO コネクター 6B (SEC) ¹

¹ このカッコで囲まれたテキスト (PRIM/SEC) は、ライザー信号ケーブルコネクター上のマーカーを指します。

GPU のケーブル接続

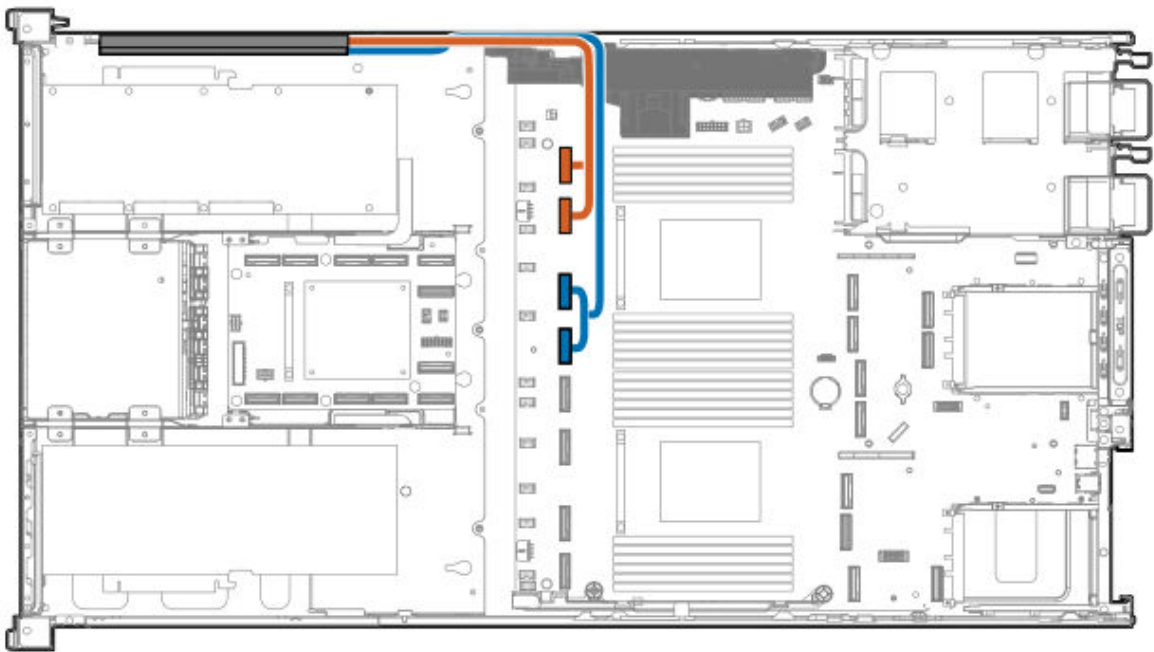
サブトピック

- GPU ライザーのケーブル接続
- GPU ライザーから PCIe スイッチボードへのケーブル接続
- GPU 補助電源のケーブル接続

GPU ライザーのケーブル接続

GPU ライザーの信号ケーブル直接接続

- GPU ライザーケージ 1



オプションの部品番号	色	接続元	接続先
P44002-001	オレンジ色	スロット 9 GPU ライザー	ソケット 2 MCIO コネクター 4B (SEC) ¹ ソケット 2 MCIO コネクター 3B (PRIM)

オプションの部品番号

色

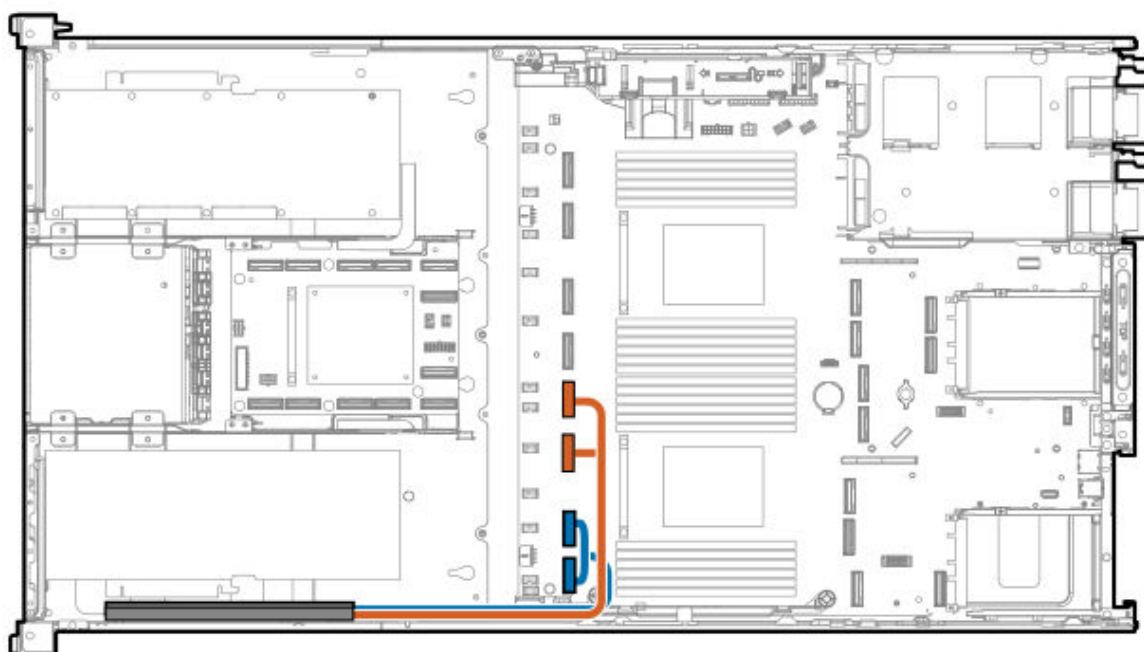
接続元

接続先

	青色	スロット 11 GPU ライザー	ソケット 2 MCIO コネクター 2B (SEC) ¹
			ソケット 2 MCIO コネクター 1B (PRIM)

¹ このカッコで囲まれたテキスト (PRIM/SEC) は、ライザー信号ケーブルコネクター上のマーカーを指します。

- GPU ライザー ケー ジ 2



オプションの部品番号

色

接続元

接続先

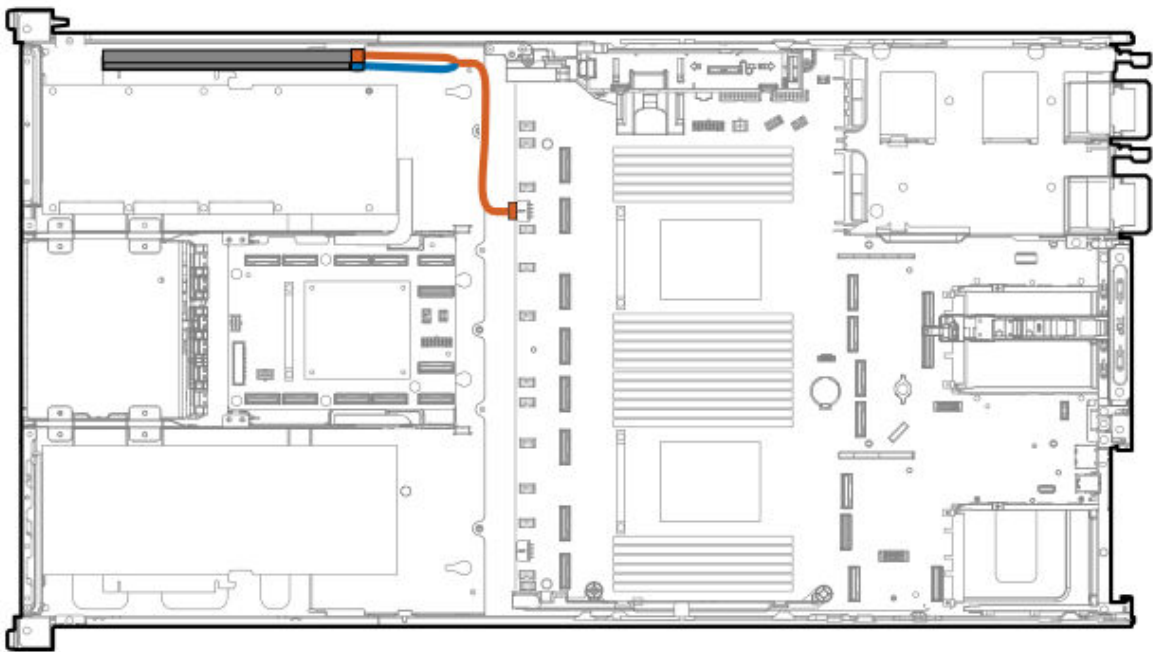
P44002-001	オレンジ色	スロット 14 GPU ライザー	ソケット 1 MCIO コネクター 4A (SEC) ¹
			ソケット 1 MCIO コネクター 3A (PRIM)
	青色	スロット 16 GPU ライザー	ソケット 1 MCIO コネクター 2A (SEC) ¹

オプションの部品番号	色	接続元	接続先
			ソケット 1 MCIO コネクタ 1A (PRIM)

1 このカッコで囲まれたテキスト (PRIM/SEC) は、ライザー信号ケーブルコネクタ上のマーカーを指します。

GPU ライザー電源のケーブル接続

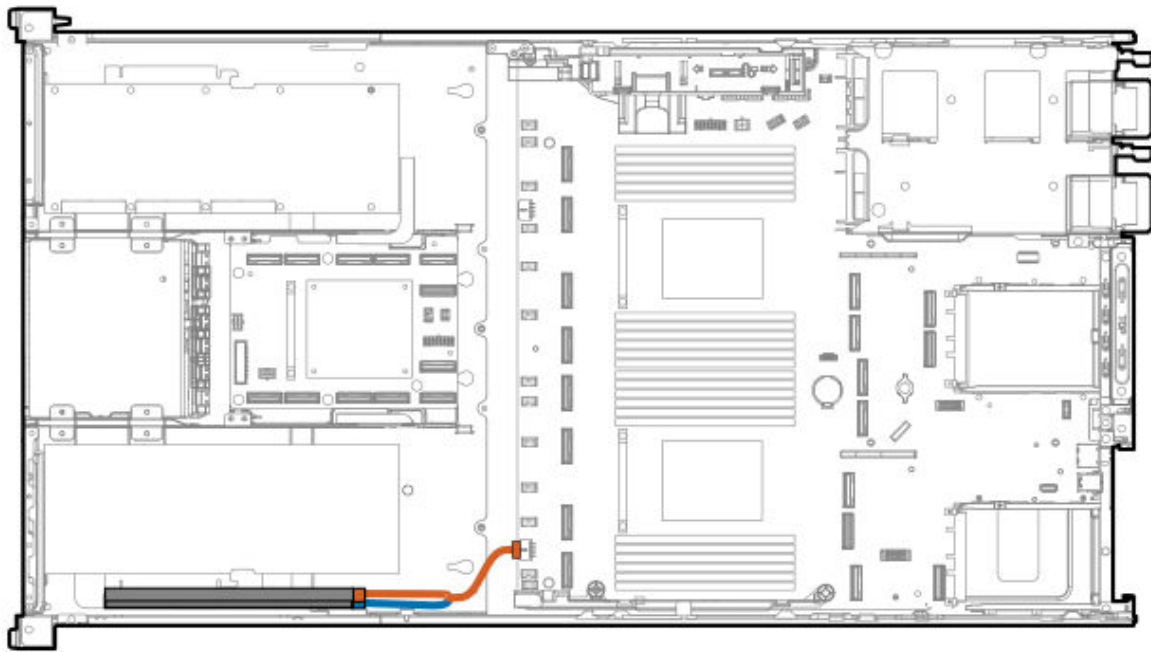
- GPU ライザーケー ジ 1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54886-001	オレンジ色	スロット 9 GPU ライザー (P2) 1	GPU ライザー/PCIe スイッチボード電源コネクタ (P3)
	青色	スロット 11 GPU ライザー (P1) 1	

1 このカッコで囲まれたテキスト (P1/P2/P3) は、ライザー電源ケーブルコネクタ上のマーカーを指します。

- GPU ライザーケー ジ 2



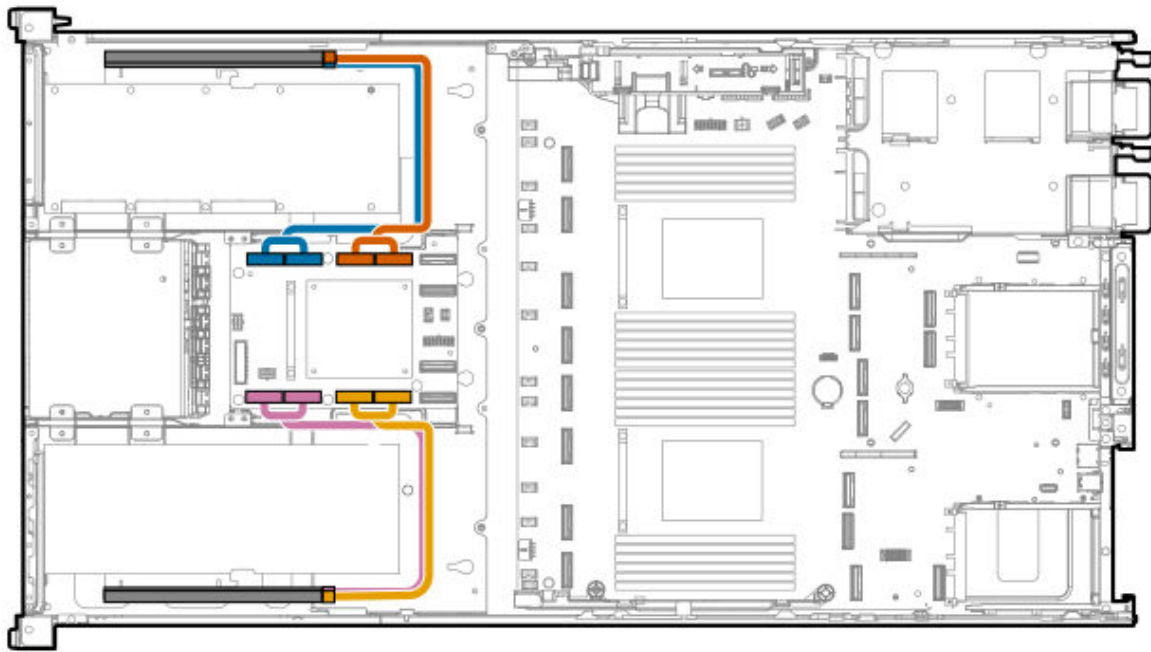
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54886-001	オレンジ色	スロット 14 GPU ライザー (P1) ¹	GPU ライザー/PCIe スイッチボード電源コネクタ (P3) ¹
	青色	スロット 16 GPU ライザー (P2) ¹	

¹ このカッコで囲まれたテキスト (P1/P2/P3) は、ライザー電源ケーブルコネクタ上のマーカーを指します。

GPU ライザーから PCIe スイッチボードへのケーブル接続

GPU ライザー信号のケーブル接続

- ・ 上側 PCIe スイッチボード



オプションの部品番号

色

接続元

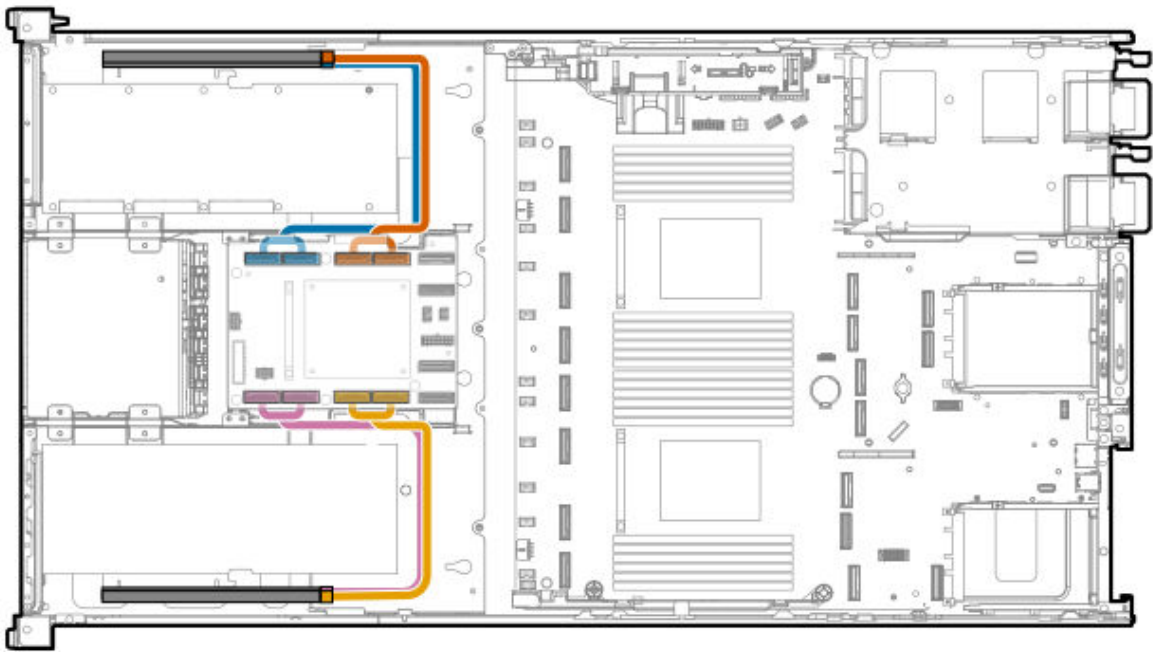
接続先

P44002-001	オレンジ色	スロット 10 GPU ライザー	GPU ライザー スロット 10 MCIO コネクタ (SEC) ¹ _
			GPU ライザー スロット 10 MCIO コネクタ (PRIM) ¹ _
	青色	スロット 9 GPU ライザー	GPU ライザー スロット 9 MCIO コネクタ (SEC) ¹ _
			GPU ライザー スロット 9 MCIO コネクタ (PRIM) ¹ _
	金色	スロット 14 GPU ライザー	GPU ライザー スロット 14 MCIO コネクタ (SEC) ¹ _
			GPU ライザー スロット 14 MCIO コネクタ (PRIM) ¹ _

オプションの部品番号	色	接続元	接続先
	ピンク色	スロット 13 GPU ライザー	GPU ライザー スロット 13 MCIO コネクタ (SEC) ¹
			GPU ライザー スロット 13 MCIO コネクタ (PRIM) ¹

¹ このカッコで囲まれたテキスト (PRIM/SEC) は、ライザー信号ケーブルコネクタ上のマーカーを指します。

- 下側 PCIe スイッチボード



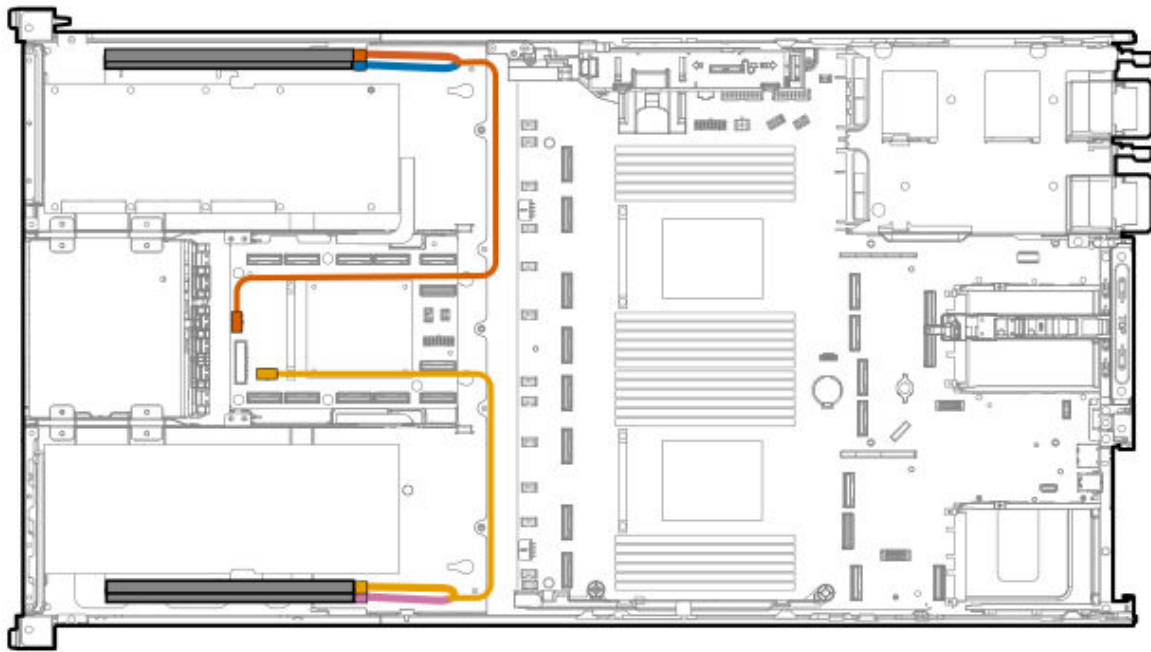
オプションの部品番号	色	接続元	接続先
P44002-001	オレンジ色	スロット 12 GPU ライザー	GPU ライザー スロット 11 MCIO コネクタ (SEC) ¹

オプションの部品番号	色	接続元	接続先
	青色	スロット 11 GPU ライザー	GPU ライザー スロット 11 MCIO コネクタ — (PRIM) ¹ _
			GPU ライザー スロット 12 MCIO コネクタ — (SEC) ¹ _
	金色	スロット 16 GPU ライザー	GPU ライザー スロット 12 MCIO コネクタ — (PRIM) ¹ _
			GPU ライザー スロット 16 MCIO コネクタ — (SEC) ¹ _
	ピンク色	スロット 15 GPU ライザー	GPU ライザー スロット 16 MCIO コネクタ — (PRIM) ¹ _
			GPU ライザー スロット 15 MCIO コネクタ — (SEC) ¹ _
			GPU ライザー スロット 15 MCIO コネクタ — (PRIM) ¹ _

¹ _ このカッコで囲まれたテキスト (PRIM/SEC) は、ライザー信号ケーブルコネクタ上のマーカーを指します。

GPU ライザー電源のケーブル接続

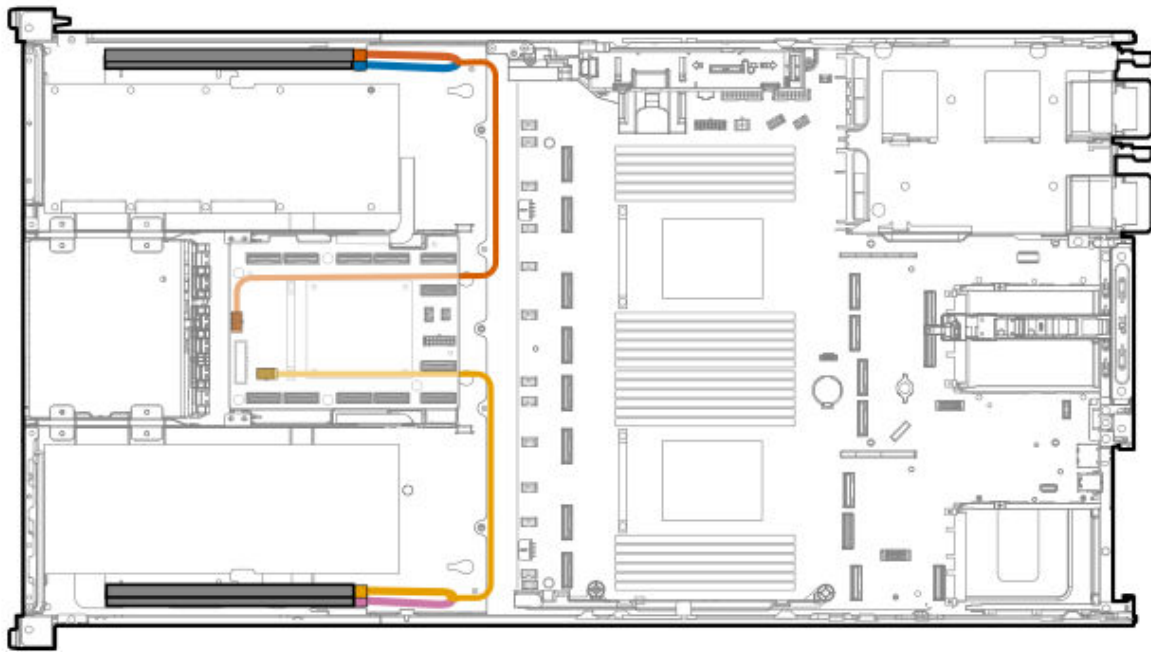
- ・ 上側 PCIe スイッチボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54887-001	オレンジ色	スロット 9 GPU ライザー (P3) ¹	GPU ライザー スロット 9 および 10 電源コネクター (P1) ¹
	青色	スロット 10 GPU ライザー (P2) ¹	
	金色	スロット 13 GPU ライザー (P2) ¹	GPU ライザー スロット 13 および 14 電源コネクター (P1) ¹
	ピンク色	スロット 14 GPU ライザー (P3) ¹	

¹ このカッコで囲まれたテキスト (P1/P2/P3) は、ライザー電源ケーブルコネクター上のマーカーを指します。

- ・ 下側 PCIe スイッチボード

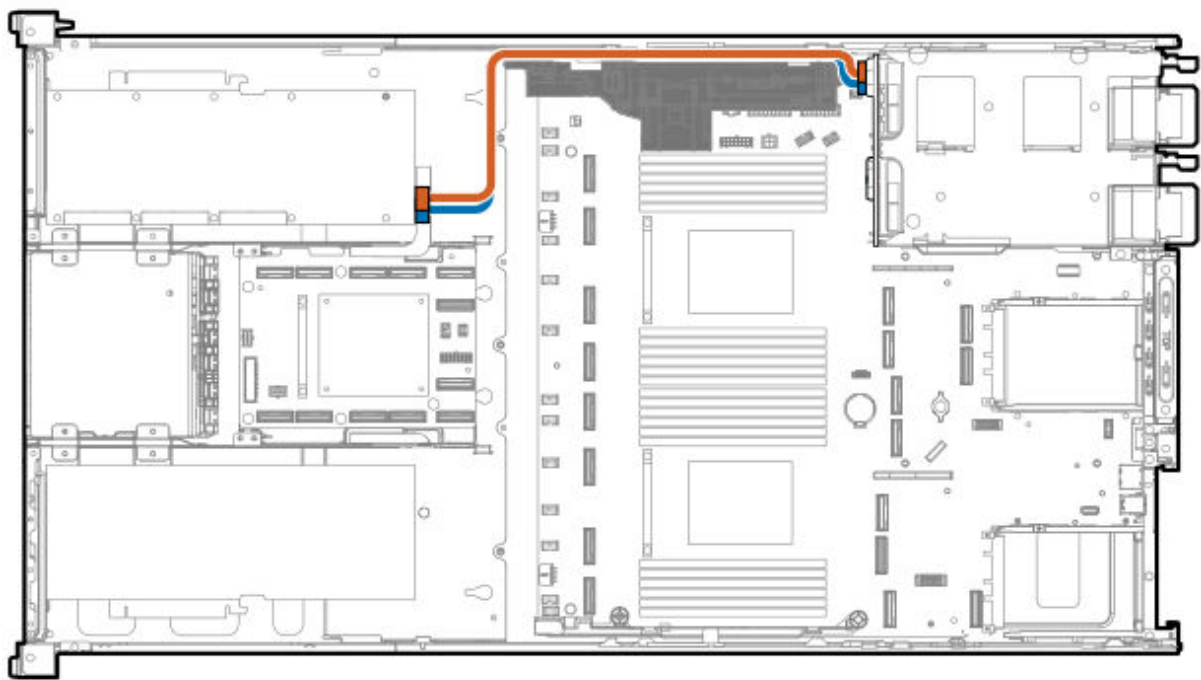


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54887-001	オレンジ色	スロット 11 GPU ライザー (P3) ¹	GPU ライザー スロット 11 および 12 電源コネクター (P1) ¹
	青色	スロット 12 GPU ライザー (P2) ¹	
	金色	スロット 15 GPU ライザー (P2) ¹	GPU ライザー スロット 15 および 16 電源コネクター (P1) ¹
	ピンク色	スロット 16 GPU ライザー (P3) ¹	

¹ このカッコで囲まれたテキスト (P1/P2/P3) は、ライザー電源ケーブルコネクター上のマーカーを指します。

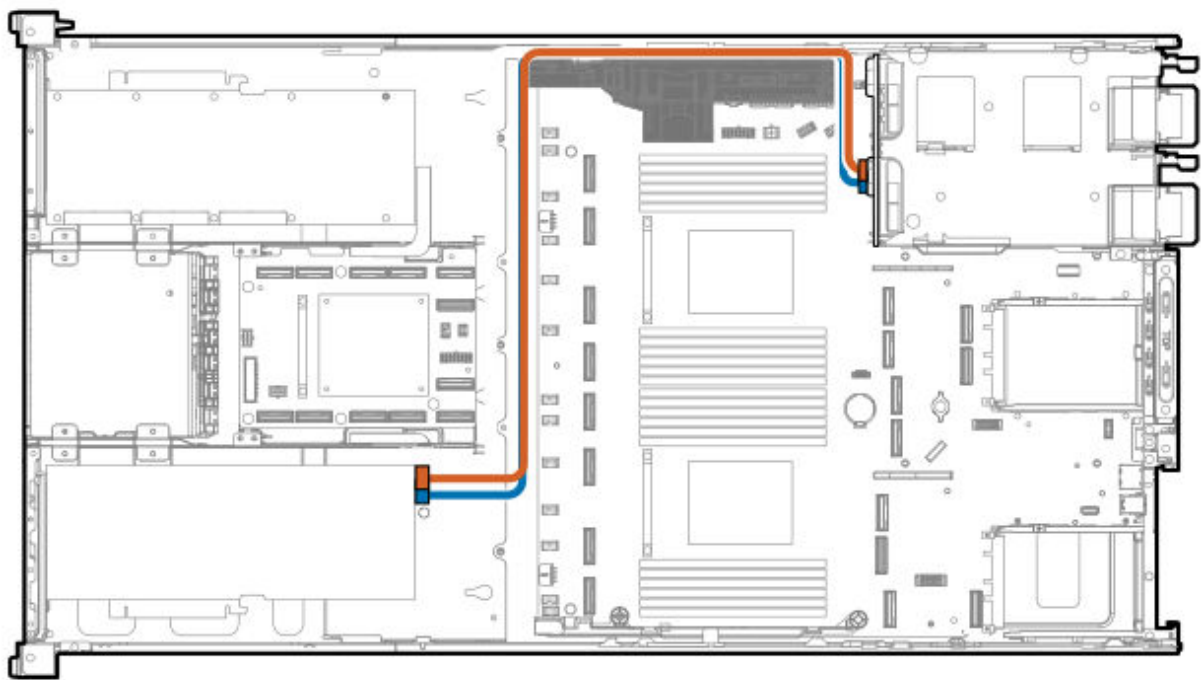
GPU 補助電源のケーブル接続

CPU 8 ピン GPU 補助電源のケーブル接続 : GPU ライザーズロット 9 および 11



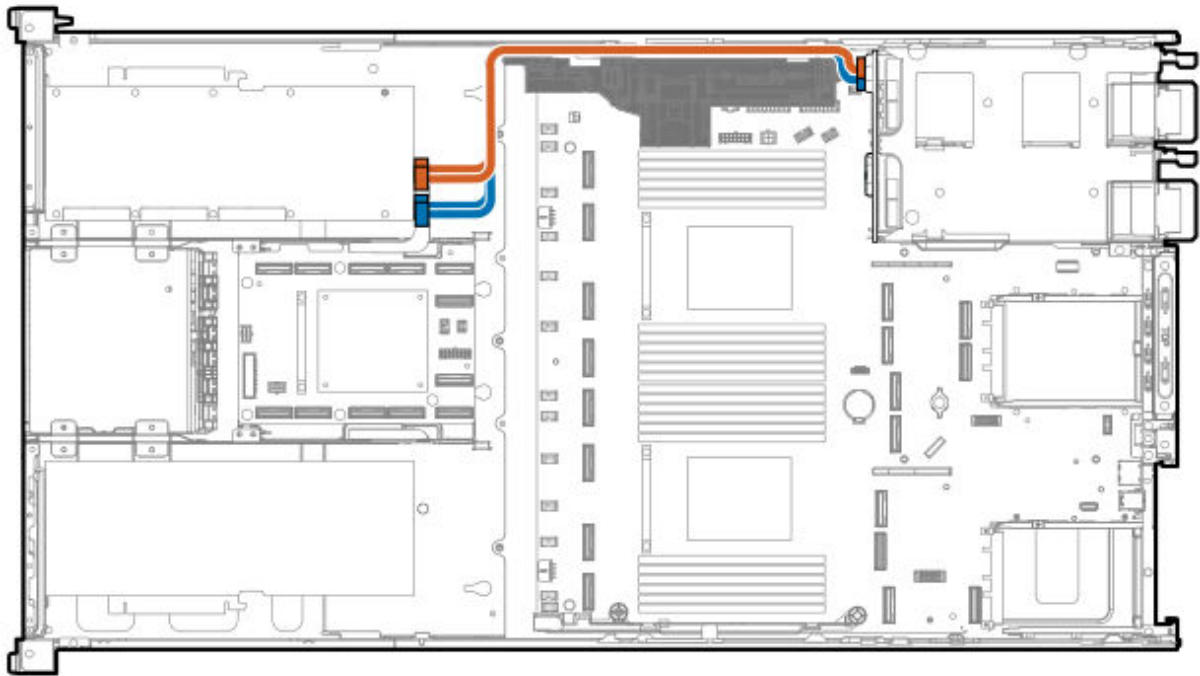
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54891-001	オレンジ色	スロット 9 ダブル幅 G PU	分電盤
P54891-001	青色	スロット 11 ダブル幅 GPU	

CPU 8 ピン GPU 補助電源のケーブル接続：GPU ライザー スロット 14 および 16



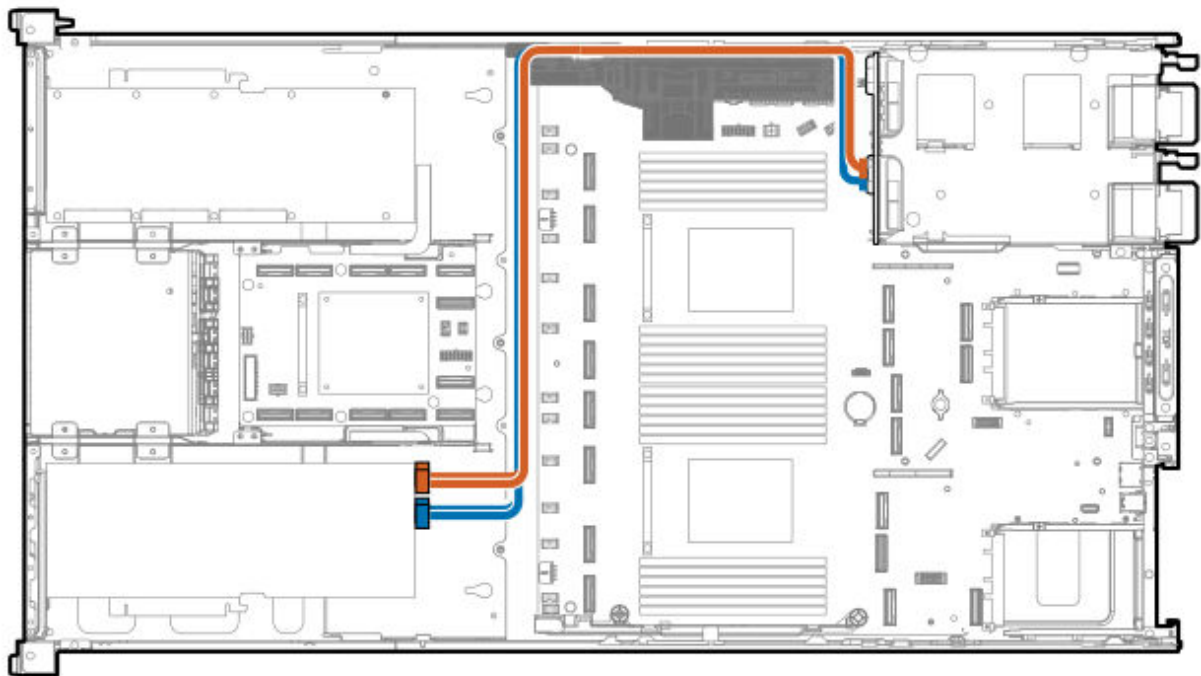
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54892-001	オレンジ色	スロット 14 ダブル幅 GPU	分電盤
P54892-001	青色	スロット 16 ダブル幅 GPU	

CPU 8 ピンシングル幅 GPU 補助電源のケーブル接続 : GPU ライザーズロット 9、10、11、12



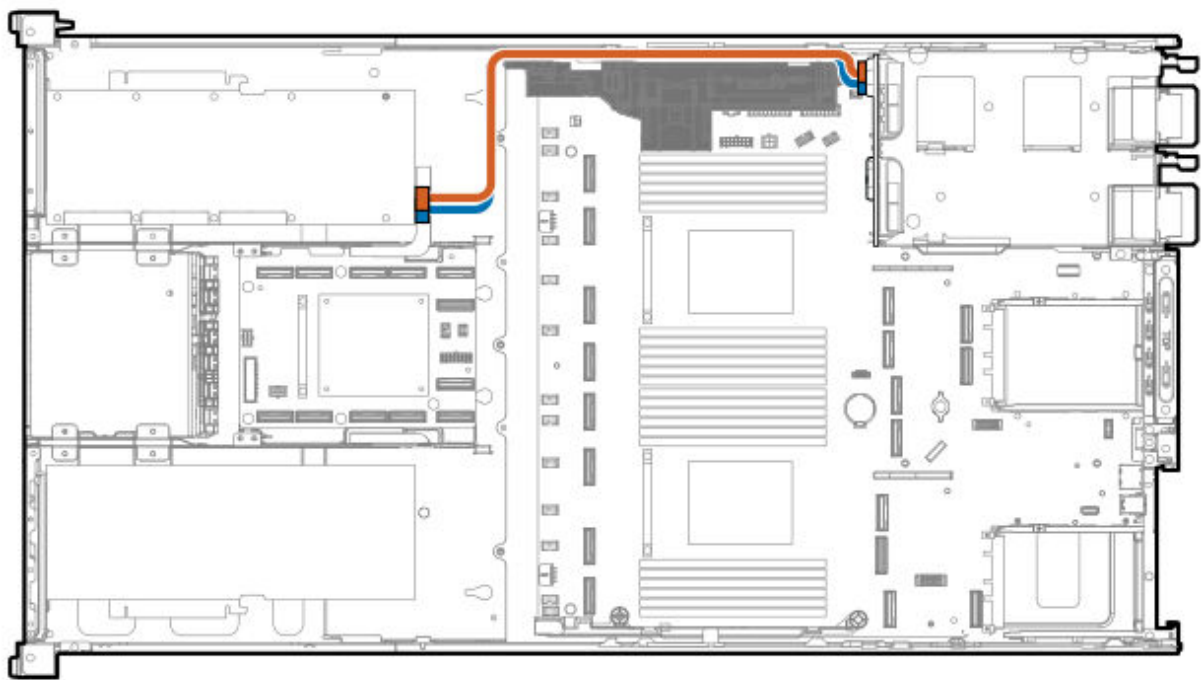
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54889-001	オレンジ色	スロット 9 および 10 シングル幅 GPU	分電盤
P54889-001	青色	スロット 11 および 12 シングル幅 GPU	

CPU 8 ピンシングル幅 GPU 補助電源のケーブル接続 : GPU ライザーズロット 13、14、15、16



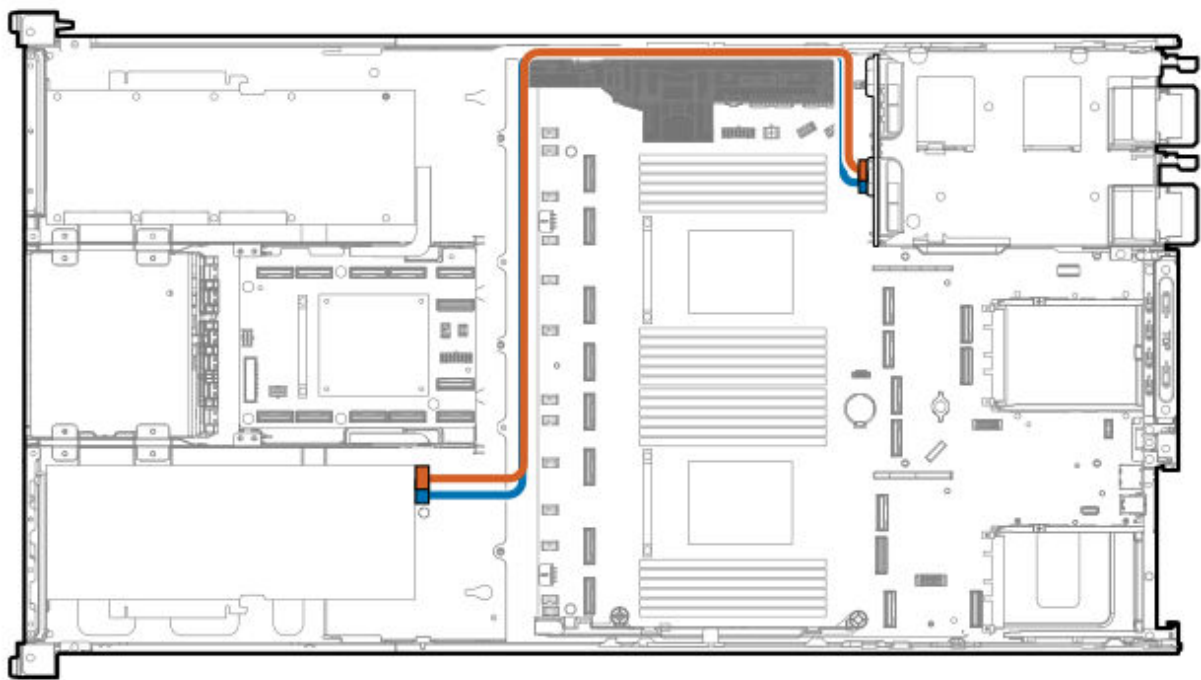
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54890-001	オレンジ色	スロット 13 および 14	分電盤 シングル幅 GPU
P54890-001	青色	スロット 15 および 16	シングル幅 GPU

PCIe 16 ピン GPU 補助電源のケーブル接続 : GPU ライザー スロット 9 および 11



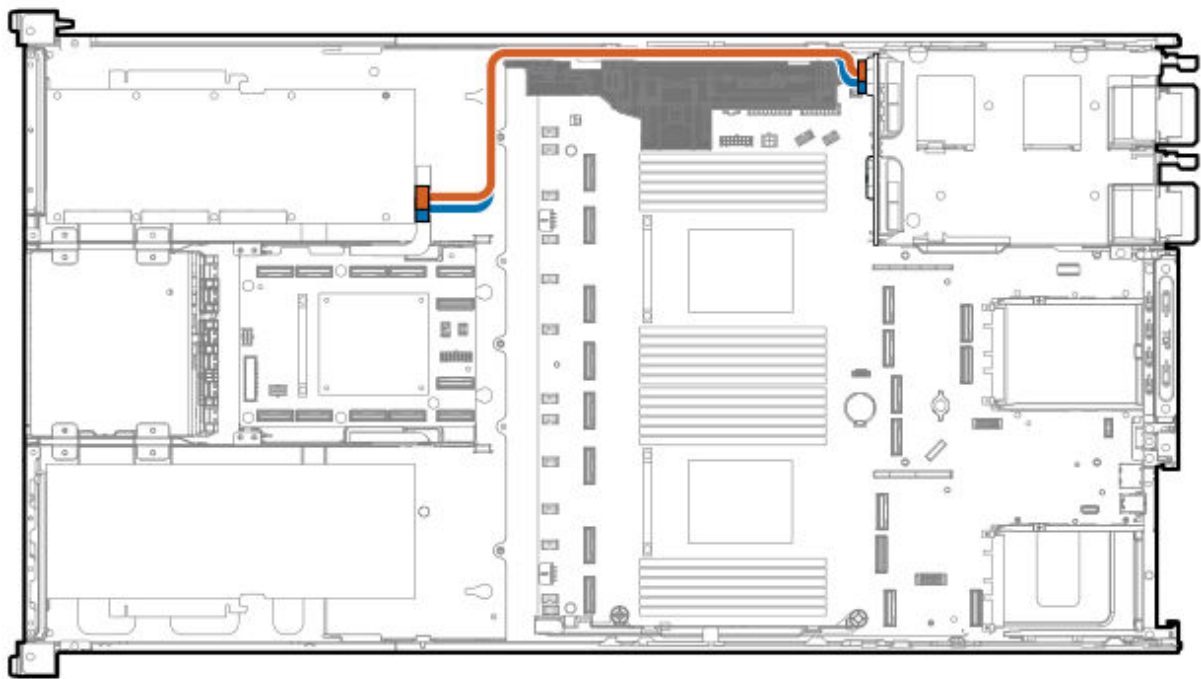
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P58448-001	オレンジ色	スロット 9 ダブル幅 G PU	分電盤
P58448-001	青色	スロット 11 ダブル幅 GPU	

PCIe 16 ピン GPU 補助電源のケーブル接続 : GPU ライザースロット 14 および 16



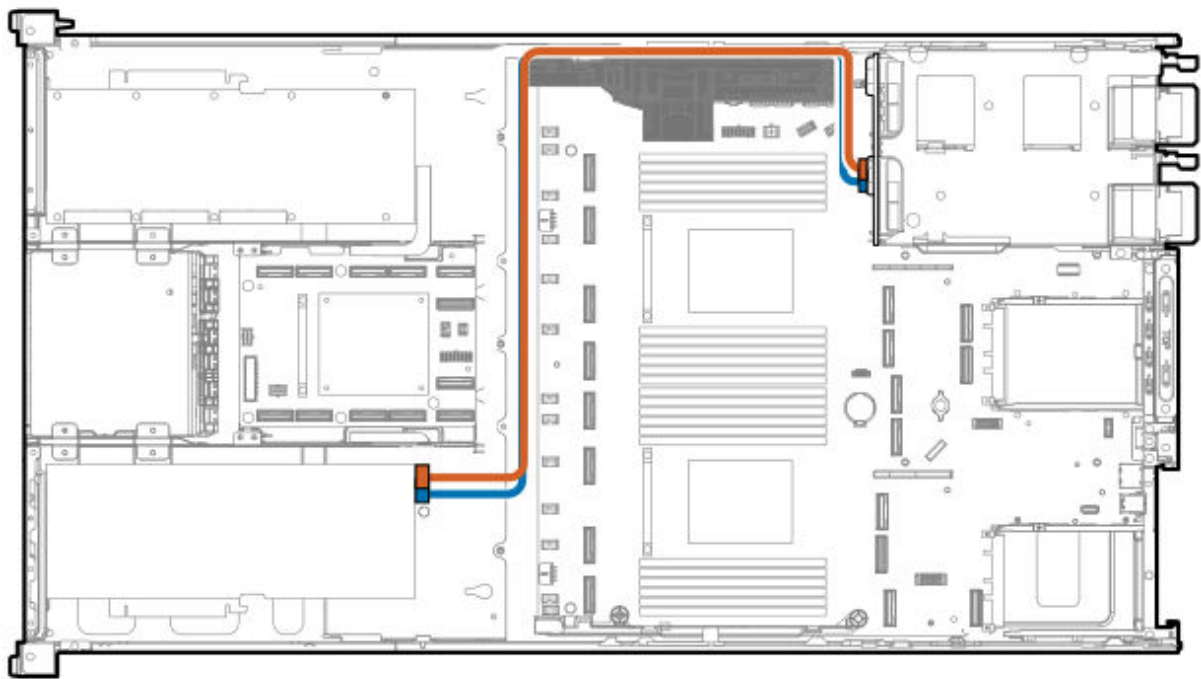
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P58449-001	オレンジ色	スロット 14 ダブル幅 GPU	分電盤
P58449-001	青色	スロット 16 ダブル幅 GPU	

PCIe 16 ピン GPU 補助電源のケーブル接続: ライザーロット 9 および 11 の H100 / H100 NVL GPU



ケーブルの部品番 色 号		接続元	接続先
P68288-001	オレンジ色	スロット 9 の H100 / H100 NVL GPU	分電盤
P80657-001	青色	スロット 11 の H100 NVL GPU	
P68289-001		スロット 11 の H100 GPU	

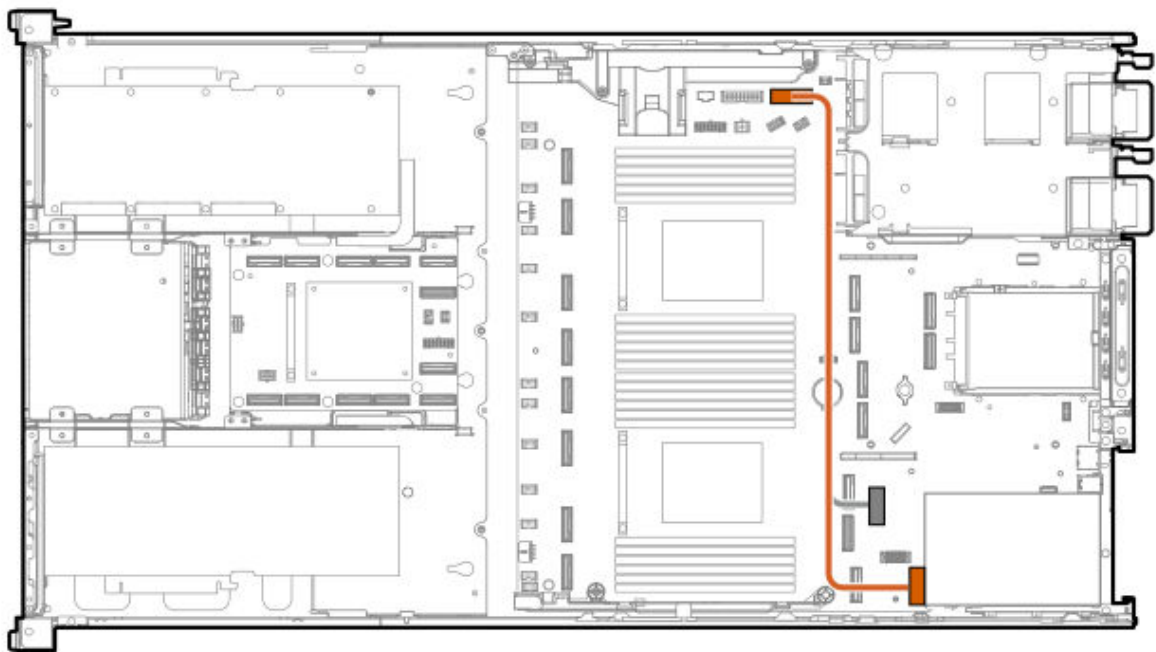
PCIe 16 ピン GPU 補助電源のケーブル接続：ライザー-slot 14 および 16 の H100 / H100 NVL GPU



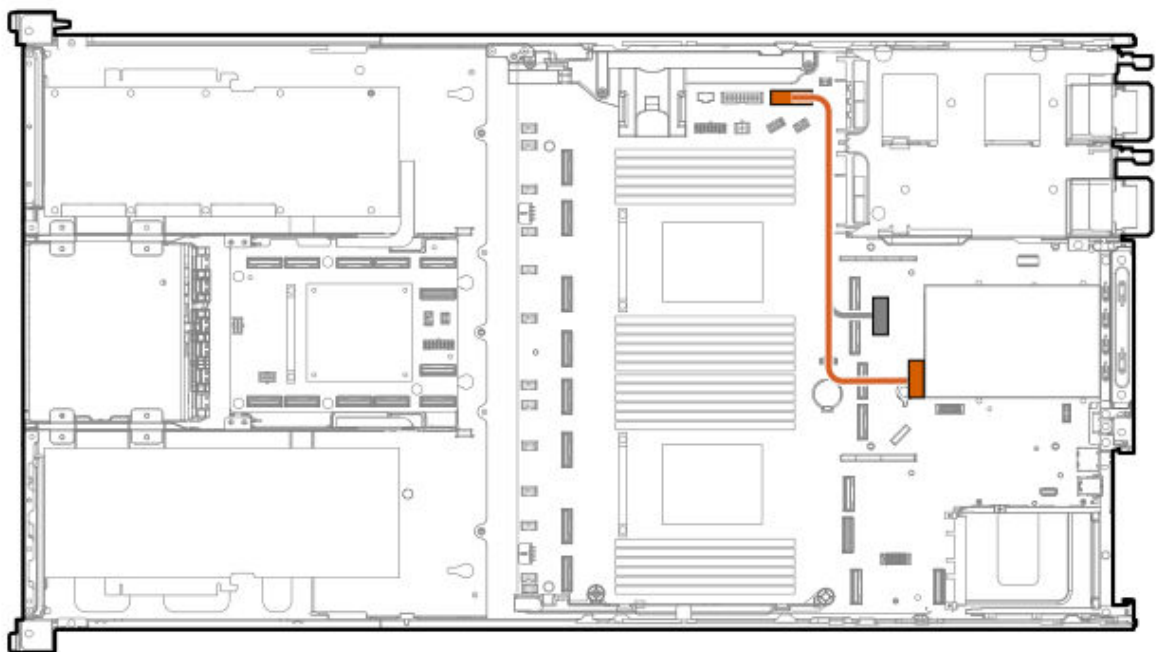
ケーブルの部品番 色 号		接続元	接続先
P68289-001	オレンジ色	スロット 14 の H100 / H100 NVL GP U	分電盤
P68289-001	青色	スロット 16 の H100 / H100 NVL GP U	

DPU 補助電源のケーブル接続

- ・ プライマリライザーケージ



- ・ セカンダリライザーケーブル



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P70191-002	オレンジ色	下側 PCIe スイッチボード電源コネクタ	DPU

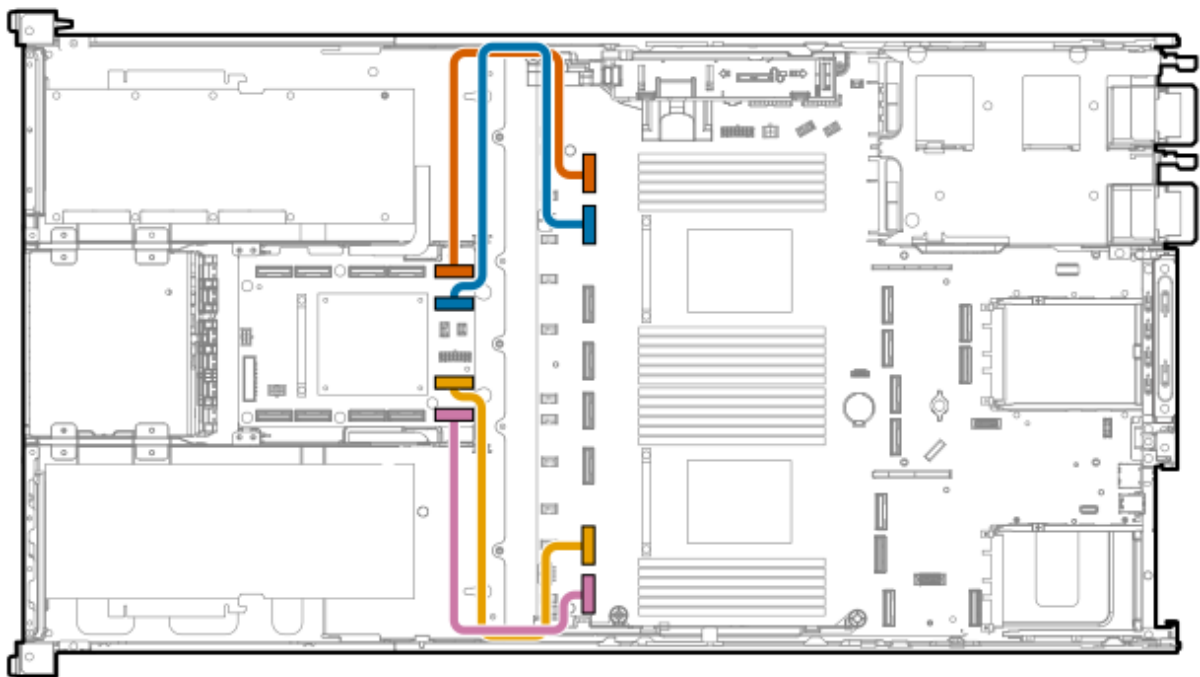
PCIe スイッチボードのケーブル接続

サブトピック

- PCIe スイッチボードの信号ケーブル接続
- PCIe スイッチボードのサイドバンドケーブル接続
- PCIe スイッチボードの電源ケーブル接続

PCIe スイッチボードの信号ケーブル接続

上側 PCIe スイッチボード

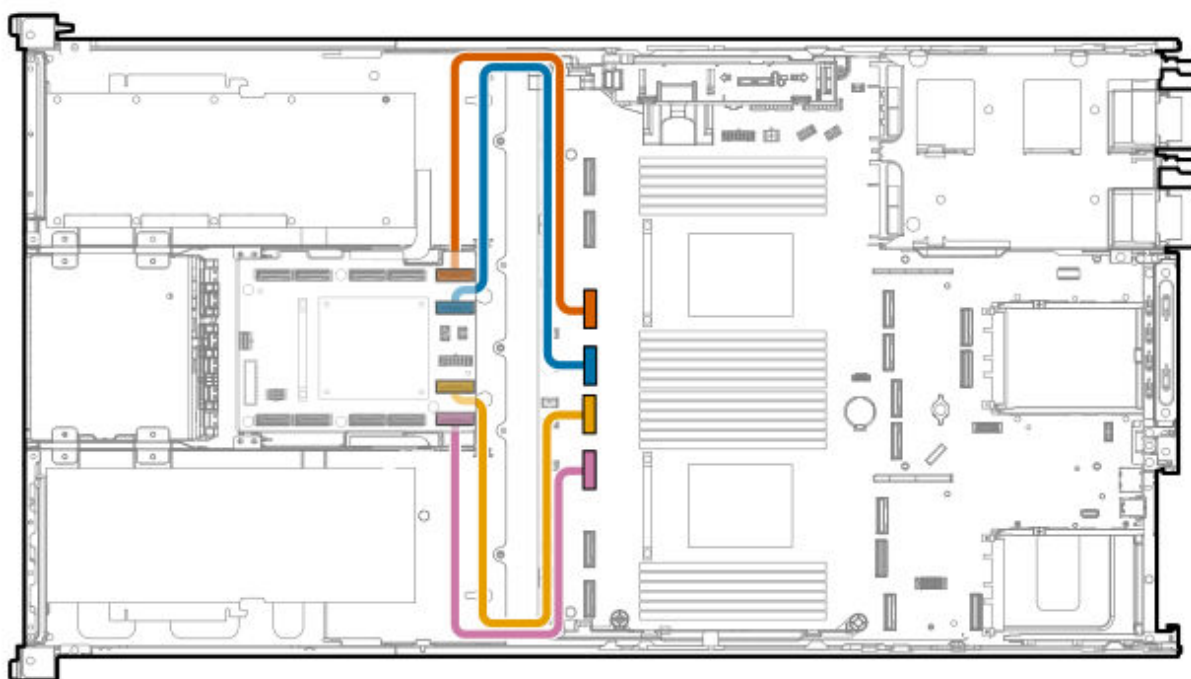


ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P54894-001	オレンジ色	上側 PCIe スイッチボードのダウンストリームポート 1	ソケット 2 MCIO コネクター 4B (SEC) 1
P54893-001	青色	上側 PCIe スイッチボードのダウンストリームポート 2	ソケット 2 MCIO コネクター 3B (PRIM) 1

ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P54894-001	金色	上側 PCIe スイッチボードのダウンストリームポート 3	ソケット 1 MCIO コネクタ 2A (SEC) ¹
P54896-001	ピンク色	上側 PCIe スイッチボードのダウンストリームポート 4	ソケット 1 MCIO コネクタ 1A (PRIM) ¹

¹ このカッコで囲まれたテキスト (PRIM/SEC) は、上側 PCIe スイッチボードの信号ケーブルコネクタ上のマーカーを指します。

下側 PCIe スイッチボード

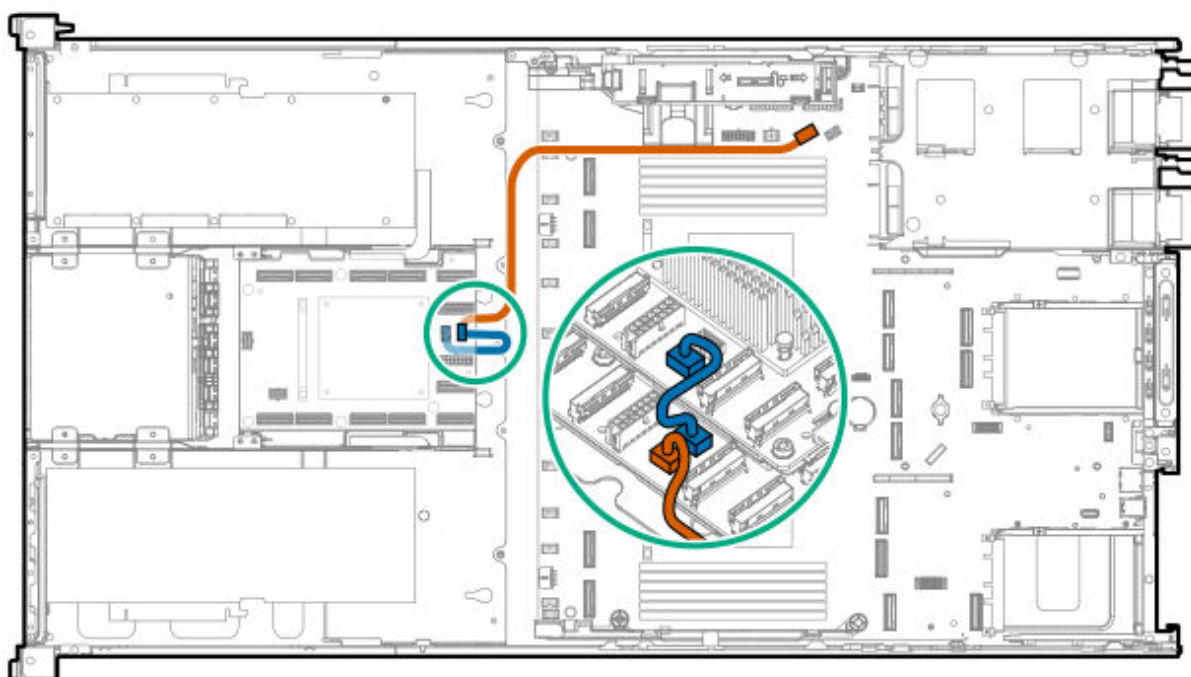


ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P54893-001	オレンジ色	下側 PCIe スイッチボードのダウンストリームポート 1	ソケット 2 MCIO コネクタ 2B (SEC) ¹
P54895-001	青色	下側 PCIe スイッチボードのダウンストリームポート 2	ソケット 2 MCIO コネクタ 1B (PRIM) ¹
P54893-001	金色	下側 PCIe スイッチボードのダウンストリームポート 3	ソケット 1 MCIO コネクタ 4A (SEC) ¹

ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
P54894-001	ピンク色	下側 PCIe スイッチボードのダウンストリームポート 4	ソケット 1 MCIO コネクタ 3A (PRIM) ¹

¹ このカッコで囲まれたテキスト (PRIM/SEC) は、下側 PCIe スイッチボードの信号ケーブルコネクタ上のマーカーを指します。

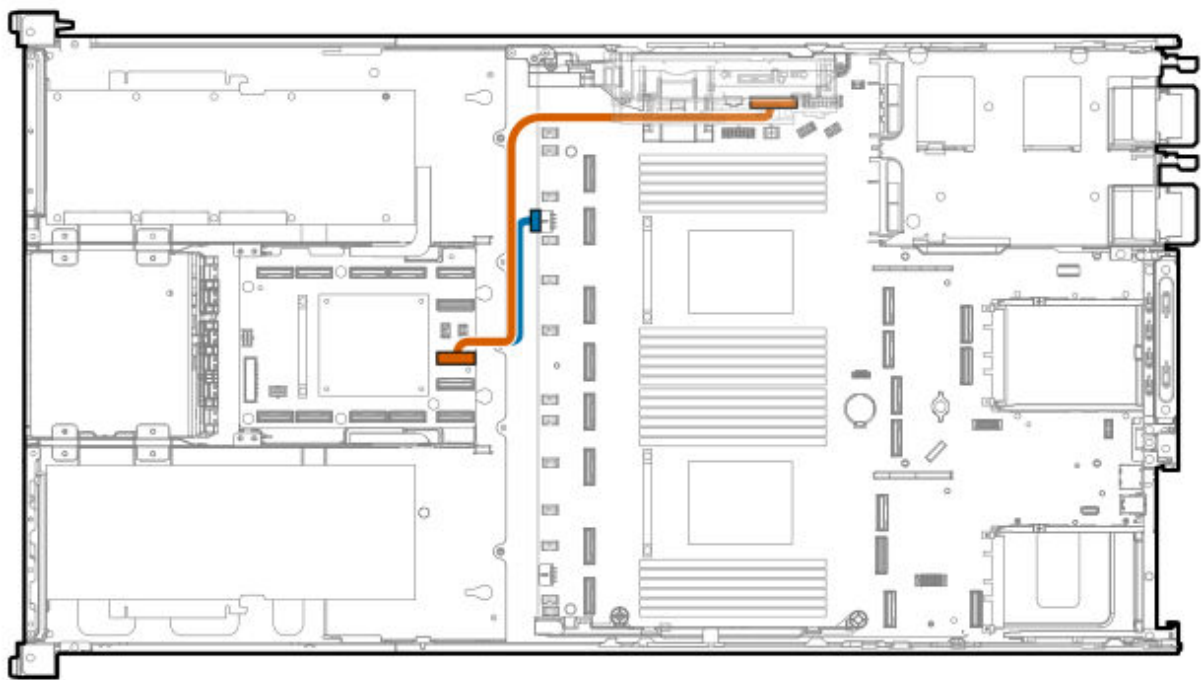
PCIe スイッチボードのサイドバンドケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54897-001	オレンジ色	システムボード上の PCIe スイッチボード信号コネクタ	下側 PCIe スイッチボード信号コネクタ
P54900-001	青色	下側 PCIe スイッチボード信号コネクタ	上側 PCIe スイッチボード信号延長コネクタ

PCIe スイッチボードの電源ケーブル接続

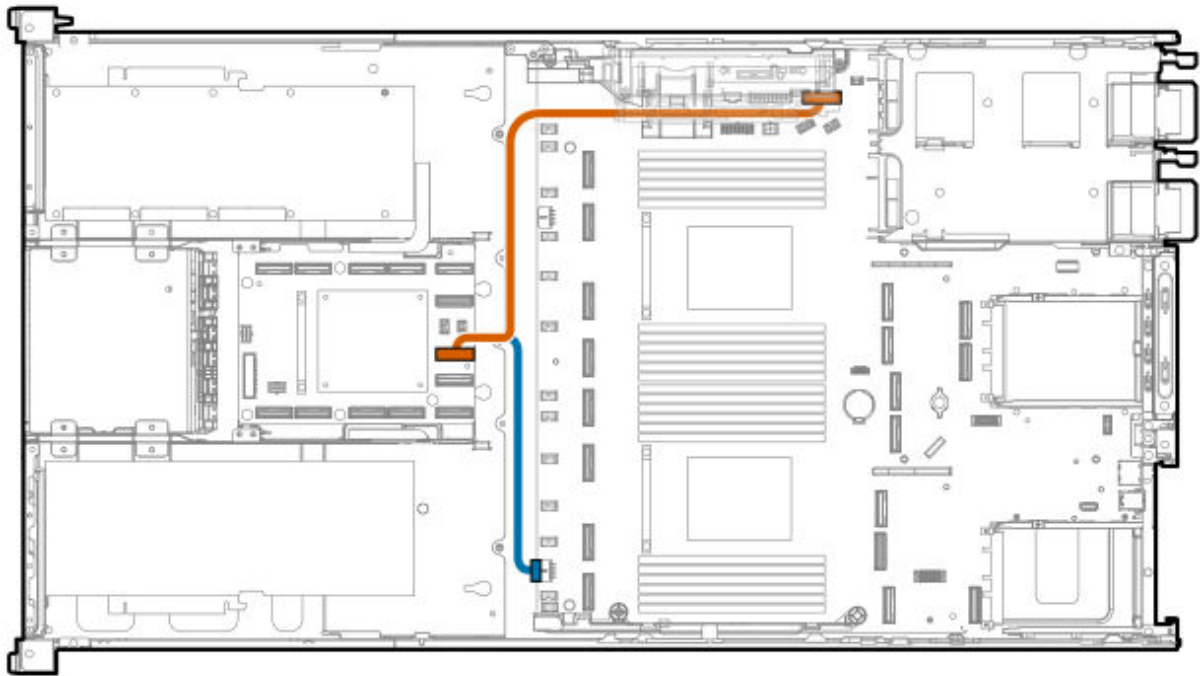
上側スイッチボード電源 Y ケーブル



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54898-001	オレンジ色	上側スイッチ電源コネクタ (P1) ¹	PCIe スイッチボード電源コネクタ (P2)
	青色		GPU 補助電源コネクタ (P3) ¹

¹ このカッコで囲まれたテキスト ((P1/P2/P3)) は、上側 PCIe スイッチボード電源ケーブルコネクタ上のマーカーを指します。

下側スイッチボード電源 Y ケーブル

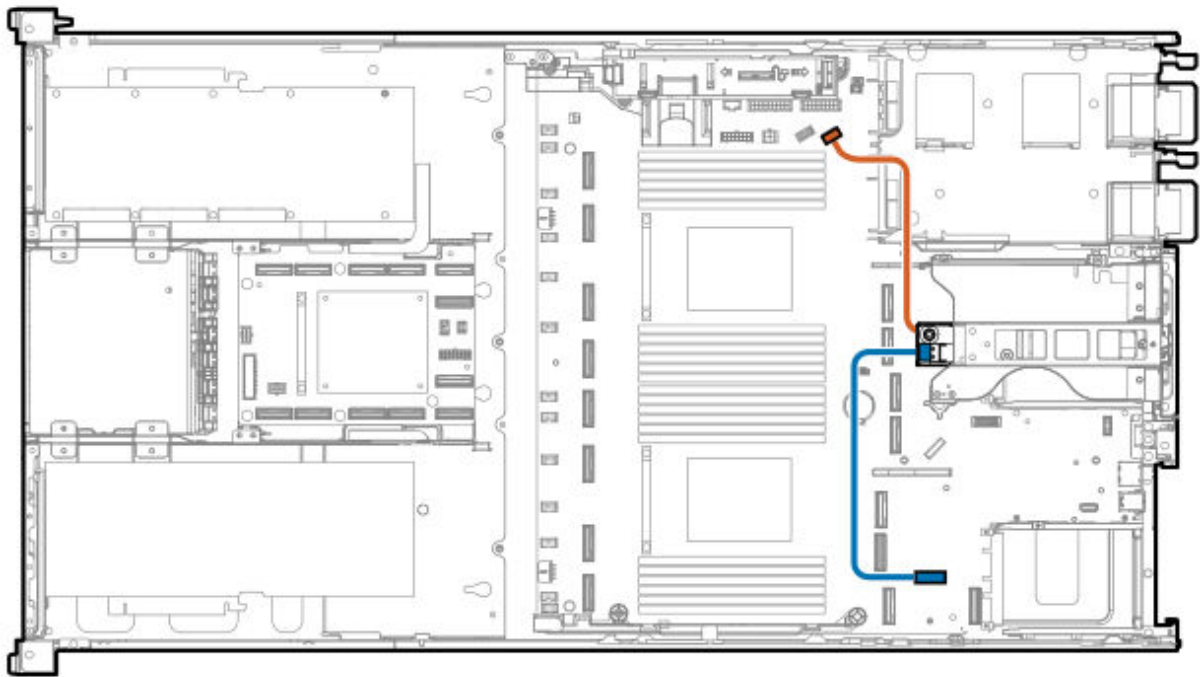


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54899-001	オレンジ色	下側スイッチ電源コ ネクター (P1) ¹	PCIe スイッチボード 電源コネクター (P2)
	青色		GPU 補助電源コネクタ — (P3) ¹

¹ このカッコで囲まれたテキスト ((P1/P2/P3)) は、下側 PCIe スイッチボード電源ケーブルコネクター上のマーカーを指します。

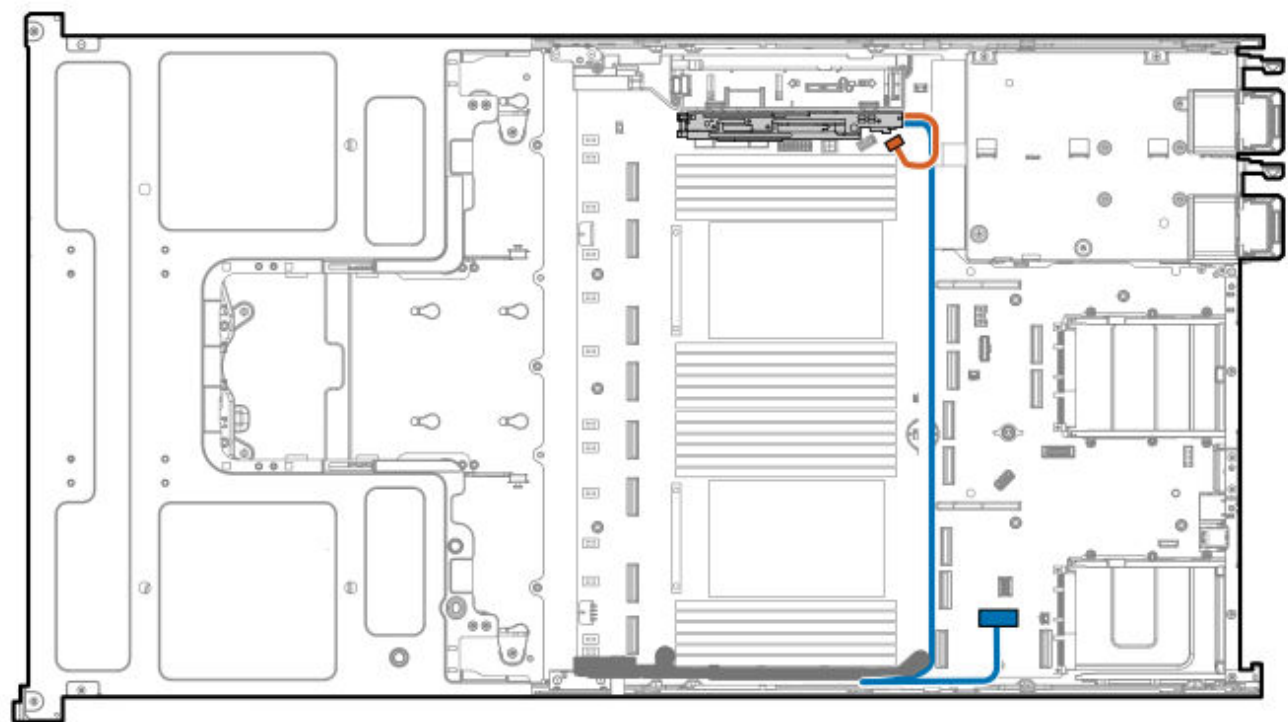
HPE NS204i-u ブートデバイスのケーブル接続

セカンダリライザーケースの HPE NS204i-u ブートデバイス



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54088-001	オレンジ色	HPE NS204i-u ブートデバイス	NS204i-u サイドバンドコネクタ
P54092-001	青色		SlimSAS x8 コネクター

内部シャーシの HPE NS204i-u ブートデバイス

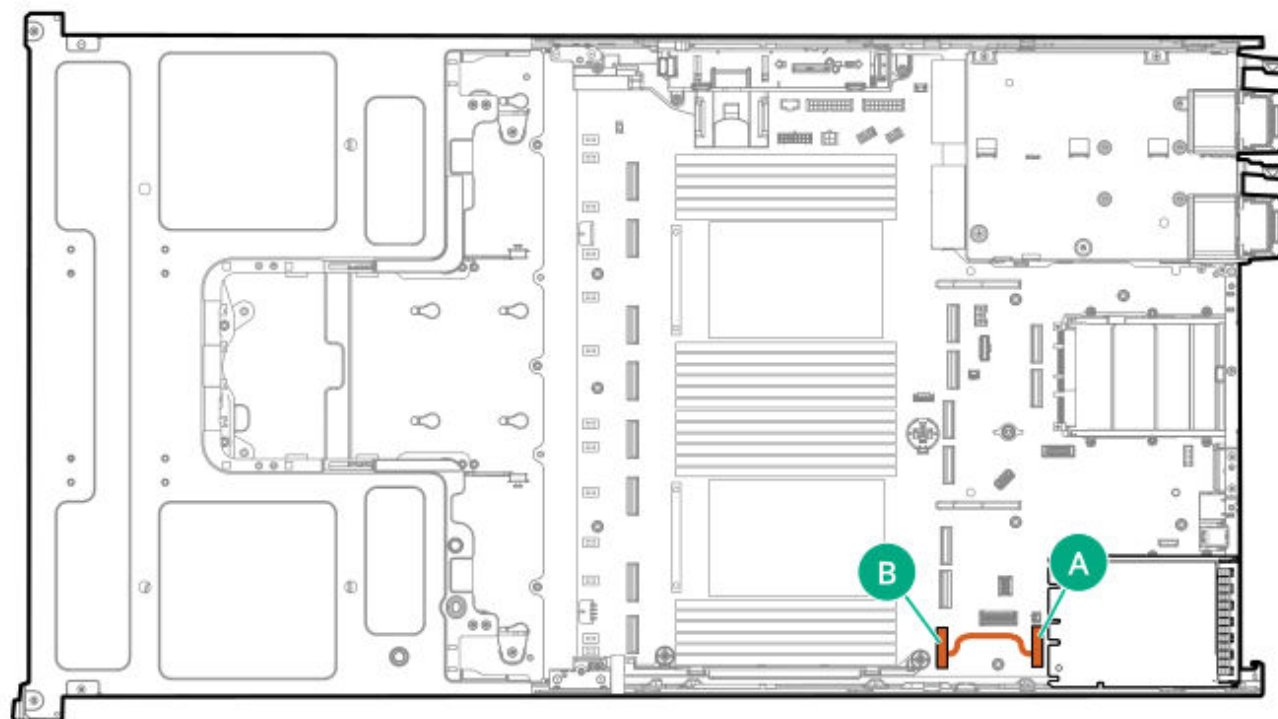


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54088-001	オレンジ色	HPE NS204i-u ブートデバイス	NS204i-u サイドバンドコネクタ
P54092-001	青色		SlimSAS x8 コネクター

0CP 帯域幅アップグレードのケーブル接続

0CP 帯域幅アップグレードケーブル：スロット 17

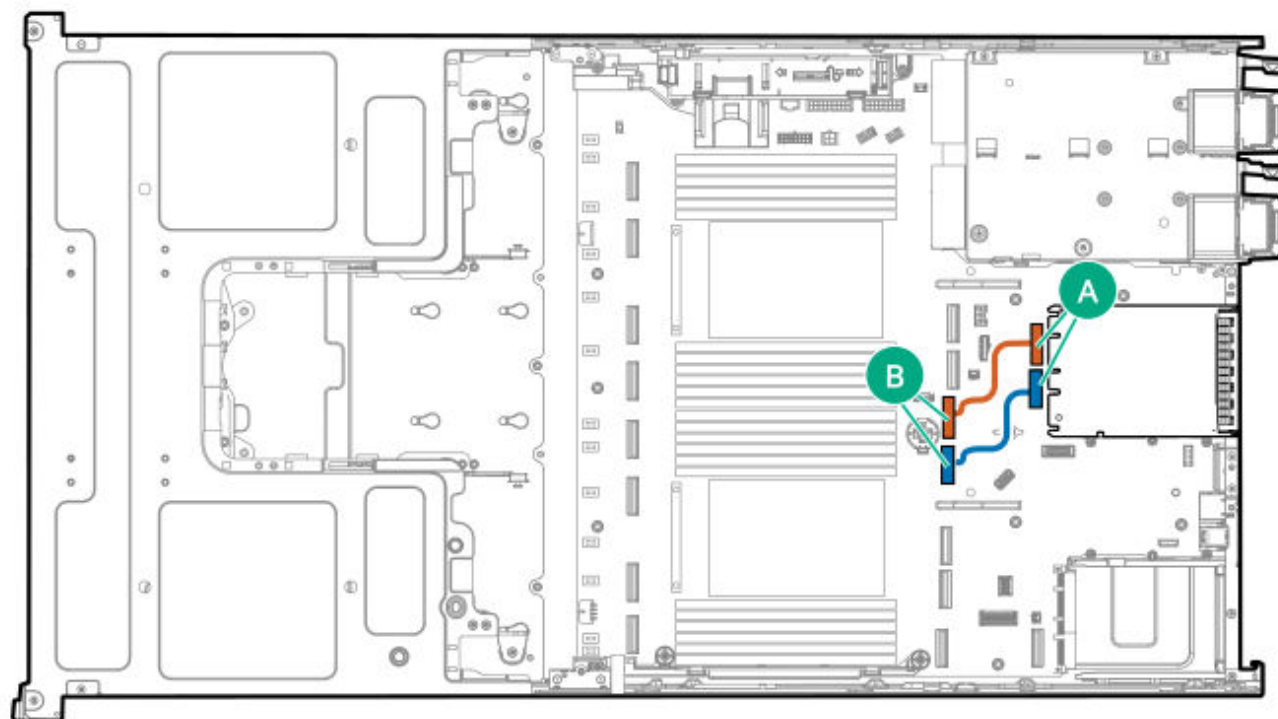
0CP NIC x16 を 0CP スロット 17 に取り付ける場合は、0CP 帯域幅アップグレードケーブルが必要です。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P47741-001	オレンジ色	ソケット 1 MCIO コネクタ 9A	スロット 17 OCP x16 アップグレード コネクタ

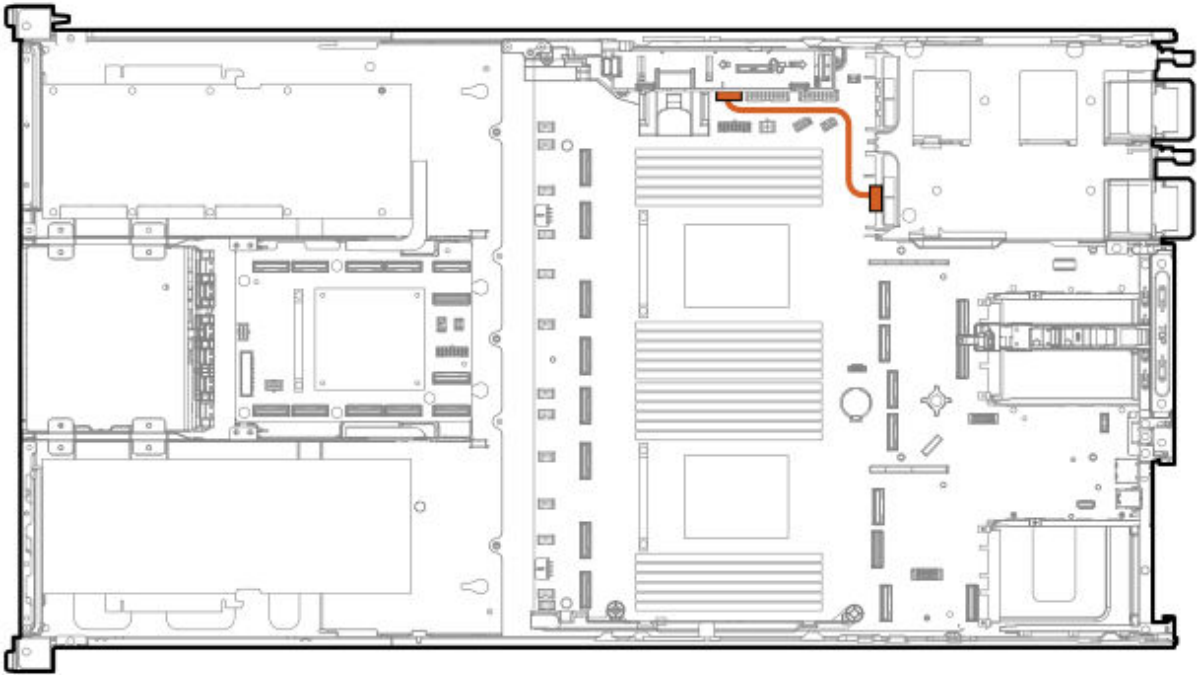
0CP 帯域幅アップグレードケーブル：スロット 18

0CP NIC x16 を 0CP スロット 18 に取り付ける場合は、2 本の 0CP 帯域幅アップグレードケーブルが必要です。



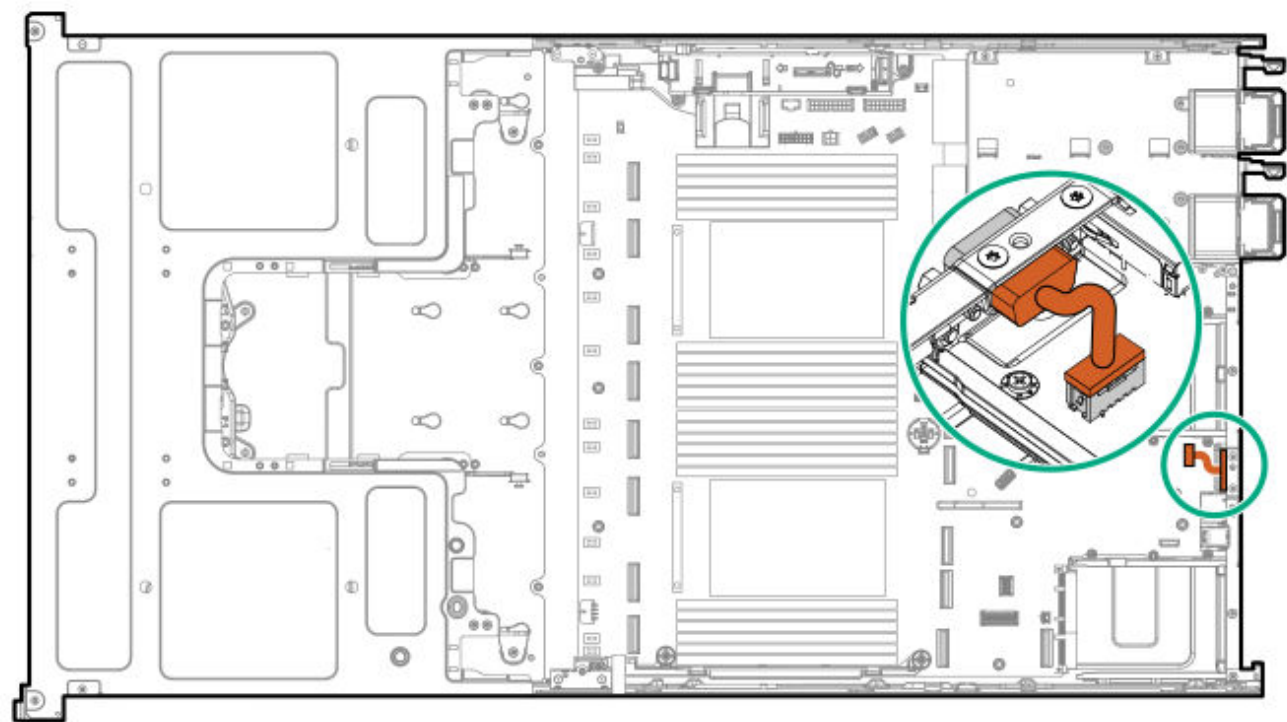
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P47742-001	オレンジ色	ソケット 2 MC10 コネクター 5B	スロット 18 OCP x16 アップグレー ドコネクター A
P47742-001	青色	ソケット 2 MC10 コネクター 6B	スロット 18 OCP x16 アップグレー ドコネクター B

分電盤サイドバンドのケーブル接続



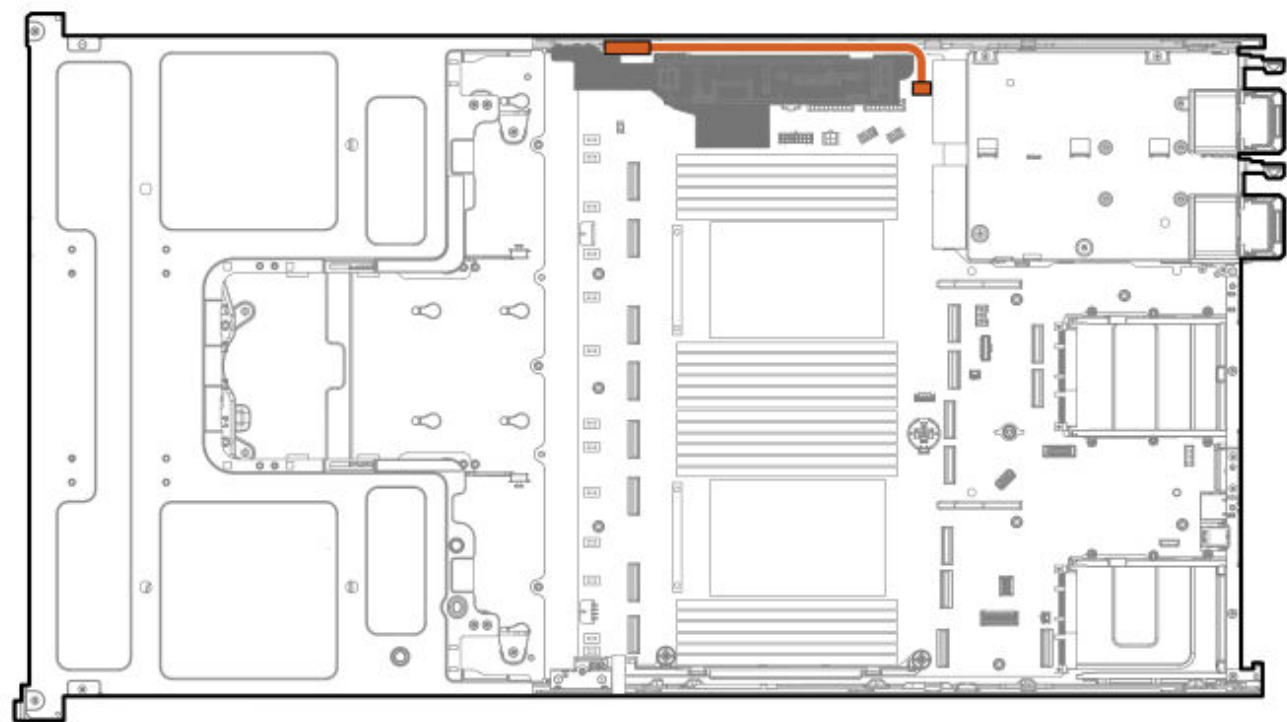
オプションの部品番号 色		接続元	接続先
P54888-001	オレンジ	分電盤	電源装置サイドバンドオプションコネクター

シリアルポートのケーブル接続



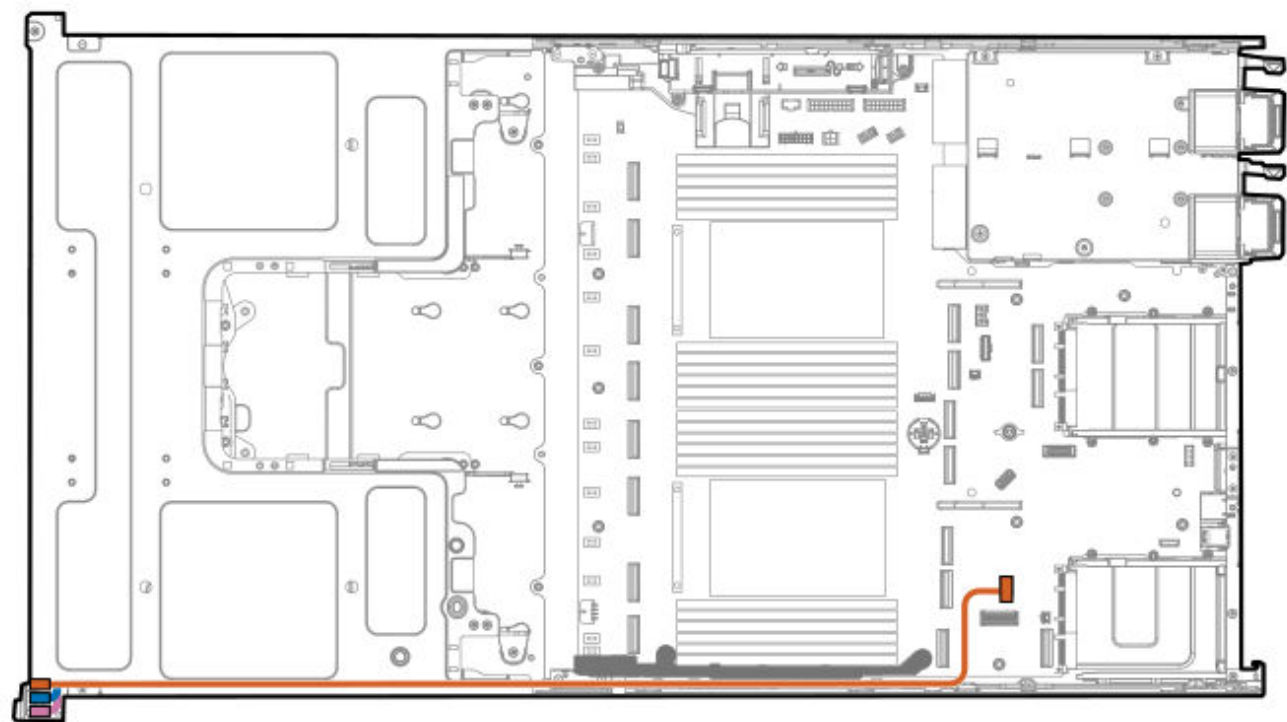
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P57842-001	オレンジ色	シリアルポート	シリアルポートコネクター

シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54901-001	オレンジ色	シャーシ侵入検知スイッチ	シャーシ侵入検知スイッチコネクター

フロント I/O のケーブル接続



オプションの部品番号 色		接続元	接続先
P54733-001	オレンジ	- フロント I/O モジュール - iLO サービスポート - USB 3.2 Gen1 ポート	フロント I/O コネクター

構成関連情報

次の関連情報を使用して、サーバーの構成と管理に関するドキュメントを見つけます。

- 一部のユーティリティが、使用しているサーバーに適用しない場合があります。この章に記載されている製品とサーバーの互換性については、製品の QuickSpecs (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を参照してください。
- HPE Factory Express から注文された製品は、この章の一部またはすべての構成で既に構成されている可能性があります。追加の設定が必要かどうかを判断するには、HPE Factory Express の注文を確認してください。
- 最新の製品リリースノートを含む、バージョン固有のソフトウェアおよびファームウェアのドキュメントにワンストップでアクセスするには、次のクイックリンクページを参照してください。
<https://www.hpe.com/support/hpeproductdocs-quicklinks>

サブトピック

[ファームウェアまたはシステム ROM のアップデート](#)

[サーバーの構成](#)

[ストレージコントローラーの構成](#)

[オペレーティングシステムの展開](#)

[セキュリティの構成](#)

[サーバー管理](#)

[Linux ベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理](#)

ファームウェアまたはシステム ROM のアップデート

目的

使用

Service Pack のダウンロード

- Service Pack for ProLiant (SPP)

https://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl

- SPP とそのエコシステムの概要を理解する

<https://www.hpe.com/support/SPP-overview-videos-en>

Service Pack を 1 台のサーバーに展開する

Smart Update Manager (SUM)

<https://www.hpe.com/support/hpesmartupdatemanager-quicklinks>

目的	使用
Service Pack を複数のサーバーに展開する	HPE OneView https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単一サーバーまたは複数サーバーでの iLO またはシステムファームウェアのアップデート	HPE iLO https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
- 分散されたサーバーインフラストラクチャのサーバーまたはサーバーグループファームウェアのポリシーベースの管理を可能にする - 構成されたファームウェアベースラインへのサーバーの準拠を監視する - 自動 iLO ファームウェアアップデートを受け取る - ベースラインアップデートアラートを受け取る	HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-quicklinks

サーバーの構成

構成する対象	使用
単一サーバー (GUI)	- Intelligent Provisioning https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks - iLO リモートコンソールまたは Web インターフェイス https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks - UEFI システムユーティリティ

	https://www.hpe.com/support/hpeuefisytemutilities-quicklinks - HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-quicklinks
単一サーバー（スクリプト）	- RESTful インターフェイスツール https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs - Python iLO Redfish ライブラリ (python-ilorest-library) https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest-library - Scripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powershell/docs - iLO RESTful API https://servermanagementportal.ext.hpe.com/ - HPE Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/
複数サーバー（UI またはスクリプトのいずれか）	- HPE OneView¹ https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks - HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-quicklinks 。 サーバーの設定：ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメ

ーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。

- ・ **サーバーグループ**：関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。

¹ HPE OneView を実行しているサーバーの場合、特定の設定の削除または変更には、iLO などの別のツールを使用しないでください。HPE OneView と iLO を使用して、同じサーバーを管理する方法について詳しくは、iLO ユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。

ストレージコントローラーの構成

コントローラータイプ

ドキュメント

HPE SR Gen 11 コントローラー

- ・ HPE SR Gen11 コントローラーユーザーガイド

<https://hpe.com/support/SR-Gen11-UG>

- ・ SR Gen11 コントローラー RAID の作成 :

<https://www.hpe.com/support/SR-RAID-creation>

構成ガイド :

- ・ HPE Smart Storage Administrator GUI User Guide

<https://www.hpe.com/support/SSA-UG>

- ・ HPE Smart Storage Administrator CLI User Guide

<https://www.hpe.com/support/SSACLI-UG>

HPE MR コントローラーユーザーガイド

- ・ HPE MR Gen11 コントローラーユーザーガイド
<https://hpe.com/support/MR-Gen11-UG>
- MR Gen11 コントローラー構成 :
<https://www.hpe.com/support/MR-Gen11-configuration>
- MR Gen11 コントローラー RAID の作成 :
<https://www.hpe.com/support/MR-Gen11-RAID-creation>

HPE MR コントローラー構成ガイド

- ・ HPE MR Storage Administrator User Guide
<https://www.hpe.com/support/MRSA>
- ・ HPE StorCLI User Guide
<https://www.hpe.com/support/StorCLI>
- ・ HPE StorCLI2 User Guide
<https://www.hpe.com/support/StorCLI2>

Intel VROC for HPE Gen11

- ・ Intel Virtual RAID on CPU for HPE ユーザーガイド
https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=sd00002239_ja_jp&page=index.html
- ・ Intel VROC SATA RAID クイックインストール :
<https://www.hpe.com/support/VROC-SATA-RAID-installation>

OS 固有の構成ガイド :

- ・ Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC) for Windows User Guide

https://docs.graidtech.com/vroc/User_Guides/000094004_Intel_Virtual_RAID_on_CPU_Intel_VROC_User_Guide_for_Windows/

- ・ Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC) for Linux User Guide

https://docs.graidtech.com/vroc/User_Guides/000094694_Intel_Virtual_RAID_on_CPU_Intel_VROC_User_Guide_for_Linux/

- ・ Intel Volume Management Device Driver for VMware ESXi User Guide

https://docs.graidtech.com/vroc/User_Guides/000094787_Intel_Virtual_RAID_on_CPU_Intel_VROC_User_Guide_for_VMware_ESXi/

ストレージコントローラドキュメントライブラリ

<https://www.hpe.com/support/hpestoragecontrollerdocs-quicklinks>

オペレーティングシステムの展開

サポートされているオペレーティングシステムのリストについては、次の HPE サーバーサポート&認定マトリックスを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

目的

HPE Compute Ops Management を使用して OS を展開する

参照

HPE Compute Ops Management ユーザーガイド

<https://www.hpe.com/info/com-quicklinks>

Intelligent Provisioning を使用して OS を展開する

Intelligent Provisioning ユーザーガイド

<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>

目的	参照
iLO 仮想メディアを使用して OS を展開する	iLO ユーザーガイド https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
サーバーが PXE サーバーから起動するように構成する	HPE ProLiant Gen11 サーバーおよび HPE Synergy 用 UEFI システムユーティリティユーザーガイド https://www.hpe.com/support/UEFIGen11-UG-en
サーバーが SAN から起動するように構成する	HPE Boot from SAN Configuration Guide https://www.hpe.com/info/boot-from-san-configuration-guide

セキュリティの構成

目的	参照
サーバーセキュリティのベストプラクティスを実装する。	- HPE コンピュートセキュリティリファレンスガイド https://www.hpe.com/support/gen10-security-ref-ja - HPE iLO 6 セキュリティテクノロジーの概要 https://www.hpe.com/support/ilo6-security-ja
サーバー構成ロック機能が有効にされている HPE Trusted Supply Chain サーバーおよびその他のサーバーのサーバー構成ロック機能を構成して使用する。	Server Configuration Lock User Guide for HPE ProLiant servers and HPE Synergy https://www.hpe.com/info/server-configuration-lock-UG-en

サーバー管理

監視する対象	参照
単一サーバー	HPE iLO https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
複数のサーバー	HPE OneView https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単一または複数のサーバー	HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-quicklinks

Linux ベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

目的	使用
クラスターのプロビジョニング、管理、および監視を行います。	HPE Performance Cluster Manager https://www.hpe.com/support/hpcm_manuals
アプリケーションを最適化します。	HPE Performance Analysis Tools https://www.hpe.com/info/perftools
オンノードとオフノードの両方で、ポイントツーポイント通信および集合通信の低レイテンシと高帯域幅を実現するために、ソフトウェアライブラリを最適化します。	HPE Cray Programming Environment User Guide https://www.hpe.com/info/cray-pe-user-guides

トラブルシューティング

サブトピック

NMI 機能

トラブルシューティングの資料

NMI 機能

システムが従来のデバッグメソッドに応答しない場合、管理者は NMI クラッシュダンプを使用して、クラッシュダンプファイルを作成することができます。

クラッシュダンプのログ解析は、オペレーティングシステム、デバイスドライバ、およびアプリケーションでのハングなど、信頼性に関わる問題を診断するために重要です。クラッシュが起きると多くの場合、システムがフリーズし、管理者はシステムの電源を一度切って入れ直すことしかできません。システムをリセットすると、問題の解析をサポートできる情報が消去されます。ただし、NMI を使って、システムリセットの前にメモリダンプを実行し、その情報を保持できます。

管理者は iLO 生成 NMI 機能を使って、OS に強制的に NMI ハンドラーを開始させ、クラッシュダンプログを生成することができます。

トラブルシューティングの資料

トラブルシューティングの資料は、以下のドキュメントの HPE Gen11 サーバー製品で使用できます。

- ・ HPE ProLiant Gen11 サーバー用のトラブルシューティングガイドは、一般的な問題を解決するための手順を紹介し、障害を特定し識別するための一連の包括的な対策、問題の解決方法、ソフトウェアのメンテナンスについて説明しています。

<https://www.hpe.com/info/gen11-troubleshooting>

- ・ HPE ProLiant Gen10 サーバー、Gen10 Plus サーバー、Gen11 サーバーおよび HPE Synergy 用のインテグレートドマネジメントログメッセージおよびトラブルシューティングガイドでは、クリティカルおよび警告 IML イベントを解決するための IML メッセージおよび関連するトラブルシューティング情報を提供します。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00046957.ja_jp

システムバッテリーの交換

サーバーが正しい日付と時刻を自動的に表示しなくなった場合は、リアルタイムクロックに電力を供給しているバッテリーを交換します。通常の使用では、バッテリーの寿命は5～10年です。

サブトピック

システムバッテリーの情報

システムバッテリーの取り外しおよび交換

システムバッテリーの情報

サーバーには、リアルタイムクロックに電力を供給する二酸化マンガンリチウム、五酸化バナジウム、またはアルカリバッテリーが内蔵されています。



警告

このバッテリーの取り扱いを誤ると火災が発生したり、やけどをしたりする危険性があります。けがを防ぐために、次の点に注意してください。

- ・ バッテリーを再充電しないでください。
- ・ バッテリーを 60° C (140° F) 以上の高温にさらさないでください。
- ・ 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、バッテリーを低い空気圧にさらさないでください。
- ・ バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、外部接点をショートさせたり、水や火の中に捨てないでください。

システムバッテリーの取り外しおよび交換

前提条件

この手順を実行する前に、スパッジャーまたは小さな持ち上げ工具を用意してください。

このタスクについて



重要

システムバッテリーを交換して電力を供給した後、10 分間待ってからサーバーの電源をオンにします。このリードタイムは、SRAM に保存された iLO 構成設定をサーバーがリセットおよび再初期化するために必要です。

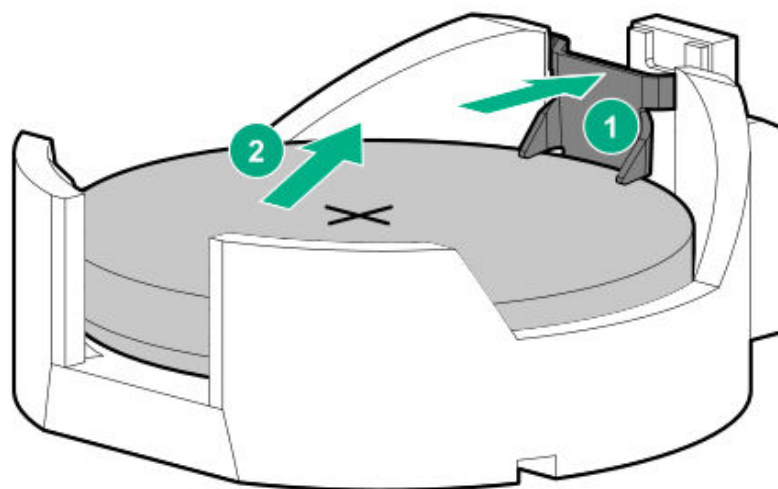


注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

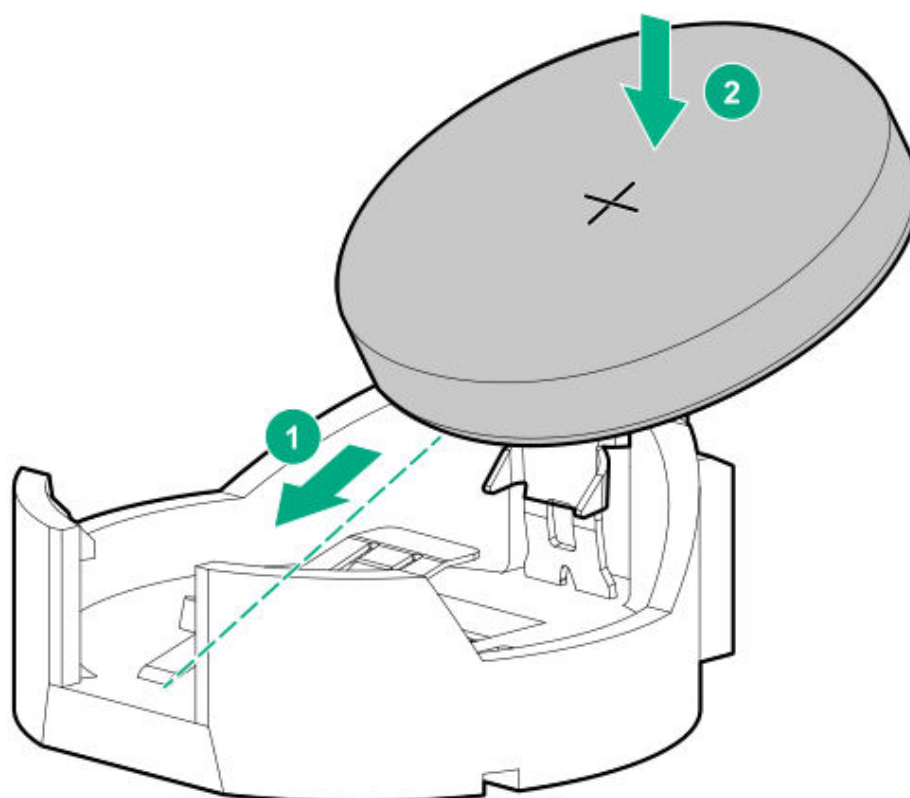
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. 以下のいずれかを実行します。
 - ・ ラックからサーバーを引き出す。
 - ・ ラックからサーバーを取り外す。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. エアバッフルを取り外します。
7. システムバッテリーを取り外します。
 - a. 小型の刃が平らな非導電性ツールを使用して、バッテリーラッチを押します。
 - b. ソケットからシステムバッテリーを取り外します。



4. システムバッテリーを取り付けます。

- a. 「+」記号が刻印されているバッテリーの側面を上に向けて、バッテリーをソケットに挿入します。
- b. カチッと所定の位置に収まるまで、システムバッテリーを押し下げます。



- 1. エアバッフルを取り付けます。
- 2. アクセスパネルを取り付けます。
- 3. サーバーをラックに取り付けます。
- 4. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 5. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 6. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 7. SRAM に保存された iLO 構成設定をサーバーがリセットおよび再初期化するまで 10 分間待ちます。



重要

iLO のセキュリティが無効になっている場合、構成は復元されません。構成を手動でリストアするには、<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks> を参照してください。

- 8. サーバーの電源を入れます。
- 9. 古いバッテリーを適切に廃棄します。
バッテリーの正しい廃棄方法について詳しくは、製品販売店または認定サービスプロバイダーにお問い合わせください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

安全、保証および規制に関する情報

サブトピック

[規定に関する情報](#)

[保証情報](#)

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

企業プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

サブトピック

[Notices for Eurasian Economic Union \(ユーラシア経済連合\)](#)

[Turkey RoHS material content declaration](#)

[Ukraine RoHS material content declaration](#)

Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合)



Manufacturer and Local Representative Information

Manufacturer information:

Hewlett Packard Enterprise Company, 1701 E Mossy Oaks Road, Spring, TX 77389 U.S.

Local representative information Russian:

- Russia

ООО "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз",
Российская Федерация, 125171, г. Москва,
Ленинградское шоссе, 16А, стр.3, Телефон: +7 499
403 4248 Факс: +7 499 403 4677

- **Kazakhstan**

ТОО «Хьюлетт-Паккард (К)», Республика
Казахстан, 050040, г. Алматы, Бостандыкский
район, проспект Аль-Фараби, 77/7, Телефон/
факс: +7 727 355 35 50

Local representative information Kazakh:

- **Russia**

ЖШС "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз", Ресей
Федерациясы, 125171, Мәскеу, Ленинград тас
жолы, 16А блок 3, Телефон: +7 499 403 4248 Факс: +7 499 403
4677

- **Kazakhstan**

ЖШС «Хьюлетт-Паккард (К)», Қазақстан
Республикасы, 050040, Алматы қ., Бостандық
ауданы, Әл-Фараби даңғылы, 77/7, Телефон/факс: +7
727 355 35 50

Manufacturing date:

The manufacturing date is defined by the serial number.

CCSYWWZZZZ (product serial number format)

CCSYWWZZZZ
| |
| WW = Week of manufacture (calendar week)
|
Y = Year of manufacture (decade, year)

If you need help identifying the manufacturing date, contact tre@hpe.com.

Turkey RoHS material content declaration

Türkiye Cumhuriyeti: AEEE Yönetmeliğine Uygundur

Ukraine RoHS material content declaration

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні, затвердженого постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を確認するには、[標準保証確認ツール](#)を参照してください。

仕様

サーバーの環境、機械、電源装置の仕様について説明します。

サブトピック

[環境仕様](#)
[機械仕様](#)
[電源装置の仕様](#)

環境仕様

仕様	値
温度範囲 ¹	—
動作時	10° C～35° C
非動作時	–30° C～60° C
相対湿度（ただし、結露しないこと）	—
動作時	最小：–12° C 露点温度または 8%相対湿度

仕様	値
	最大 : 24° C 露点温度または 90%相対湿度
非動作時	5~95% 38.7° C、最高湿球温度

- ¹ ここで示す温度の定格はすべて海拔 0 m のものです。海拔 3,048 m までは、高度が 304.8 m 上昇するごとに 1.0° C 低くなります。直射日光が当たらないようにしてください。最大変化率は 20° C/時です。上限と変化率は、取り付けられているオプションのタイプと数によって制限される可能性があります。

特定の承認済みのハードウェア構成については、サポートされるシステムの吸気温度の範囲が次のように拡大されます。

- ・ 海拔 0 m で 5~10° C および 35~40° C。この温度は、海拔 900 m から 3048 m までは、高度が 175 m 上昇するごとに 1.0° C 低くなります。
- ・ 海拔 0 m で 40° C~45° C。この温度は、海拔 900 m~3048 m までは、高度が 125 m 上昇するごとに 1.0° C 低くなります。

このシステムの承認済みのハードウェア構成については、[Hewlett Packard Enterprise の Web サイト](#)を参照してください。

機械仕様

仕様	値
寸法	—
高さ	8.75 cm (3.44 インチ)
奥行	81.60 cm (32.12 インチ)
幅	44.80 cm (17.64 インチ)
重量 (概算値)	—
重量、最小	11.00 kg (24.25 ポンド)
重量、最大	35.95 kg (79.25 ポンド)

電源装置の仕様

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーは以下の電源装置のいずれかで構成されます。

- ・ HPE 1600 W FS Platinum LH パワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
- ・ HPE 1800-2200 W Flex Slot Titanium ホットプラグ対応パワーサプライ (HPE 1800-2200 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)

サポートされている電源装置の仕様について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/proliant/powersupply>) にある QuickSpecs を参照してください。

サブトピック

HPE 1600 W FS Platinum LH パワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
HPE 1800-2200 W FS Titanium パワーサプライ (HPE 1800-2200 W Flex Slot Titanium Power Supply)

HPE 1600 W FS Platinum LH パワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	200~240 VAC 240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	8.7 A (200 VAC 時) 7.2 A (240 VAC 時)
最大定格入力電力	1734 W (200 VAC 時) 1725 W (240 VAC 時)
BTU/時	5918 (200 VAC 時) 5884 (240 VAC 時)

仕様	値
電源装置出力	—
安定時定格電力	1600 W (200～240 VAC 入力時) 1600 W (240 VDC 入力時)
最大ピーク電力	1 ミリ秒 1600 W (ターボモード) (200～240 V AC 入力時)

HPE 1800–2200 W FS Titanium パワーサプライ (HPE 1800–2200 W Flex Slot Titanium Power Supply)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	200～240 VAC 240 VDC (中国のみ)
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	10 A (200 VAC 時) 10 A (240 VAC 時) 10 A (240 VDC 時、中国のみ)
最大定格入力電力	1946 W (200 VAC 時) 2375 W (240 VAC 時) 2375 W (240 VDC 時、中国のみ)
BTU/時	6497 (200 VAC 時) 7962 (240 VAC 時)
電源装置出力	—
安定時定格電力	1800 W (200 VAC 時) 2200 W (240 VAC 時)
最大ピーク電力	1 ミリ秒 2200 W (ターボモード) (200～240 V AC 入力時)

Web サイト

Web サイトでは HPE のツール、リソース、および製品ドキュメントへのリンクが提供されています。

一般的な Web サイト

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス

<https://www.hpe.com/storage/spock>

製品のホワイトペーパーとアナリストレポート

<https://www.hpe.com/us/en/resource-library>

その他の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品の Web サイト

HPE ProLiant DL380a Gen11 ユーザードキュメント

<https://www.hpe.com/info/dl380Agen11-docs>

サポートと他のリソース

サブトピック

[Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス](#)

[HPE 製品登録](#)

[アップデートへのアクセス](#)

[カスタマーセルフリペア \(CSR\)](#)

[リモートサポート](#)

[ドキュメントに関するご意見、ご指摘](#)

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

HPE 製品登録

Hewlett Packard Enterprise サポートセンターおよび購入したサポートサービスのメリットを最大限に活用するため、契約と製品を HPESC のアカウントに追加してください。

- ・ 契約と製品を追加すると、パーソナライゼーションの強化、ワークスペースのアラート機能、ダッシュボードを通じた有益な情報が提供され、環境の管理が容易になります。
- ・ また、問題を自己解決するための推奨事項やカスタマイズされた製品知識も提供されるほか、ケースを作成する必要がある場合は、最適化されたケース作成によって解決までの時間が短縮されます。

契約と製品を追加する方法については、<https://www.hpe.com/info/add-products-contracts>を参照してください。

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

マイ HPE ソフトウェアセンター

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様の資格情報を表示およびアップデートするには、または契約と標準保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンター **More Information on Access to Support Materials** ページをご覧ください。

<https://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>



重要

Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアップデートにアクセスするには、製品資格情報が必要な場合があります。関連する資格情報で HPE アカウントをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。ただし、一部の部品は、CSR が適用されません。

CSR について詳しくは、お近くの正規保守代理店にお問い合わせください。

リモートサポート

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。Hewlett Packard Enterprise では、ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くお勧めします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

HPE リモート IT サポートサービス接続入門

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00041232_ja_jp

HPE Tech Care Service

<https://www.hpe.com/jp/techcare>

HPE Complete Care Service

<https://www.hpe.com/jp/completecure>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターポータル (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) で、開いているドキュメントのページにあるフィードバックボタンをクリックしてください。この機能を使用して、誤り、提案、コメントなどをお寄せください。このプロセスにより、すべてのドキュメント情報が取得されます。